

鳥取市公共施設白書

(第1版)

2014年2月

～ 目 次 ～

はじめに	3
第1章 公共施設白書について	
1 本市における公共施設白書の位置づけ	4
2 白書で取り上げる公共施設	5
3 施設白書の数値・データ・用語について	8
第2章 鳥取市の概要	10
第3章 本市が保有する公共施設の現状について	
第1節 公共施設の全般	
1 供給（施設数等）	19
2 品質（建物構造等）	23
3 財務（維持管理コスト等）	24
4 施設更新経費の試算	26
第2節 地域別の現状	28
1 鳥取地域	31
2 国府地域	32
3 福部地域	33
4 河原地域	34
5 用瀬地域	35
6 佐治地域	36
7 気高地域	37
8 鹿野地域	38
9 青谷地域	39
第4章 施設別の現状	
第1節 行政施設	
1 庁舎等	40
2 防災関連施設	46
3 行政関連施設	48
第2節 集会施設	
1 地区集会施設	50
2 広域集会施設（ホール機能）	62
第3節 社会教育施設	
1 中央公民館	69
2 社会福祉施設	72
3 文化学習施設	77
4 生涯学習施設（図書館）	81
第4節 スポーツ施設	
1 体育館	86
2 スポーツ施設	94

第5節	福祉保健施設		
1	保育・子育て支援施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	9 9
2	高齢者支援施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1 8
3	障がい者支援施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 2 2
4	保健・医療施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 2 4
第6節	産業振興施設		
1	産業振興施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 2 8
2	農業振興施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 3 2
3	駐車場	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 3 7
第7節	観光・保養施設		
1	観光施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 4 0
2	保養施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 5 0
第8節	公営住宅等関連施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 5 6
第9節	学校教育施設		
1	小学校	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 5 9
2	中学校	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 6 5
3	教育関連施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 6 9
第10節	公園施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 7 3
第11節	環境関連施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 7 9
第12節	その他施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 8 2
第13節	未活用施設	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 8 4
第5章	公共施設が抱える課題等	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 8 6
第6章	今後の進め方について		
1	鳥取市と取組状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 9 1
2	財産経営の基本的な考え方	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 9 1
3	今後の進め方	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 9 2
終わりに		・・・・・・・・・・・・・・・・	1 9 2

はじめに

私たちの生活や社会経済活動は、道路・橋りょう・上下水道等のインフラと、学校・福祉施設等の公共施設によって支えられています。

現在、日本各地では、高度経済成長期以降に集中的に整備された公共施設等の老朽化が進んでおり、今後一斉かつ大量に更新時期を迎えます。これらの更新には多額の財政負担が想定されることから、『公共施設等の更新問題』は、国や自治体における最重要課題としてとらえられています。

先進的な自治体では、10年近く前からこの課題に気付き、財政負担の軽減・平準化を図るため、様々な取り組みを実施しています。そして、いずれの自治体も取り組みのスタートは、『自分たち（自治体）が管理・所有する公共施設等の現状把握』から取り組んでいます。また、昨年（2013年）11月に国が決定した『インフラ長寿命化基本計画』において“インフラの維持管理に必要な情報の不足”と指摘されたこともあり、多くの自治体で公共施設白書の作成が始まります。

鳥取市においても、こうした課題の到来を見据えて、公共施設の統廃合や譲渡など、これまで一定の成果を挙げてきました。しかし、数年後には他自治体と同様に、大量の公共施設が一斉に更新時期を迎えます。

公共施設は、人口が増加していく時代を中心に整備され増加してきましたが、今後は、人口減少という今まで経験したことのない大きな社会情勢の変化への対応・意識改革が必要です。私たちは、これまで以上に公共施設を様々な角度から分析し、真に必要な施設を厳選し、安全かつ持続的に、保有・活用することに挑戦していく必要があります。そして、その時期は既に来ているといえます。

鳥取市は、市民の安全・安心な生活を守り、取り巻く環境の変化に的確に対応する必要な公共サービスを提供し続けるためにも、『公共施設等の更新問題』を21世紀における大きな課題として受け止め、市民の皆さまと情報を共有し、意見交換を重ね、戦略的かつ総合的な取り組みを早急に展開していきます。

2014年2月

本白書では、“インフラ”と“公共施設”を併せて「公共施設等」と表記します。

第1章 公共施設白書について

1 本市における公共施設白書の位置づけ

本市は、2004年（平成16年）11月の9市町村合併後、加速する人口減少と一層の少子高齢化による将来的な財政規模の縮減を見据えて、利便性と効率性を兼ね備えた持続可能なまちづくり（行政経営）を可能とする多極型の“コンパクトシティ¹”への転換をめざして取り組んでいます。

一方、合併時に各自治体が保有していた公共施設をそのままの状態を引き継いだことから、非常に多くの公共施設（資産）を保有しています。これらの公共施設は老朽化や機能の陳腐化が進み、今後、大量かつ一斉に更新時期を迎えることから、社会情勢の変化をふまえ、公共サービス提供のあり方や公共施設の将来あるべき姿を市民の皆さまとともに考えていくことが喫緊の課題となっています。

公共施設は、市民の皆さまが公共サービスを受けるため、もしくは利用するために施設利用者や議会等の意見も伺いながら整備・管理運営を行っています。同時に、税や使用料の負担、管理運営への協力や参画など、公共施設を支えているのも市民の皆さまです。

この「鳥取市公共施設白書（以下、「施設白書」という。）」は、本市が保有する公共施設の現状を「供給」、「品質」、「財務」の3つの視点を基本に分析し、同種の公共施設を比較しています。これまで感覚的にとらえていた公共施設を取り巻く現状や課題を『見える化』することで、市民の皆さまと情報や課題を共有し、今後の公共施設や公共サービスのあり方を考えていくために作成しました。

なお、施設白書は、今後、策定作業を進めていく「公共施設総量適正化計画（仮称）」の検討過程における基礎資料として位置付けて活用していきます。²

1 コンパクトシティ...市街地を形成する際の考え方の一つで、都市部を中心とした土地利用の高度化を図り、生活空間のゆとりを創出するとともにメリハリのある市街地を再構築すること。本市では、都心核と各種拠点に生活に必要な都市機能を集積することをめざしています。

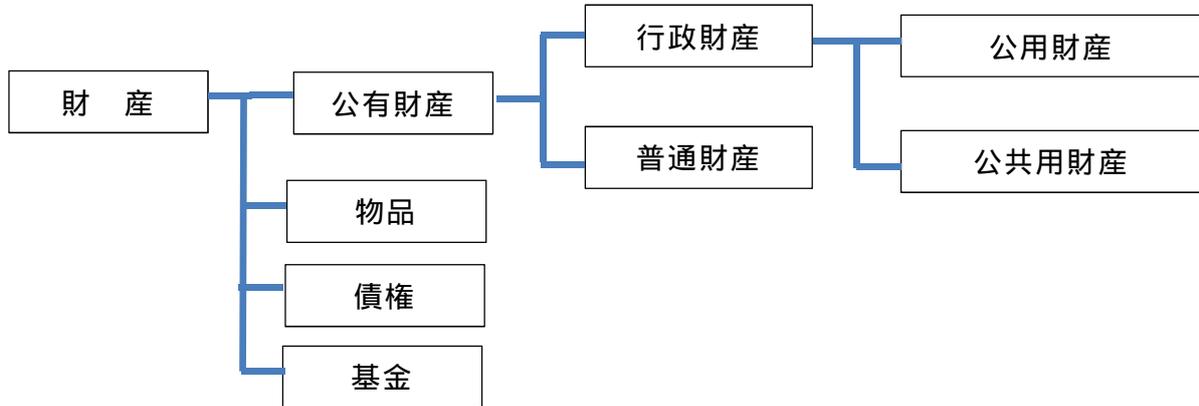
2 本施設白書は、市が保有する公共施設における現状や課題の概要をまとめたものです。各施設分類や各地域における公共施設の詳細な分析等は、別途取り組む必要があります。

2 白書で取り上げる公共施設

地方自治体の財産区分

地方自治法では、地方自治体が所有し管理する財産は、「公有財産（土地・建物）」、「物品」、「債権」、「基金」に分類されます。

そのうち、「公有財産」は、「行政財産」と「普通財産」に区分されます。



行政財産

地方公共団体において公用または公共用に供し、又は供することと決定した財産
原則として貸し付け、売り払い、交換などできない財産です。

公用財産

市が事務又は事業を執行するために直接使用することを目的とする財産
（例） 庁舎、消防施設など。

公共用財産

住民の一般的共同利用に供することを目的とする財産
（例） 学校、図書館、公民館、公営住宅、公園など。

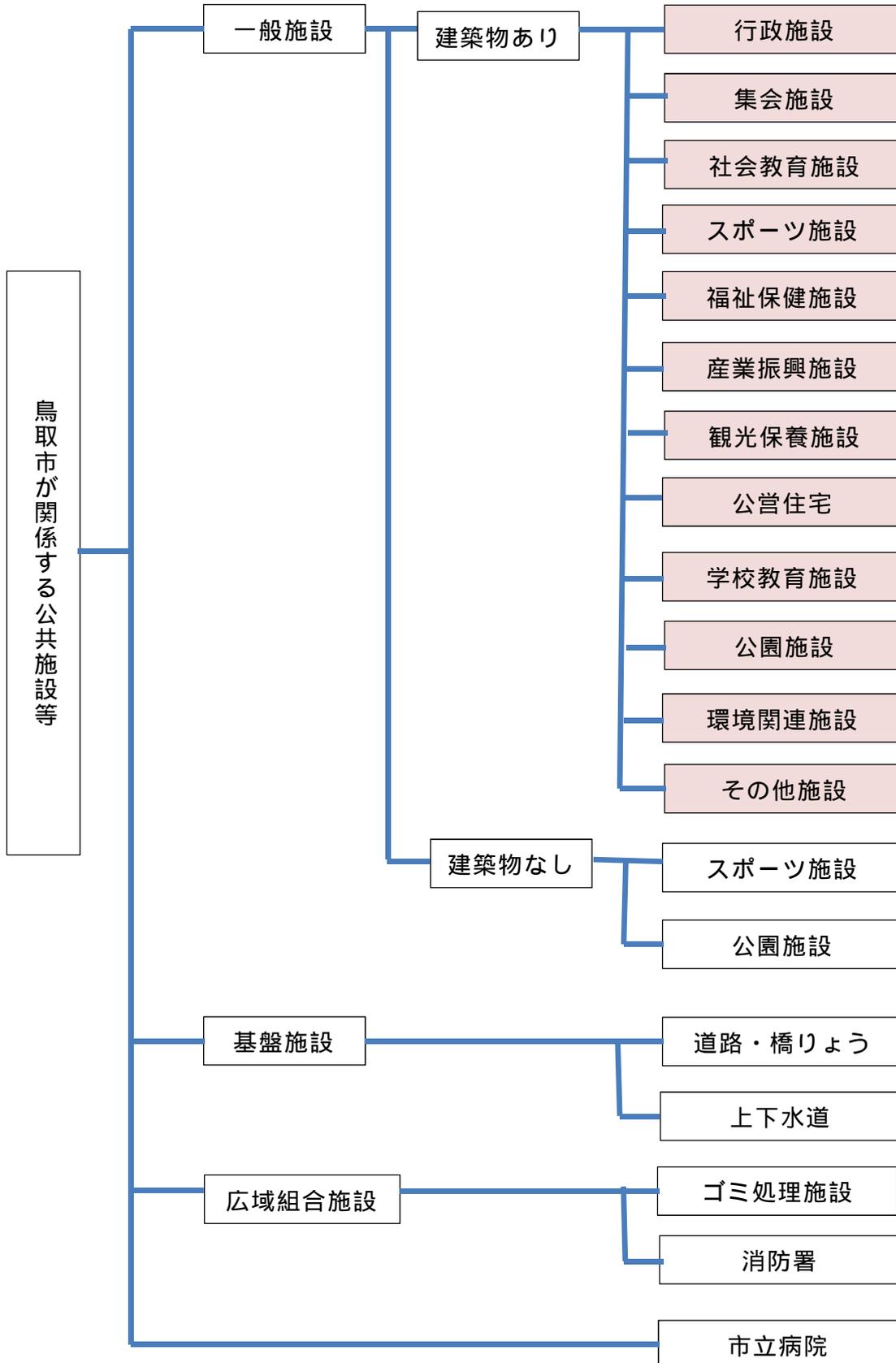
普通財産

行政財産以外は一切の公有財産

貸し付け、売り払い、交換、私権の設定などすることができる財産です。

本市が関係する公共施設の分類

本市が関係する公共施設等は、次のとおり分類することができ、本施設白書では、この図の に表した公共施設（屋根のある建物）を対象として作成しており、道路、橋りょうや上下水道等の基盤施設は対象外とします。また、広域組合施設、企業会計にかかる施設も本白書からは除外しています。



白書の対象とする施設の分類

施設白書の対象とする施設の分類並びに施設の例は、次のとおりです。今回の分類は、設置根拠（条例）や施設所管による分類ではなく、市民（利用者）目線での分類を基本として“施設が有する主たる機能”によって分類しています。

例えば、協働推進課が所管し設置が市条例で定められている「地区公民館」と人権推進課が所管し市条例の設置根拠がない「集会所」も、“集会機能”を有する「集会施設」としてまとめています。

大分類	小分類	施設例
行政施設	庁舎等	市庁舎、総合支所
	防災関連施設	消防格納庫、ポンプ車庫
	行政関連施設	書庫、倉庫、事務所
集会施設	地区集会施設	公民館、就業改善センター、老人憩の家、地区会館、集会所、生活改善センター
	広域集会施設	福祉文化会館、市民会館、文化センター
社会教育施設	中央公民館	中央公民館
	社会福祉施設	人権福祉センター
	文化学習施設	歴史博物館、郷土歴史館
	生涯学習施設	中央図書館、生涯学習センター
スポーツ施設	体育館	地区体育館、農業者トレーニングセンター、海洋センター体育館
	スポーツ施設	とりぎんバードスタジアム、武道館、美保球場、弓道場、プール
福祉保健施設	保育・子育て支援施設	保育園、児童館、放課後児童クラブ
	高齢者支援施設	やすらぎ、なごみ苑、老人福祉センター
	障がい者支援施設	障害者福祉センター
	保健・医療施設	保健センター、福祉センター
産業振興施設	産業振興施設	卸売市場、物産販売施設
	農業振興施設	加工センター、共同作業場
	駐車場	片原駐車場、市営駐輪場
観光・保養施設	観光施設	わらべ館、遊漁センター、アストロパーク、河原城、流しびなの館、道の駅
	保養施設	山紫苑、三滝バンガロー、しかの温泉館
公営住宅等施設	公営住宅等施設	市営住宅等
学校教育施設	小学校	校舎、学校体育館
	中学校	校舎、学校体育館
	教育関連施設	給食センター
公園施設		出合いの森、緑地公園、公園内トイレ
環境関連施設		ポンプ場、可燃物処理施設、簡易水道施設
その他施設		バス停、公衆トイレ、民間活用施設
未活用施設		旧佐治中学校、旧国府町総合支所

広域集会施設（ホール）は、1部屋に約300人以上収容可能な施設とします。

学校教育施設の学校体育館とスポーツ施設は取り扱いを別とします。

3 施設白書の数値・データ・用語について

本施設白書では、2013年（平成25年）11月末時点において、公有財産台帳に掲載している1,001施設、1,941棟を対象としており、施設総量の把握は、延床面積（㎡）を基準としています。

これは、今後の施設更新や修繕費用を試算するにあたり、一般的には建物の延床面積が基礎数値として使用されており、延床面積を基準とすることが最も合理的であると考えられるためです。

また、施設に関する建築年等は西暦を使用し、場合に応じて和暦を併記しています。

その他、本施設白書で使用する“数値の考え方”並びに“用語の内容”は次のとおりです。

数値の考え方

数値の根拠

建築年・延床面積等の基礎的な公共施設データは、公有財産台帳に掲載されている数値を用いています。また、施設管理コストや利用状況等は、各施設所管課から提出された数値を転用しています。

そのほか、「平成24年度鳥取市歳入歳出決算書」「平成25年度教育要覧」「鳥取市営住宅長寿命化計画」さらには、「指定管理者制度導入施設に対するモニタリング（事業評価）」に掲載されている数値を根拠にしています。

数値等の表記

文中の数値は、見やすくするために端数処理をしています。また、延床面積は、「㎡」で表記しています。

施設数の数え方

設置目的・利用者が同一の建物群（例：学校の校舎・体育館・プール・倉庫等）や同一名称で複数棟が存在する施設（例：市営団地）についての施設数は、“1”としています。

複合施設

1つの建物内に複数機能（施設）を有している施設延床面積については、主となる機能を有する施設分類に含んでいます。

（例：市役所駅南庁舎は、“行政施設（庁舎等）”と“生涯学習施設（中央図書館）”と“駅南駐車場”を含むことから、施設数は“3”としています。）

用語の内容

用語	内容説明
建築年	建物が建築された年。施設の開設年と一致しない場合があります。また、1施設が複数棟の場合は、基本として最も古い建物（棟）の建築年を表記
耐用年数	減価償却資産の耐用年数等に関する省令（財務省令）を基に建物構造に応じて設定
更新時期	建物の建替え時期（耐用年数）を迎える時期 （定期的に発生する大規模修繕が必要な時期を含む）
耐震基準	建物等の構造物がもつ最低限度の耐震応力を示す基準。現行の耐震基準（新耐震基準）は、1981年6月1日に施行された建築基準法施行令による基準
光熱水費	施設の維持・運営にかかる電気料金・ガス料金・上下水道料金等
維持管理費	施設の維持にかかる経費のうち保守点検費・清掃費・警備費・経常的な小規模修繕費・借地料等
施設管理コスト	上記の“光熱水費”と“維持管理費”を合算した経費
保守点検費	機械設備・電気設備・昇降機・監視制御・衛生管理・消防用設備等の保守点検に要する費用（法定点検もあります）
扶助費	社会保障制度の一環として支給される費用。（生活保護法・児童福祉法等の法令に基づくもののほか、市の施策として行うものも含む）
投資的経費	資本形成のために支出されるもので、将来に残る施設等を整備するための経費。普通建設事業費など
物件費	需用費（消耗品費・光熱水費・修繕費等）や役務費、備品購入費、委託料等の業務を遂行する際に支出する消費的経費
合併算定替	市町村合併後10年度（本市の場合は2014年度まで）については、合併前の旧市町村が存続するものとして計算した交付税額の合計額を下回らないようにし、11年度目以降は段階的に交付税額が縮減させていくことにより、合併市町村が交付税上不利を被ることのないよう配慮された制度
地方交付税	地方公共団体ごとの不均衡の是正や一定レベルの行政サービス提供を維持するための財源を保障する国から地方に再配分される財源
指定管理者制度	公の施設の管理者について「地方公共団体が出資している法人、公共団体、公共的団体」という条件が撤廃され、条例に基づき議会の議決を経て指定された者が施設の管理を代行する制度
ファシリティマネジメント	事業者が目的を達成するために、公共施設等の経営資源（ファシリティ）を総合的に企画、管理、活用すること

第2章 鳥取市の概要

1 位置・地勢・土地利用

鳥取市は、鳥取県の北東部に位置する人口約20万人の県都で、北は日本海、東は岩美町、八頭町、兵庫県新温泉町、南は智頭町、岡山県津山市、西は三朝町、湯梨浜町に接しています。

市のほぼ中央部には中国山地を源とする千代川が北流し、また河口付近には千代川の土砂と日本海からの風・波という自然環境のもとに形成された鳥取砂丘や、日本最大の池である湖山池、温泉などがあり、独特で豊かな自然環境に恵まれています。

2004年（平成16年）11月1日に鳥取県東部の6町2村との市町村合併により、山陰地方で初の20万人都市となり、市域は、765.66平方キロメートルと県内最大の広さとなりました。

鳥取市の位置



各地域（旧市町村）の位置関係



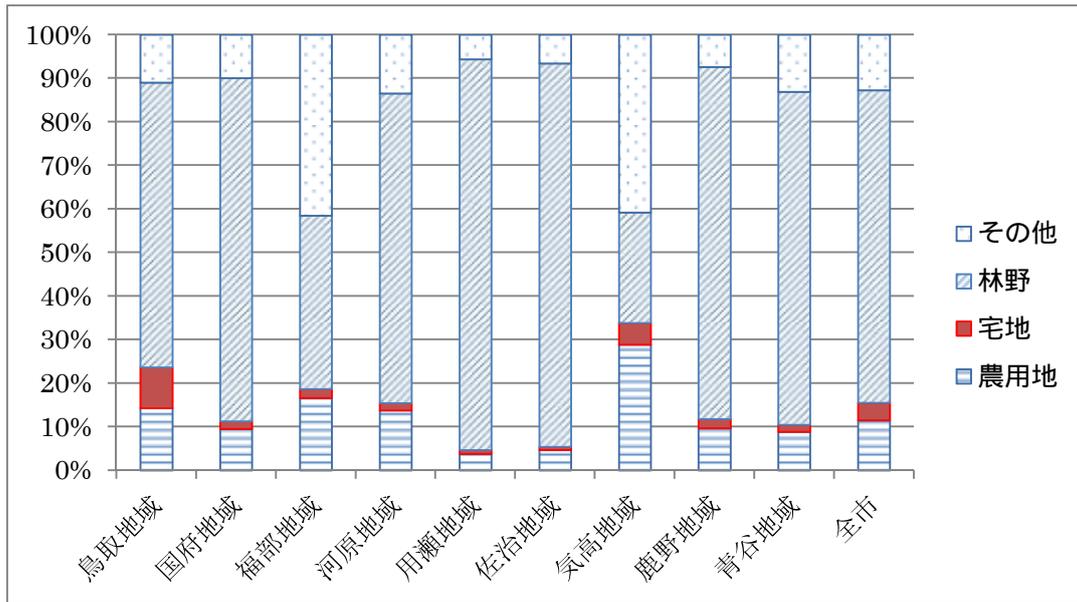
旧市町村区域を境にして「地域」と呼びます。

土地利用面積

単位：km²

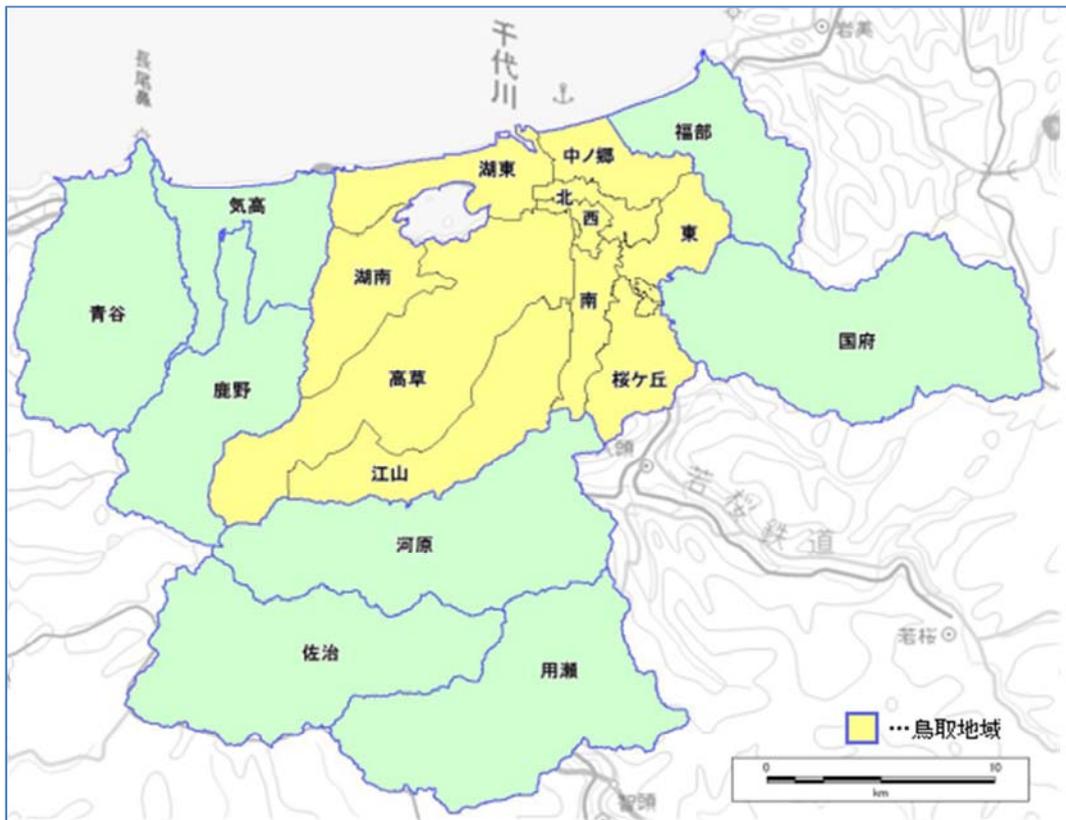
	鳥取地域	国府地域	福部地域	河原地域	用瀬地域	佐治地域	気高地域	鹿野地域	青谷地域	全市
農用地	33.8	8.9	5.8	11.5	3.1	3.7	9.9	5.1	6.0	87.8
宅地	22.3	1.6	0.7	1.4	0.7	0.6	1.7	1.1	1.1	31.2
林野	155.2	73.6	13.9	59.4	73.2	70.3	8.7	42.6	51.9	548.8
その他	26.1	9.3	14.5	11.3	4.6	5.3	14.0	3.9	8.9	97.9
計	237.4	93.4	34.9	83.6	81.6	79.9	34.3	52.7	67.9	765.7

土地利用面積の割合の比較



中学校区の区域図

市域を中学校区に分けると18校区に分かれます。



千代南中学校区は、用瀬と佐治に区分

2 人口

2013年9月30日現在の人口（住民登録）は、193,970人となっています。

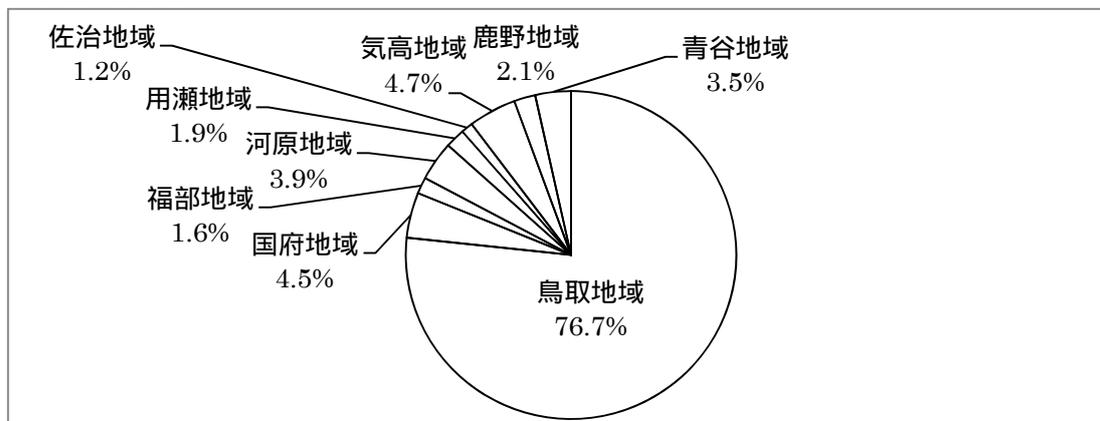
地域毎の人口割合

地域（市町村合併前の市町村の区域）に分けて比較すると、鳥取地域の人口が77%を占めています。鳥取地域と気高地域において比較的人口密度が高くなっています。

地域	世帯数 (戸)	人口 (人)	1世帯当たり 人口(人)	1 km ² 当たり 人口(人)
鳥取地域	61,809	148,727	2.4	626
国府地域	3,200	8,675	2.7	93
福部地域	1,024	3,129	3.1	90
河原地域	2,462	7,507	3.0	90
用瀬地域	1,299	3,748	2.9	46
佐治地域	804	2,258	2.8	28
気高地域	3,242	9,090	2.8	265
鹿野地域	1,438	4,062	2.8	77
青谷地域	2,480	6,774	2.7	100
全体	77,758	193,970	2.5	235

出典：住民登録人口（2013年9月30日時点）

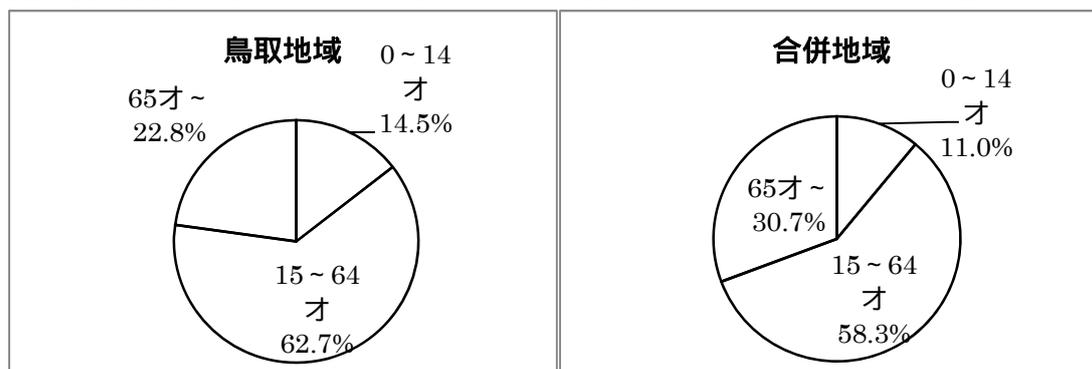
地域別人口割合



出典：住民登録人口（2013年9月30日時点）

人口構成

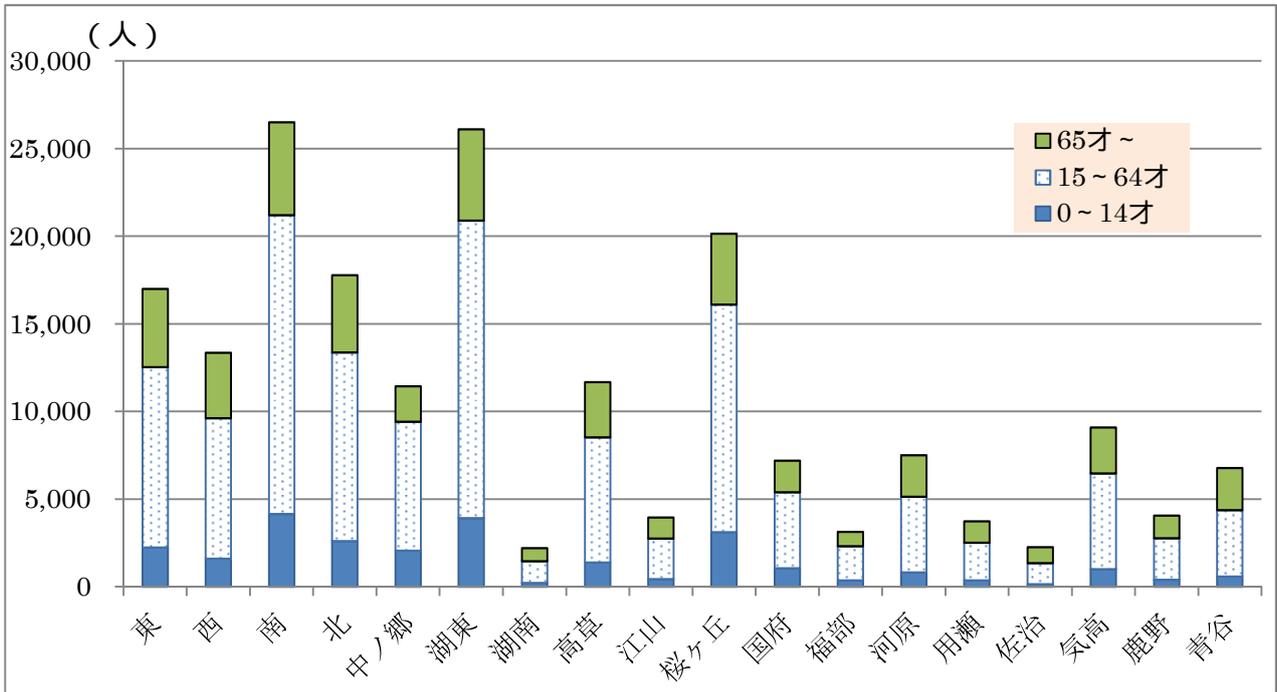
比較的、合併地域において65歳以上の人口比率が大きくなっています。



出典：住民登録人口（2013年9月30日時点）

中学校区別人口

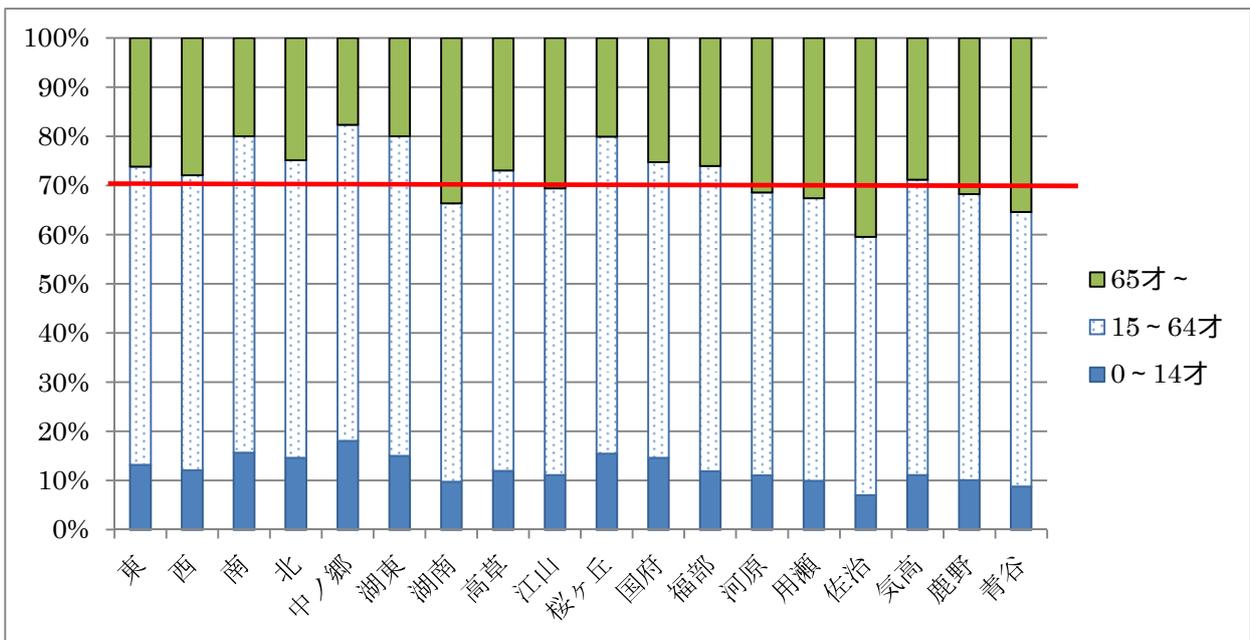
各中学校区において、大きなばらつきが見られます。



出典：住民登録人口（2013年9月30日時点）

中学校区別の年齢構成の割合

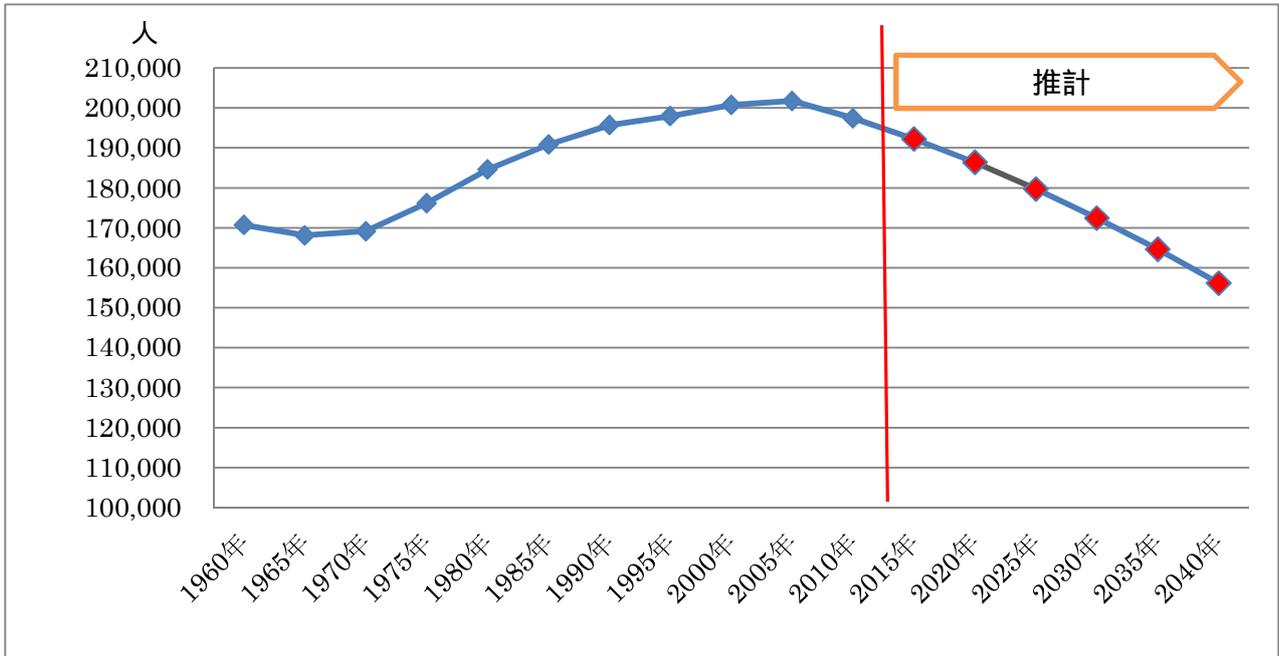
鳥取地域内では、湖南中学校区が、合併地域では佐治・青谷地域において65歳以上の人口比率が高くなっています。一方、南・中ノ郷・湖東・桜ヶ丘・国府中学校区において若年層や生産年齢人口が高くなっています。



出典：住民登録人口（2013年9月30日時点）

人口の推移と将来予測

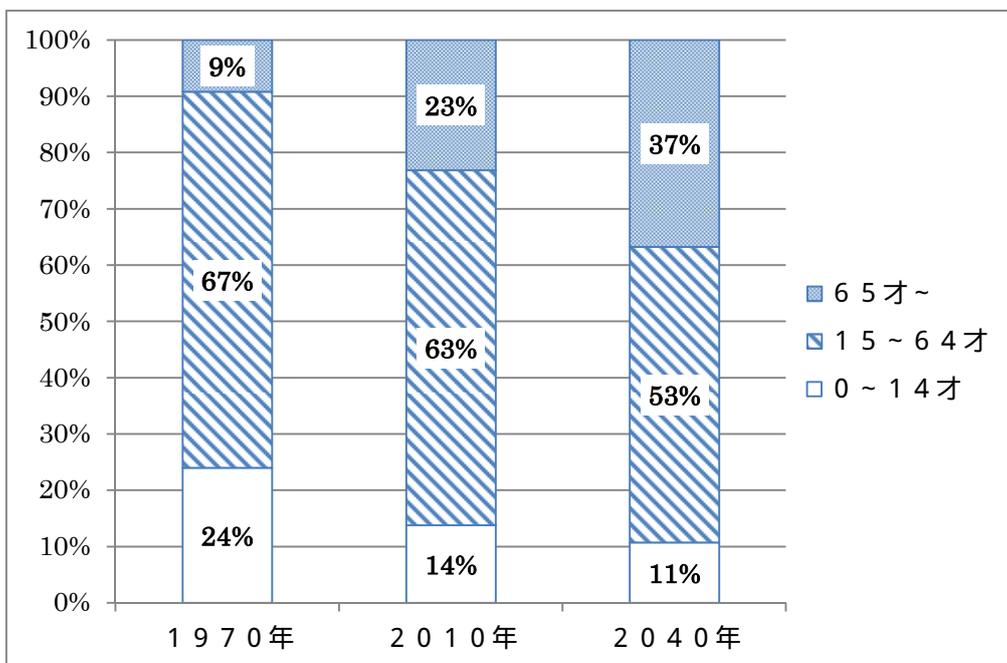
高度経済成長期から増加が続いた本市人口は、2005年をピークに20万人を越えましたが、推計によるとその後は減少を続け、2040年には約15万人となり高度成長期前の人口と同程度になる予測となっています。



2010年以前は国勢調査。2015年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」推計

年齢構成推移と将来予測

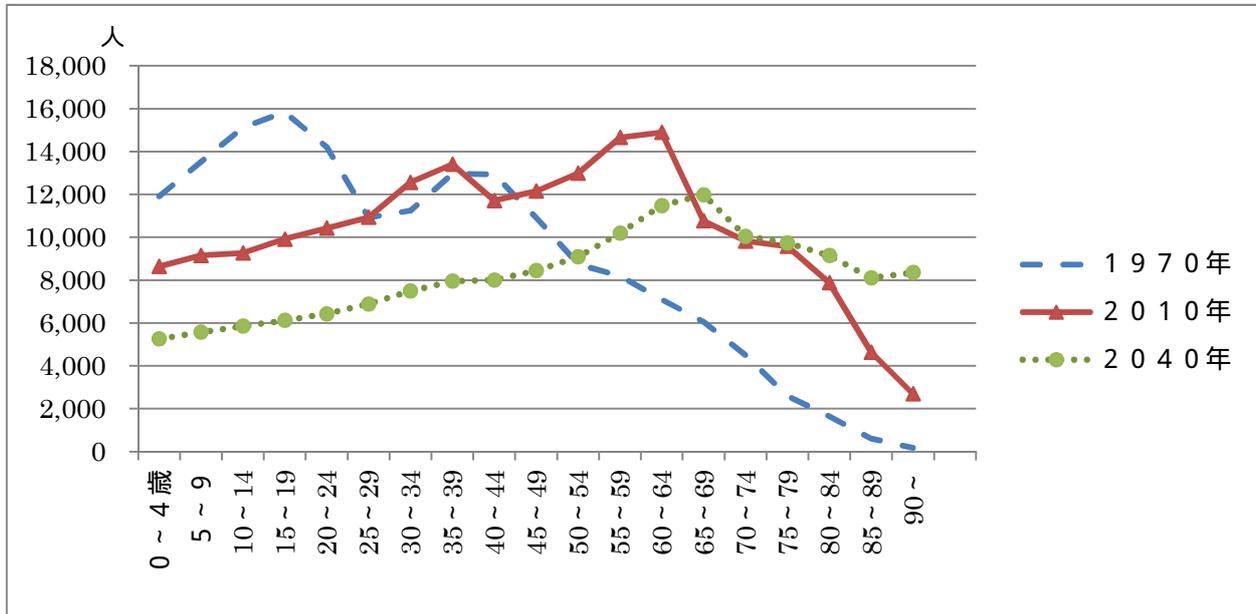
高齢者人口割合は、1970年から40年間で14%増加し、今後、2040年までの30年間も更に14%増加予測であり、高齢化の加速が予測されています。



1970年、2010年は国勢調査。2040年は「国立社会保障・人口問題研究所」推計

年齢人口別の推移と将来予測

1970年にヤマとなっている10才代を中心に2010年には55～65才のヤマを形成しています。推計によると2010年の30才代が2040年の60才代のヤマを形成することになり、1970年の少高齢多子社会から少高齢社会が顕著になっています。



1970年、2010年は国勢調査。2040年は「国立社会保障・人口問題研究所」推計

3 財政

公有財産の状況（2013年3月末時点）

施設以外にも、1,000万㎡の市有地（土地）を保有しています。

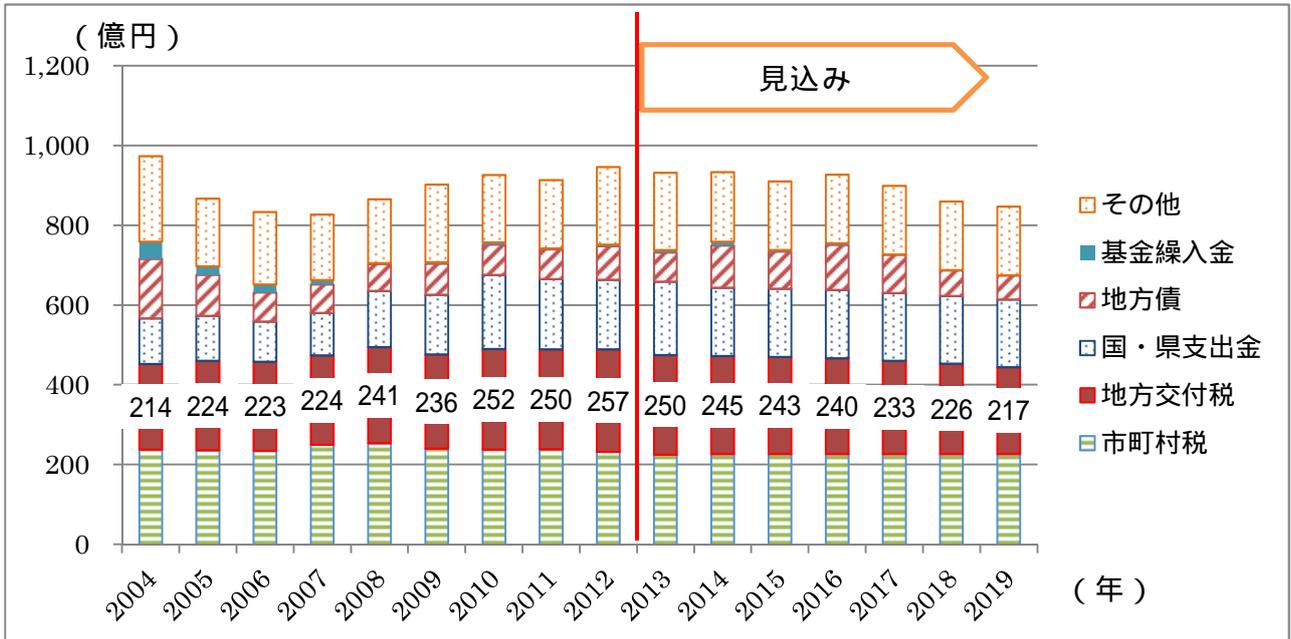
(㎡)

区 分		土地（地積）	非木造	木造	延床面積計	
行政財産	本庁舎	63,619.67	57,591.90	92.04	57,683.94	
	公用財産	消防施設	11,343.15	2,333.59	1,084.29	3,417.88
		その他の施設	9,719.10	3,468.65	87.01	3,555.66
	公共用財産	学校	1,168,386.22	307,555.20	2,899.94	310,455.14
		公営住宅	247,698.08	125,082.93	22,333.18	147,416.11
		その他の住宅	21,179.90	3,995.23	2,716.80	6,712.03
		公園	3,282,816.19	4,465.38	1,249.47	5,714.85
		その他の施設	4,248,775.50	298,036.42	41,347.86	339,384.28
	山林	770,594.00	0.00	0.00	0.00	
小 計	9,824,131.81	802,529.30	71,810.59	874,339.89		
普通財産		208,694.00	21,456.09	6,408.66	27,864.75	
合 計		10,032,825.81	823,985.39	78,219.25	902,204.64	

出典：平成24年度鳥取市歳入歳出決算書（区分・数値とも）

歳入決算額（一般会計）の推移及び見込み

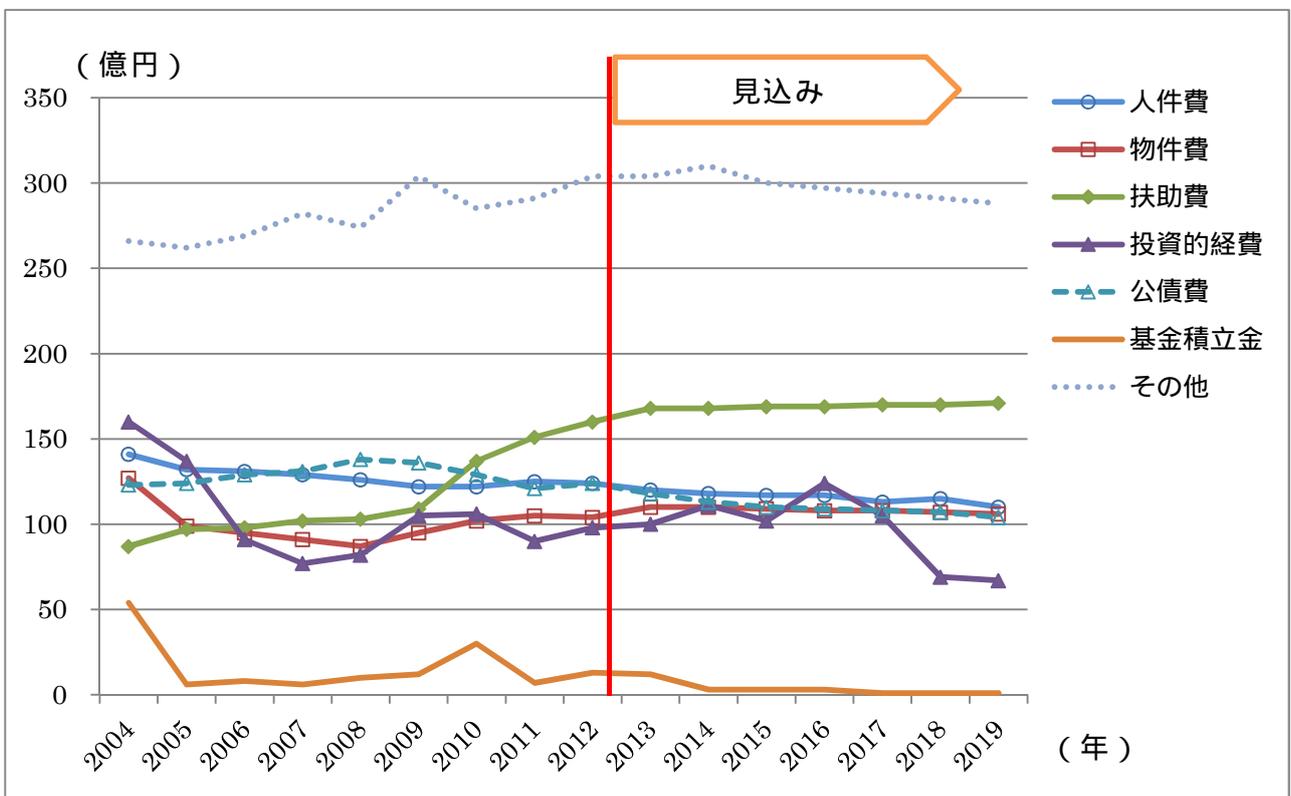
2012年度は約946億円の歳入がありましたが、合併算定替の影響によって、2015年度から段階的に地方交付税が削減されていき、2019年度には、約847億円まで歳入が減少する見込みです。



行財政改革課作成

性質別歳出決算額（一般会計）の推移及び見込み

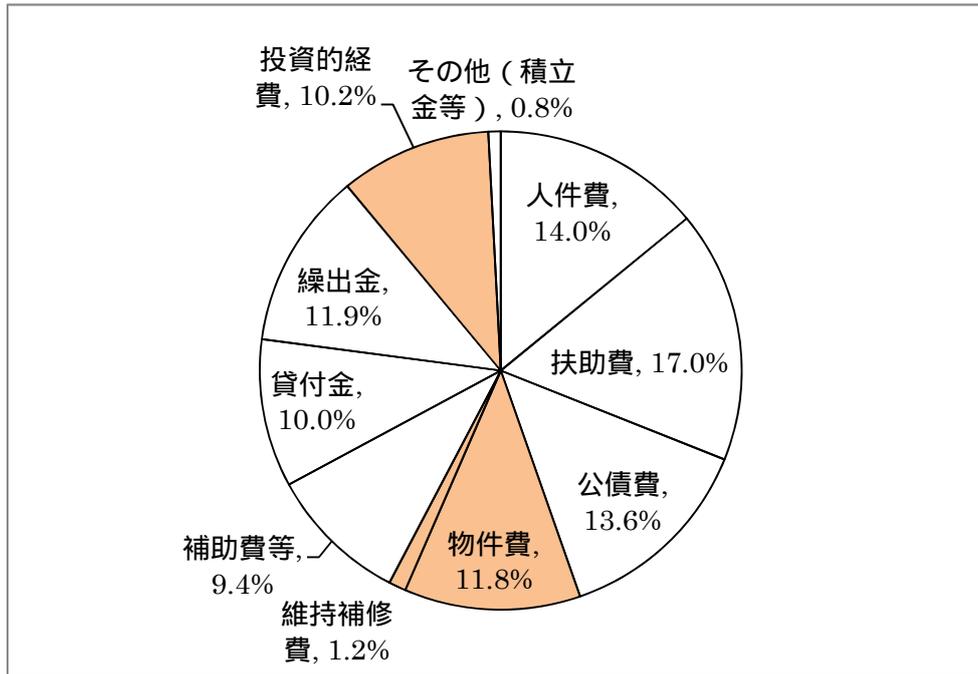
扶助費だけが増加傾向にあり、今後も増加する見込みです。



行財政改革課作成

2012年度性質別歳出決算額（一般会計）の割合

2012年度は、927億円の歳出があり、内訳は次のとおりとなっています。



公共施設の更新・修繕に係る予算

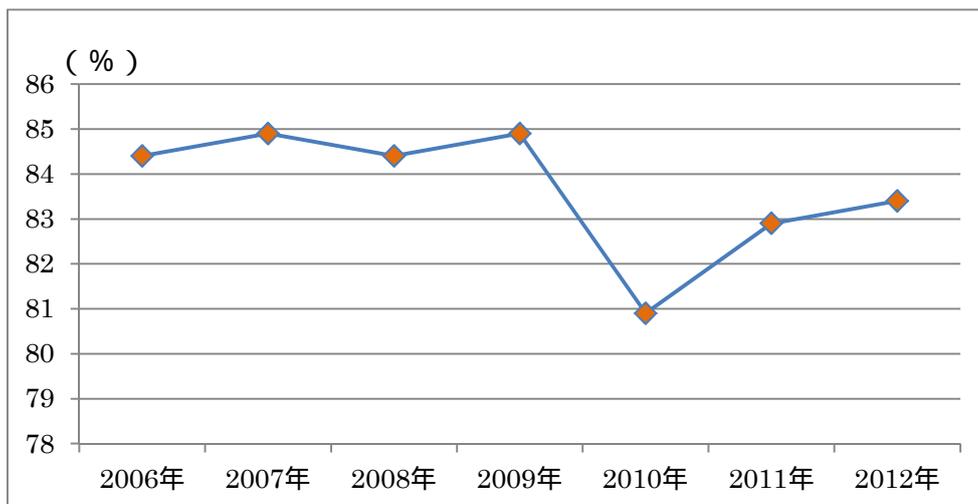
2012年度歳出のうち、公共施設の整備や修繕等（管理費等除く）に充てられた予算のみを抽出した結果、約47億2,000万円でした。

予算区分	金額	抽出条件（金額算出の方法）
投資的経費	約42億1,000万円	投資的経費のうち、普通建設事業費を抽出から賃金や用地費等を除いた額
維持補修費	約4億8,000万円	維持補修費は全て抽出
物件費	約3,000万円	物件費のうち、修繕費のみを抽出
計	約47億2,000万円	

公共施設（施設白書の対象）の整備や修繕に充てられた経費のみを抽出

経常収支比率 の推移

人件費や公債費などの固定費が占める割合が80%を超えており、財政構造の弾力性が低くなっています。

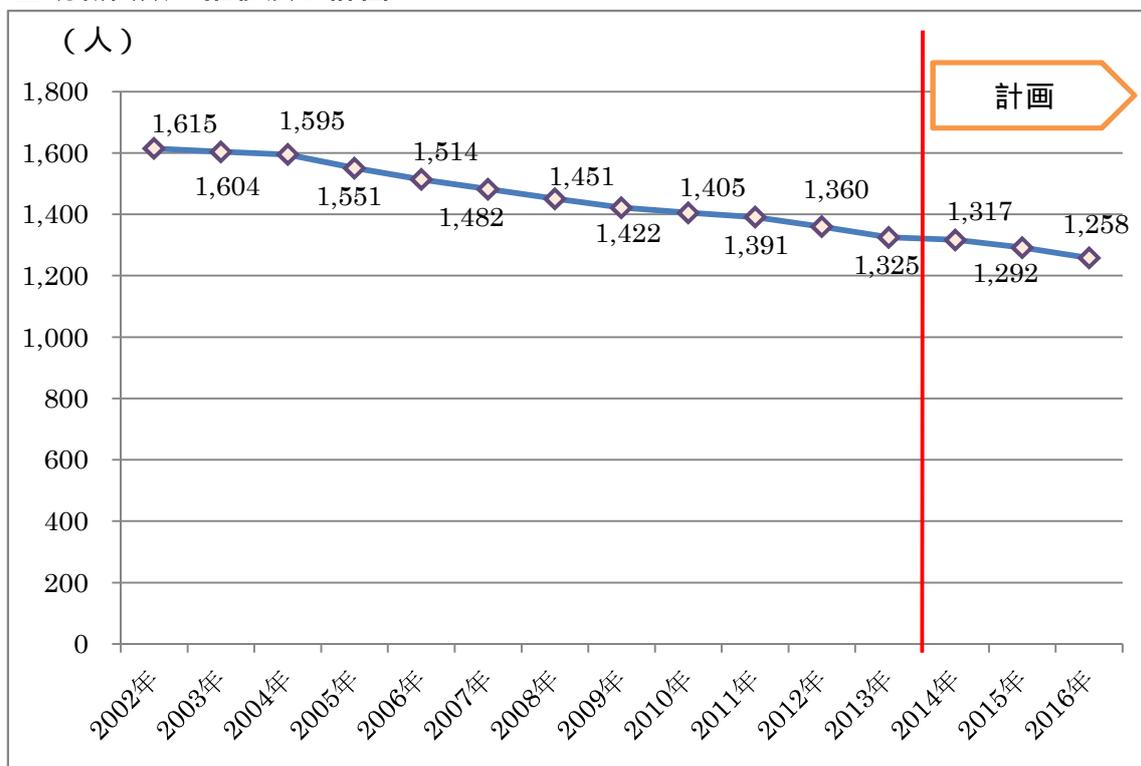


経常収支比率とは、経常一般財源等（毎年度経常的に収入される財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合を表すものです。

4 職員数

事務事業の整理・統合をはじめ市町村合併によるスケールメリットを活かした組織や業務執行の体制の再構築を進めています。

正規職員数の推移及び計画



2013年までは実績値。2014年以降は鳥取市定員適正化計画（第二次）

第3章 本市が保有する公共施設の現状について

第1節 公共施設の現状

1 供給（施設数等）

2013年11月末時点で、公有財産台帳に掲載している市保有の公共施設について、各施設分類における施設数並びに延床面積は次のとおりです。

性質別施設数と延床面積

大分類	小分類	施設数		延床面積 (m ²)	
行政施設	庁舎等	11	123	53,668	65,112
	防災関連施設	87		3,622	
	行政関連施設	25		7,822	
集会施設	地区集会施設	188	194	53,179	65,777
	広域集会施設（ホール）	6		12,598	
社会教育施設	中央公民館	10	38	9,673	21,029
	社会福祉施設	10		3,634	
	文化学習施設	12		6,822	
	生涯学習施設	6		900	
スポーツ施設	体育館	43	80	47,505	76,403
	スポーツ施設	37		28,898	
福祉保健施設	保育・子育て支援施設	76	93	37,511	70,175
	高齢者支援施設	6		14,838	
	障がい者支援施設	1		2,995	
	保健・医療施設	10		14,831	
産業振興施設	産業振興施設	3	143	8,338	59,484
	農業振興施設	136		44,462	
	駐車場等	4		6,684	
観光・保養施設	観光施設	22	41	21,981	34,520
	保養施設	19		12,539	
公営住宅等施設	公営住宅等施設	59	59	158,043	158,043
学校教育施設	小学校	44	69	202,990	306,419
	中学校	17		96,470	
	教育関連施設	8		6,959	
公園施設		45	45	2,564	2,564
環境関連施設		43	43	15,326	15,326
その他施設		56	56	10,363	10,363
未活用施設		17	17	16,417	16,417
合計		1,001	1,001	901,632	901,632

集計の時期が異なるため、平成24年度歳入歳出決算書の数値とは異なっています。
複合施設の延床面積、次頁表の施設分類において網掛けをした施設分類に含んでいます。

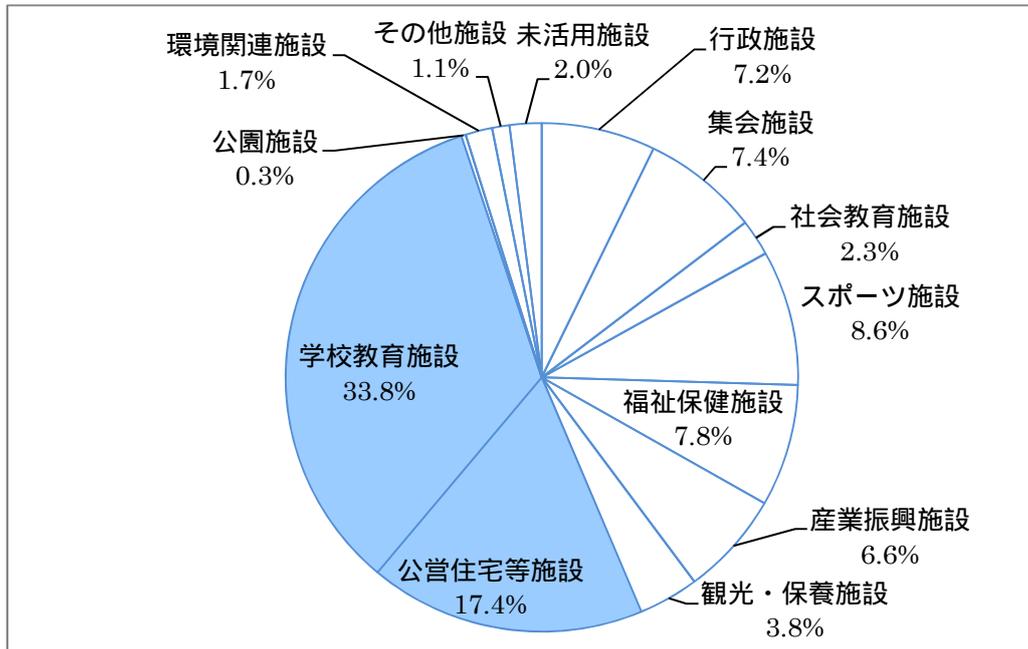
複合施設の設置状況

1つの建物内（1棟）に複数の機能を有する主な複合施設は次のとおりです。

施設の総称	施設名称	所在地	施設分類
市役所第2庁舎	市庁舎	上魚町	庁舎等
	中央公民館		中央公民館
市役所駅南庁舎	市庁舎	富安 二丁目	庁舎等
	中央図書館		生涯学習施設
	駅南駐車場		駐車場
国府町総合支所	市庁舎	国府町 宮下	庁舎等
	鳥取東健康福祉センター		保健・医療施設
青谷町総合支所	市庁舎	青谷町 青谷	庁舎等
	青谷町中央公民館		中央公民館
東部研修センター 面影会館	面影地区公民館	桜谷	地区集会施設
	体育館		体育館
学習・交流 センター鳥取	国際交流プラザ	湖山町西 一丁目	生涯学習施設
	湖山西地区公民館		地区集会施設
福祉文化会館	市庁舎	西町	行政関連施設
	大会議室		広域集会施設
人権交流プラザ	中央人権福祉センター	幸町	社会福祉施設
	大会議室（ホール）		広域集会施設
総合福祉センター （さざんか会館）	中央保健センター	富安	福祉保健施設
	大ホール		広域集会施設
文化センター	生涯学習センター	吉方温泉 三丁目	生涯学習施設
	視聴覚ライブラリー		生涯学習施設
	文化ホール		広域集会施設
国府町中央公民館	国府町中央公民館	国府町 庁	中央公民館
	大ホール		広域集会施設
福部町中央公民館	福部町中央公民館	福部町 細川	中央公民館
	福部地区公民館		地区集会施設
用瀬町民会館	用瀬人権文化センター	用瀬町 別府	社会福祉施設
	用瀬町中央公民館		中央公民館
佐治町中央公民館	佐治町中央公民館	佐治町 加瀬木	中央公民館
	佐治地区公民館		地区集会施設
気高町中央公民館	気高町中央公民館	気高町 浜村	中央公民館
	浜村地区公民館		地区集会施設
湖南体育館	湖南地区公民館（大郷分館）	金沢	地区集会施設
	湖南地区体育館		体育館
鹿野町農業者 トレーニングセンター	鹿野町中央公民館	鹿野町 鹿野	中央公民館
	鹿野地区公民館		地区集会施設
	鹿野町農業者トレーニングセンター		体育館
遷喬小学校	遷喬小学校	本町 一丁目	小学校
	遷喬地区公民館		地区集会施設
東郷地区公民館	東郷地区公民館	西今在家	地区集会施設
	東郷児童館		保育・子育て支援施設

性質別延床面積の内訳

“学校教育施設”と“公営住宅等施設”で全施設の延床面積のうち51.2%を占めています。



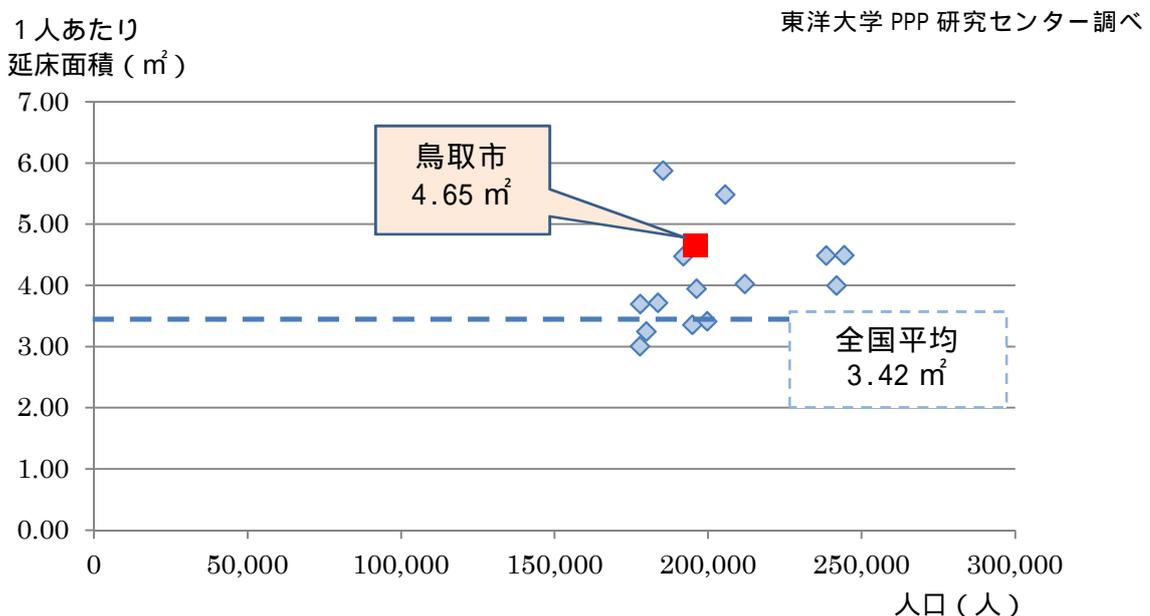
市民1人あたりの延床面積

本市における住民1人あたりにおける公共施設の延床面積は4.65㎡でした。東洋大学PPP研究センターが調査した全国981自治体の平均(3.42㎡)より高くなっています。

類似都市との比較

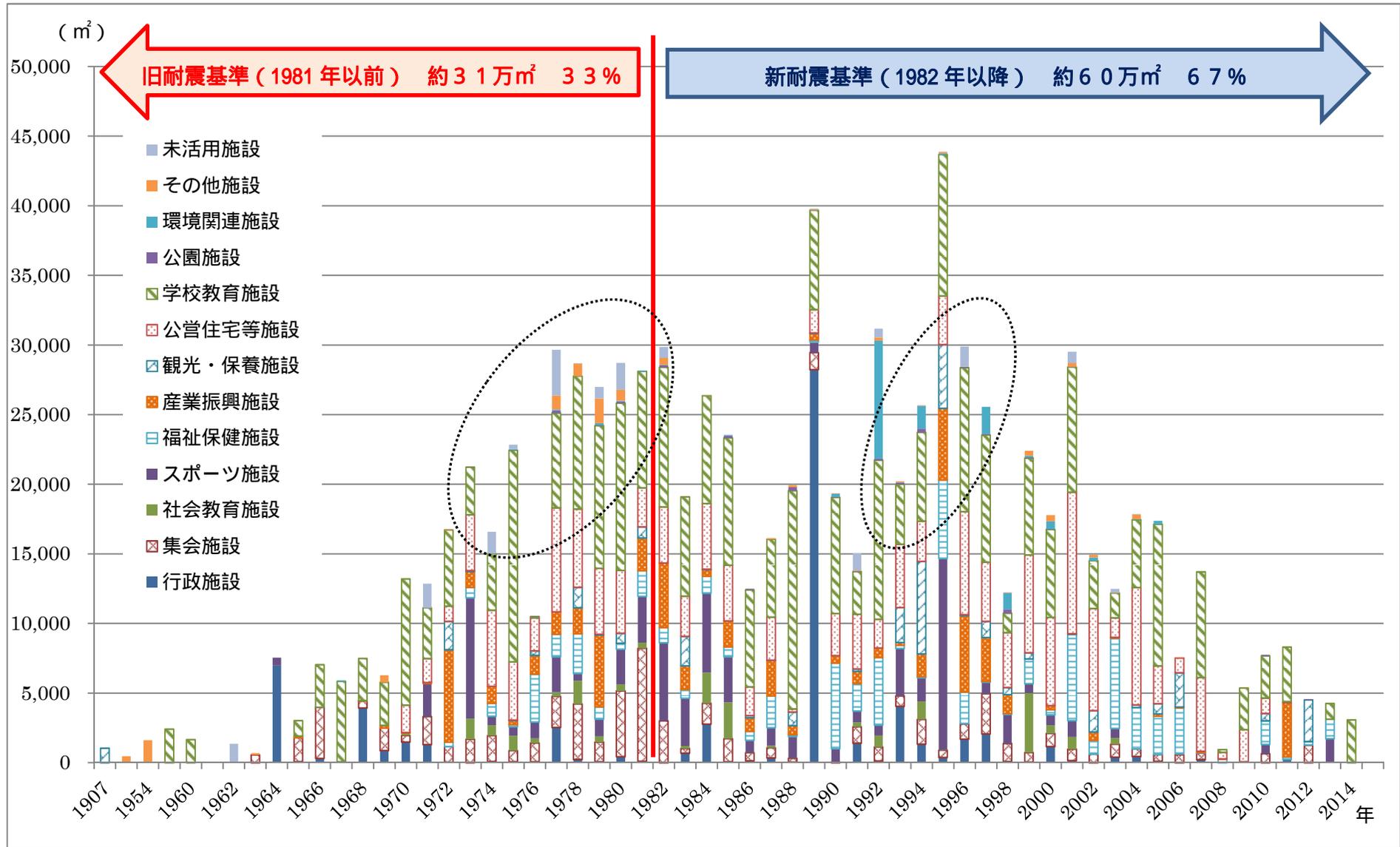
本市と人口規模が近く、かつ市町村合併した他自治体における“市民1人あたりの公共施設延床面積”を比較した場合でも高い数値となっています。

比較都市：上越市、呉市、松本市、太田市、八戸市、釧路市、松江市、日立市、弘前市、高岡市、伊勢崎市、山口市、豊川市、東広島市



施設分類別の延床面積と建築年

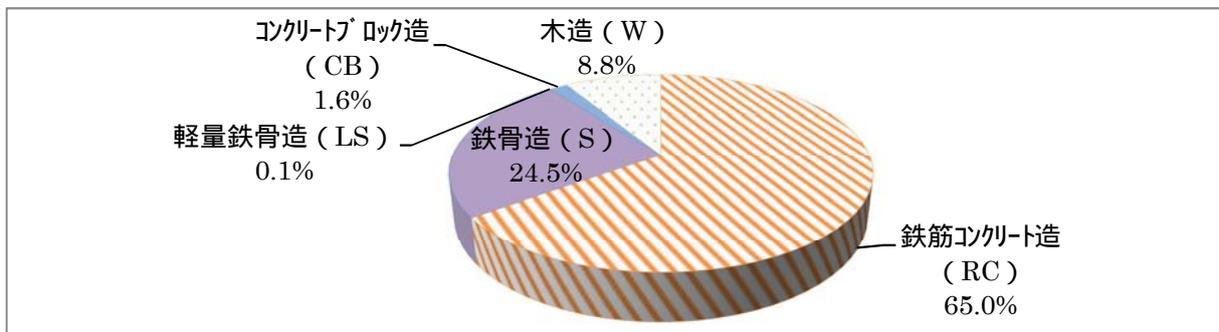
「高度経済成長期」後の10年と「ふるさと創生交付金事業」の影響によって、施設整備のピーク（山）があります。



2 品質（建物構造等）

建物の構造

公共施設は、鉄筋コンクリート造が65%を占めています。



財務省令「減価償却資産の耐用年数に関する省令」による法定耐用年数は次のとおりです。この値は主に減価償却資産の残存価値を計る目的であり、本白書において一つの基準としています。

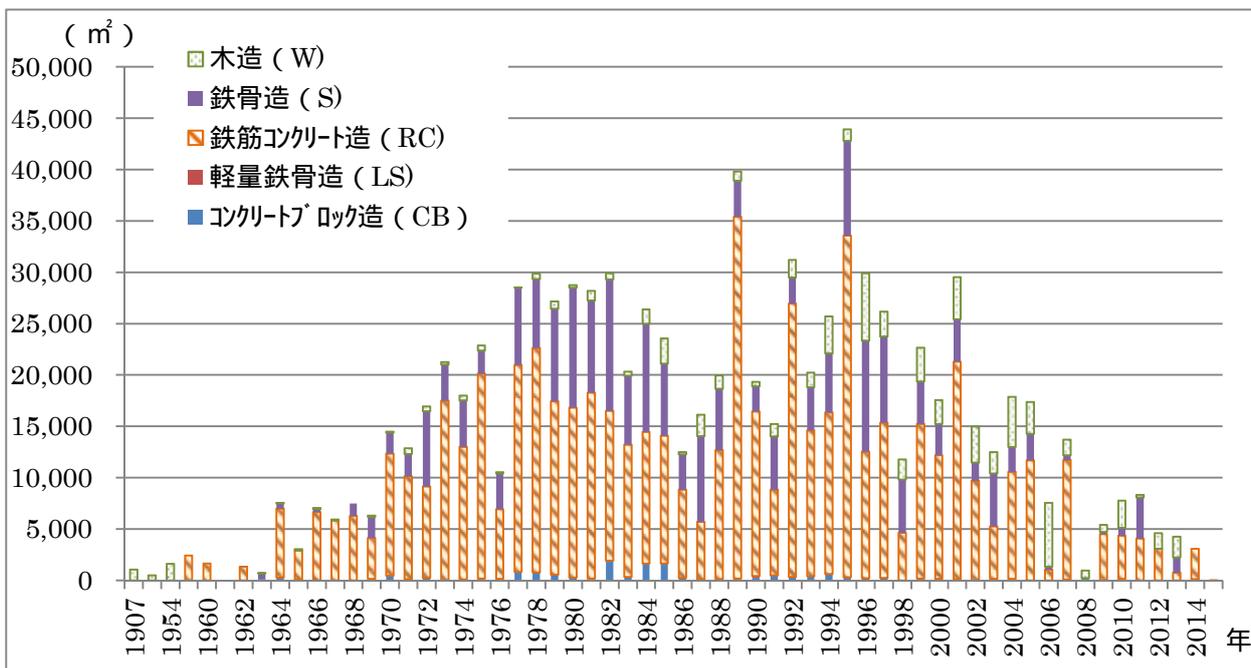
鉄筋コンクリート (RC) (鉄骨鉄筋コンクリート含む)・・・50年
 コンクリートブロック造 (CB) (レンガ造含む)・・・41年
 重量鉄骨 (鉄骨造) (S)・・・38年
 軽量鉄骨 (LS)・・・30年
 木造 (W)・・・24年

出典：減価償却資産の耐用年数等に関する省令（財務省令）用途：事務所

建築年と建物構造

鉄筋コンクリート造 (RC) が多く、近年は木造も増加しています。

木造の耐用年数が比較的短いことを考えると、更新時期がより重なってくると予想されます。

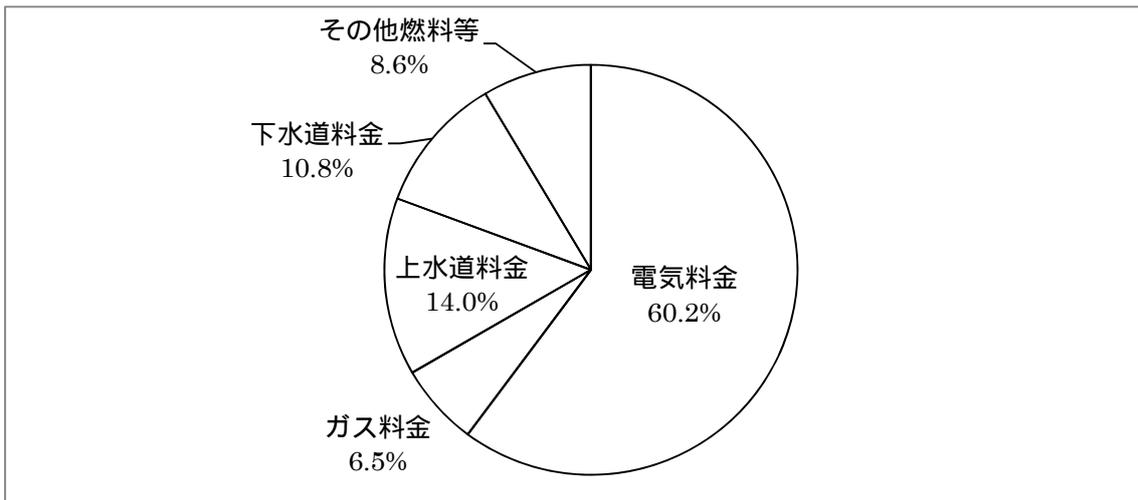


3 財務（施設管理コスト等）

本市が直接的に負担する光熱水費と維持管理費は、2012年度に約14億円発生しています。（指定管理施設は除きます）

光熱水費

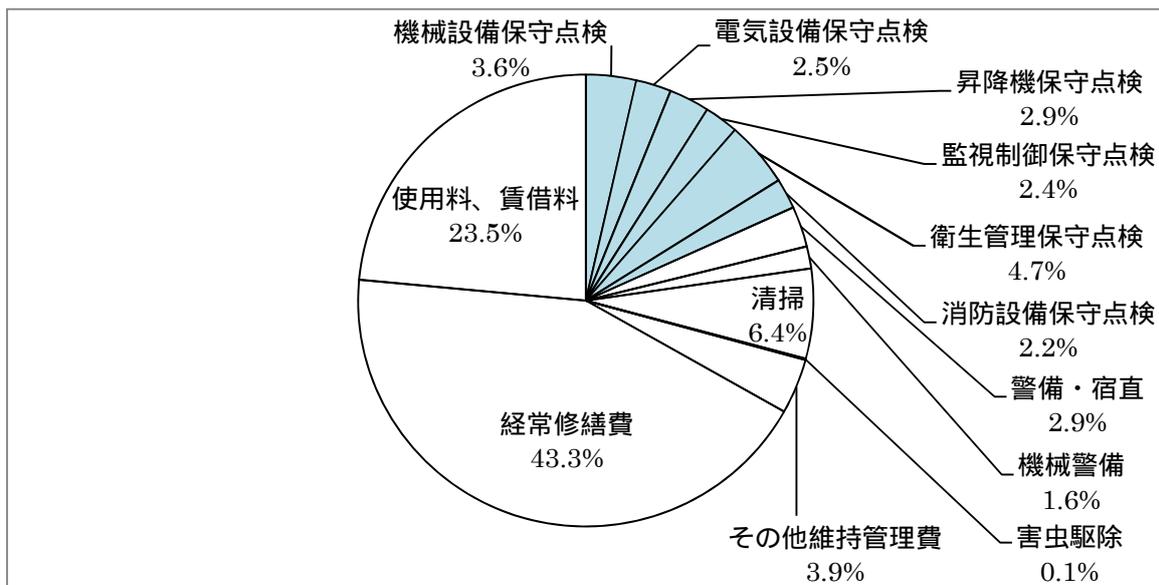
2012年度における光熱水費は約6億5,700万円でした。6割が電気料金であり、約3億9,500万円となっています。



指定管理料支払制の指定管理施設は、指定管理料から拠出されるため、含んでいません。以降、光熱水費の算出根拠（種類）はグラフ内の項目と同様です。

維持管理費

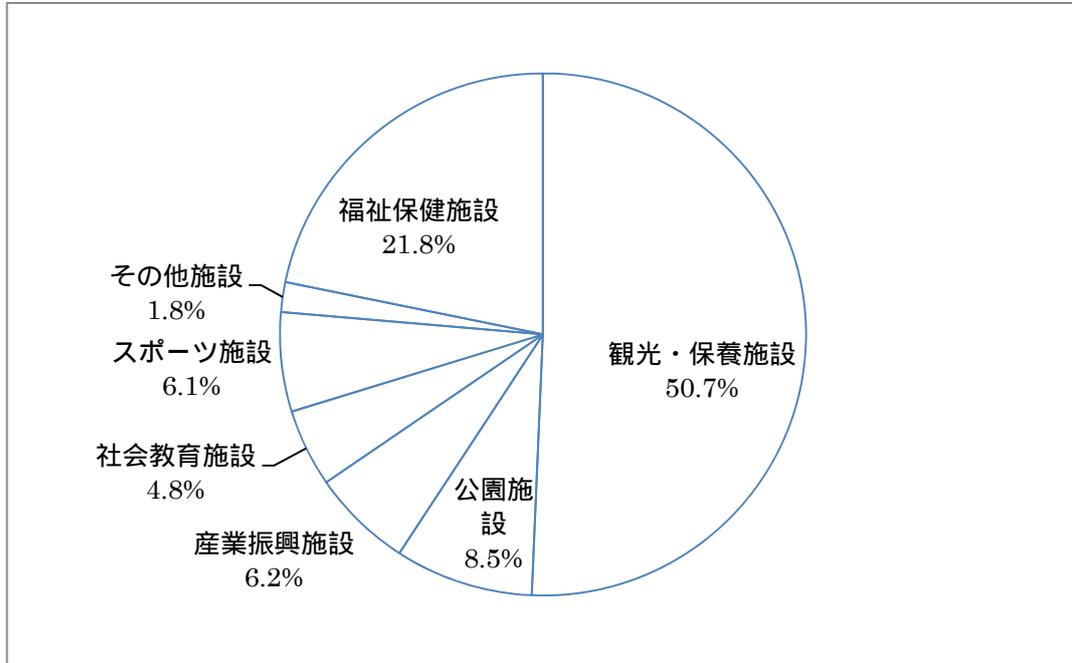
2012年度における維持管理費は、約7億6,800万円でした。昇降機や消防設備等の保守・点検費用が約1億4,000万円となっています。



指定管理料支払制の指定管理施設は、指定管理料から拠出されるため含んでいません。以降、維持管理費の算出根拠（種類）はグラフ内の項目と同様です。

指定管理料

2012年度における指定管理料(人件費並びに光熱水費、維持管理費等を含む)は、約7億1,400万円となっています。施設分類別にみると5割は観光・保養施設の指定管理料となっています。



民地(借地)に整備されている施設

2012年度、民有地等に整備(全部又は一部)されている施設にかかる賃借料・使用料は2,400万円となっています。そのうち、100万円以上の賃借料が発生している施設は次のとおりであり、賃借料全体の7割以上を占めています。

施設名	所在地
鳥取駅高架下第2自転車駐車場	東品治町
城下町とっとり交流館「高砂屋」	元大工町
観光案内所	東品治町
鳥取市新規就農者技術習得支援施設	国府町麻生
佐治小学校校舎	佐治町福園
佐治町総合支所庁舎	佐治町加瀬木
佐治町医科診療所	佐治町加瀬木
浜村小学校校舎	気高町八幡
鹿野町総合支所庁舎	鹿野町鹿野

4 施設更新費等の試算

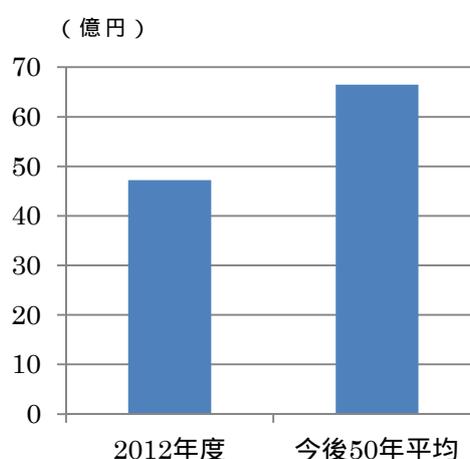
公共施設の建築年、延床面積並びに建物構造等を踏まえて、今後50年間に発生する建設・修繕・更新・維持・解体にかかる費用を一定の基準の下で算出しました。

その結果、全ての公共施設を現状のまま保有すると仮定した場合、今後50年で約3,274億円が必要となり、1年あたり約65億5,000万円の費用が発生する見込みとなりました。(光熱水費等の施設管理コストは除く)

2012年度に公共施設の更新・修繕費に費やした経費(普通建設事業費・維持修繕費等)は、約47億2,000万円であり、同規模の予算を維持したとしても、約18億3,000万円不足することとなります。

今後50年間における施設更新費

50年間の総計	単位:千円
建設コスト	230,720,100
修繕・更新コスト	55,622,197
維持管理コスト	19,553,499
解体・除却コスト	21,538,287
計	327,434,083
単年度平均	単位:千円/年
建設コスト	4,614,402
修繕・更新コスト	1,112,444
維持管理コスト	391,070
解体・除却コスト	430,766
計	6,548,682



施設更新費の試算における単価等の主な根拠・基準

施設の建設コスト(建替え費)にかかる工事単価は、(一財)建設物価調査会(JBCI:ジャパン・ビルディング・コスト・インフォメーション)2013年の建物用途別平均㎡単価を用い、この価格情報(契約金額)に、係数1.1を乗じて設計金額の水準に合わせています。

修繕・更新コスト、維持管理コスト並びに解体・除却コストにかかる工事単価は、「建築物のライフサイクルコスト(監修:国土交通省/発行:(一財)建築保全センター)」の更新価格並びに更新周期等を基にしています。

施設用途によって計画保全(設備工事等)の有無を定めて試算しています。

耐用年数は、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」を基準とし、建物の構造と用途に応じて1棟ごとに分けています。なお、新耐震基準については、鉄骨造は50年、軽量鉄骨と木造は40年に耐用年数を延ばしています。

施設更新費の試算において対象としたコスト(費用)と内容

コストの種別	主な内容
建設コスト	工事費及び企画・設計費
修繕・更新コスト	外壁工事、屋上防水工事、設備工事(電気・空調・給排水衛生・昇降機)にかかる修繕・更新費
維持管理コスト	経常的修繕費(小破修繕費)
解体・除却コスト	建物の解体費

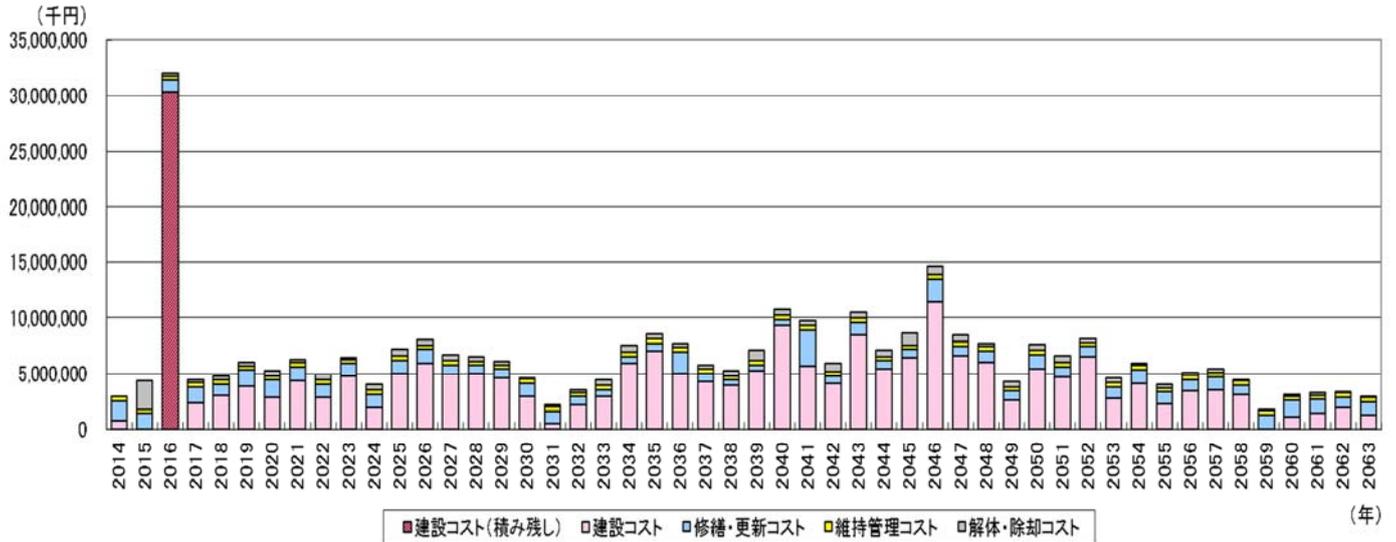
光熱水費及び保守・警備・清掃等の管理費用は対象外

更新経費の発生時期

前述の基準で試算した場合、各年における更新経費は次のようになります。

2016年の山は、耐用年数を迎えている施設を一括して更新（建替え）すると仮定し、建設コスト（積み残し）に計上処理を行ったものであり、法定耐用年数を迎えた施設が多いことを表しています。

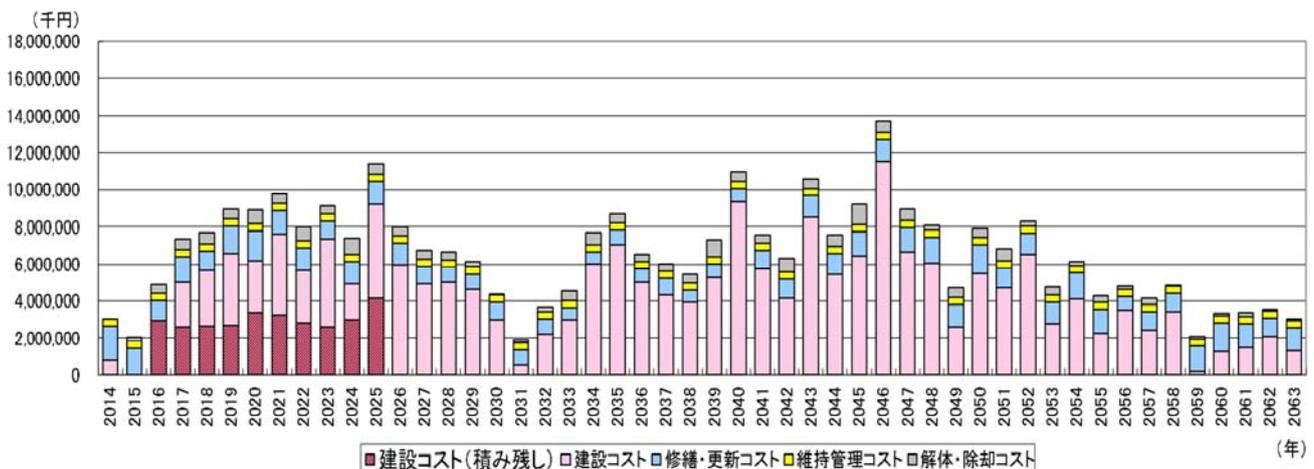
※耐用年数を過ぎたからといって、直ちに壊れてしまうものではありません。



※光熱水費や維持管理費等は含んでいないため、ライフサイクルコストとは異なります。

更新経費の発生時期の補正

2016年に耐用年数を迎えた全施設を更新することは非現実的であるため、2016～2025年の10年間に均等に割り振っていくことで試算すると次のようになります。



第2節 地域別の現状

市町村合併前の自治体毎に特色のあるまちづくりを進めてきており、施設の配置にも特色がみられます。一方、供給面で偏りが見受けられます。

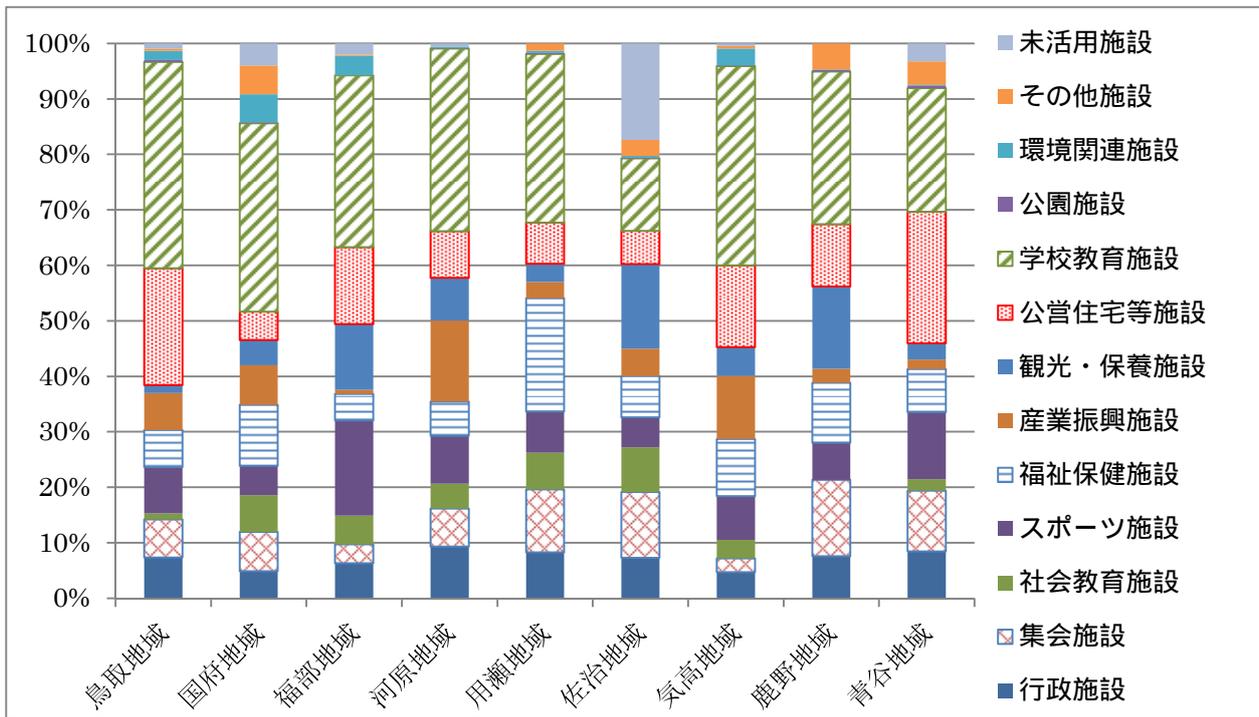
地域別の供給状況 上段：延床面積、下段：地域住民1人あたりの延床面積（人口：2013年9月末住民基本台帳）

	行政施設	集会施設	社会教育施設	スポーツ施設	福祉保健施設	産業振興施設	観光・保養施設	公営住宅等施設	学校教育施設	公園施設	環境関連施設	その他施設	未活用施設	合計
鳥取地域	40,980	37,804	6,057	46,365	37,127	37,214	7,935	116,998	206,414	1,878	9,513	2,039	5,484	555,809
	0.28	0.25	0.04	0.31	0.25	0.25	0.05	0.79	1.39	0.01	0.06	0.01	0.04	3.74
国府地域	2,336	3,402	3,170	2,541	5,294	3,413	2,180	2,466	16,312	74	2,437	2,474	1,918	48,018
	0.27	0.39	0.37	0.29	0.61	0.39	0.25	0.28	1.88	0.01	0.28	0.29	0.22	5.54
福部地域	1,993	1,063	1,646	5,401	1,502	237	3,757	4,360	9,772		1,102	83	635	31,550
	0.64	0.34	0.53	1.73	0.48	0.08	1.20	1.39	3.12	0.00	0.35	0.03	0.20	10.08
河原地域	4,489	3,310	2,177	4,179	2,973	7,057	3,748	4,053	15,917	37	134	6	276	48,358
	0.60	0.44	0.29	0.56	0.40	0.94	0.50	0.54	2.12	0.00	0.02	0.00	0.04	6.44
用瀬地域	2,452	3,368	1,959	2,199	6,068	873	975	2,200	9,012	59	114	399		29,678
	0.65	0.90	0.52	0.59	1.62	0.23	0.26	0.59	2.40	0.02	0.03	0.11	0.00	7.92
佐治地域	2,633	4,277	2,913	1,953	2,689	1,771	5,521	2,146	4,715	78	93	1,035	6,114	35,937
	1.17	1.89	1.29	0.86	1.19	0.78	2.44	0.95	2.09	0.03	0.04	0.46	2.71	15.92
気高地域	2,887	1,523	2,024	4,863	6,290	7,011	3,176	9,036	22,032	74	1,853	280	296	61,344
	0.32	0.17	0.22	0.53	0.69	0.77	0.35	0.99	2.42	0.01	0.20	0.03	0.03	6.75
鹿野地域	2,918	5,290		2,569	4,159	975	5,705	4,333	10,575	135	6	1,807		38,470
	0.72	1.30	0.00	0.63	1.02	0.24	1.40	1.07	2.60	0.03	0.00	0.44	0.00	9.47
青谷地域	4,425	5,739	1,082	6,334	4,072	933	1,524	12,451	11,670	230	75	2,239	1,693	52,468
	0.65	0.85	0.16	0.94	0.60	0.14	0.22	1.84	1.72	0.03	0.01	0.33	0.25	7.75
合計	65,112	65,777	21,029	76,403	70,175	59,484	34,520	158,043	306,419	2,564	15,326	10,363	16,417	901,632
	0.34	0.34	0.11	0.39	0.36	0.31	0.18	0.81	1.58	0.01	0.08	0.05	0.08	4.65

端数処理しているため合計値に誤差が生じる場合があります

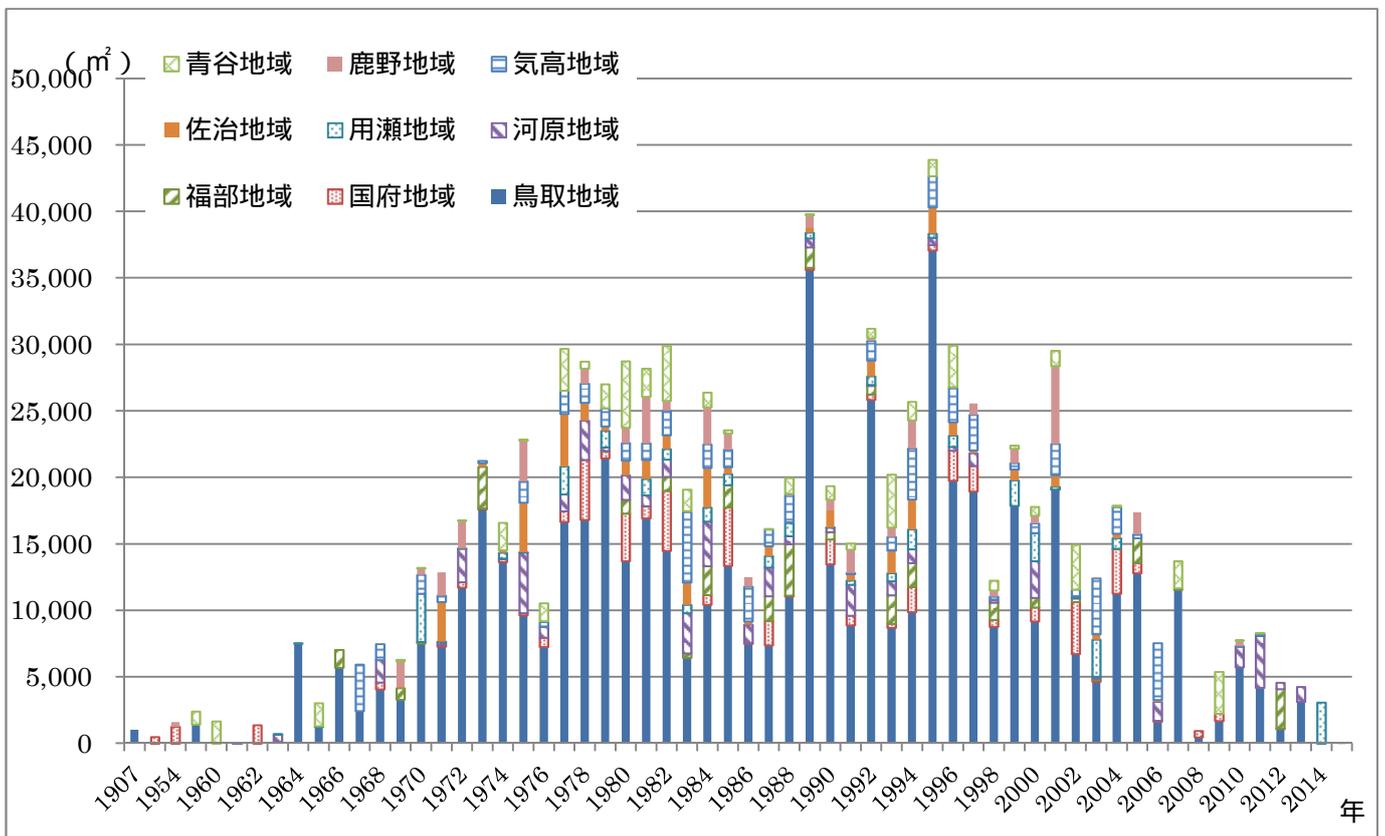
地域別の施設分類の比較

ほとんどの地域で学校教育施設が最も大きな延床面積を占めています。



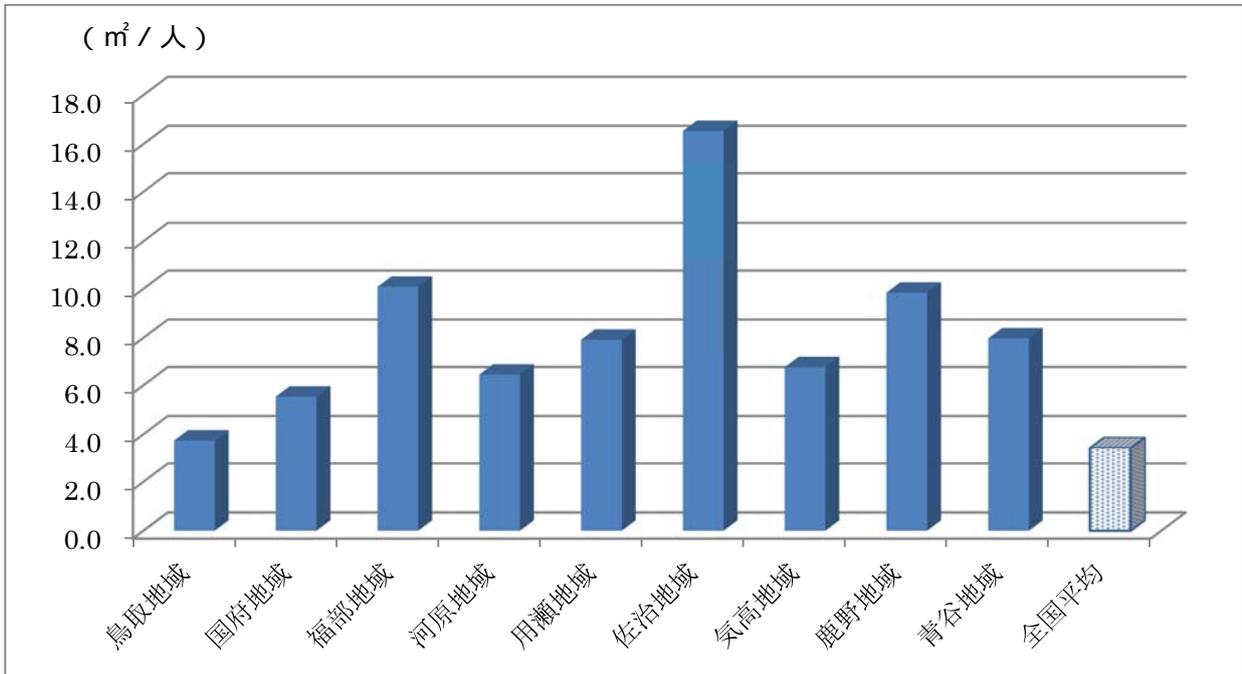
地域別の公共施設延床面積

1970～1980年代にかけて、合併地域での延床面積が増加しています。また、1990年代前半において各地域（旧自治体）が「ふるさと創生交付金事業」を活用した施設整備に取り組んでいます。



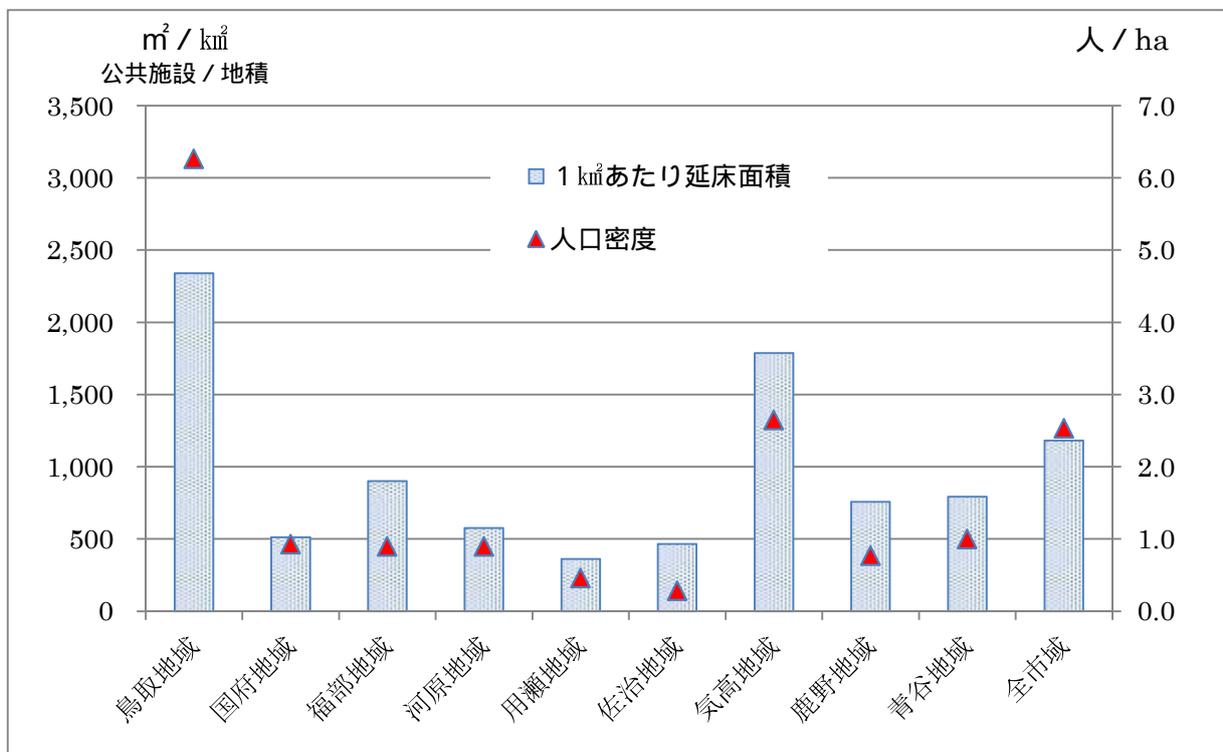
各地域における住民1人あたりの延床面積

鳥取地域においては、全国平均に近い数値となっていますが、全体的に1人あたりの延床面積が大きく、特に佐治地域において、突出して大きくなっています。



1 km²あたりの延床面積と人口密度

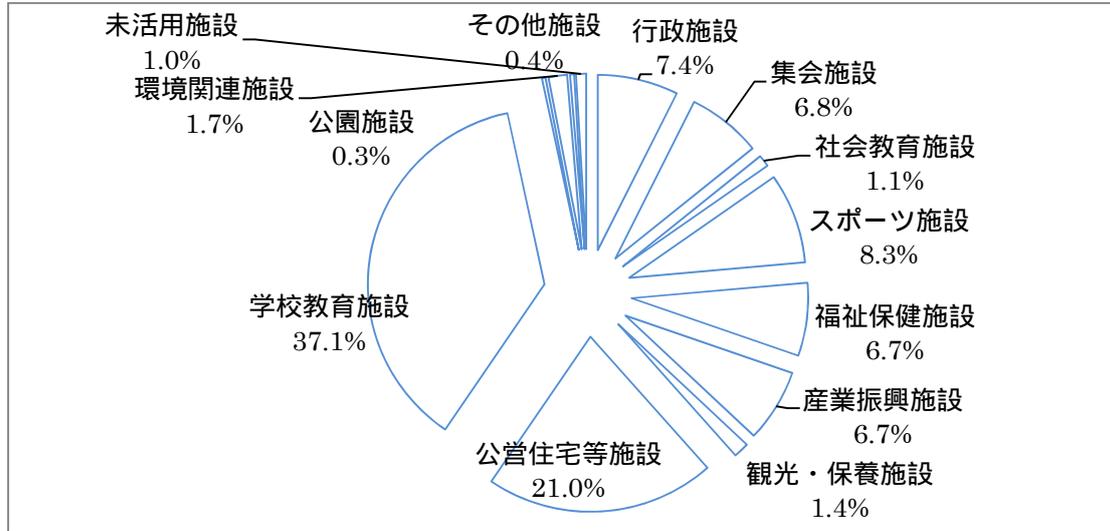
各地域において、1 km²あたりの公共施設の延床面積を比較した場合、鳥取地域と気高地域が大きくなっています。人口密度とほぼ同様の傾向が見られます。



【鳥取地域】

地域における施設分類の割合

「公営住宅等施設」と「学校教育施設」で全体の約60%を占めています。



延床面積が大きい建築物

とりぎんバードスタジアムや神谷清掃工場、公設地方卸売市場など、市域を越えて広域性の高い施設が整備されていることから、他地域と比べて大きな施設が多くなっています。

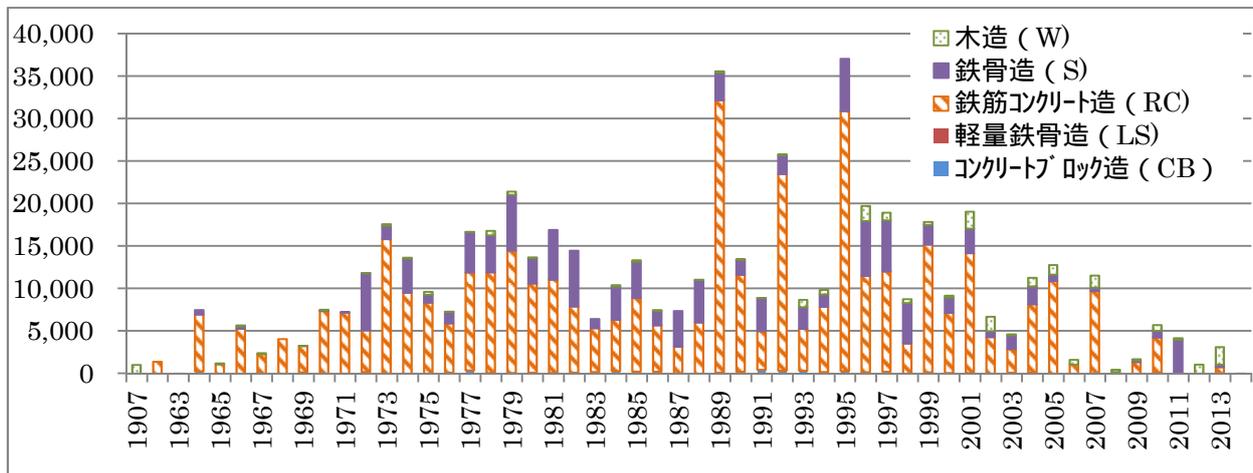
施設名	建築年	延床面積	施設分類
とりぎんバードスタジアム	1995	12,155	スポーツ施設
神谷清掃工場	1992	7,142	環境関連施設
市民体育館	1973	6,874	スポーツ施設
鳥取市総合福祉センター	1990	4,217	福祉保健施設
鳥取市歴史博物館	1999	4,007	社会教育施設
老人保健施設 やすらぎ	1992	3,999	福祉保健施設
徳吉団地 R16	1979	3,981	公営住宅等施設
なごみ苑	1995	3,900	福祉保健施設
片原駐車場	2011	3,871	産業振興施設
公設地方卸売（青果）市場	1972	3,791	産業振興施設
市民会館	1966	3,672	集会施設

1 棟あたりの延床面積の上位。行政関連施設並びに学校教育施設を除く（以下、他地域も同様）

建築年と建物構造

縦軸：延床面積（㎡）、横軸：建築年（以下、他地域も同様）

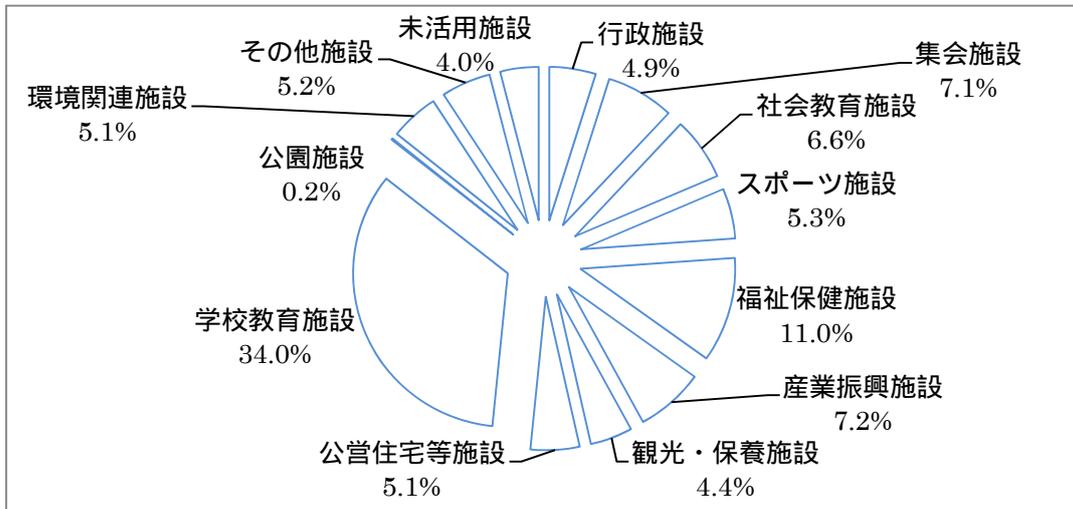
市役所駅南庁舎とバードスタジアムを建築した年に大きなピークがあります。



【国府地域】

地域における施設分類の割合

廃校が民間事業者によって活用されるなど、“その他施設”の割合が他地域と比較して高くなっています。



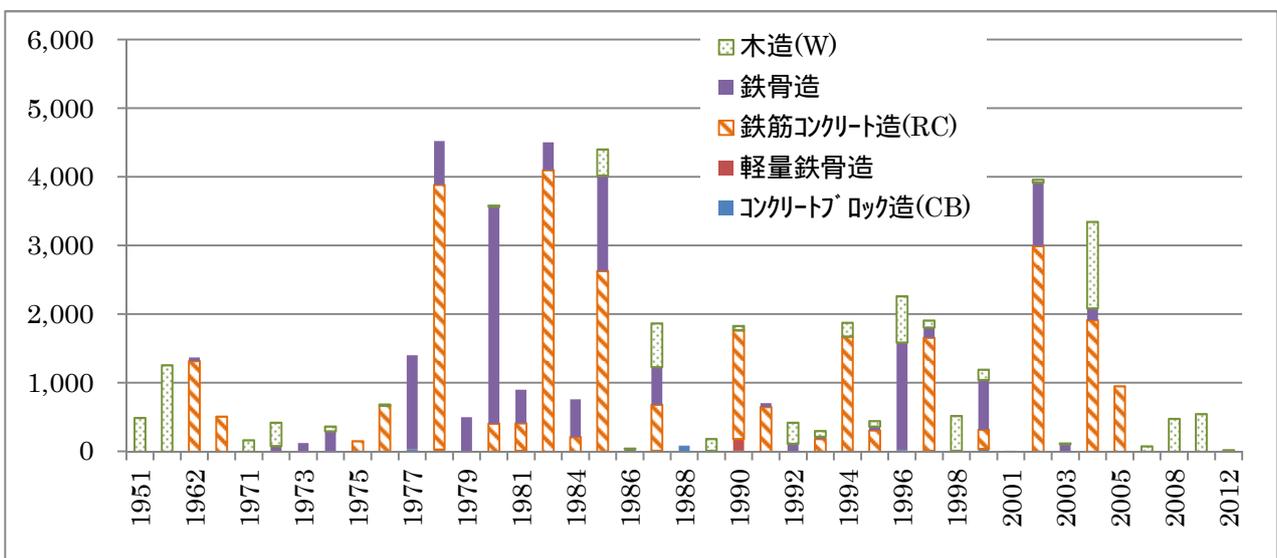
延床面積が大きい建築物（1棟あたり）

大ホールを備えた“国府町中央公民館”が最も延べ床面積が大きく、未活用となっている大規模施設も存在しています。

施設名	建築年	延床面積	施設分類
国府町中央公民館	1985	2,628	社会教育施設
国府地区保健センター	2004	1,911	福祉保健施設
因幡万葉歴史館	1994	1,674	観光・保養施設
国府町クリーンセンター	1997	1,644	環境関連施設
農村勤労福祉センター	1980	1,202	スポーツ施設
旧国府町総合支所	1962	1,199	未活用施設
旧成器小学校	1954	968	その他施設

建築年と建物構造

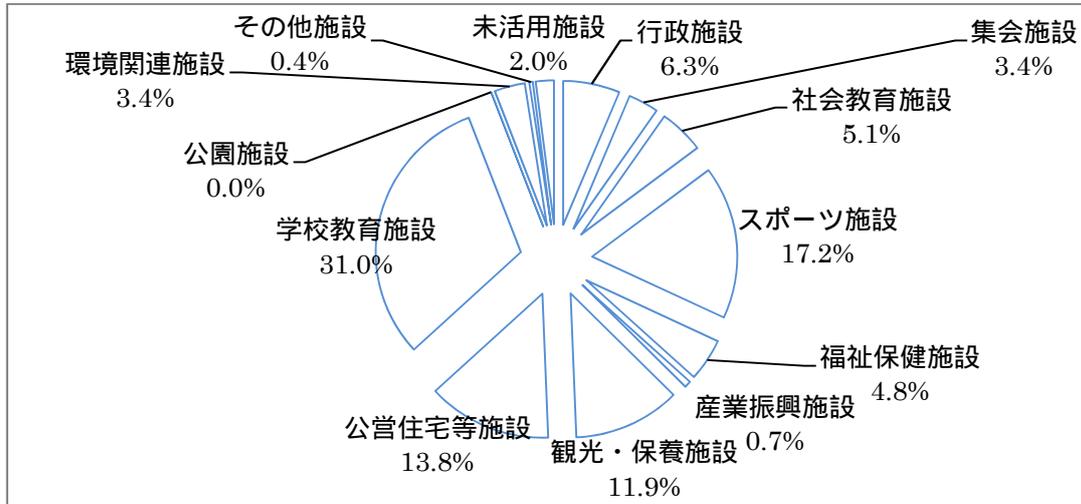
建築後30年以上（1983年以前）の施設が増えてきています。



【福部地域】

地域における施設分類の割合

他地域と比較して「スポーツ施設」と「観光・保養施設」の割合が高くなっています。



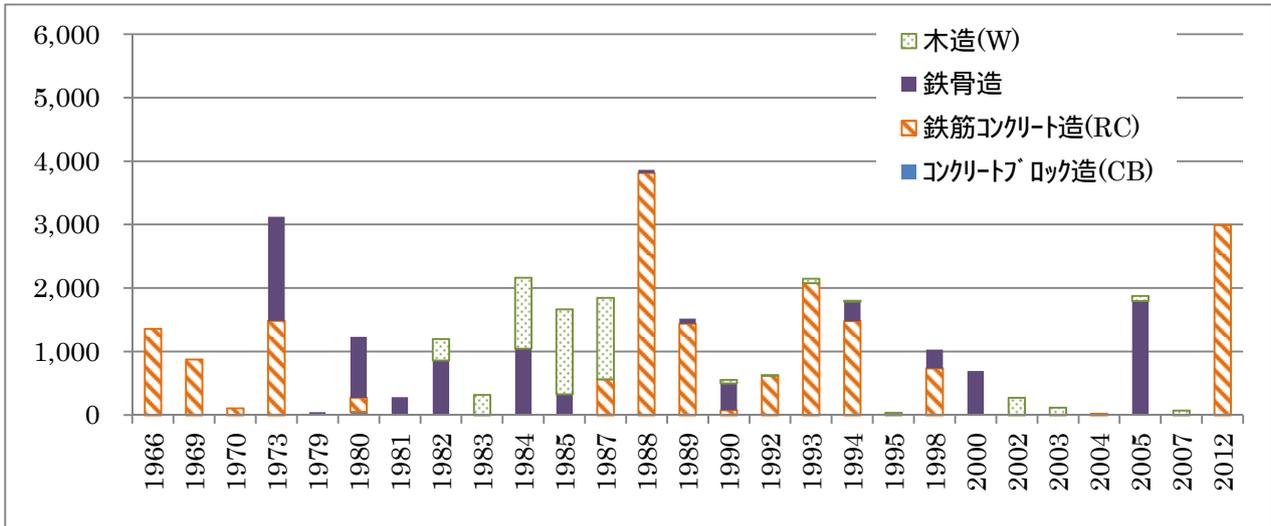
延床面積が大きい建築物（1棟あたり）

“鳥取砂丘砂の美術館”が最も大きな施設になっており、そのほかにも大規模なスポーツ施設が整備されています。

施設名	建築年	延床面積	施設分類
鳥取砂丘砂の美術館	2012	3,000	観光・保養施設
ふれあい会館	1993	2,083	スポーツ施設
福部町中央公民館	1973	1,489	社会教育施設
ほっとスイミングプール	1994	1,485	スポーツ施設
レインボーふくべ	1998	1,012	環境関連施設
福部町民体育館	1973	960	スポーツ施設
福部すなっこ園	1984	845	福祉保健施設
鳥取砂丘情報館	2005	738	観光・保養施設

建築年と建物構造

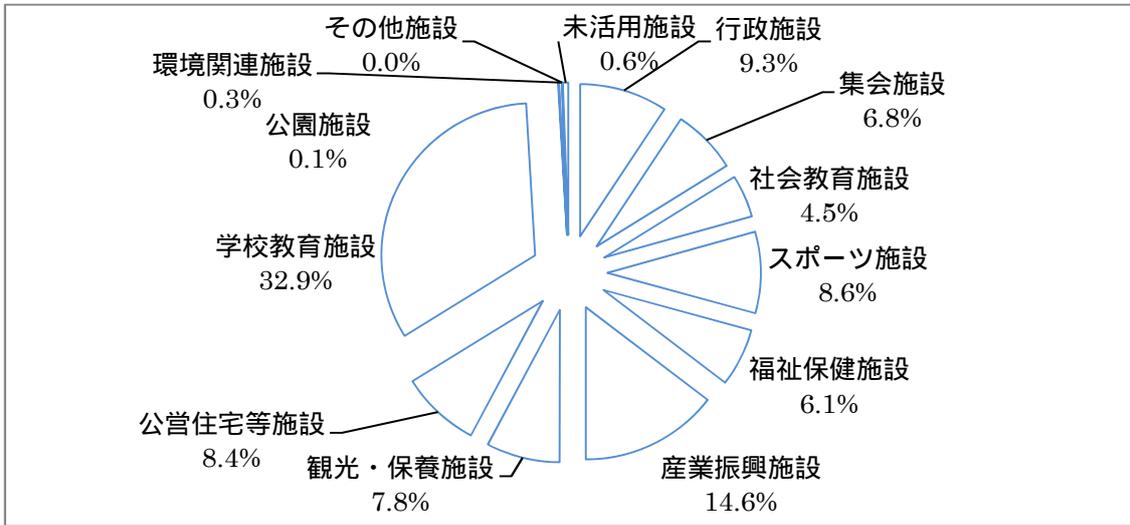
一部で耐用年数を迎えた施設がありますが、新耐震基準の建物が比較的多くなっています。



【河原地域】

地域における施設分類の割合

畜産団地が整備されており、「産業振興施設」の割合が高くなっています。また、「その他施設」、「未活用施設」が少なくなっています。



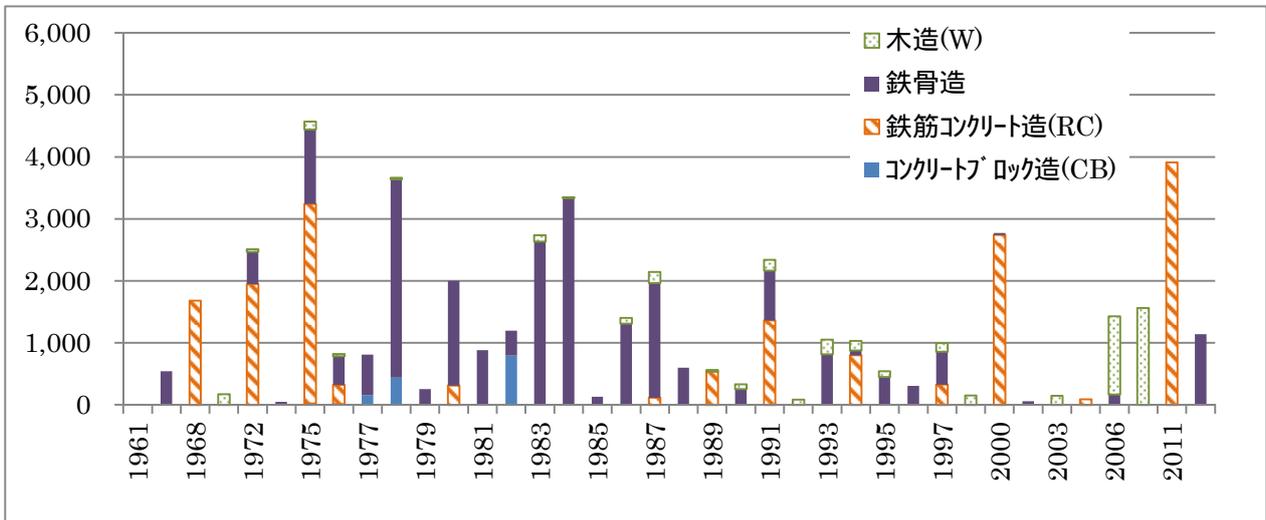
延床面積が大きい建築物（1棟あたり）

大規模な体育館が整備されています。

施設名	建築年	延床面積	施設分類
河原町総合体育館	1984	3,214	スポーツ施設
河原町中央公民館	1978	1,667	社会教育施設
河原あゆっこ園	2010	1,564	福祉保健施設
道の駅「清流茶屋かわはら」	2006	1,151	観光・保養施設
中井二畜産団地	1987	970	産業振興施設
中井二畜産団地	1986	970	産業振興施設
勤労者体育館	1981	839	スポーツ施設
お城山展望台（河原城）	1994	794	観光・保養施設

建築年と建物構造

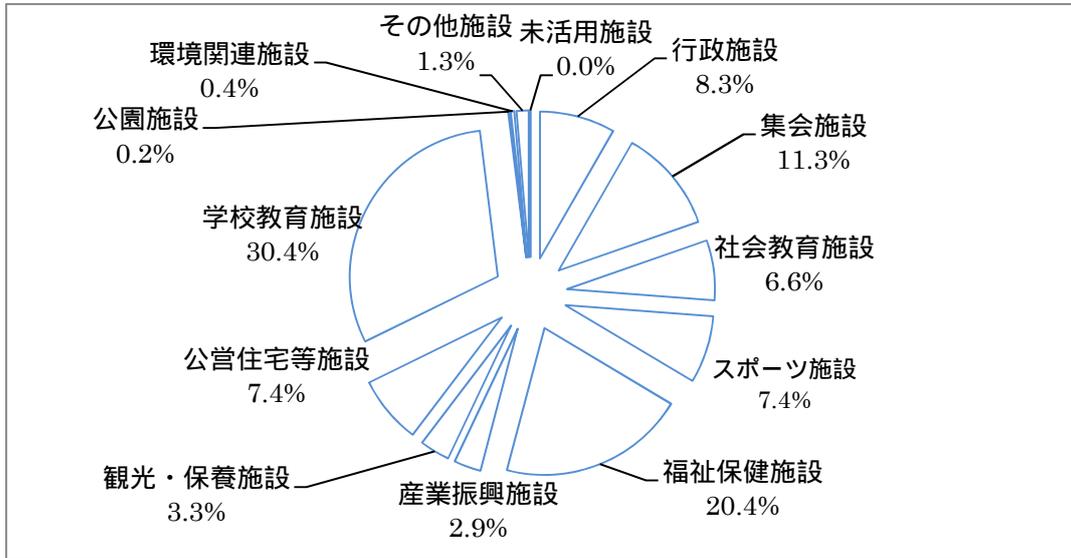
単発的に建築年が重なっています。また、鉄骨造の施設が多く、他地域と比較して修繕サイクルが短くなります。



【用瀬地域】

地域における施設分類の割合

「集会施設」と「福祉保健施設」の割合が高くなっています。



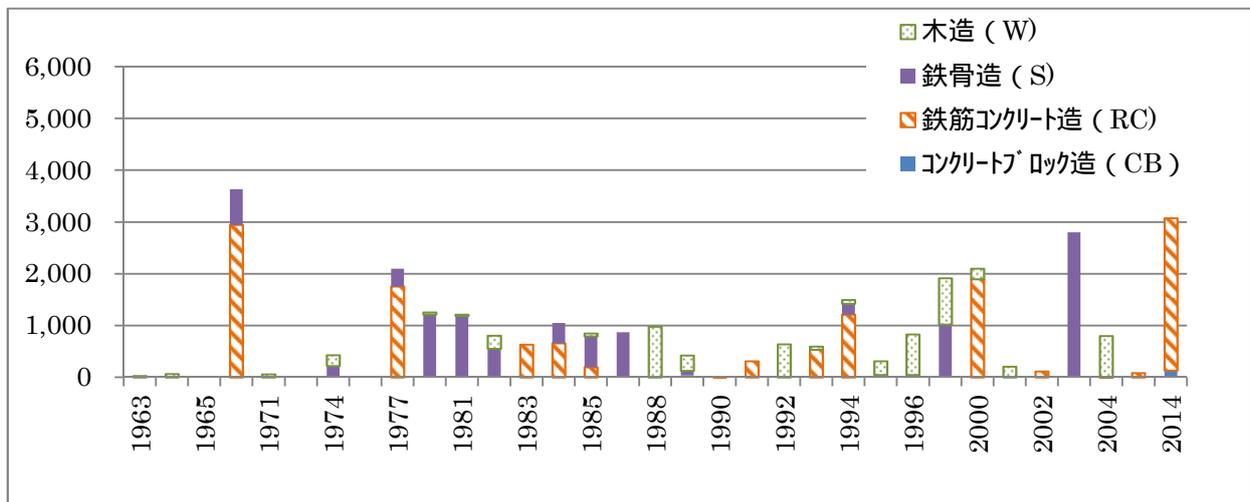
延床面積が大きい建築物（1棟あたり）

用瀬地区保健センターが最も大きな施設であり、他地域と比較して1,000 m²以上の施設が少ないことが特徴です。

施設名	建築年	延床面積	施設分類
用瀬地区保健センター	2003	2,799	福祉保健施設
用瀬町民会館	1994	1,213	社会教育施設
勤労者体育センター	1979	1,203	スポーツ施設
高齢者いきいき交流センター	1999	1,019	福祉保健施設
流しびなの館	1988	975	観光・保養施設
社保育園	1987	869	福祉保健施設
鷹狩団地	1996	783	公営住宅等施設
用瀬保育園	1981	744	福祉保健施設

建築年と建物構造

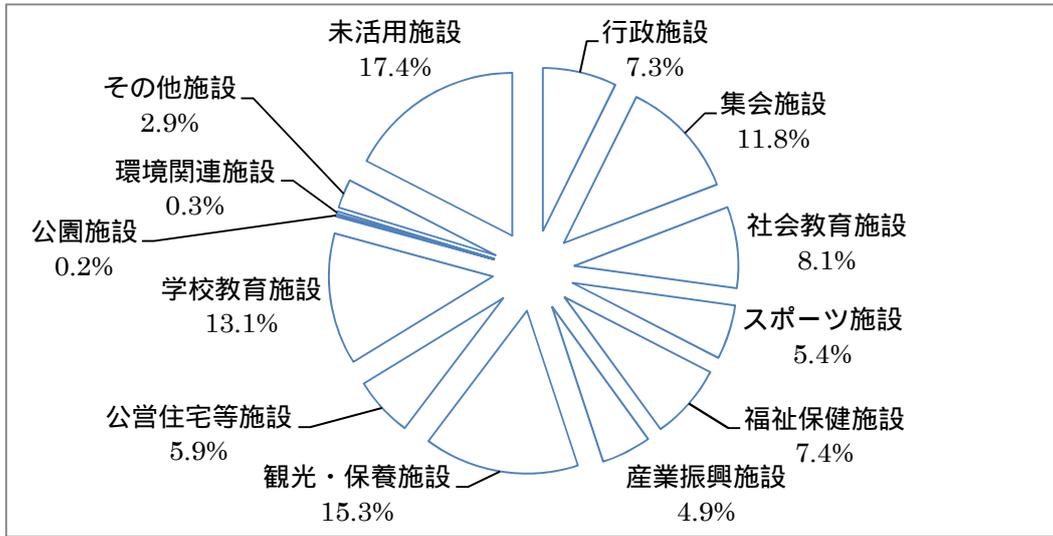
用瀬町総合支所の耐用年数が近づいています。その後も断続的に更新期を迎えていきます。



【佐治地域】

地域における施設分類の割合

“さじアストパーク(佐治天文台)”や“たんぼり荘”などの「観光・保養施設」のほか、「未活用施設」の割合が高くなっています。



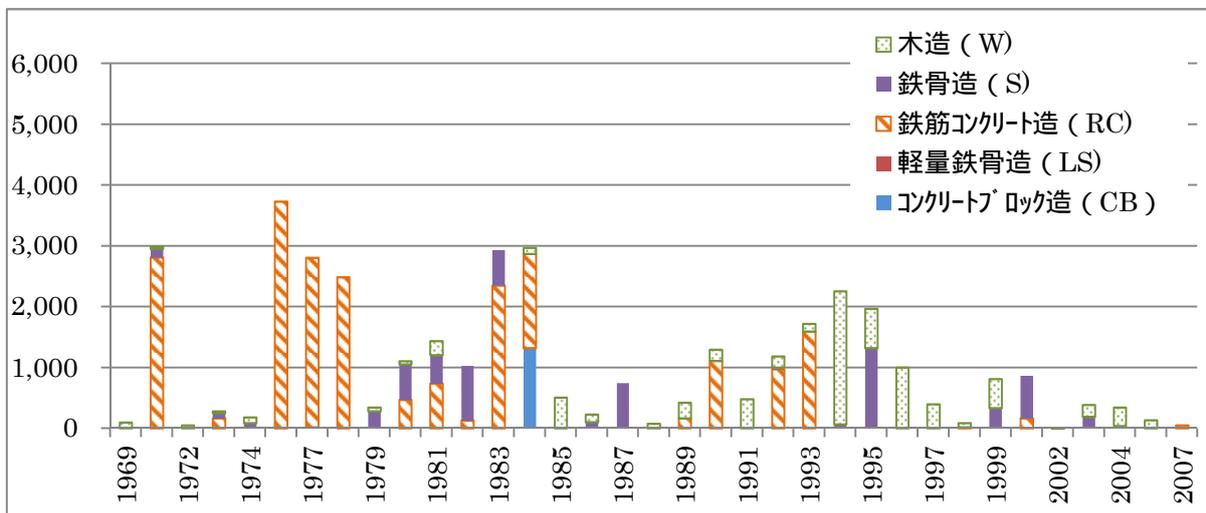
延床面積が大きい建築物（1棟あたり）

大規模な未活用施設が多くあります。

施設名	建築年	延床面積	施設分類
旧佐治中学校校舎	1977	2,126	未活用施設
佐治天文台	1993	1,593	観光・保養施設
佐治町中央公民館	1984	1,549	社会教育施設
豪雪山村開発総合センタープラザ 佐治	1971	1,304	未活用施設
佐治町 B&G 海洋センタープール	1983	1,245	スポーツ施設
旧佐治中学校体育館	1978	1,153	未活用施設
佐治町 B&G 海洋センター体育館	1983	1,102	スポーツ施設
町民プール	1996	993	未活用施設
和紙生産伝習施設(かみんぐさじ)	1995	990	観光・保養施設
佐治町老人福祉センター	1990	824	社会教育施設

建築年と建物構造

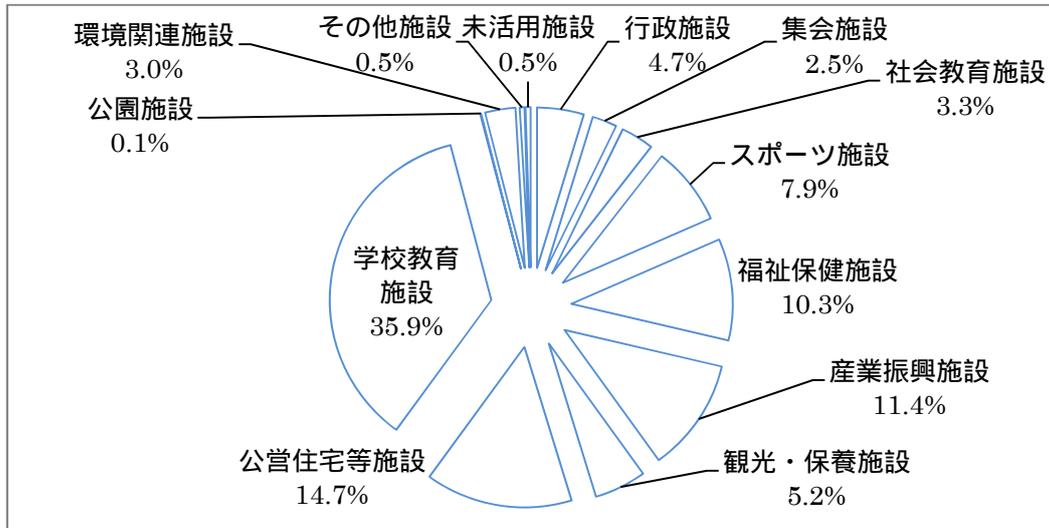
近年の施設整備は少なく、耐用年数を迎える施設が急激に増える見込みです。



【気高地域】

地域における施設分類の割合

「学校教育施設」の占める割合が最も高くなっています。



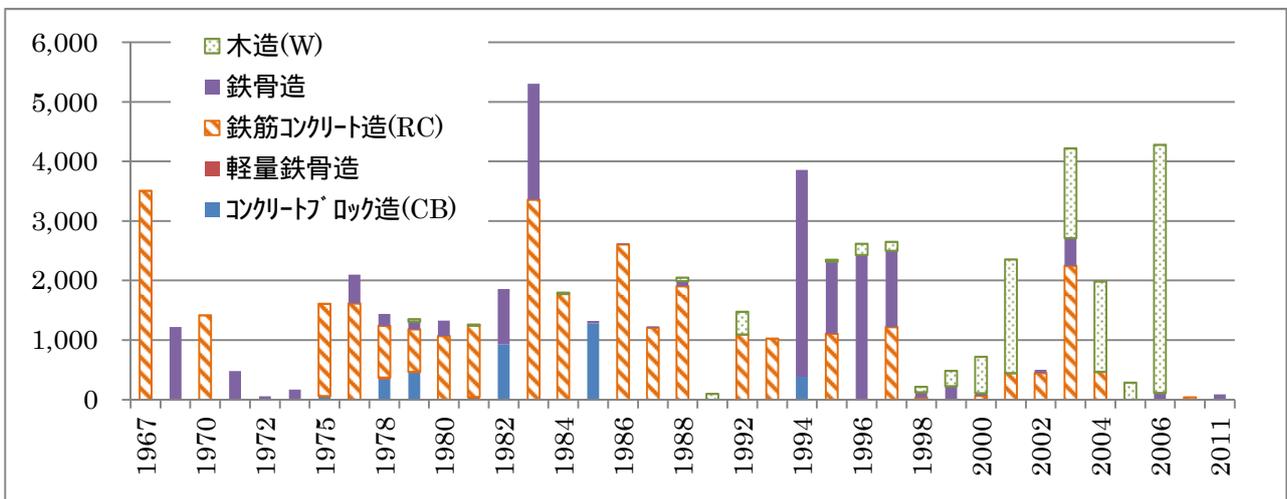
延床面積が大きい建築物（1棟あたり）

「産業振興施設」として整備された水耕栽培施設ハウスの延床面積が最大となっています。また、大規模な「スポーツ施設」も整備されています。

施設名	建築年	延床面積	施設分類
水耕栽培施設ハウス・温室	1996	2,419	産業振興施設
気高地区保健センター	2003	2,250	福祉保健施設
気高町農業者トレーニングセンター	1983	1,946	スポーツ施設
浜村温泉館	1983	1,809	観光・保養施設
浜村保育園	2006	1,590	福祉保健施設
ひかり保育園	2006	1,483	福祉保健施設
ながおクリーンステーション	1994	1,367	環境関連施設
気高町 B&G 海洋センター	1985	1,268	スポーツ施設
水耕栽培施設ハウス・温室	1994	1,210	産業振興施設

建築年と建物構造

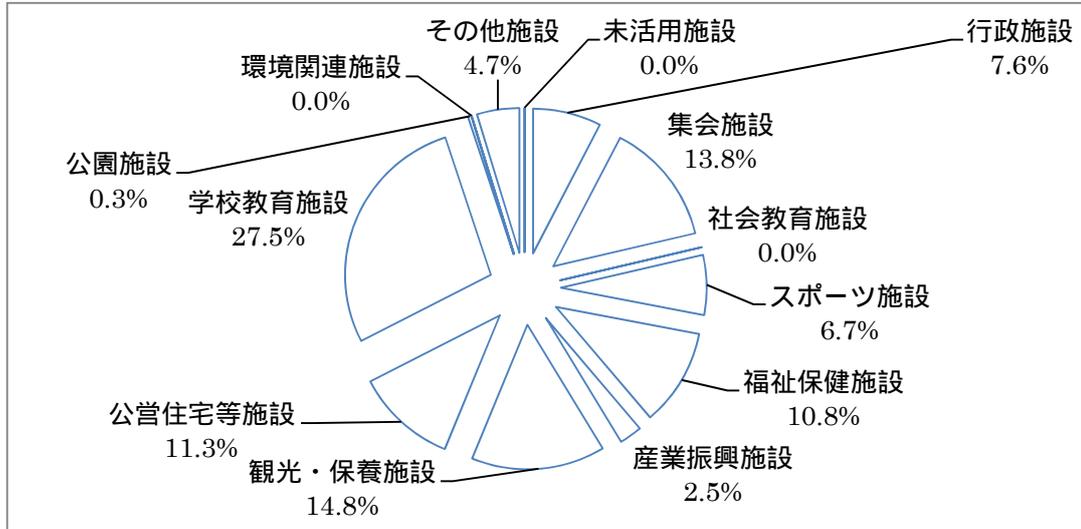
農林漁業者トレーニングセンターと浜村温泉館が整備された1983年に大きなピークがあります。近年は保育園を新設し、木造の施設が増えています。



【鹿野地域】

地域における施設分類の割合

「集会施設」や「観光・保養施設」の割合が高くなっています。



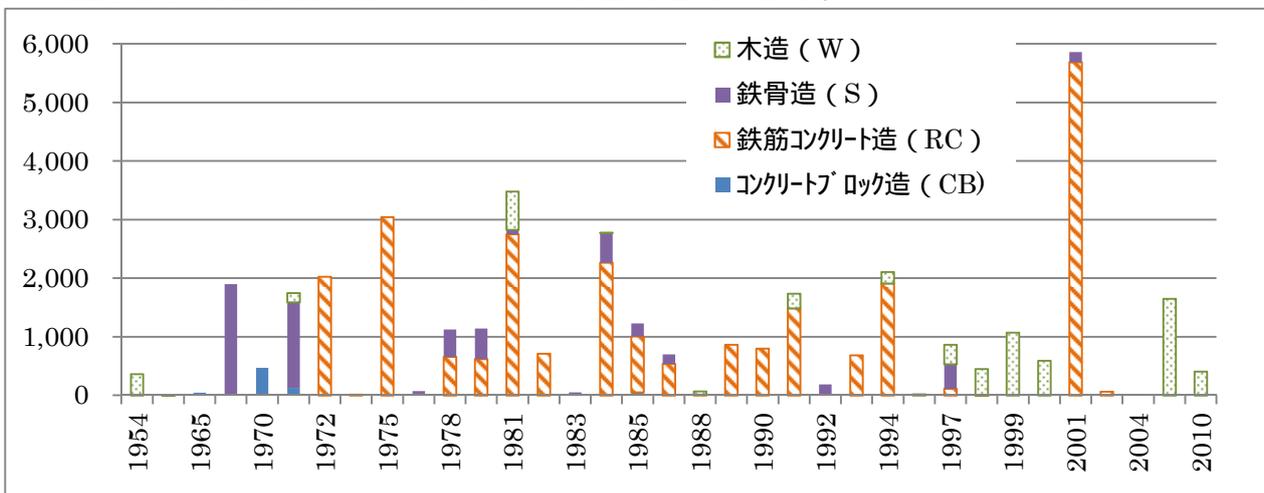
延床面積が大きい建築物（1棟あたり）

廃校等を利用した大規模な集会施設があります。

施設名	建築年	延床面積	施設分類
鹿野町農業者トレーニングセンター	1981	2,377	スポーツ施設
国民宿舎山紫苑	1972	2,031	観光・保養施設
国民宿舎山紫苑	1994	1,913	観光・保養施設
こじか保育園・幼稚園	2005	1,543	福祉保健施設
老人福祉センター	1991	1,487	福祉保健施設
鹿野地区コミュニティ施設	1969	1,385	集会施設
小鷲河地区コミュニティ施設	1971	992	集会施設
鹿野地区保健センター	1990	802	福祉保健施設
出合団地	1982	714	公営住宅等施設
しかの温泉館「ホッピア鹿野」	1993	687	観光・保養施設

建築年と建物構造

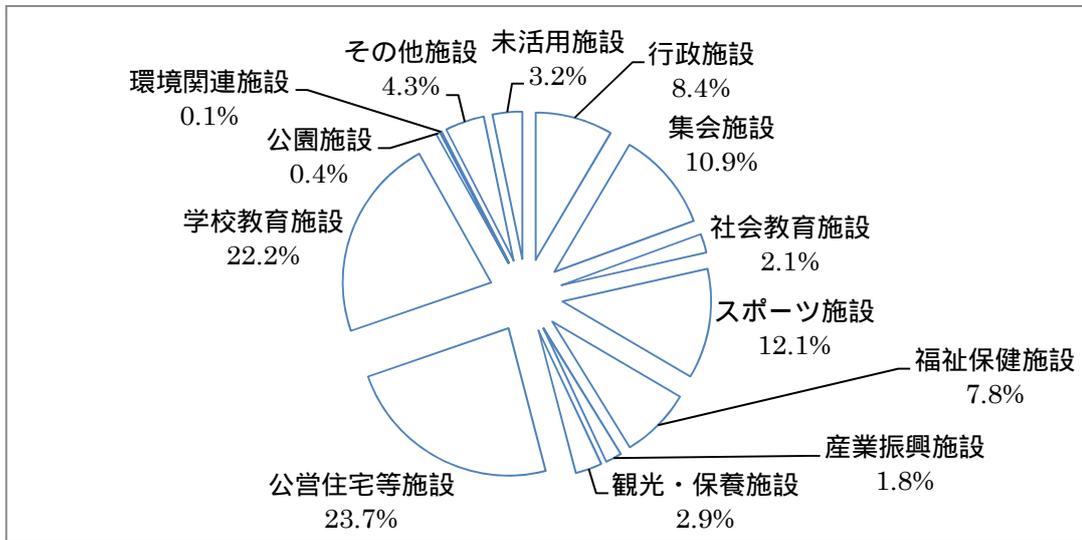
鹿野小学校を新設した2001年にピークができています。



【青谷地域】

地域における施設分類の割合

「スポーツ施設」、「公営住宅等施設」の割合が高くなっています。



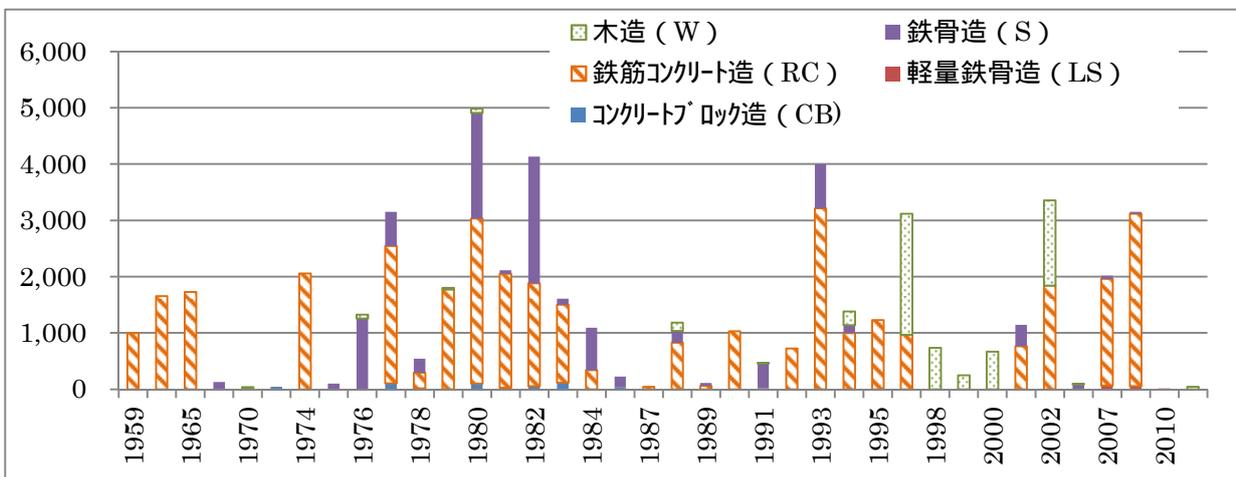
延床面積が大きい建築物（1棟あたり）

大規模な公営住宅が整備されています。廃校となった日置谷小学校の一部は民間事業者が利用するほか、日置地区・勝部地区公民館は校舎の一部利用となっています。

建築物	建築年	延床面積	施設分類
すくすく保育園	2000	2,603	福祉保健施設
青谷町農林漁業者トレーニングセンター	1982	2,087	スポーツ施設
青谷あさひ団地（1棟）	2007	1,899	公営住宅等施設
グリーンハイツあおや	2002	1,833	公営住宅等施設
勝部地区公民館（旧勝部小学校）	1981	1,772	集会施設
日置谷小学校	1979	1,770	その他施設
日置地区公民館（旧日置小学校）	1982	1,729	集会施設
あおや和紙工房	2002	1,516	観光・保養施設
旧中央公民館	1974	1,390	未活用施設
青谷町体育館	1976	1,163	スポーツ施設

建築年と建物構造

近年に新設した施設が目立ちます。



第4章 施設別の現状

第1節 行政施設

小分類：市庁舎等・防災関連施設・行政関連施設

1 市庁舎等

市庁舎等は、行政事務を行うとともに、市民に必要な行政サービスを提供するために設置しています。中でも駅南庁舎は、2005年に閉店となっていた大型小売店舗を買い取り、市庁舎に改修しました。2階は中央図書館になっており、5～6階の一部分は、放送大学や民間スポーツクラブ等の民間事業者に貸し出す複合施設です。

総合支所は、合併地域における公共サービス提供や防災拠点として設置しており、建物は旧町村役場を活用していますが、国府町総合支所は、2013年1月から国土交通省鳥取河川事務所が所有していた旧殿ダム事務所を活用しています。

【供給面】

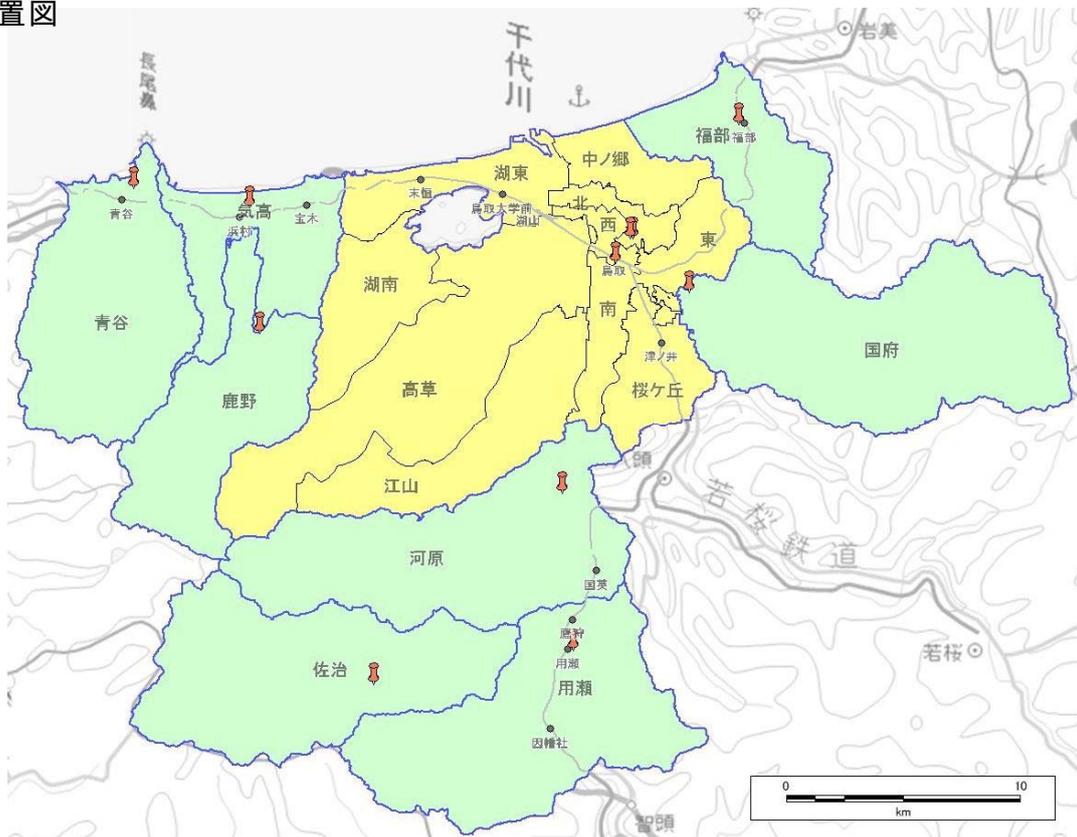
施設総数：11 総延床面積：53,668㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
		1	2							1	1	1	1	1	1	1	1

建物の大部分を市の事務所として使用している施設

配置図



所在地並びに土地情報

施設名	住所	敷地面積	土地所有
本庁舎	尚徳町	7,969	市有地
第2庁舎	上魚町	578	市有地
駅南庁舎	富安二丁目	5,781	市有地
国府町総合支所	国府町宮下	2,791	市有地
福部町総合支所	福部町細川	6,758	市有地
河原町総合支所	河原町渡一木	6,061	市有地
用瀬町総合支所	用瀬町用瀬	6,995	市有地
佐治町総合支所	佐治町加瀬木	5,077	借地（借地料 238 万円/年）
気高町総合支所	気高町浜村	3,366	市有地
鹿野町総合支所	鹿野町鹿野	5,030	借地（借地料 382 万円/年）
青谷町総合支所	青谷町青谷	23,428	市有地

建物の状況

施設名	建築年	主体構造	階数	延床面積	総延床面積
本庁舎	1964	鉄筋コンクリート造	6階地下1階	6,809	6,809
第2庁舎	1968	鉄筋コンクリート造	5階地下1階	2,252	2,252
駅南庁舎 （うち庁舎部分）	1989	鉄骨鉄筋コンクリート造	6階地下1階	27,647 (6,100)	27,647 (6,100)
国府町総合支所	1996	鉄骨造	2階	1,340	1,340
福部町総合支所	1969	鉄筋コンクリート造	2階	879	1,795
（増築分）	1980	鉄筋コンクリート造	2階	225	
（増築分）	2000	鉄骨造	2階	691	
河原町総合支所	1968	鉄筋コンクリート造	3階	1,680	3,550
（増築分）	1983	鉄骨コンクリート造	2階	295	
（増築分）	1991	鉄筋コンクリート造	3階	1,363	
（増築分）	1997	鉄骨コンクリート造	2階	212	
用瀬町総合支所	1977	鉄筋コンクリート造	4階	1,754	1,754
佐治町総合支所	1971	鉄筋コンクリート造	2階地下1階	1,080	1,080
気高町総合支所	1970	鉄筋コンクリート造	3階	1,419	1,981
（増築分）	1994	鉄骨造	2階	562	
鹿野町総合支所	1984	鉄骨鉄筋コンクリート造	3階	2,267	2,267
青谷町総合支所	1993	鉄筋コンクリート造	2階地下1階	3,192	3,192

施設機能等

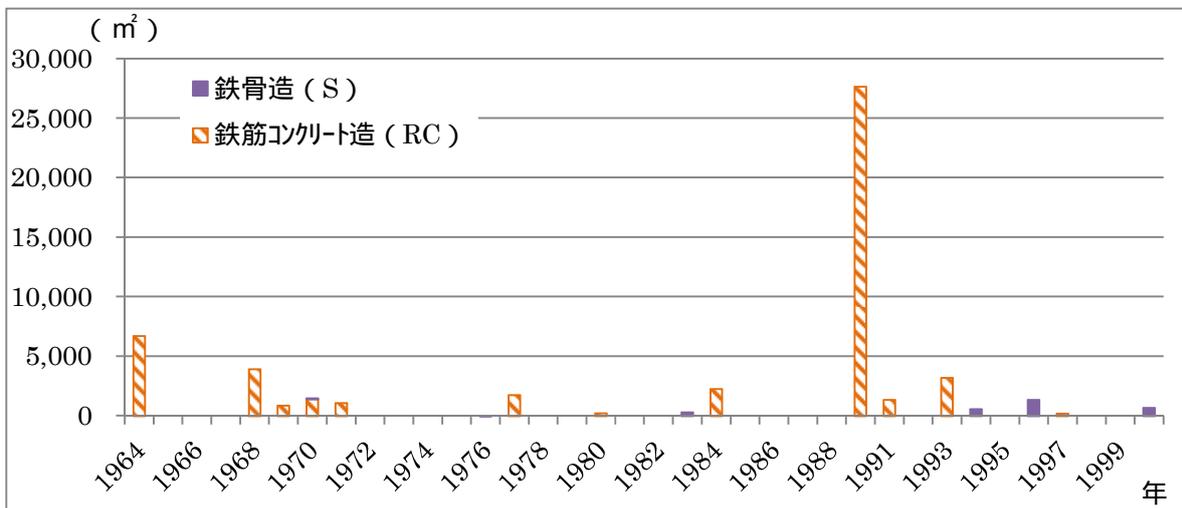
施設名	主な行政機能（部局名）	市庁舎以外の機能
本庁舎	総務部、防災調整監、企画推進部、都市整備部、市議会事務局等	銀行、職員互助会等
第2庁舎	経済観光部、農林水産部、教育委員会等	中央公民館
駅南庁舎	総務調整監、福祉保健部等	中央図書館、放送大学、ｽｰｯｸﾗﾌﾞ、銀行派出所、駐車場等
国府町総合支所	地域振興・市民福祉・産業建設課	鳥取東健康福祉センター
福部町総合支所	〃	
河原町総合支所	〃、南地域工事事務所	
用瀬町総合支所	〃、教委分室、南道路管理センター	
佐治町総合支所	〃	
気高町総合支所	〃、西地域工事事務所	
鹿野町総合支所	〃	
青谷町総合支所	〃、教委分室、西道路管理センター	青谷町中央公民館、鳥取県埋蔵文化財センター青谷調査室

過去5年以内に実施した大規模修繕

施設名	近年実施した大規模修繕
本庁舎	2009・2010年給排水設備工事（285万円）
第二庁舎	2012年空調整備工事（326万円）
駅南庁舎	2011年設備整備工事（289万円）
鹿野町総合支所	2011年空調整備工事（563万円）

【品質面】

建築年と構造別延床面積

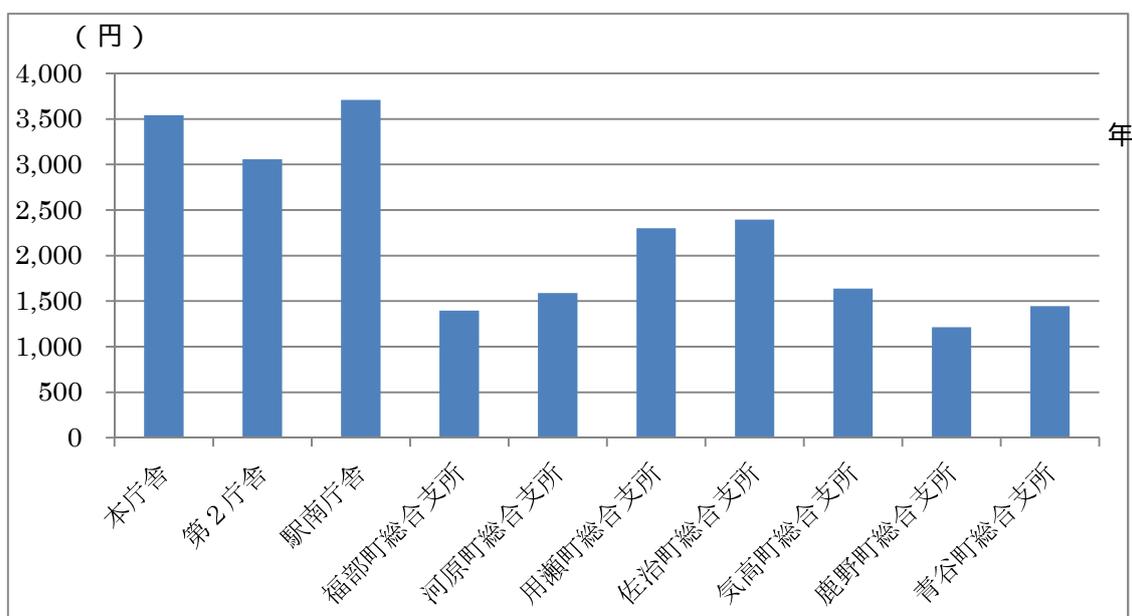


【財務面】

2012年度において、庁舎等にかかる光熱水費は、9,640万円/年、維持管理費は、1億466万円/年でした。

1㎡あたりの光熱水費

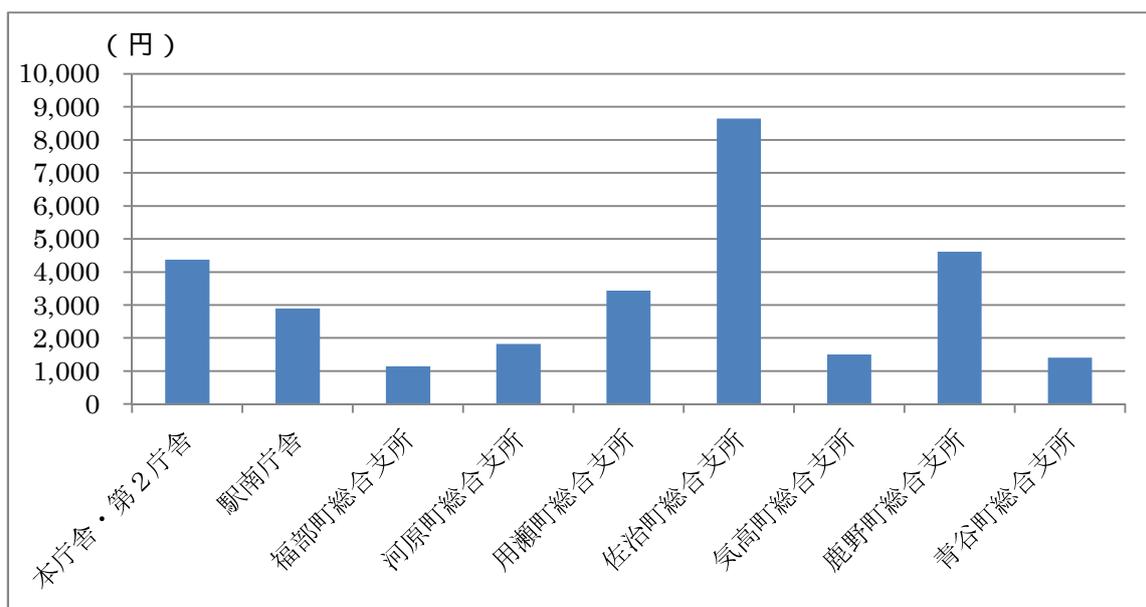
開庁時間に違いがあるため一律に比較できませんが、1㎡あたりの光熱水費は次のとおりです。



駅南庁舎は庁舎部分のみ

1㎡あたりの維持管理費

借地料がかかる佐治・鹿野町総合支所において高くなっています。

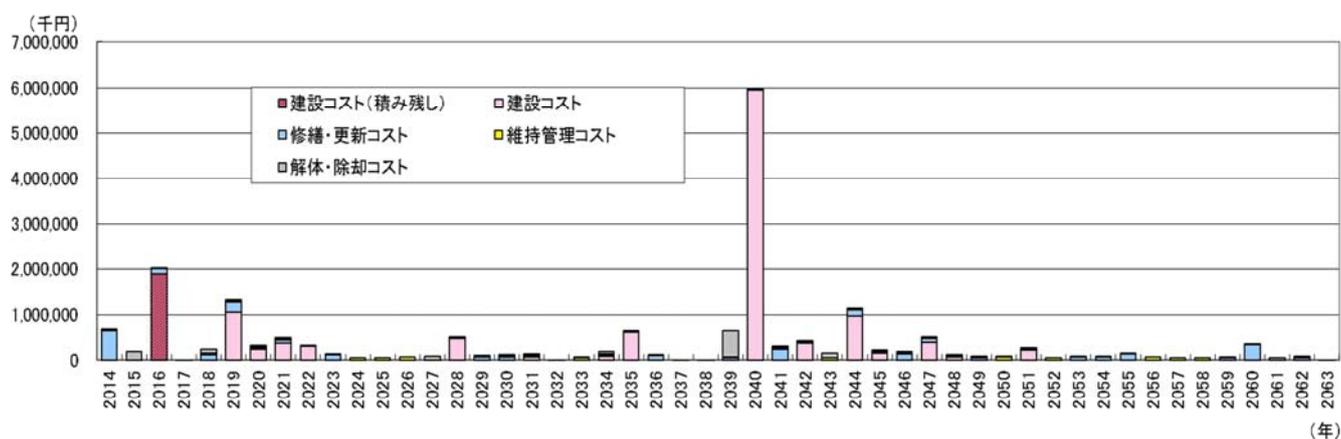


本庁舎と第2庁舎は、消防設備保守点検や清掃業務を一括委託しているため、一つとしています。

今後 50 年の修繕・更新費用の試算

今後 50 年間に発生する修繕・更新費用は 190 億円。年平均 3 億 8,000 万円と試算されます。

50年間の総計	単位:千円
建設コスト	13,234,417
修繕・更新コスト	3,358,616
維持管理コスト	1,209,780
解体・除却コスト	1,226,404
計	19,029,217
単年度平均	単位:千円/年
建設コスト	264,688
修繕・更新コスト	67,172
維持管理コスト	24,196
解体・除却コスト	24,528
計	380,584



2 防災施設

防災施設は、消防ポンプ車や防災資機材等を収納し、主に鳥取市消防団の活動拠点となっています。鳥取市消防団は 51 分団で活動しており、火災や災害に備え、“消防格納庫”“水防倉庫”などを設置しています。

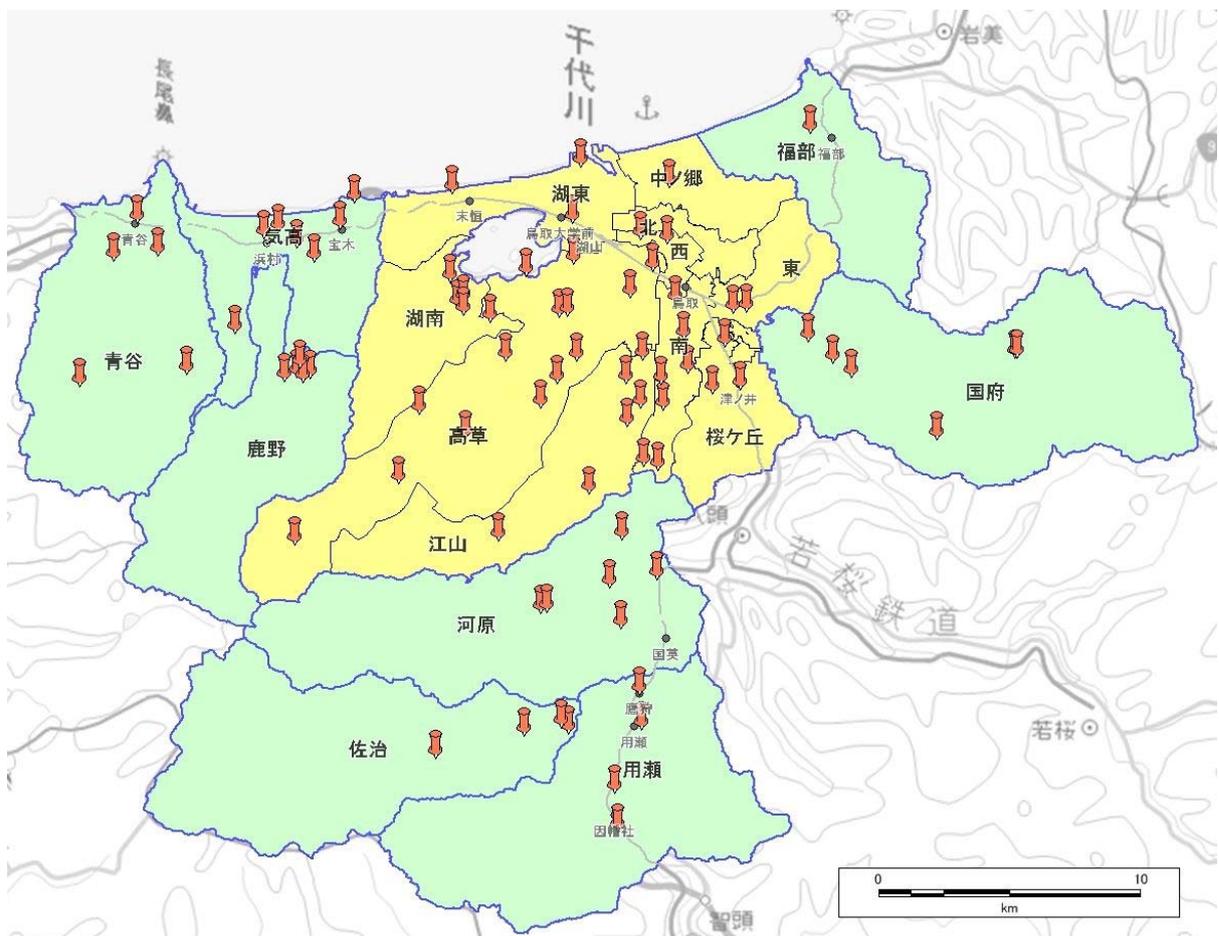
【供給面】

施設総数：87 総延床面積：3,622m²

施設配置数

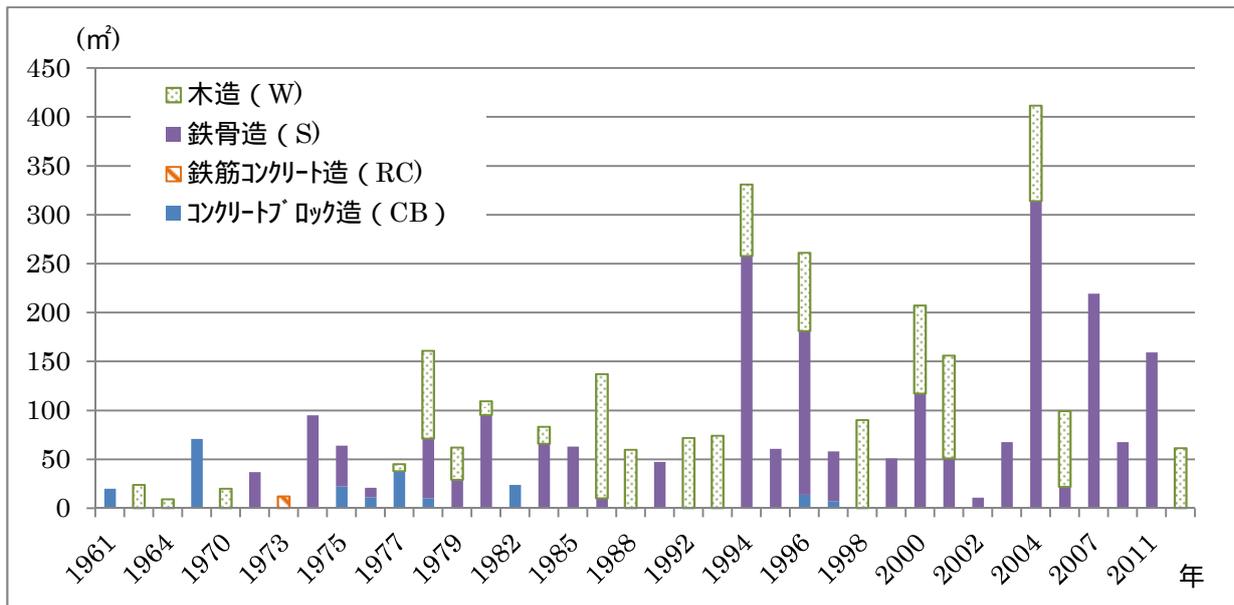
東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
1	1	7	1	1	3	5	14	6	4	6	1	10	4	5	7	5	6

配置図



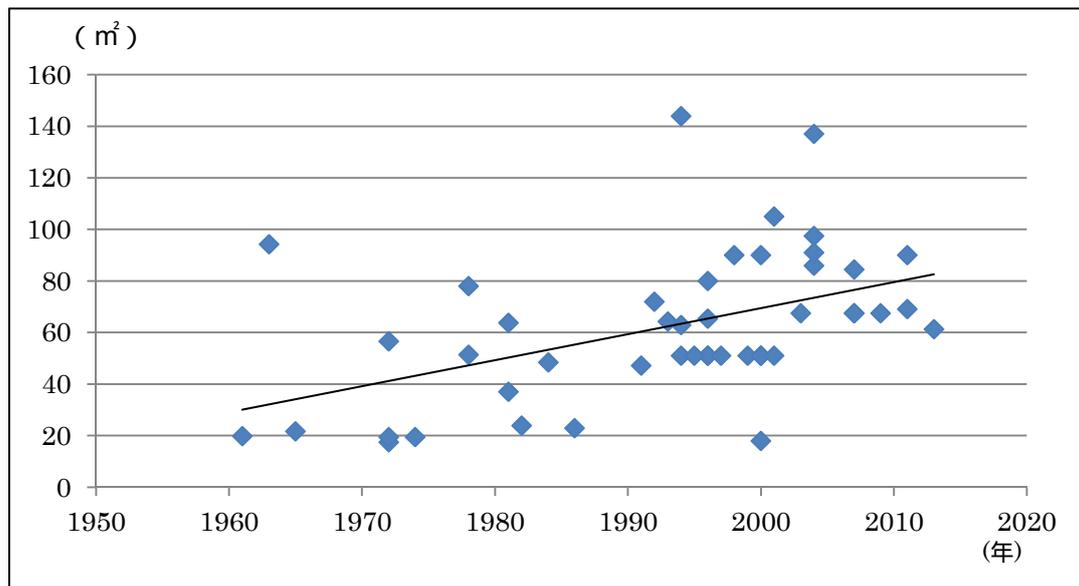
【品質面】

建築年と構造別延床面積



建築年と1施設あたりの延床面積

近年は1施設あたりの平均延床面積が大きくなっています。



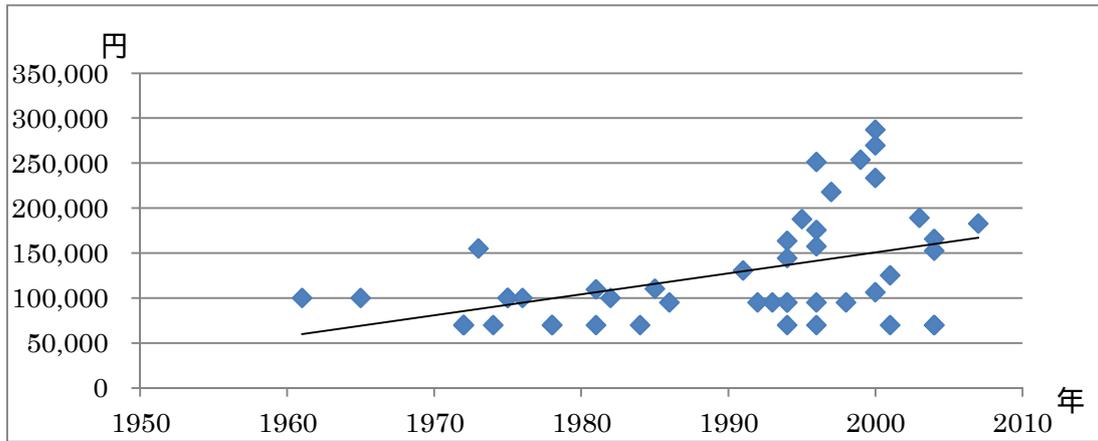
【財務面】

施設管理コスト

2012 年度における施設管理コストは、全施設で光熱水費 155 万円 / 年、維持管理費 129 万円 / 年でした。

1㎡あたりの再調達価格

再調達価格（同程度の施設を新たに整備・建設する場合に必要な価格）と延床面積の関係を見ると、近年は1施設あたりの建設コストが高くなっています。

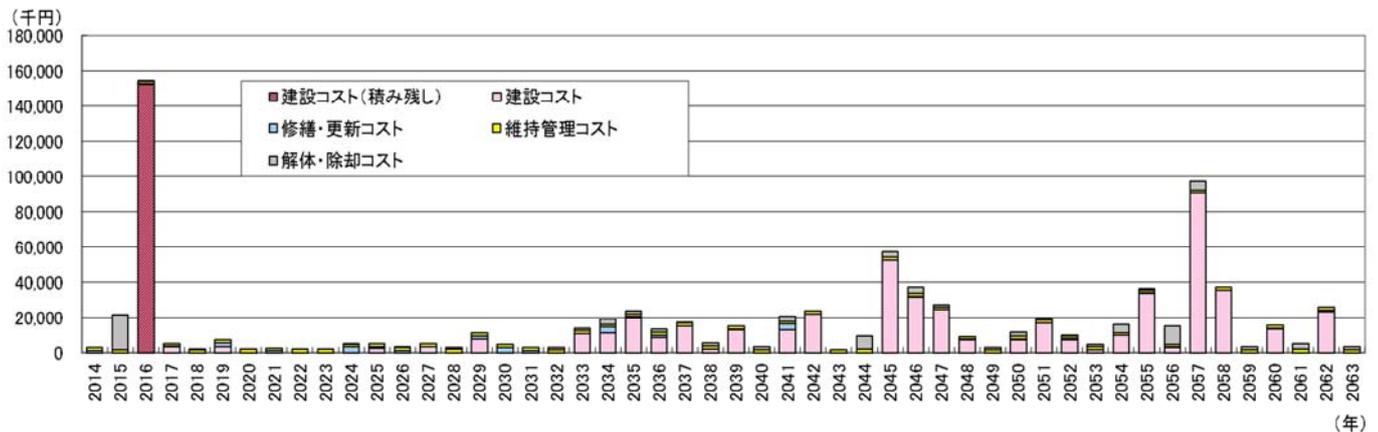


消防格納庫のみ

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は8億5,000万円。年平均1,700万円と試算されます。耐用年数を超えて、使用している施設が目立ちます。

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	649,674
修繕・更新コスト	32,638
維持管理コスト	80,175
解体・除却コスト	86,696
計	849,183
単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	12,993
修繕・更新コスト	653
維持管理コスト	1,604
解体・除却コスト	1,734
計	16,984



3 行政関連施設

公共サービスを提供する上で必要な財産(物品や書類、公用車等)を保管するため、倉庫や車庫を設けているほか、市の外郭団体(市埋蔵文化財センター)の事務所等があります。

また、佐治・気高・鹿野総合支所においては、倉庫や車庫等を民有地(借地)に整備しており、借地料が発生しています。

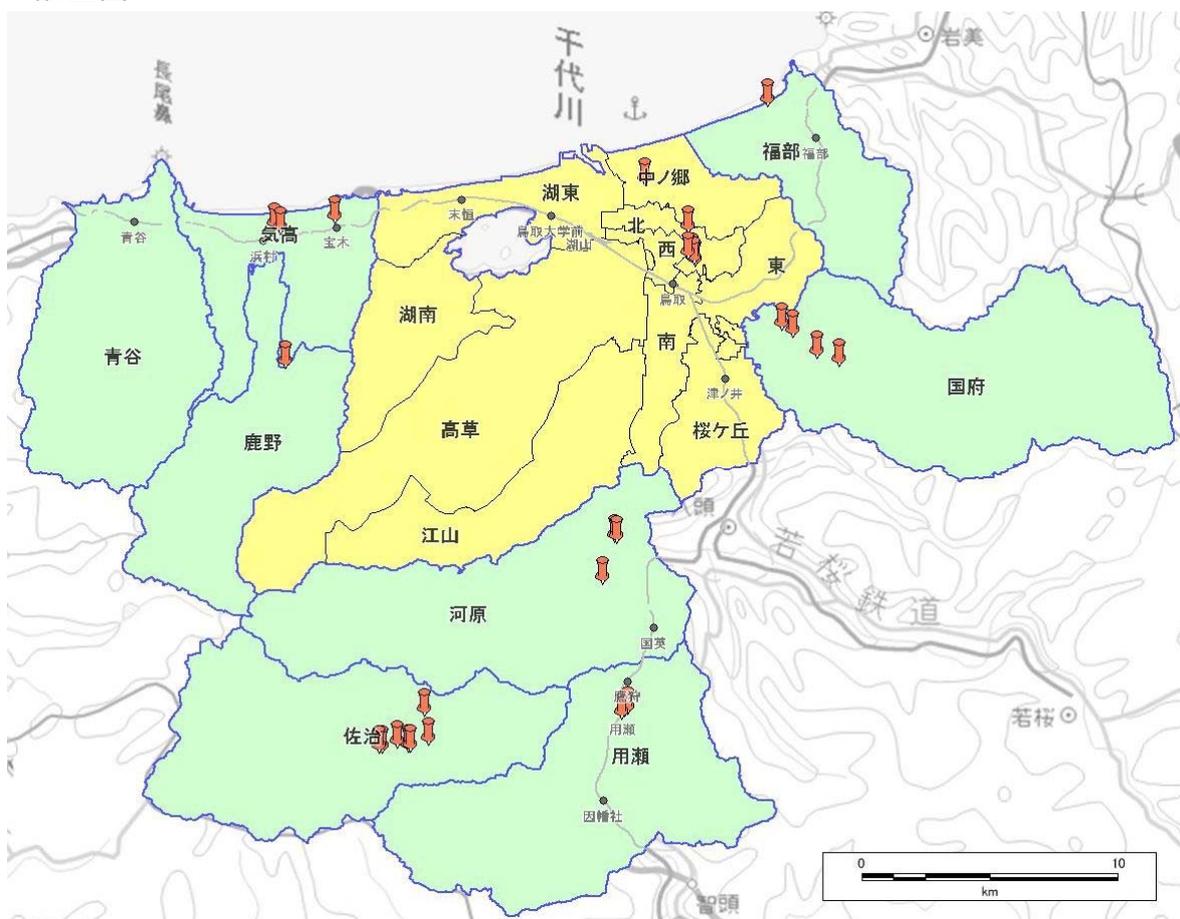
【供給面】

施設総数：25 総延床面積：7,822m²

施設配置数

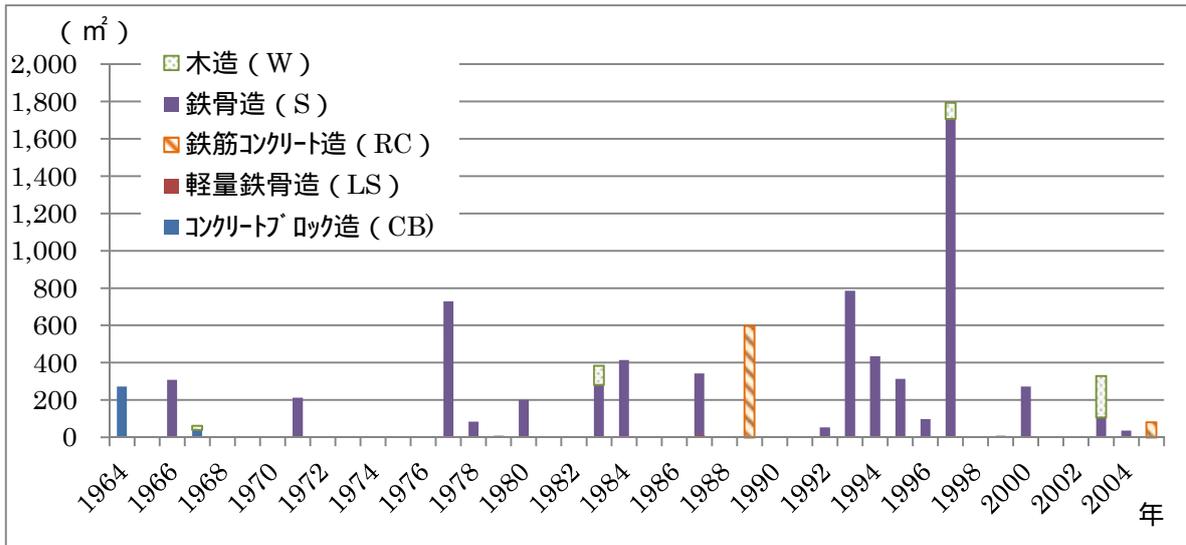
東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
			4	1						5	1	3	1	5	3	1	1

配置図



【品質面】

建築年と構造別延床面積

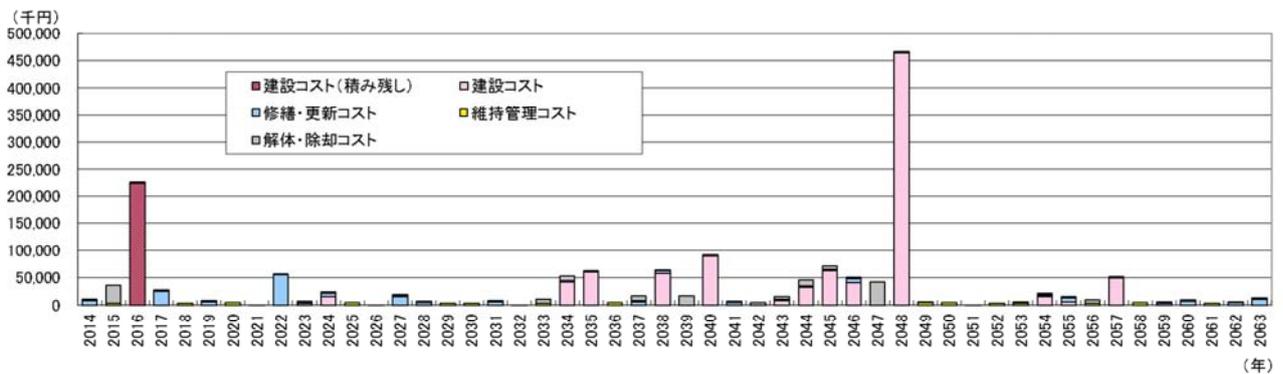


今後 50 年の修繕・更新費用の試算

今後 50 年間に発生する修繕・更新費用は 16 億 4,000 万円。年平均 3,300 万円と試算されます。

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	1,167,740
修繕・更新コスト	219,684
維持管理コスト	107,986
解体・除却コスト	144,532
計	1,639,942

単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	23,355
修繕・更新コスト	4,394
維持管理コスト	2,160
解体・除却コスト	2,891
計	32,799



第2節 集会施設

小分類：地区集会施設、広域集会施設

1 地区集会施設

地域住民等が利用できる地区集会施設としては、地区公民館が代表例として挙げられますが、他にも設置目的によって様々な施設が設置されています。

複数の条例で一施設が設置されている場合が見受けられるほか、地域によって偏りが見られます。

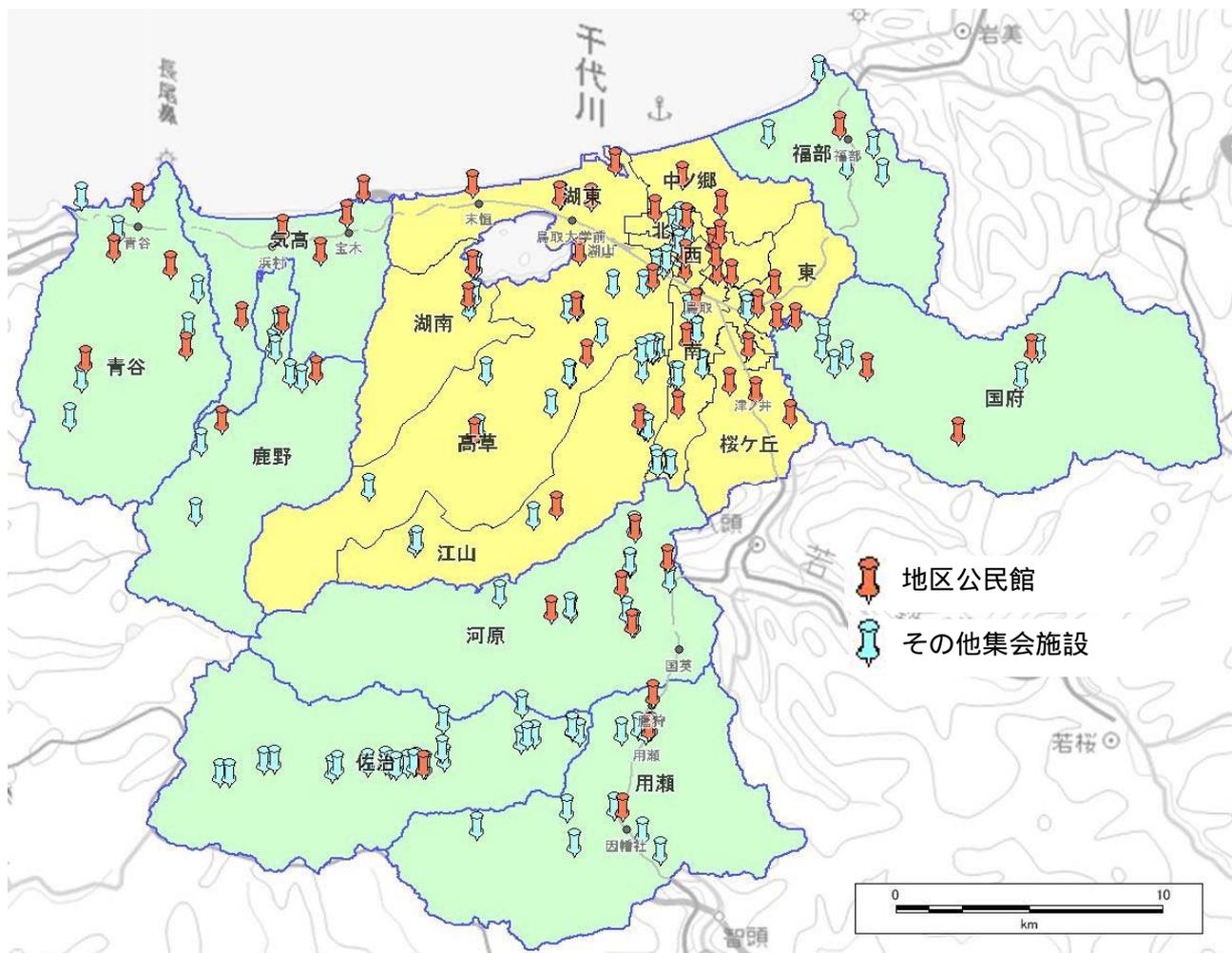
【供給面】

施設総数：188 総延床面積：53,179m²

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
2	11	16	6	2	4	6	19	15	7	11	6	14	14	29	5	10	11

配置図

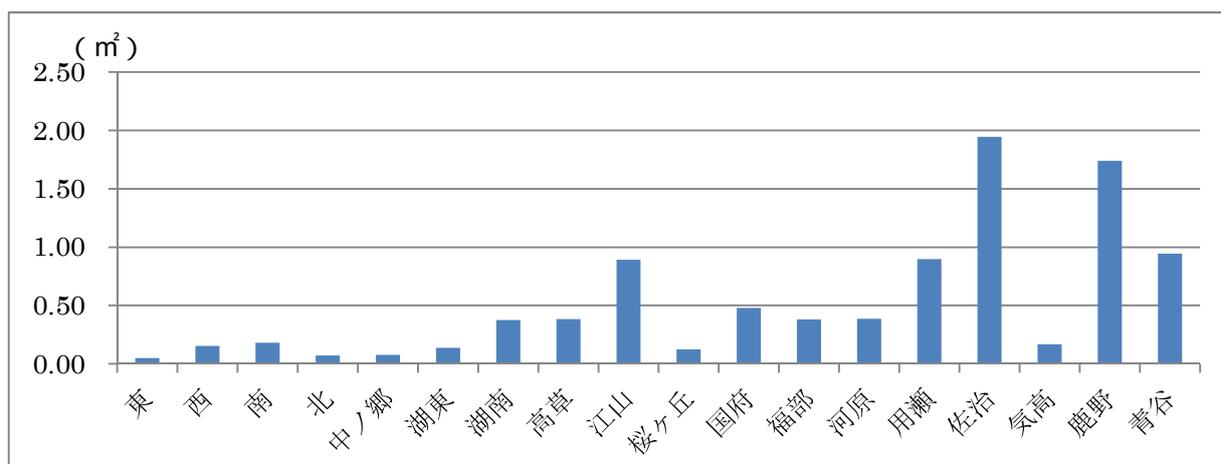


市条例で定められている地区集会施設の種類

施設名	根拠条例	設置目的
地区公民館	鳥取市公民館条例	社会教育法の規定に基づき、社会教育を振興し、住民の福祉を図る
老人憩の家	老人憩の家の設置及び管理に関する条例	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等の場を提供し、老人の心身の健康の増進を図る
生活改善センター	地域活性化施設の設置及び管理に関する条例	地域の活性化及び生活環境の整備を図る
就業改善センター	就業改善センターの設置及び管理に関する条例	農業就業構造等の改善を図る
農村環境改善センター	農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例	農業経営及び農村生活の改善合理化、農業者等農村在住者の健康増進、地域連帯の醸成等を図る
コミュニティ施設	コミュニティ施設の設置及び管理に関する条例	地域住民の文化の向上と福祉の増進に寄与
集会所	集会所の設置及び管理に関する条例	地域の文化の向上と福祉の増進を図る
その他	高齢者創作交流施設の設置及び管理に関する条例	高齢者の地域活動の拠点として高齢者の生きがいと健康づくりの充実を図る
	鳥取市佐治町会館の設置及び管理に関する条例	住民の教養向上と地域の活性化を図る
	鳥取市国府町土地区画整理記念館の設置及び管理に関する条例	土地区画整理事業に係る資料の展示及び公開並びに活力ある地域社会を形成する
	国府町林業会館の設置及び管理に関する条例	林業の振興及び住民の健康の増進を図り、活力ある近隣社会を形成する
	鳥取市佐治町地域活性化センターの設置及び管理に関する条例	地域住民の文化の向上と福祉の増進に寄与する
	鳥取市東部研修センターの設置及び管理に関する条例	社会教育の振興と福祉の増進を図る
	鳥取市用瀬町青年会館の設置及び管理に関する条例	青年の健全な育成及び地域社会の発展に寄与する

市条例で定められた集会施設以外に、「人権施策の一環で設置した集会所」や「公営住宅に関連して設置した集会所」があり、は“集会施設”として、は“公営住宅関連施設”として掲載しています。

中学校区内住民1人あたり延床面積

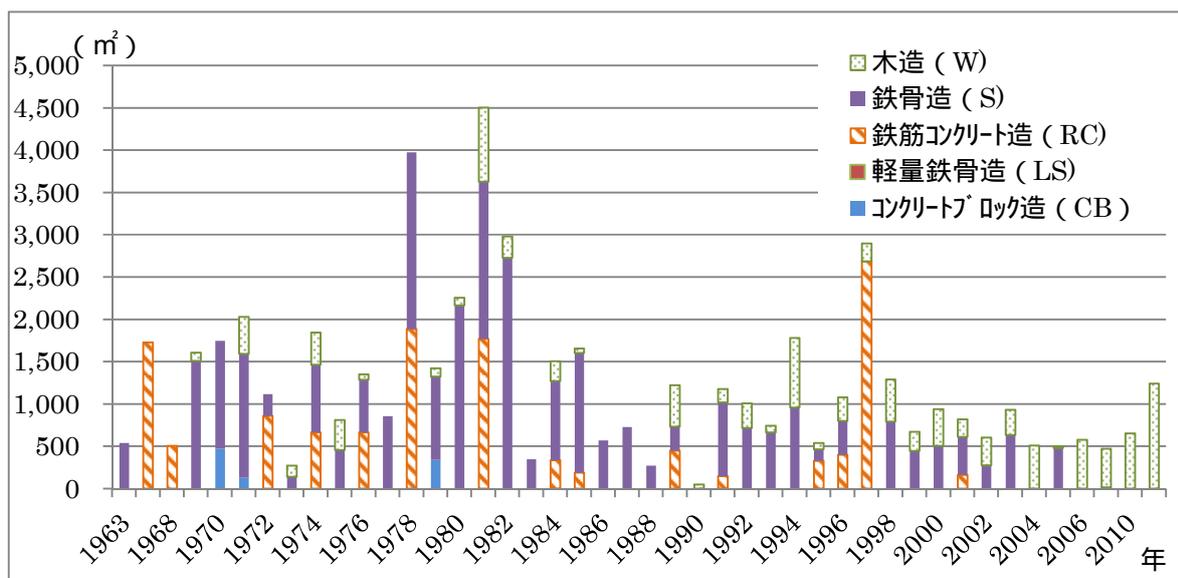


市有施設のみ

【品質面】

建築年と構造別延床面積

他の施設分類と比較して、老朽化が進んでいます。



市有施設のみ

以下、市条例に規定されている主な施設について記載します。

地区公民館

地区公民館は、社会教育の振興・住民福祉の向上を目的としており、無料で使用でき、使用できる者は原則として当該地区公民館の設置区域内の住民に限られています。

規模としては、全市で 61 施設。総施設の延床面積の合計は、3 万 m² (他団体所有を含む：後述) を越えています。

ホール機能や体育館等を有する地区公民館や、合併地域では基幹公民館に併設している地区公民館もあります。

また、地区公民館の中で、久松・賀露・修立地区公民館は、財団法人鳥取市教育福祉振興会が整備・所有し、大規模修繕等は本市が行っています。

さらに、美穂地区公民館や合併地域では、「農村環境改善センター」や「就業改善センター」として設置され、公民館として使用されている公民館のほか、旧小学校舎の一部を使用している勝部地区公民館等があります。

【供給面（地区公民館）】

建物の状況

体育館等を併設している大規模（1,000 m²以上）の地区公民館を除いた平均延床面積は 449 m²となっていますが、明德地区公民館（202 m²）など、小規模な地区公民館も見られます。

地域名	施設名	建築年	延床面積	備考
鳥取 (33)	城北地区公民館	1979	445	
	稲葉山地区公民館	1987	336	
	神戸地区公民館	1974	330	
	大正地区公民館	1981	347	
	湖山地区公民館	1975	451	
	松保地区公民館	1980	370	
	湖南地区公民館	1984	335	大郷分館有。大郷分館は湖南地区体育館と併設
	津ノ井地区公民館	1977	407	
	明治地区公民館	1993	403	
	遷喬地区公民館	1995	332	遷喬小学校と併設
	湖山西地区公民館	1997	457	国際交流プラザと一体
	千代水地区公民館	1981	271	
	明德地区公民館	1991	202	
	岩倉地区公民館	2010	450	
	倉田地区公民館	1998	452	
	大和地区公民館	1978	349	
	東郷地区公民館	2012	468	
	米里地区公民館	1978	446	
	美保南地区公民館	1992	403	
	富桑地区公民館	1994	404	
	醇風地区公民館	1996	404	
	面影地区公民館	1982	925	東部研修センター
	中ノ郷地区公民館	1999	435	
	美保地区公民館	2000	452	
	若葉台地区公民館	2001	450	
	豊実地区公民館	2003	450	
	浜坂地区公民館	2006	450	
	日進地区公民館	2005	453	
	未恒地区公民館	2007	450	
	久松地区公民館	1979	1,611	教育福祉振興会所有
	賀露地区公民館	1978	1,302	教育福祉振興会所有
	修立地区公民館	1982	363	教育福祉振興会所有

	美穂地区公民館	1978	1,190	農村環境改善センター
国府 (5)	宮下地区公民館	1976	666	就業改善センター
	大茅地区公民館	1979	476	林業研修センター
	成器地区公民館	1981	485	林業会館
	あおば地区公民館	1985	440	土地区画整理記念館
	谷地区公民館	1968	508	
福部	福部地区公民館	1973	1,489	福部町中央公民館内に設置
河原 (5)	八上地区公民館	1980	222	
	河原地区公民館	1983	348	
	散岐地区公民館	1986	342	
	西郷地区公民館	1962	543	
	国英地区公民館	2012	450	
用瀬 (3)	社地区公民館	1981	636	
	大村地区公民館	1984	396	
	用瀬地区公民館	1985	395	
佐治	佐治地区公民館	1984	1,549	佐治町中央公民館内に設置
気高 (5)	宝木地区公民館	1976	385	
	瑞穂地区公民館	1982	487	
	酒津地区公民館	1978	318	
	逢坂地区公民館	1979	341	
	浜村地区公民館	1975	923	気高町中央公民館内に設置
鹿野 (3)	小鷲河地区公民館	1980	525	
	勝谷地区公民館	1981	547	
	鹿野地区公民館	1981	2,377	農業者トレーニングセンター、 鹿野町中央公民館内に設置
青谷 (5)	日置地区公民館	1982	707 [1,729]	旧日置小学校の一部 []は学校面積
	青谷地区公民館	1974	665	就業改善センター
	日置谷地区公民館	1980	287	
	中郷地区公民館	1980	287	
	勝部地区公民館	1981	860 [1,772]	旧勝部小学校の一部 []は学校面積

()内の数値は、地域別の公民館設置数

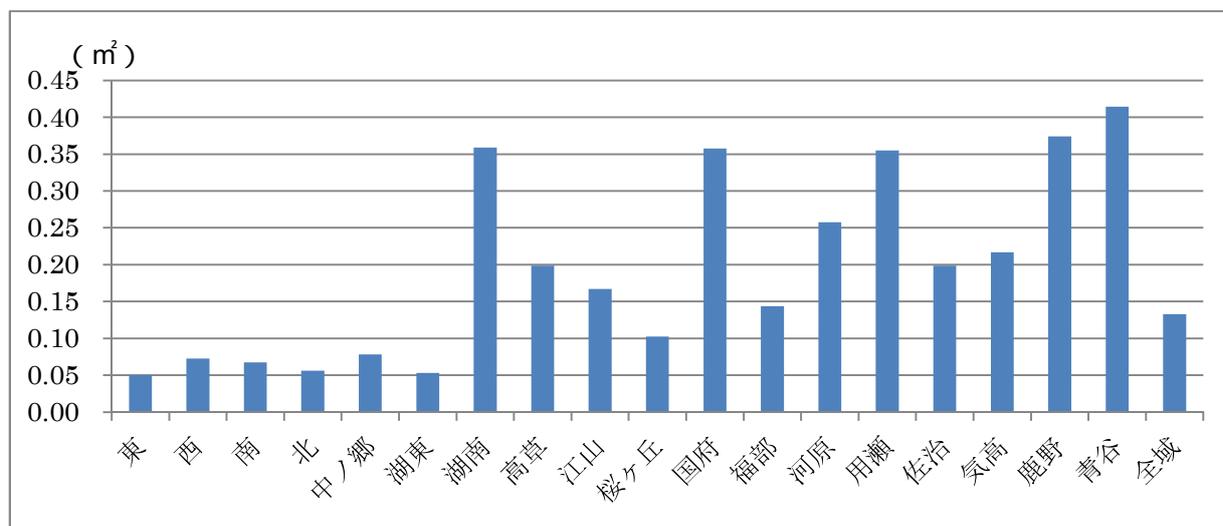
建物（構造等）に特徴がある地区公民館

特徴	公民館名
基幹公民館と一体となった地区公民館	福部・佐治・浜村・鹿野
他の施設と一体となった地区公民館	遷喬・湖山西・鹿野
廃校等を転用した地区公民館	勝部・日置
他団体が設置した地区公民館	久松・賀露・修立

以下、福部地区公民館、佐治地区公民館、浜村地区公民館は中央公民館（福部町中央公民館、佐治町中央公民館、気高町中央公民館） 湖南地区公民館大郷分館、鹿野地区公民館は体育館（湖南地区体育館、鹿野町農業者トレーニングセンター） 遷喬地区公民館は小学校（遷喬小学校）を参照。

中学校区別の1人あたりの延床面積

地区公民館の利用者は、地域住民に限られるため、中学校区による延床面積（サービス提供量）を比較します。校区によって提供している延床面積に差があります。



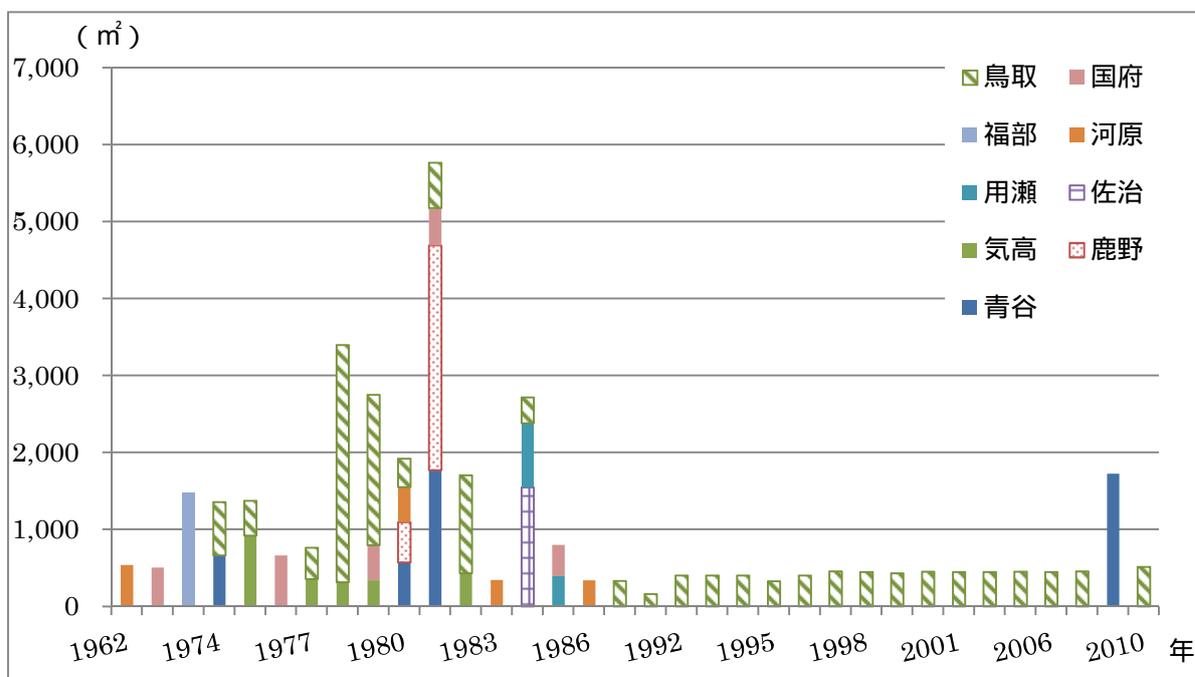
市有施設のみ
 体育館等と併せて設置されている地区公民館は、平均延床面積（449 m²）に置き換えて算出しています。

【品質面（地区公民館）】

建築年と地域別延床面積

約4割の施設が、旧耐震基準に基づき整備されており、耐震診断結果に基づき順次耐震化を行っていきます。

特に合併地域において老朽化した施設が多くなっています。



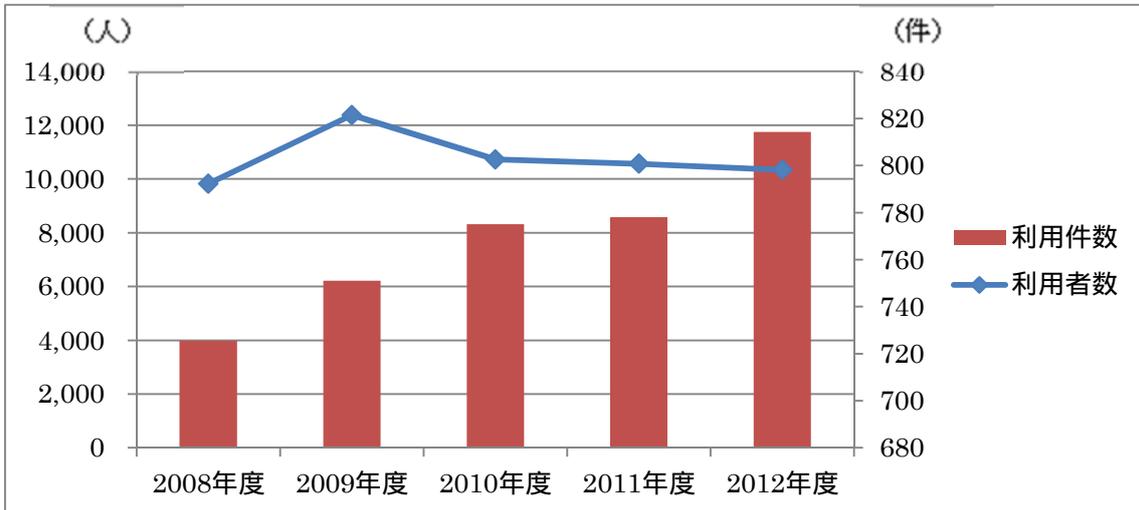
市有施設のみ

【利用状況（地区公民館）】

利用者数の推移

利用者数（1館あたり延べ人数）は、年間1万人を超えています。緩やかな減少傾向にあります。

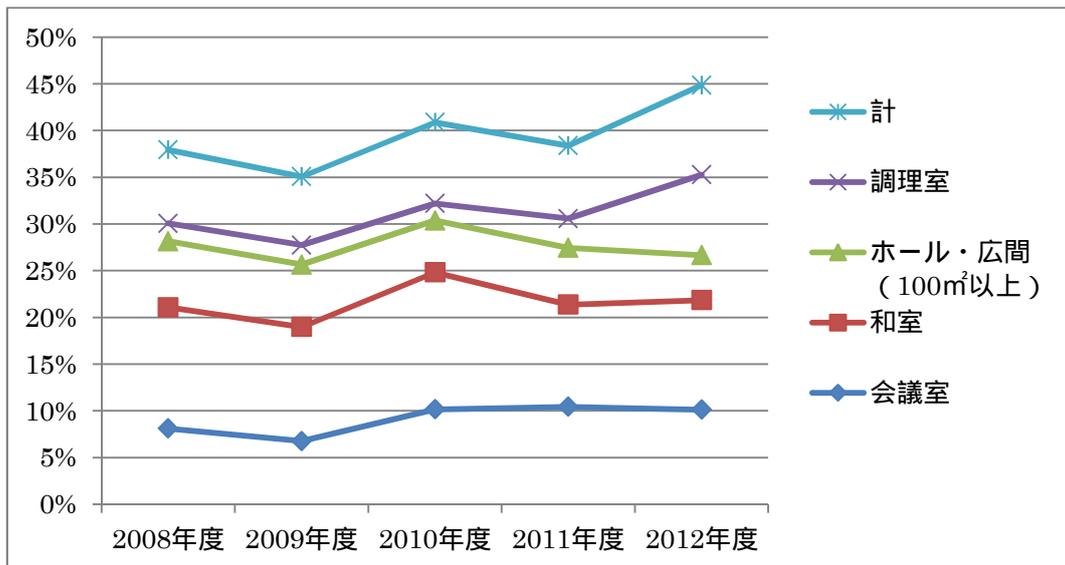
利用件数が増えていることから、少人数での利用が増えているとみられます。（2012年度利用1件あたりの平均人数は13人）



鳥取・河原・用瀬地域における地区公民館（他団体所有・湖山西地区（国際交流プラザを含むため）は除く）

稼働率

利用時間が1時間であっても4時間であっても利用件数は1件ですが、“午前”“午後”“夜の”3コマで区切って利用状況を把握することで、部屋の稼働率を算出しました。



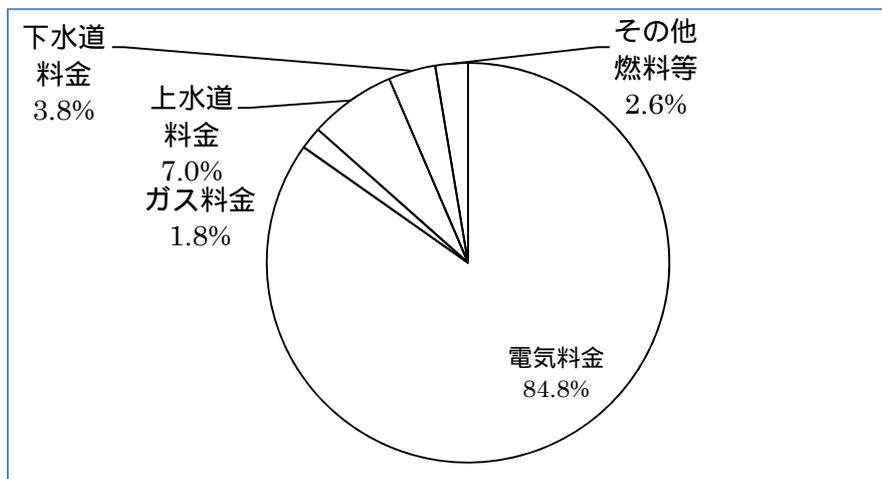
グラフは利用者の把握をしていた河原地区（5館）の平均値（他の館ではコマ毎の数値を把握していません。）

【財務面（地区公民館）】

光熱水費（2012年度）

光熱水費は、全館で2,878万円/年、1館あたり54万円/年となっています。

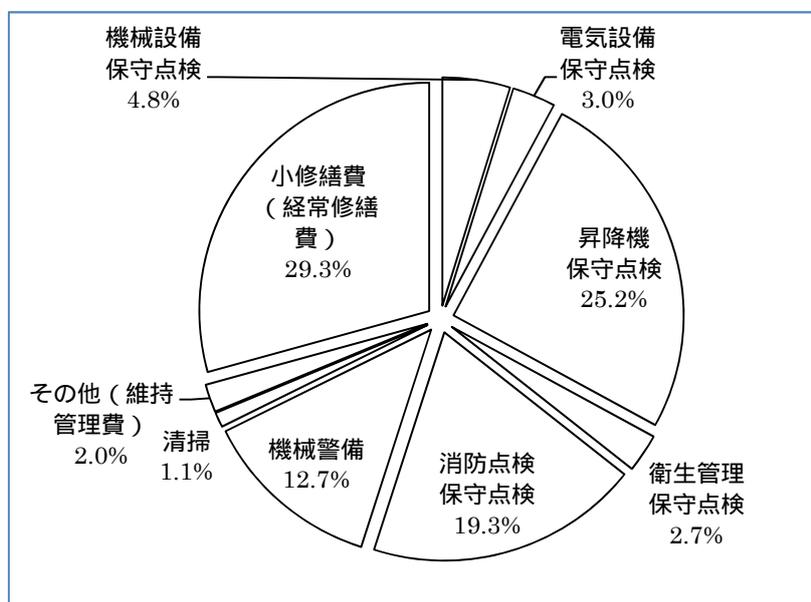
内訳は、大半が電気料金となっています。



維持管理費（2012年度）

維持管理費は、全館で944万円/年、1館あたりの維持管理費は18万円/年となっています。

地区公民館の維持管理費の大部分を占める保守点検費は、“機械設備”“電気設備”“消防用設備”などがあり、特に昇降機が設置されている場合は“昇降機”の保守点検も加わります。昇降機の有無で保守点検費用は大きく異なります。



地区公民館以外の集会施設

地区公民館以外にも、地域の活性化や生活環境の改善、住民同士の交流等を目的として、“老人憩の家”や“地域活性化施設”などの集会機能をもった施設を設置しています。

【供給面・品質面（地区公民館以外の集会施設）】

施設の配置状況

地区公民館以外の各種別の配置は、地域によって大きな偏りが見られます。東・湖東・中ノ郷・気高中学校区にはありません。

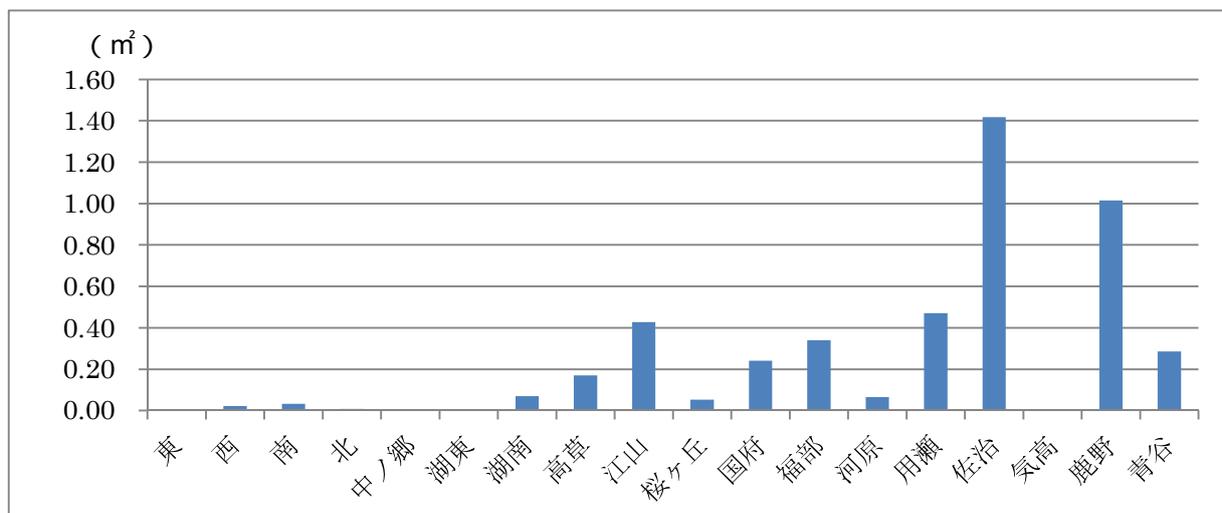
		西	南	北	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	鹿野	青谷	合計
老人憩の家	施設数	2	5	1	1	2	2	1	2		3					19
	延床面積	289	860	157	156	284	288	154	300		345					2,833
地域活性化施設	施設数					6	2		2	5	1	2	15	2	4	39
	延床面積					1,046	216		290	1,063	144	490	1,965	378	813	6,405
就業改善センター	施設数					1										1
	延床面積					651										651
農村環境改善センター	施設数						1									1
	延床面積						1,190									1,190
コミュニティ施設	施設数												1	3		4
	延床面積												73	3,664		3,737
集会所	施設数	1	4	1	1	1	2	1	1		4	5	4	1		26
	延床面積	132	961	126	149	129	272	184	165		766	756	430	79		4,149
その他	施設数	5	3		2	4	5	1	1		1	4	8	1	2	37
	延床面積	645	1,194		182	447	909	70	70		121	792	1,809	98	186	6,523
計	施設数	8	12	2	4	14	12	3	6	5	9	11	28	7	6	127
	延床面積	1,066	3,015	283	487	2,557	2,875	408	825	1,063	1,376	2,038	4,277	4,219	999	25,488
人口1人あたり	延床面積	0.08	0.11	0.02	0.22	0.22	0.73	0.02	0.11	0.34	0.18	0.54	1.89	1.04	0.15	0.13

端数処理をしているため、合計値に誤差がある場合があります。

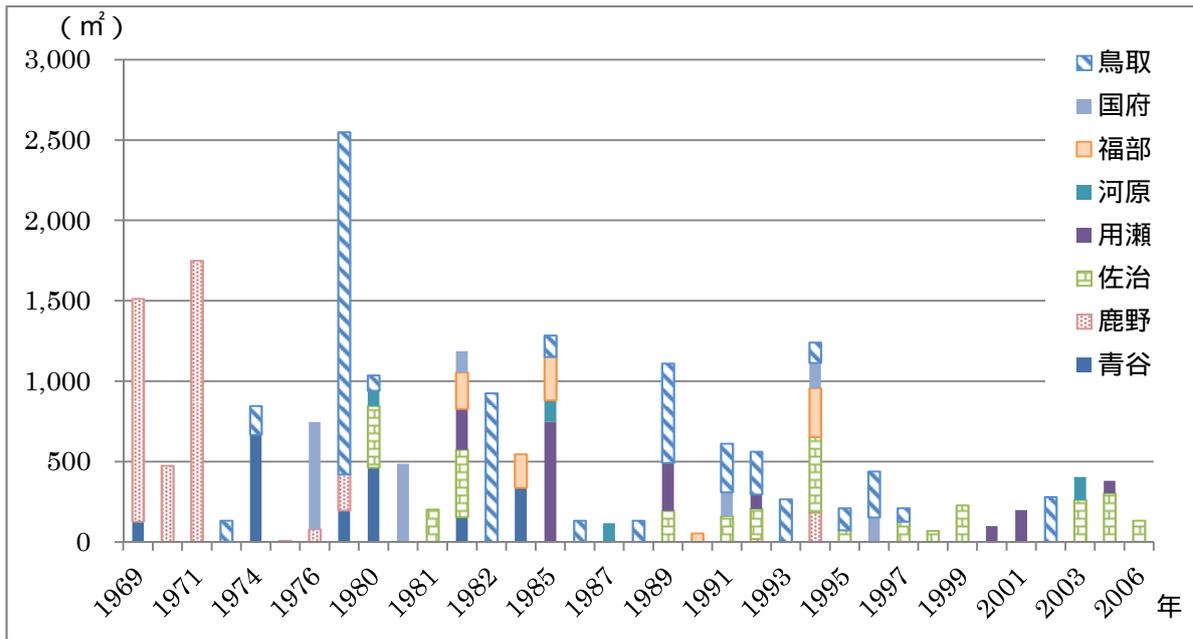
中学校区別の1人あたり延床面積

集会施設は地域や校区単位で利用されます。中学校区毎に校区内住民1人あたりの延床面積を見てみると大きな開きがあります。

佐治地域は、地域活性化施設をはじめとして施設数が多いため、他地域と比べて面積が多くなっています。



建築年と地域別延床面積



管理状況等

地区公民館以外の集会施設のほとんどは、地元自治会等に管理を委託しています。

また、地区公民館以外の集会施設の多くは、「鳥取市有施設の民間等への譲渡に関する取扱い方針平成 19 年 9 月作成）」に基づき、順次地元譲渡を進めています。(既に譲渡しているものもあります。)

【財務面（地区公民館以外の集会施設）】

施設管理コスト

地区公民館以外の集会施設における 2012 年度の光熱水費（公費負担分）は 155 万円、維持管理費は 151 万円でした。

以下、地区公民館以外の集会施設の代表的な施設として“老人憩の家”について掲載します。

1 老人憩の家

老人に対し、教養の向上、レクリエーション等の場を提供し、老人の心身の健康の増進を図るために設置されています。集会所と同様に地元譲渡の方針としていますが、施設の整備時に受けた補助金の関係もあり、譲渡予定が 2039 年以降となっている施設もあります。

【供給面・品質面（老人憩の家）】

建物の状況

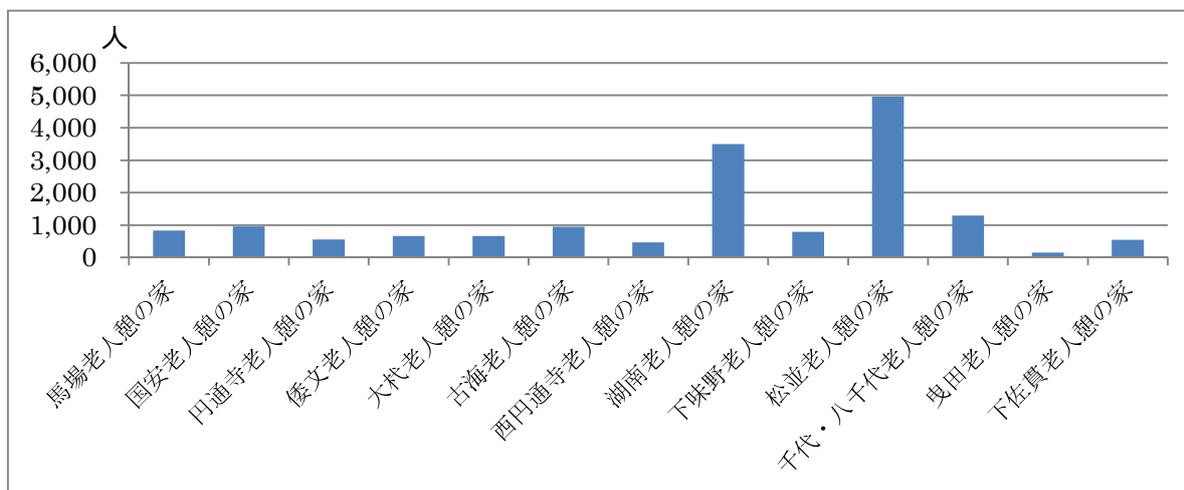
施設名	建築年	延床面積	構造
西品治老人憩の家	1985	132	鉄骨造
古海老人憩の家	1989	151	鉄骨造
馬場老人憩の家	1989	132	鉄骨造
西円通寺老人憩の家	1991	132	鉄骨造
湖南老人憩の家	1993	132	鉄骨造
国安老人憩の家	1986	132	鉄骨造
下味野老人憩の家	1988	132	鉄骨造
円通寺老人憩の家	1991	170	鉄骨造
宮長老人憩の家	1992	132	鉄骨造
倭文老人憩の家	1992	132	鉄骨造
大杙老人憩の家	1993	132	鉄骨造
松並老人憩の家	1996	136	鉄骨造
中村老人憩の家	1994	126	鉄骨造
千代・八千代老人憩の家	1995	136	鉄骨造
鳥取市国府町上町屋老人憩の家	1996	132	木造
鳥取市国府町麻生老人憩の家	1991	149	鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造
河原町下曳田老人憩の家	1982	96	鉄骨造
河原町下佐貫老人憩の家	1987	132	鉄骨造
河原町中井二地区老人憩の家	1989	117	鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造

【利用状況（老人憩の家）】

管理・利用状況

施設管理は、地元自治会等に委託しており、利用状況の把握も地元には依頼しています。

集計していただいた施設の利用状況（2012年度）の中では、松並・湖南老人憩の家の利用が突出して多くなっています。このうち、湖南は放課後児童クラブ（17人）として利用しており、児童が大部分を占めています。松並・湖南老人憩の家を除いた利用状況の平均は、件数70件/年、利用者数713人/年となっています。



【財務面（老人憩の家）】

光熱水費

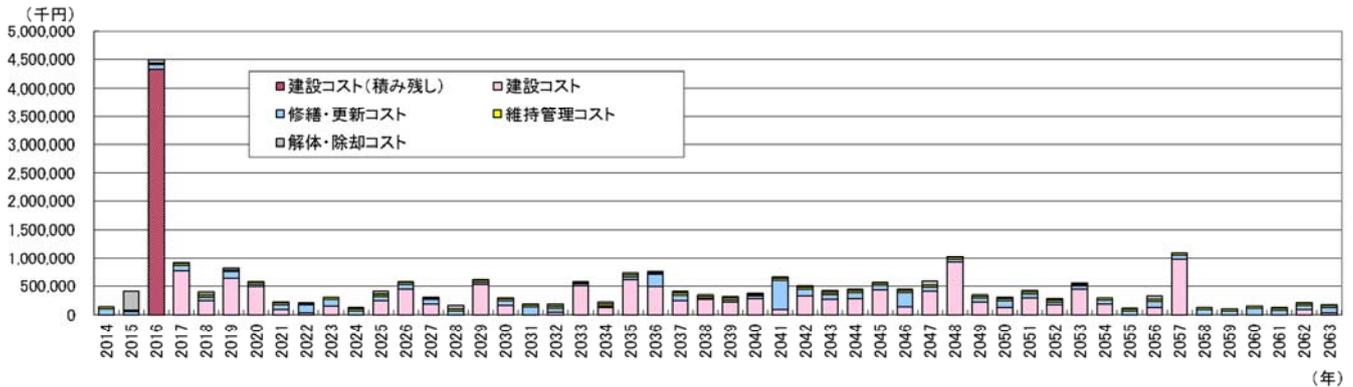
“老人憩の家”の光熱水費が1館あたり12万円/年でしたが、2010年度から地元負担となっています。

【更新費用（地区集会施設全体）】

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は244億円。年平均4億8,800万円と試算されます。耐用年数を超えている施設が多く、順次改築や耐震化等を行っています。

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	16,822,096
修繕・更新コスト	4,613,031
維持管理コスト	1,684,726
解体・除却コスト	1,286,628
計	24,406,481
単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	336,442
修繕・更新コスト	92,261
維持管理コスト	33,695
解体・除却コスト	25,733
計	488,130



2 広域集会施設（ホール）

大ホール（固定席）や大規模な集会機能（概ね 300 人以上収容）を兼ね備えた広域集会施設は、地域の枠を越えて、本市以外の方々にもご活用いただいています。

福祉文化会館は、本市所有部分と一般財団法人鳥取市教育福祉振興会の所有部分があります。

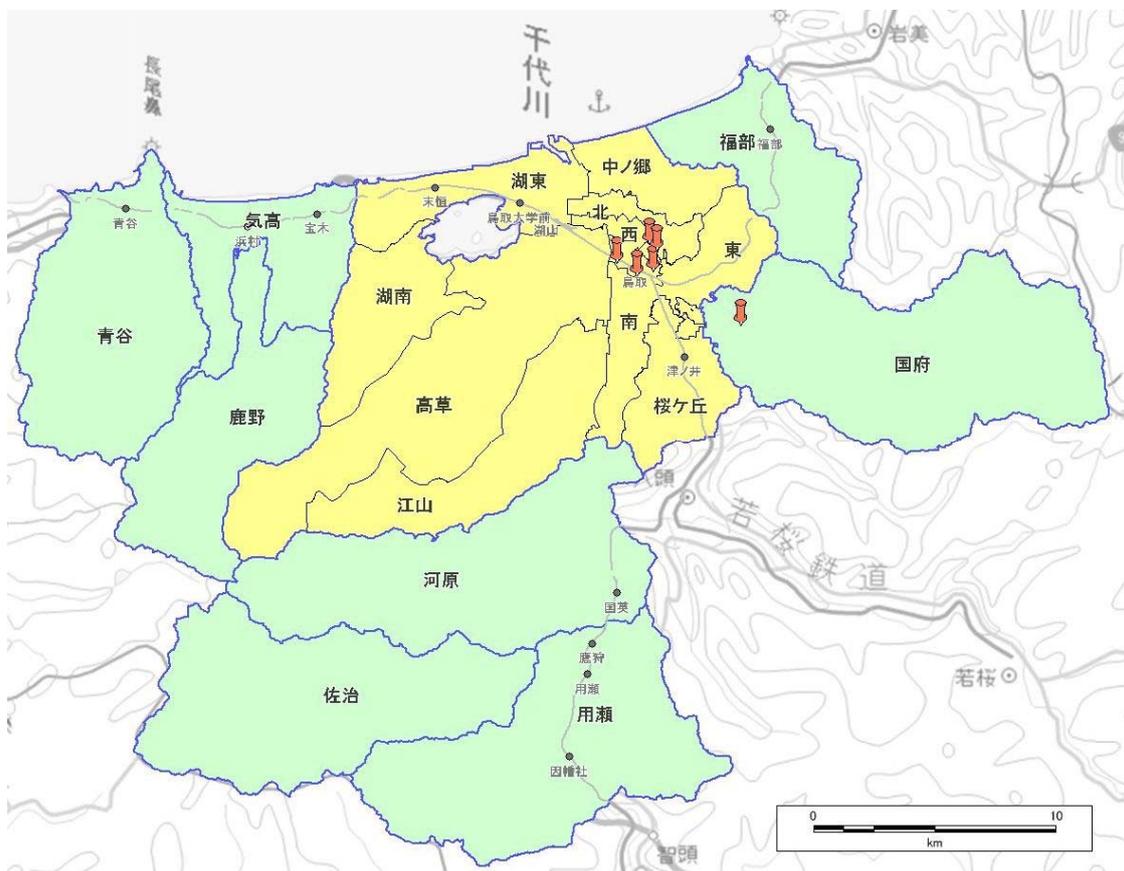
【供給面】

施設総数：6 総延床面積：12,598㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	1	2	2							1							

配置図



施設の種類

施設名	根拠条例	設置目的
市民会館	鳥取市民会館条例	文化の向上と福祉の増進を図るため。
文化センター	鳥取市文化センターの設置及び管理に関する条例	市民の生涯学習の推進並びに学術及び地域文化の発展を図る。

建物の状況

施設名	建築年	延床面積	構造	管理方法	管理者
市民会館	1966	3,672	鉄筋コンクリート造	指定管理	一般財団法人 鳥取市教育福祉振興会
文化センター	1980	6,098	鉄筋コンクリート造	指定管理	一般財団法人 鳥取市教育福祉振興会
福祉文化会館	1973	3,741	鉄筋コンクリート造	一部直営	
人権交流プラザ	1977	1,423	鉄筋コンクリート造	直営	
国府町中央公民館	1985	2,628	鉄筋コンクリート造	直営	
総合福祉センター (さざんか会館)	1990	4,217	鉄筋コンクリート造	指定管理	株式会社さんびる

福祉文化会館は、市庁舎（行政関連施設）との複合施設です。

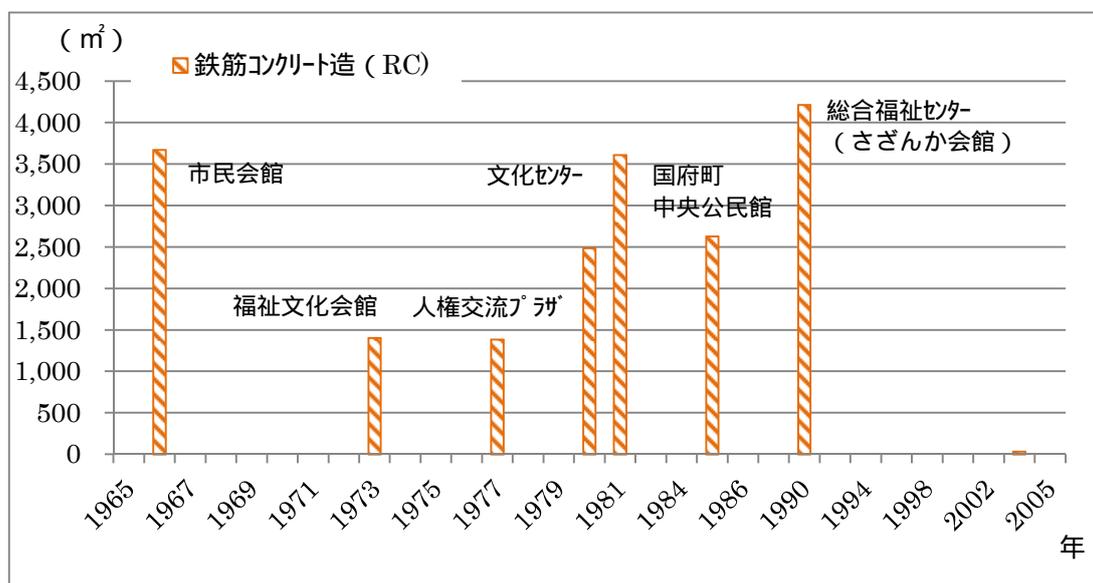
市と（一財）教育福祉振興会の持ち分があり、それぞれが管理を行っています。
人権交流プラザは、中央人権福祉センター（社会福祉施設）との複合施設です。
国府町中央公民館は、中央公民館との複合施設です。

総合福祉センターは、中央保健センター（福祉保健施設）との複合施設です。

【品質面】

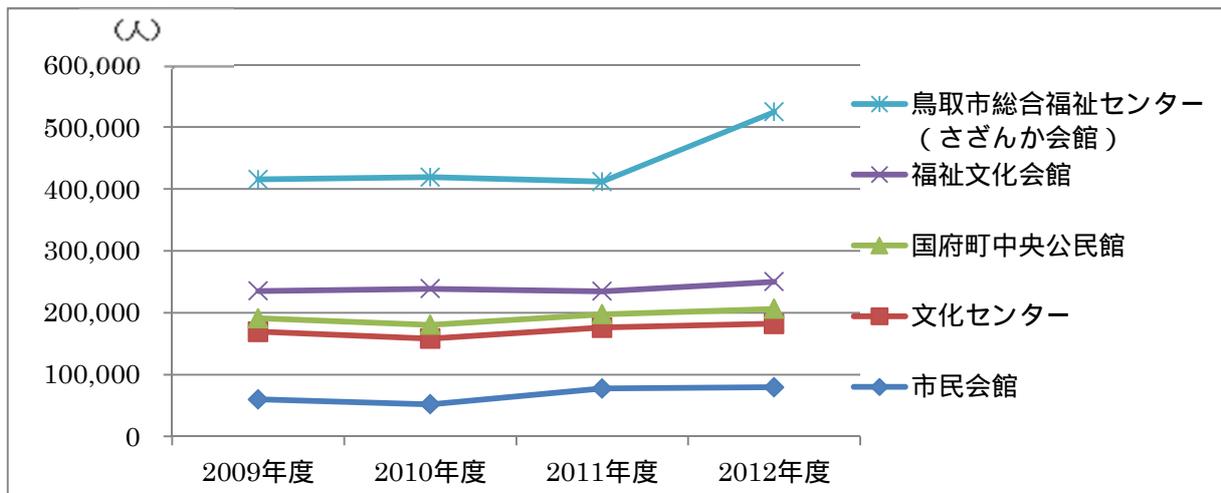
建築年と延床面積

市民会館は築50年近くになりますが、2010年に耐震並びに老朽化改修工事を実施しリニューアルしています。



【利用状況等】

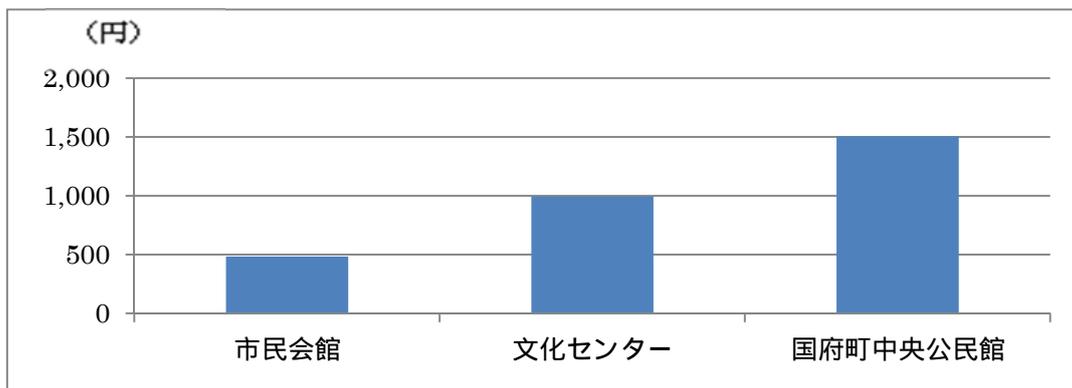
利用者の推移（2009年度～2012年度）



【財務面】

利用者1人あたりの公費負担額

2012年度において、施設維持にかかった公費を利用者数で割り戻し、利用者1人あたりの公費投入額を算出しました。



公費...指定管理者導入施設は、「指定管理料」とし、直営施設は、「施設管理コスト+人件費」とします。

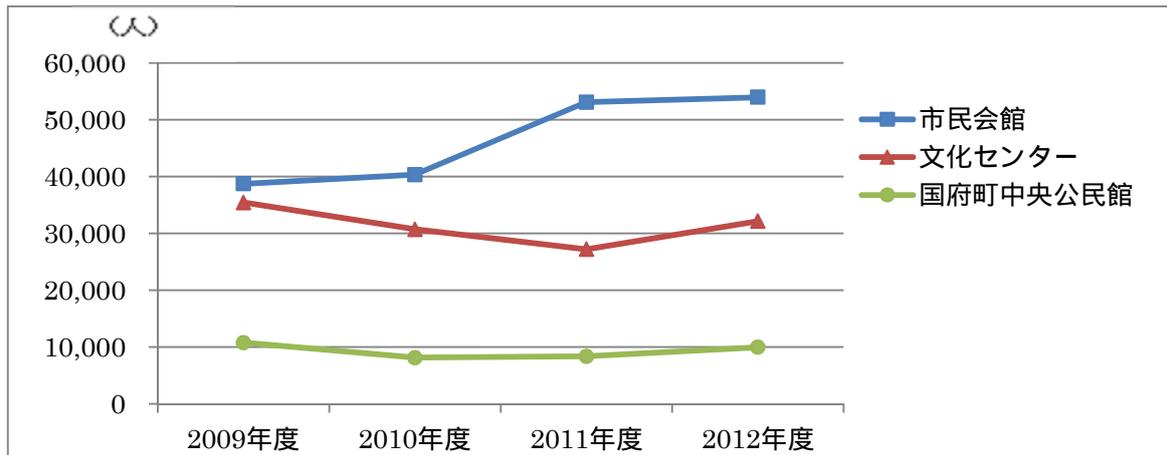
【大ホールについて】

ホールの現状

市民会館、文化センター、国府中央公民館は、固定式の客席や音響、ステージなどが整備された大ホールが整備されています。

施設名	ホール客席数	平日利用料金（9～17時）の場合	利用単位
市民会館	930席	18,900円	半日単位
文化センター	508席	12,600円	半日単位
国府町中央公民館	500席	20,000円	1時間単位

ホール利用者の推移（2009年度～2012年度）



大ホールの実質稼働率

国府町中央公民館は1時間単位に利用でき、1時間を1コマとした場合の稼働率は次のとおりです。

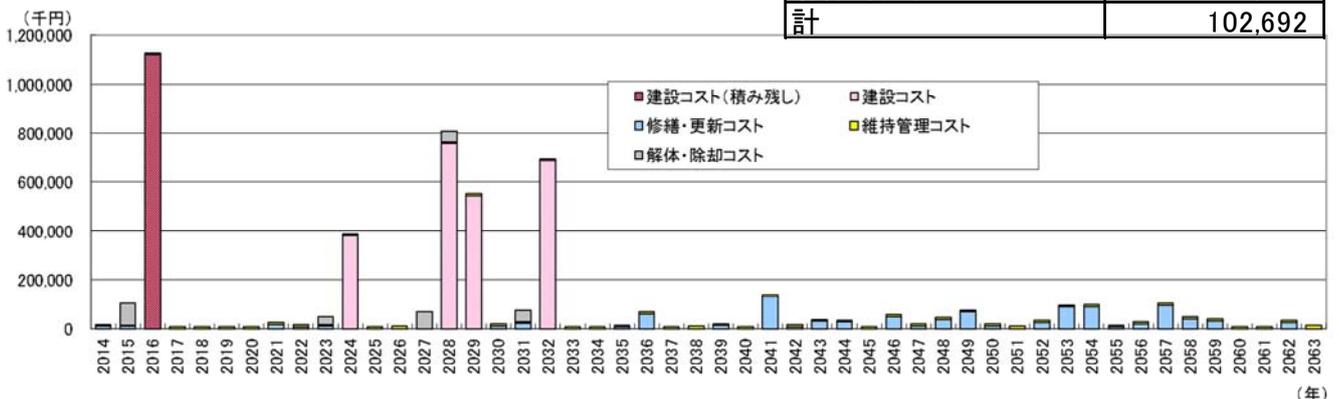
	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
利用可能コマ数	3,939	3,913	4,511	4,537	4,511
稼働コマ件数	230	321	259	記録なし	277
稼働率	5.8%	8.2%	5.7%	-	6.1%

【更新費用】

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は51億3,500万円。年平均1億300万円と試算されます。

50年間の総計		単位：千円
建設コスト	3,495,705	
修繕・更新コスト	985,919	
維持管理コスト	380,104	
解体・除却コスト	272,864	
計	5,134,592	
単年度平均		単位：千円/年
建設コスト	69,914	
修繕・更新コスト	19,718	
維持管理コスト	7,602	
解体・除却コスト	5,457	
計	102,692	



【施設の概要】

市民会館

- ・住 所 鳥取市掛出町 12
- ・開館時間 9:00～22:00 夜間の催しがない場合は 18:00 で閉館
- ・休 館 日 毎月第 3 火曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

火曜日が国民の祝日にあたる場合は、その翌日の休日でない日

- ・集会機能 大ホール 930 席（控室あり）
ホワイエ 453 m²
大会議室 118 m²
小会議室 40 m²
- ・駐 車 場 市役所本庁舎と共同利用
- ・施設概要



2010 年（平成 22 年）に耐震並びに老朽化改修工事を実施し、リニューアルしています。
市有施設の中で最大のホールを有し、各種コンサートはもちろん、演劇、講演会、集会等多彩な舞台構成に利用できます。

近隣類似施設として鳥取県所有の“とりぎん文化会館”があります。

国府町中央公民館

- ・住 所 鳥取市国府町庁 380
- ・開館時間 8:30～22:00
- ・休 館 日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
- ・集会機能

多目的ホール（500 席）
大会議室（90 人収容）
視聴覚室（45 人収容）
研修室（4 部屋）

- ・施設概要

国府町中央公民館は、市教育委員会国府町分室が所管し、図書室のほか食生活改善室、娯楽室などを有しています。



文化センター

- ・住 所 鳥取市吉方温泉三丁目 701
- ・開館時間 9:00～22:00
- ・休 館 日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
ホールは第 2・第 4 火曜日も休館
- ・集会機能 大ホール 508 席（控室、練習室あり）
展示ホール 196 m²、ギャラリー 57 m²
大会議室 294 m²
小会議室 65 m²、64 m²、54 m²
文化活動スペース



・駐 車 場 91 台

・施設概要

文化センターには、「生涯学習センター」、「視聴覚ライブラリー」、「こども科学館」、「文化ホール」が設置されています。

市民の生涯学習の振興を図ることを目的として設置された、生涯学習センターは、資質向上のための研修や生涯学習ネットに関する学級・講座・イベント等の情報を市民に提供しているほか、“0・1・2・3 子育てひろば”をはじめ複数の民間団体が入居し、活動の拠点となっています。

鳥取市こども科学館は、こどもたちの科学・芸術などの関心を高めるための実験・実習などを行う学びの場としてさまざまな教室を企画運営しています。

鳥取市視聴覚ライブラリーでは、学校教育や生涯学習における視聴覚教育の振興を図るため、幼児から高齢者までを対象として、人権問題、平和教育、安全教育、家庭教育、青少年教育、環境問題、娯楽アニメなどの映像教材を揃えています。

福祉文化会館

・住 所 鳥取市西町二丁目3 1 1

・開館時間 月～土 9:00～21:00

日・祝 9:00～17:00

・休 館 日 年末年始(12月29日～1月3日)

・集会機能 大会議室 298 m²
会議室 120 m²、88 m²、83 m²
和室

・駐 車 場 約20台(近隣の片原駐車場を利用可)

・施設概要

福祉文化会館は、市監査委員会事務局や市選挙管理委員会事務局といった市庁舎機能のほか、自治連合会事務局や男女共同参画センターなど各種団体が入居しています。

施設の一部は、財団法人鳥取市教育福祉振興会が所有(1,404 m²)しており、指定管理者として運営しています。近隣の類似施設(集会施設)としては鳥取商工会議所(産業会館)があります。



人権交流プラザ

・住 所 鳥取市幸町151

・開館時間 月～土 9:00～21:00(日曜は要相談)

・休 館 日 日曜・祝日
年末年始(12月29日～1月3日)

・集会機能 ホール 376 m²
会議室 132 m²、47 m²
調理室



・駐 車 場 100 台

・施設概要

人権交流プラザは、人権啓発を推進し、及び市民の交流を促進することにより、人権が尊重される社会の実現に資することを目的として設置されています。

施設は、中央人権福祉センターが所管しており、鳥取市人権情報センターも入居しており、各種会合に利用されています。

総合福祉センター（さざんか会館）

・住 所 鳥取市富安 2 丁目 104-2

・開館時間 9：00～21：00

・休 館 日 年末年始（12月29日～1月3日）

・集会機能 ホール 402 m²（240 席）

会議室 71 m²、61 m²

和室 70 m²

・駐 車 場 88 台（市駅南庁舎の駐車場も利用可）

・施設概要



総合福祉センター（さざんか会館）は、市中央保健センターなど福祉保健施設の中核機能のほか、市社会福祉協議会が入居しています。隣接する高齢者福祉センターや市障害者福祉センター（さわやか会館）とともに福祉ゾーンの中核的な施設です。

高齢者福祉センターの集会機能

和室 91 m²

研修室 93 m²、52 m²、51 m²

体育館 446 m²

障害者福祉センター（さわやか会館）の集会機能

多目的室

研修室

第3節 社会教育施設

小分類：中央公民館、社会福祉施設、文化学習施設、生涯学習施設

1 中央公民館（基幹公民館）

中央公民館は、全市にわたり統一的な処理を行う事業や、各地区公民館等との連絡調整に関する事業などを行っています。

また、基幹公民館は、設置区域内の統一的な処理を行う事業や、各地区公民館等との連絡調整に関する事業などを行っています。

基幹公民館は、教育委員会の所管となっており、用瀬・気高町中央公民館を除いて、図書室が設置されています。そのほか、体育館など他施設と一緒に設置されている鹿野町中央公民館など、様々な形態があります。

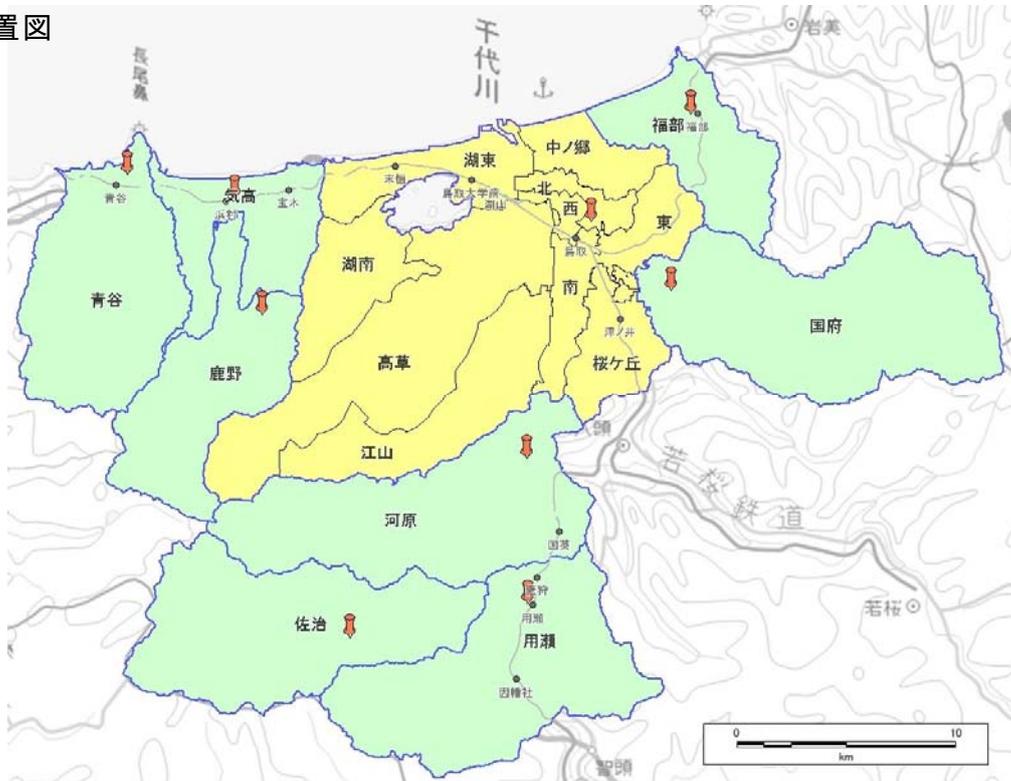
【供給面】

施設総数：10 総延床面積：9,673 m²

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
			2							1	1	1	1	1	1	1	1

配置図



設置根拠

各中央公民館は、鳥取市における社会教育を振興し、住民の福祉を図るため、「鳥取市公民館条例」に基づいて設置及び管理されています。

建物の状況

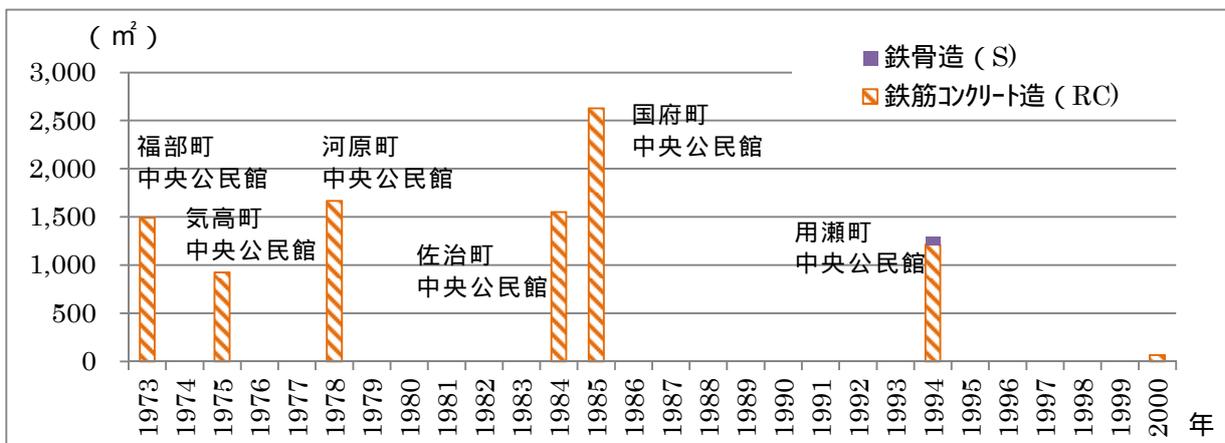
施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
中央公民館	上魚町	1968	2,252	鉄筋コンクリート造
鳥取中央公民館	上魚町	1968	2,252	鉄筋コンクリート造
国府町中央公民館	国府町庁	1985	2,628	鉄筋コンクリート造
福部町中央公民館	福部町細川	1973	1,489	鉄筋コンクリート造
河原町中央公民館	河原町渡一木	1978	1,667	鉄筋コンクリート造
用瀬町中央公民館	用瀬町別府	1994	1,214	鉄筋コンクリート造
佐治町中央公民館	佐治町加瀬木	1984	1,549	鉄筋コンクリート造
気高町中央公民館	気高町浜村	1975	923	鉄筋コンクリート造
鹿野町中央公民館	鹿野町鹿野	1981	2,377	鉄筋コンクリート造
青谷町中央公民館	青谷町青谷	1993	3,192	鉄筋コンクリート造

公民館の種別と施設状況

施設名	種別	併設機能等
中央公民館	中央公	市役所第二庁舎内
鳥取中央公民館	基幹公	市役所第二庁舎内
国府町中央公民館	基幹公	大ホール（集会施設）を有する
福部町中央公民館	基幹公	福部地区公民館を併設
河原町中央公民館	基幹公	河原町老人福祉センターを併設
用瀬町中央公民館	基幹公	用瀬町民会館内
佐治町中央公民館	基幹公	佐治地区公民館を併設
気高町中央公民館	基幹公	浜村地区公民館を併設
鹿野町中央公民館	基幹公	鹿野地区公民館を併設。農業者トレーニングセンターを有する
青谷町中央公民館	基幹公	青谷町総合支所内

【品質面】

建築年と構造別延床面積

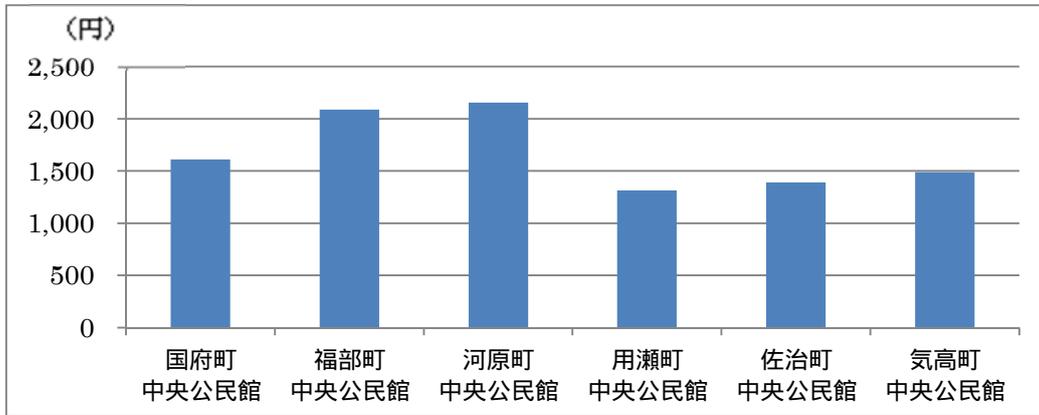


文化センター内の中央公民館、体育館と一体化した鹿野中央公民館、総合支所内の青谷中央公民館を除く。

【財務面】

光熱水費

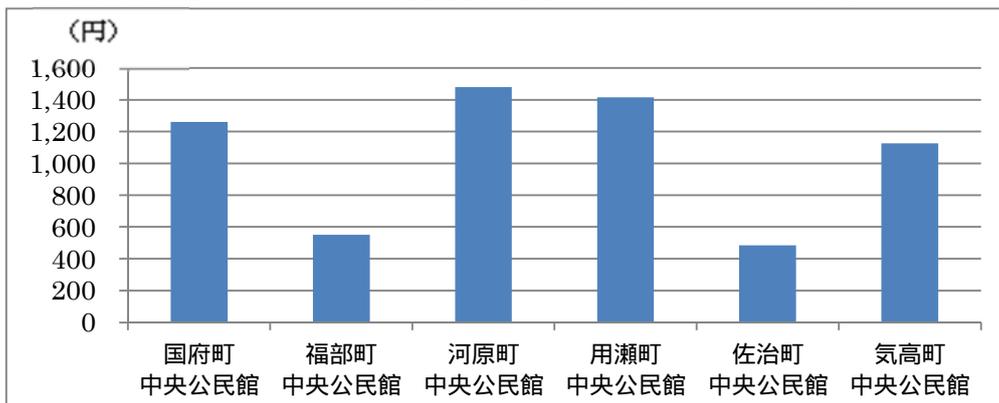
2012年度の光熱水費は、2,659万円/年であり、1館平均は443万円/年となっています。施設面積1㎡あたりの光熱水費は、次のとおりです。



文化センター内の中央公民館、体育館と一体化した鹿野中央公民館、総合支所内の青谷中央公民館を除く。

維持管理費

2012年度の維持管理費は、1,031万円/年であり、1館平均は172万円/年となっています。施設面積1㎡あたりの維持管理費は、次のとおりです。



文化センター内の中央公民館、体育館と一体化した鹿野中央公民館、総合支所内の青谷中央公民館を除く。

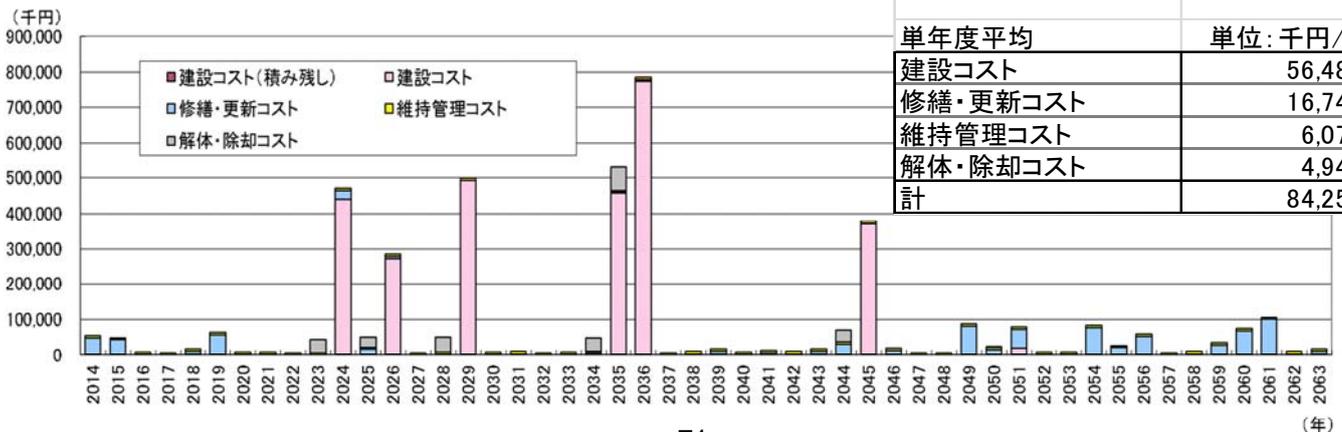
【更新経費】

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は42億1,000万円。年平均8,400万円と試算されます

50年間の総計		単位: 千円
建設コスト	2,824,150	
修繕・更新コスト	837,329	
維持管理コスト	303,908	
解体・除却コスト	247,275	
計	4,212,662	

単年度平均		単位: 千円/年
建設コスト	56,483	
修繕・更新コスト	16,747	
維持管理コスト	6,078	
解体・除却コスト	4,946	
計	84,253	



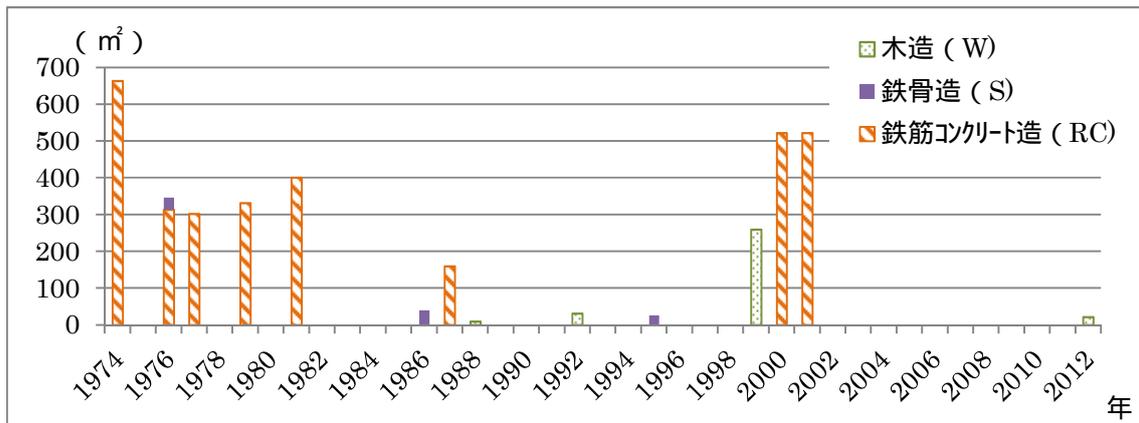
建物の状況

名称	位置	延床面積	建築年	主構造	備考
人権交流プラザ (中央人権福祉センター)	幸町	1,423	1977	鉄筋コンクリート造	
高草人権福祉センター	古海	522	2000	鉄筋コンクリート造	
江山人権福祉センター	下味野	522	2001	鉄筋コンクリート造	
南人権福祉センター	八坂	664	1974	鉄筋コンクリート造	
西人権福祉センター	西品治	341	1979	鉄筋コンクリート造	
国府人権福祉センター	国府町麻生	503	1981	鉄筋コンクリート造	
河原人権福祉センター	河原町曳田	346	1976	鉄骨造	
用瀬人権文化センター	用瀬町別府	1,303	1994	鉄筋コンクリート造	
佐治人権福祉センター	佐治町古市	301	1977	鉄筋コンクリート造	
気高人権福祉センター	気高町下光元	435	1987	鉄筋コンクリート造	

中央人権福祉センターは、鳥取市人権交流プラザ内に設置（ホール機能を有する）
用瀬人権文化センターは、用瀬町民会館内に設置（教育委員会用瀬町分室所管）

【品質面】

建築年と構造別延床面積



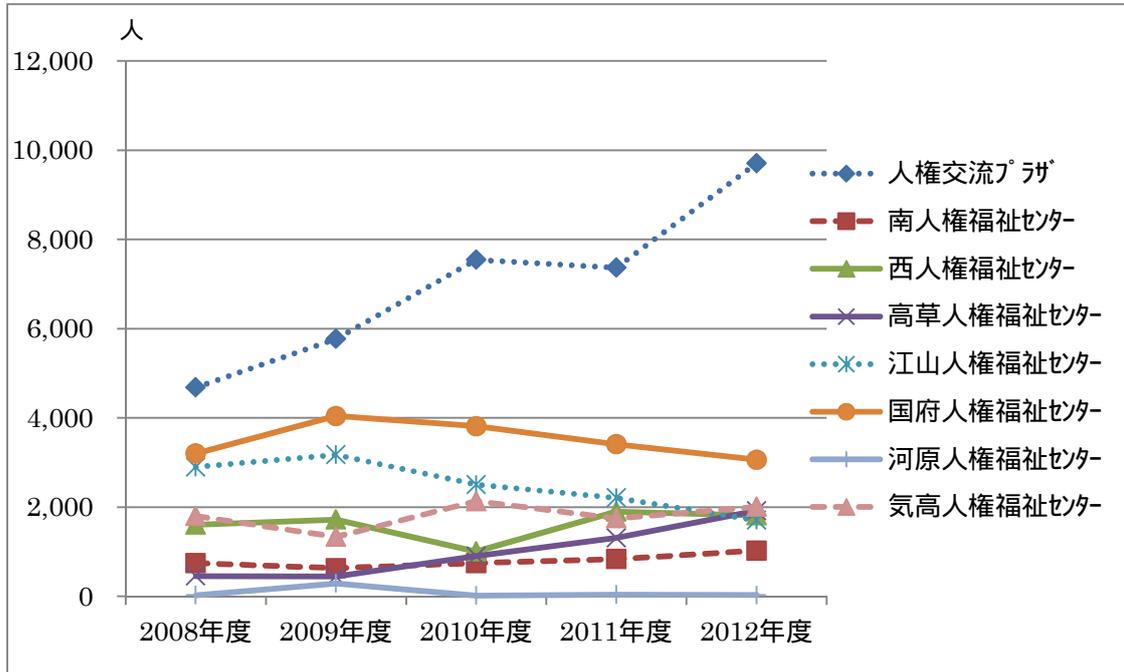
人権交流プラザは広域集会施設（大会議室ホール）、用瀬人権文化センターは中央公民館（用瀬町中央公民館）に含むため対象外

利用料金

時間区分	午前 9 時 ~ 午後 5 時	午後 5 時 ~ 午後 9 時
大会議室	1 時間につき 70 円	1 時間につき 140 円
大会議室以外の各室	1 時間につき 50 円	1 時間につき 100 円

【利用状況】

利用者の推移

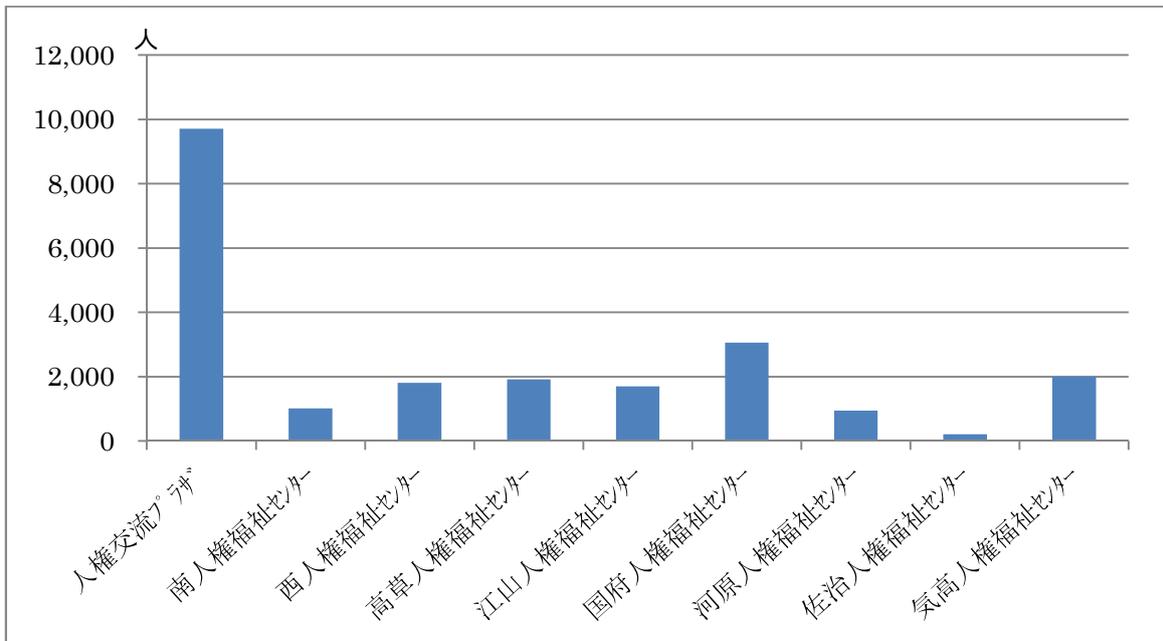


用瀬人権文化センターは中央公民館（用瀬町中央公民館）を参照

利用状況（貸館部分）

2012年度における利用状況は次のとおりです。

なお、人権交流プラザ（中央人権福祉センター）は、グラフ以外に大ホール（利用者数8,591人）があり、全体で18,297人の利用がありました。

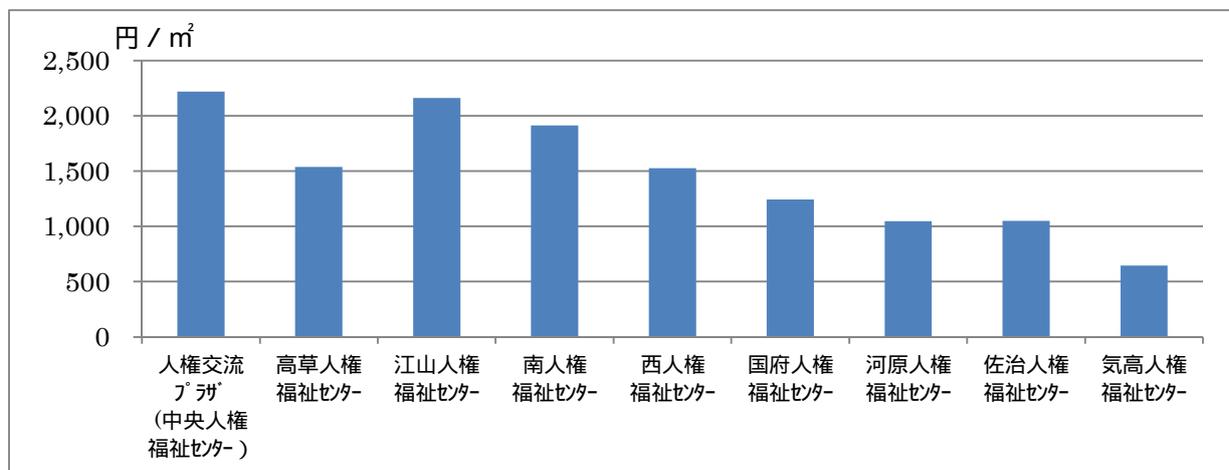


用瀬人権文化センターは中央公民館（用瀬町中央公民館）を参照

【財務面】

光熱水費

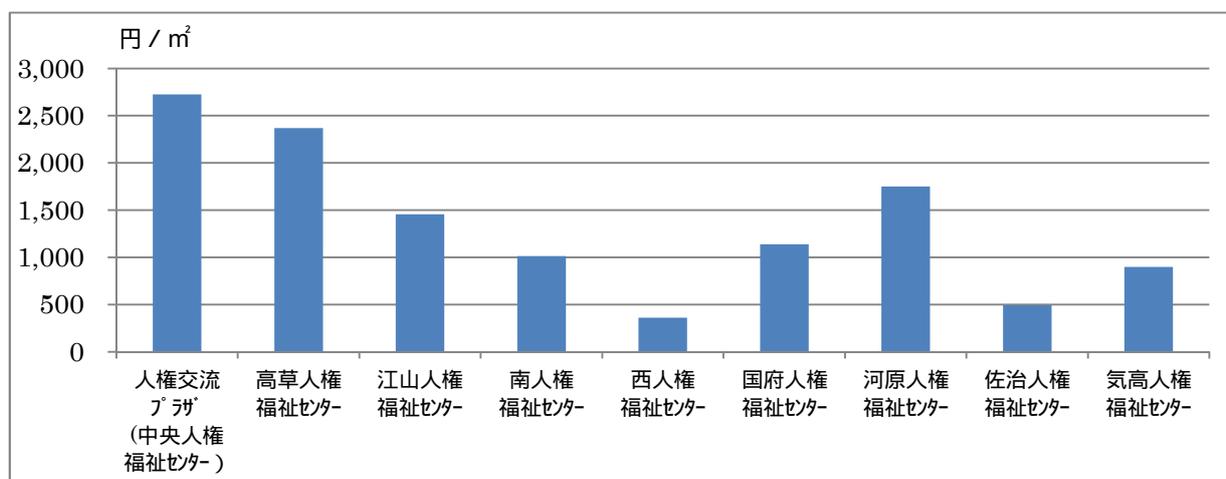
2012年度に発生した光熱水費は847万円であり、各センターにおける1㎡あたりの光熱水費は次のとおりです。



用瀬人権文化センターは中央公民館（用瀬町中央公民館）を参照

維持管理費

2012年度に発生した9センターの維持管理費は839万円であり、各センターにおける1㎡あたりの維持管理費は次のとおりです。



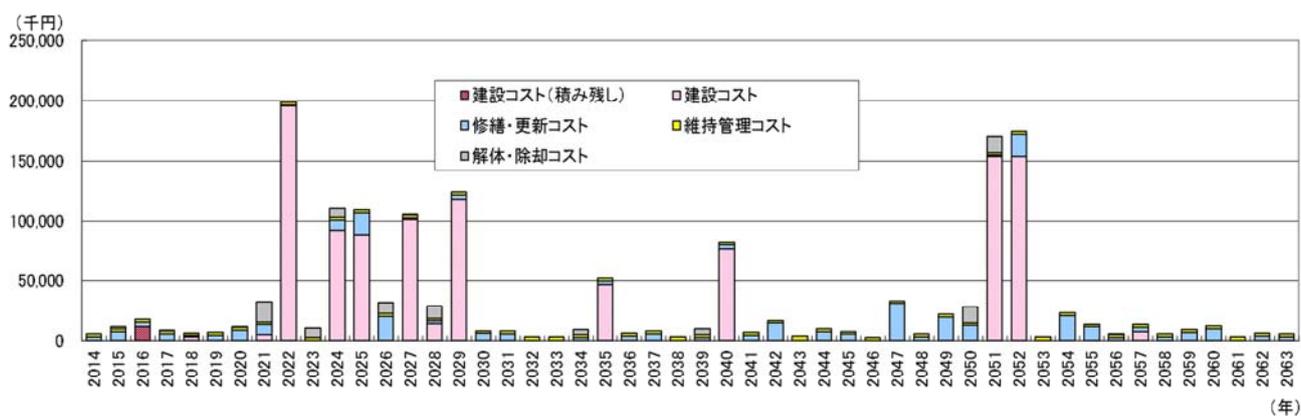
用瀬人権文化センターは中央公民館（用瀬町中央公民館）を参照

【更新経費】

今後 50 年の修繕・更新費用の試算

今後 50 年間に発生する修繕・更新費用は 15 億 8,700 万円。年平均 3,100 万円と試算されます。

50年間の総計	単位:千円
建設コスト	1,068,074
修繕・更新コスト	316,067
維持管理コスト	110,985
解体・除却コスト	92,226
計	1,587,352
単年度平均	単位:千円/年
建設コスト	21,361
修繕・更新コスト	6,321
維持管理コスト	2,220
解体・除却コスト	1,845
計	31,747



3 文化学習施設

文化学習施設は、市民文化の向上や伝統的郷土芸能文化による地域の活力の向上を図るために整備されています。

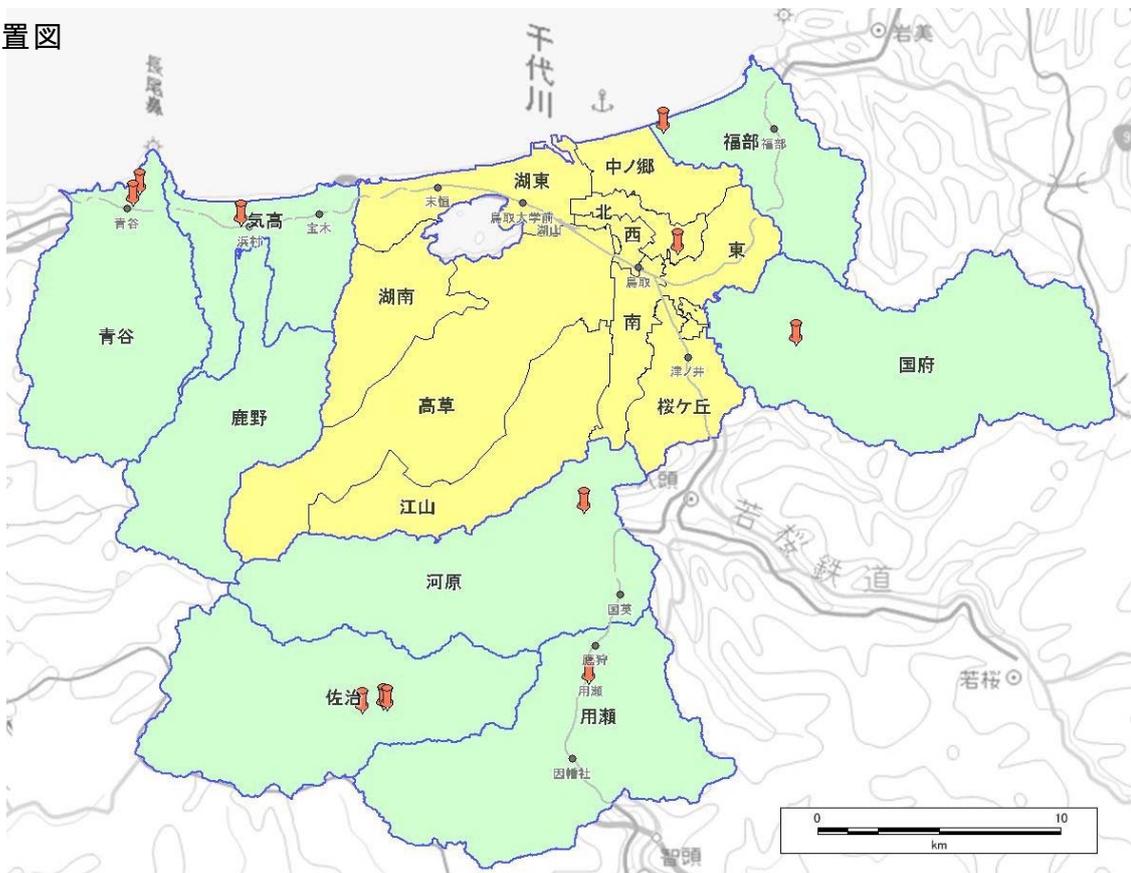
【供給面】

施設総数：12 総延床面積：6,822㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
			1							1	1	1	1	4	1		2

配置図



市条例で定められている文化学習施設の種類

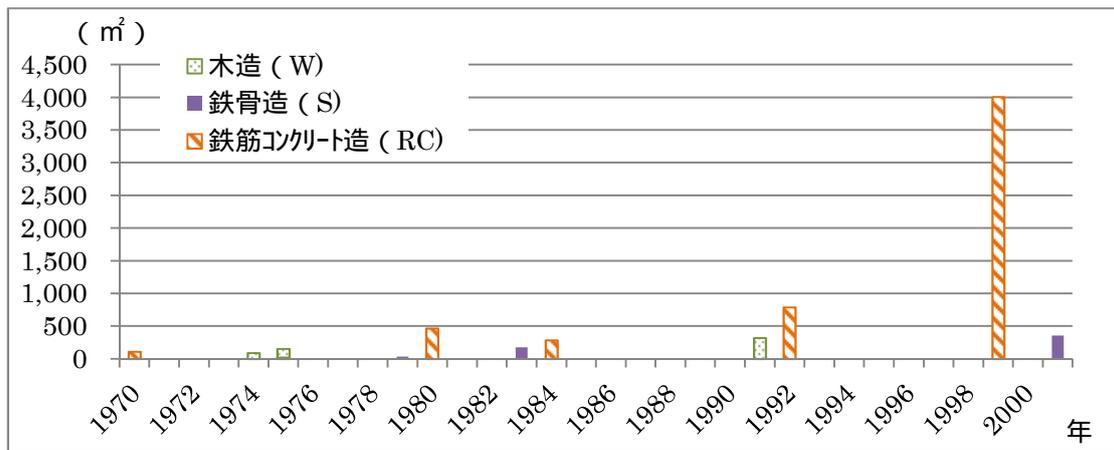
施設名	設置目的（条例上）
鳥取市歴史博物館	市民文化の向上及び発展に寄与する。
河原歴史民俗資料館	歴史資料、民俗資料等の保存及び活用を図り、市民文化の向上と学術の発展に資する。
用瀬郷土歴史館	
佐治歴史民俗資料館	
あおや郷土館	市民の教育、学術及び文化の発展に資する。
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡から発掘された貴重な遺物を展示し、市民文化の向上と学術の発展に資する。
佐治町和紙民芸館	地域の特産民芸品の発展と観光の振興を図る。
佐治町郷土文化保存伝習施設	伝統的郷土芸能文化により地域の活力の向上を図る。

主な建物の状況

施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
鳥取市歴史博物館	上町	1999	4,007	鉄筋コンクリート造
河原歴史民俗資料館	河原町渡一木	1975	128	木造
用瀬郷土歴史館	用瀬町用瀬	1984	287	鉄筋コンクリート造
佐治歴史民俗資料館	佐治町福園	1974	91	木造
” (ふるさと歴史館)	佐治町福園	1991	321	木造
佐治町郷土文化保存伝習施設	佐治町福園	1980	470	鉄筋コンクリート造
佐治町和紙民芸館	佐治町加茂	1983	182	鉄骨造
あおや郷土館	青谷町青谷	1992	723	鉄筋コンクリート造
青谷上寺地遺跡展示館	青谷町青谷	2001	359	鉄骨造

【品質面】

建築年と構造別延床面積



観覧料 (利用料)

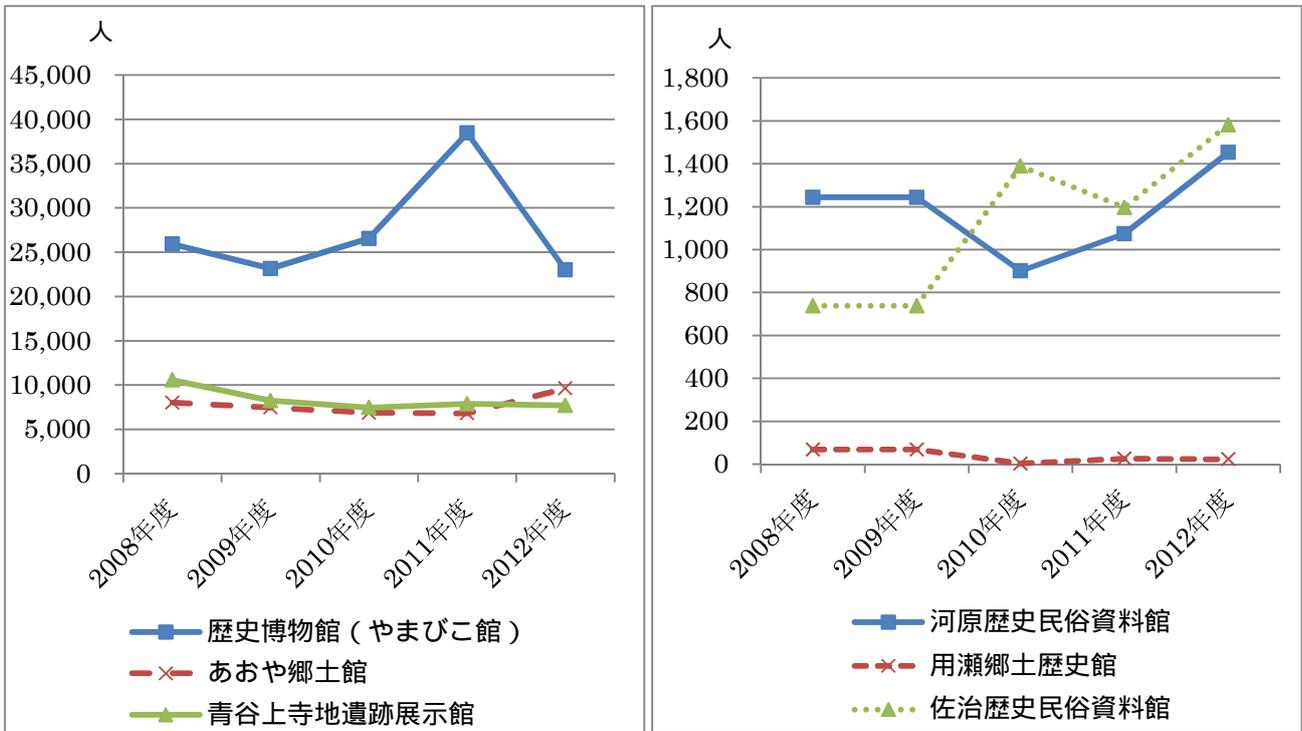
多くの施設が無料で観覧できる状態にあります。

区 分		観覧料(1人につき)	
		個人	団体
鳥取市歴史博物館	一般	300 円	240 円
	高校生以下、65 歳以上	無料	無料
河原歴史民俗資料館		無料	無料
用瀬郷土歴史館		無料	無料
佐治歴史民俗資料館	一般	100 円	50 円
	小学生、中学生	無料	無料
	障害者等、小学校就学前の者	無料	無料
青谷上寺地遺跡展示館 ()内は企画展観覧料	一般	無料(1,000 円以内)	無料(800 円以内)
	小学生、中学生	無料	無料
	高校生	無料(500 円以内)	無料(400 円以内)
	障害者等、小学校就学前の者	無料	無料
あおや郷土館 ()内は企画展観覧料	一般	無料(1,000 円以内)	無料(800 円以内)
	小学生、中学生	無料	無料
	高校生	無料(500 円以内)	無料(400 円以内)
	障害者等、小学校就学前の者	無料	無料
佐治町和紙民芸館		規定なし	規定なし
佐治町郷土文化保存伝習施設		規定なし	規定なし

【利用状況】

利用者の推移

文化学習施設の多くは、本市条例に基づく行政財産となっていますが、設置目的のとおり利用されていない施設や利用頻度が低い施設が見られます。



佐治町和紙民芸館は閉鎖中

佐治町郷土文化保存伝習施設は主に学校行事に使用

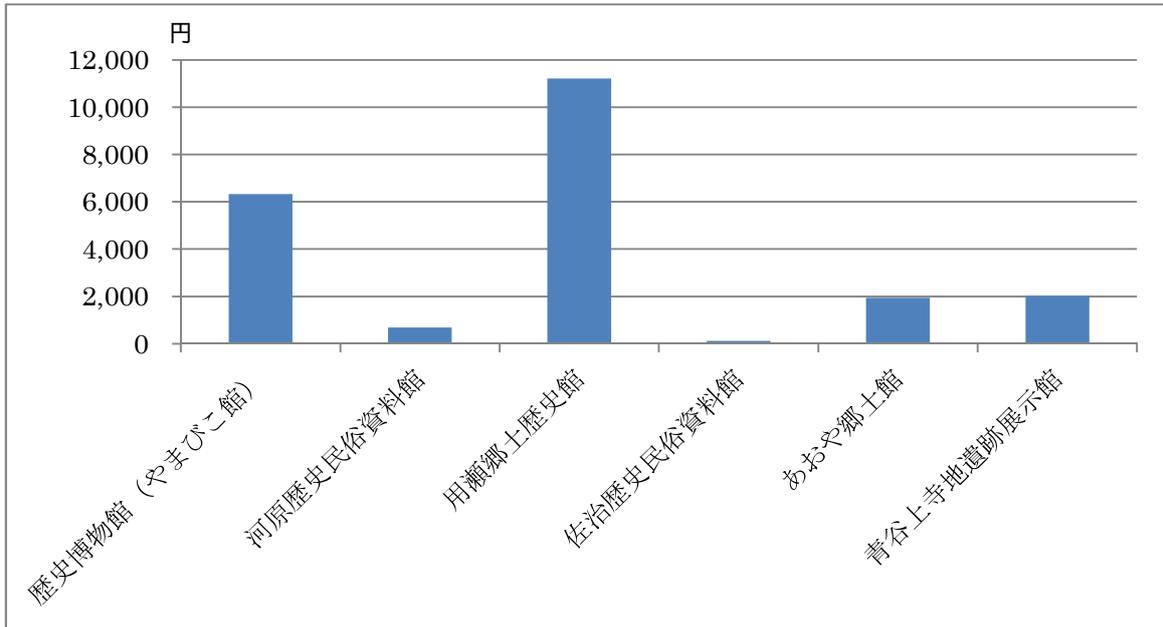
【財務面】

管理方法等

施設名	管理方法	備考
鳥取市歴史博物館	指定管理	指定管理者：公益財団法人鳥取市文化財団 指定管理料：145,448,000円（2012年度）
河原歴史民俗資料館	直営	観覧希望者は、教育委員会分室に申し込む （申込みがあった場合に分室職員が対応）
用瀬郷土歴史館	直営	
佐治歴史民俗資料館	直営	
あおや郷土館	指定管理	指定管理者：公益財団法人鳥取市文化財団
青谷上寺地遺跡展示館	指定管理	指定管理料：34,330,000円（2012年度）

利用者 1 人あたりの公費負担額

2012 年度において、利用者 1 人あたりに発生した公費負担は次のとおりです。



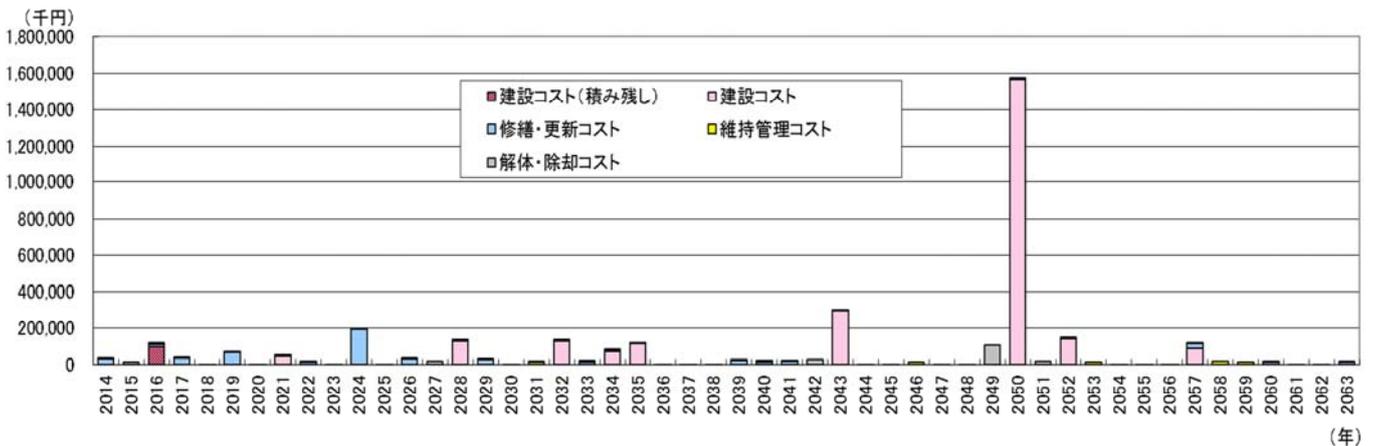
直営施設は、「維持管理費・事業運営費」、指定管理施設は「指定管理料」から算出

今後 50 年の修繕・更新費用の試算

今後 50 年間に発生する修繕・更新費用は 37 億円。年平均 7,400 万円と試算されます。2050 年に歴史博物館 (やまびこ館) が建替え時期を迎えます。

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	2,666,768
修繕・更新コスト	621,737
維持管理コスト	229,058
解体・除却コスト	177,478
計	3,695,041

単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	53,335
修繕・更新コスト	12,435
維持管理コスト	4,581
解体・除却コスト	3,550
計	73,901



4 生涯学習施設（図書館・図書室等）

生涯学習施設は、様々な分野における市民の学習意欲に対応するための施設です。

その中でも、図書館は、図書館法及び地方自治法の規定に基づき、鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例を制定し、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために整備しています。

その他、生涯学習センターと視聴覚ライブラリーを文化センター（広域集会施設）内に設置しています。

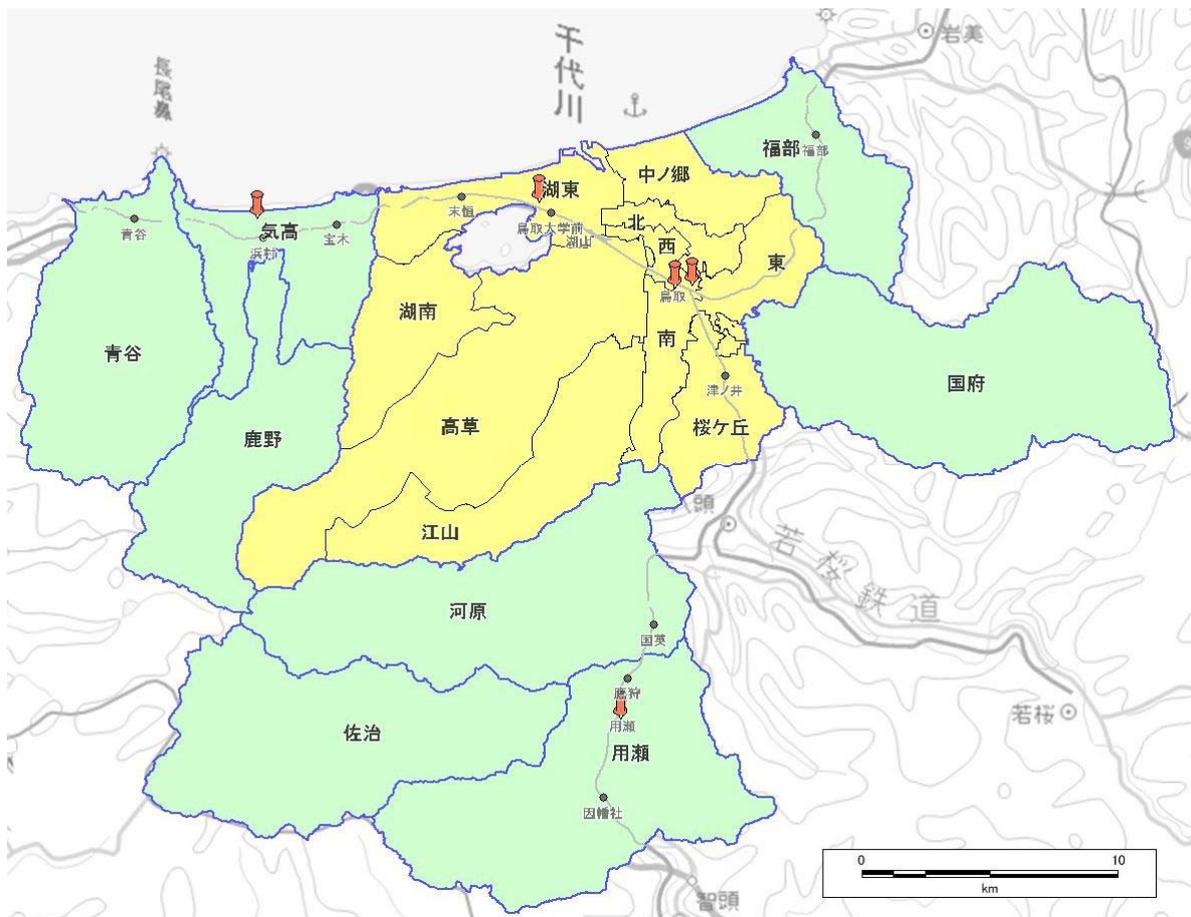
【供給面】

施設総数：6 総延床面積：900㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
		3			1								1		1		

配置図



【供給面・品質面】

建物の状況

施設名	位置	建築年	延床面積	構造	備考
中央図書館	富安二丁目	1989	4,595	鉄筋コンクリート造	
用瀬図書館	用瀬町用瀬	1984	370	鉄筋コンクリート造	
気高図書館	気高町北浜	2003	466	鉄骨造	
学習・交流センター鳥取	湖山町西 一丁目	1997	2,232	鉄筋コンクリート造	
生涯学習センター 視聴覚ライブラリー	吉方温泉 三丁目	1981	6,098	鉄筋コンクリート造	

市役所駅南庁舎内に設置

(中央図書館は2階3,374㎡、1階(車庫)247㎡、地下974㎡)

湖山西地区公民館等と併設

鳥取市文化センター内に設置

以下、学習・交流センター鳥取(国際交流プラザ)は地区集会施設(湖山西地区公民館)、生涯学習センター並びに視聴覚ライブラリーは広域集会施設(文化センター)を参照

図書館(図書室)の現状

【品質面】

開館時間等

図書館を設置していない地域の中央公民館内に「図書室」を設置しています。

施設名	開館時間	休館日
中央図書館	9:00～19:00	火曜・最終木曜・年末年始
用瀬図書館	10:00～18:00	火曜・祝日の翌日・最終木曜・年末年始
気高図書館	10:00～18:00	火曜・祝日の翌日・最終木曜・年末年始
国府 図書室	9:00～17:00	月曜・祝日・年末年始
福部 図書室	8:30～22:00	祝日・年末年始
河原 図書室	8:30～22:00 月曜17:15まで	祝日・年末年始
佐治 図書室	8:30～22:00 月曜17:15まで 日曜・祝祭日17:30まで	年末年始
鹿野 図書室	8:30～22:00 月曜17:15まで	祝日・年末年始
青谷 図書室	8:30～19:00	月曜・祝日・年末年始

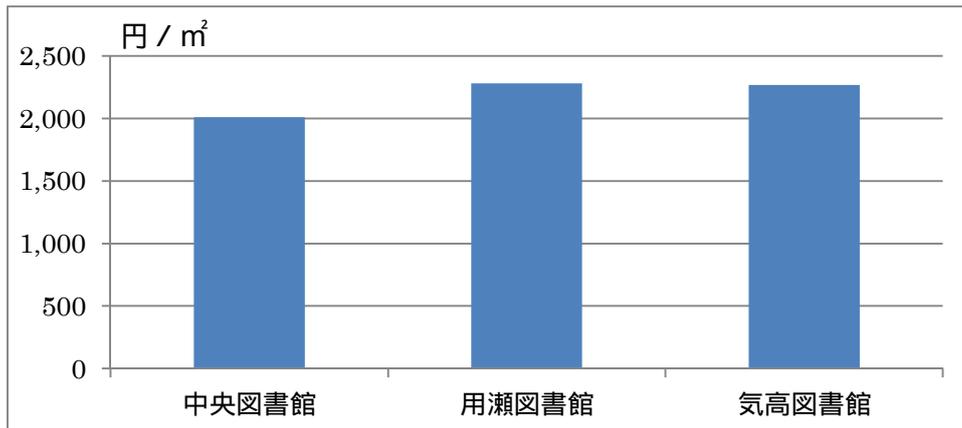
このほか、資料整理のため休館する日があります。

【財務面】

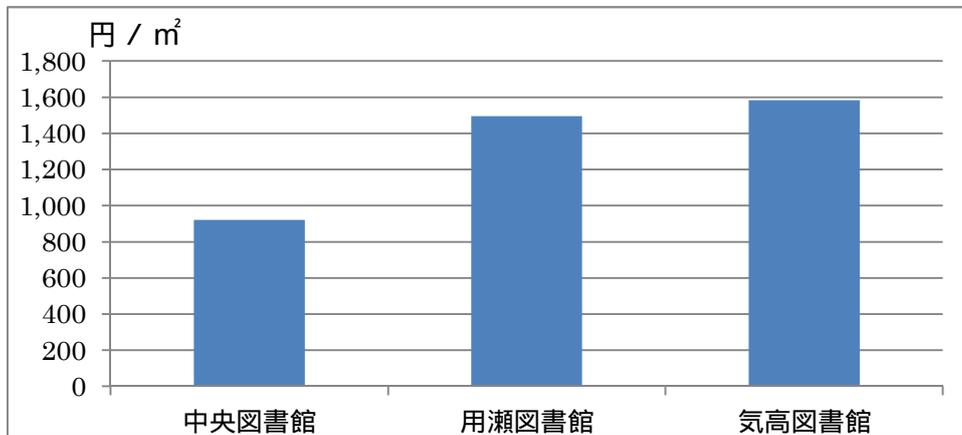
施設管理コスト

2012年度における光熱水費は1,112万円、維持管理費は551万円でした。(中央図書館は面積按分で算出)

1 m²あたりの光熱水費

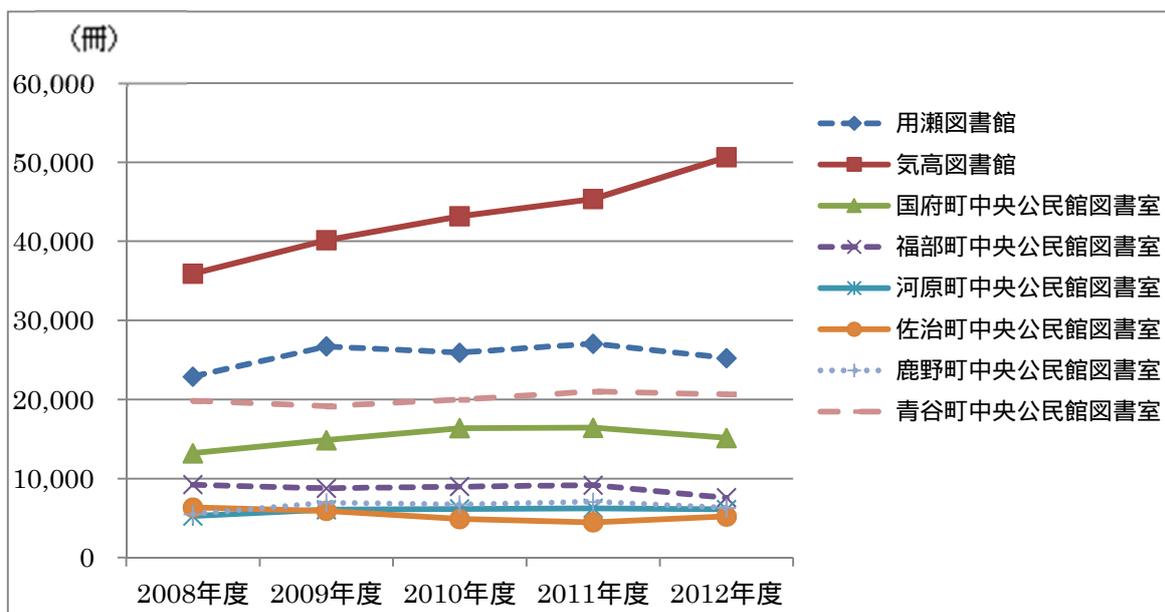


1 m²あたりの維持管理費

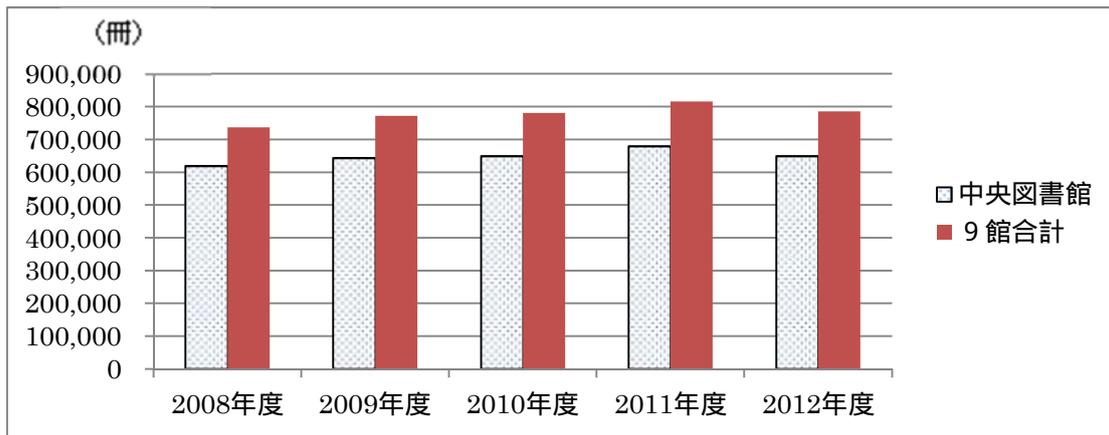


【利用状況】

個人貸出冊数の推移（中央図書館以外）

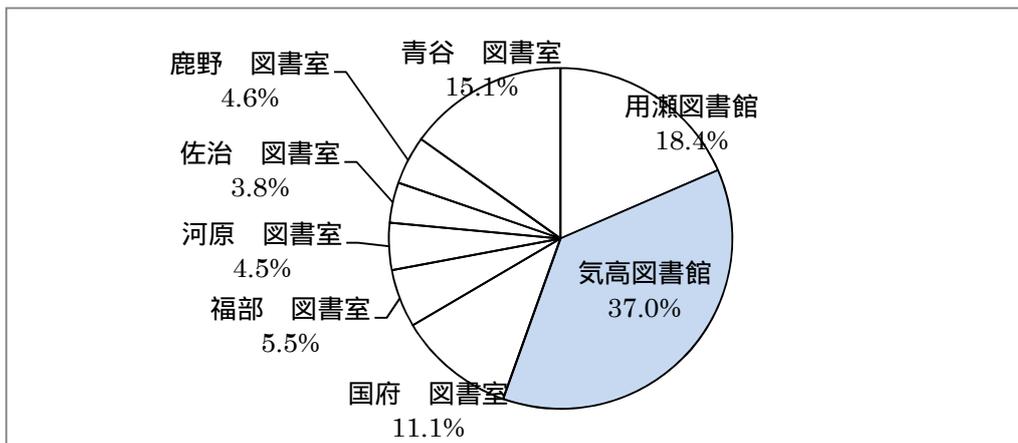


個人貸出冊数の推移（中央図書館と全館）



個人貸出冊数の割合(中央図書館除く)

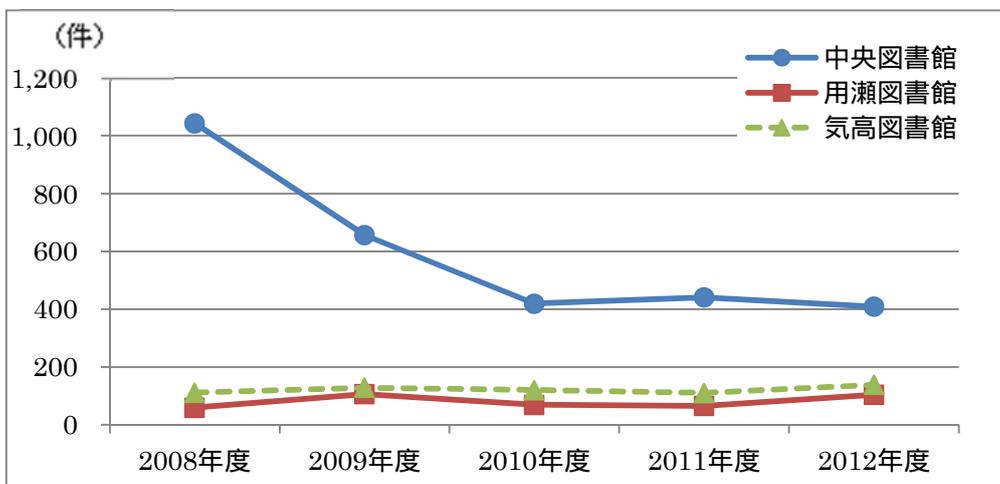
2012年度における個人貸出冊数は気高図書館が最も多くなっています。



中央図書館を含めるとその他の図書館の割合に差が出ないため除いています

レファレンス件数の推移

インターネットの普及によって図書館に寄せられる質問件数は少なくなっています。



レファレンス：調査・研究に対する資料による支援サービス

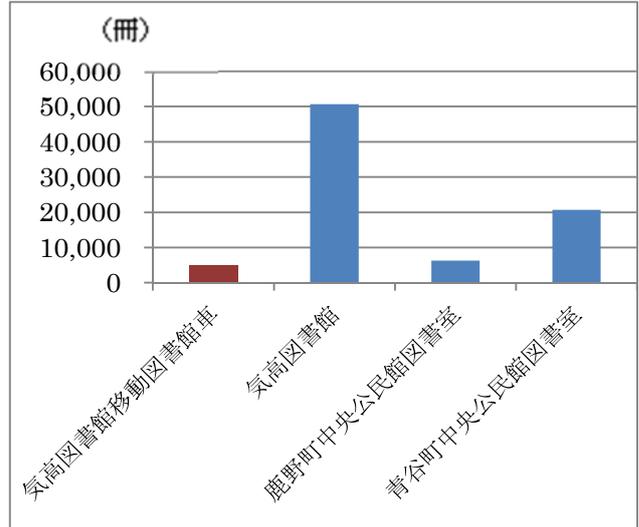
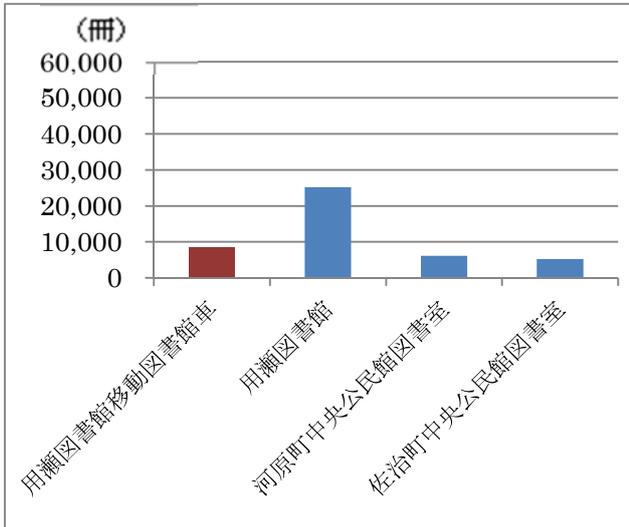
移動図書館車と各図書館・室の貸出冊数比較

図書館が整備されていない地域については、中央公民館図書室が、分室的な機能を果たしていますが、図書館に比べると利用は少なくなっています。

図書館・図書室から遠い地域には、移動図書館車が貸出サービスを行っています。

鳥取南地域（河原、用瀬、佐治）

鳥取西地域（気高、鹿野、青谷）



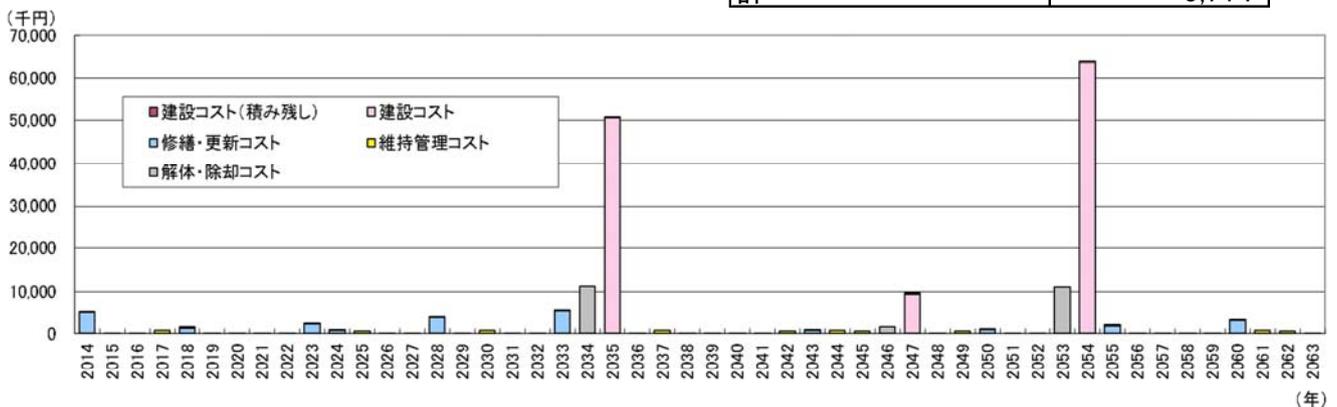
国府・福部地域は、各中央公民館図書室及び中央図書館の移動図書館車が貸出サービスを実施

【更新経費】

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は1億8,500万円。年平均400万円と試算されます。

50年間の総計		単位:千円
建設コスト	123,638	
修繕・更新コスト	27,943	
維持管理コスト	10,871	
解体・除却コスト	23,252	
計	185,704	
単年度平均		単位:千円/年
建設コスト	2,473	
修繕・更新コスト	559	
維持管理コスト	217	
解体・除却コスト	465	
計	3,714	



第4節 スポーツ施設

小分類：体育館・その他体育施設

1 体育館（学校体育館は除く）

市民の体育振興と健康の増進を図るため、身近な体育施設として体育館を整備しています。通常の体育館だけでなく、プールや武道館を併設した体育館や B&G 海洋センター、農林漁業者トレーニングセンターなど大きさや形態は様々ですが、市条例に基づいて設置されています。

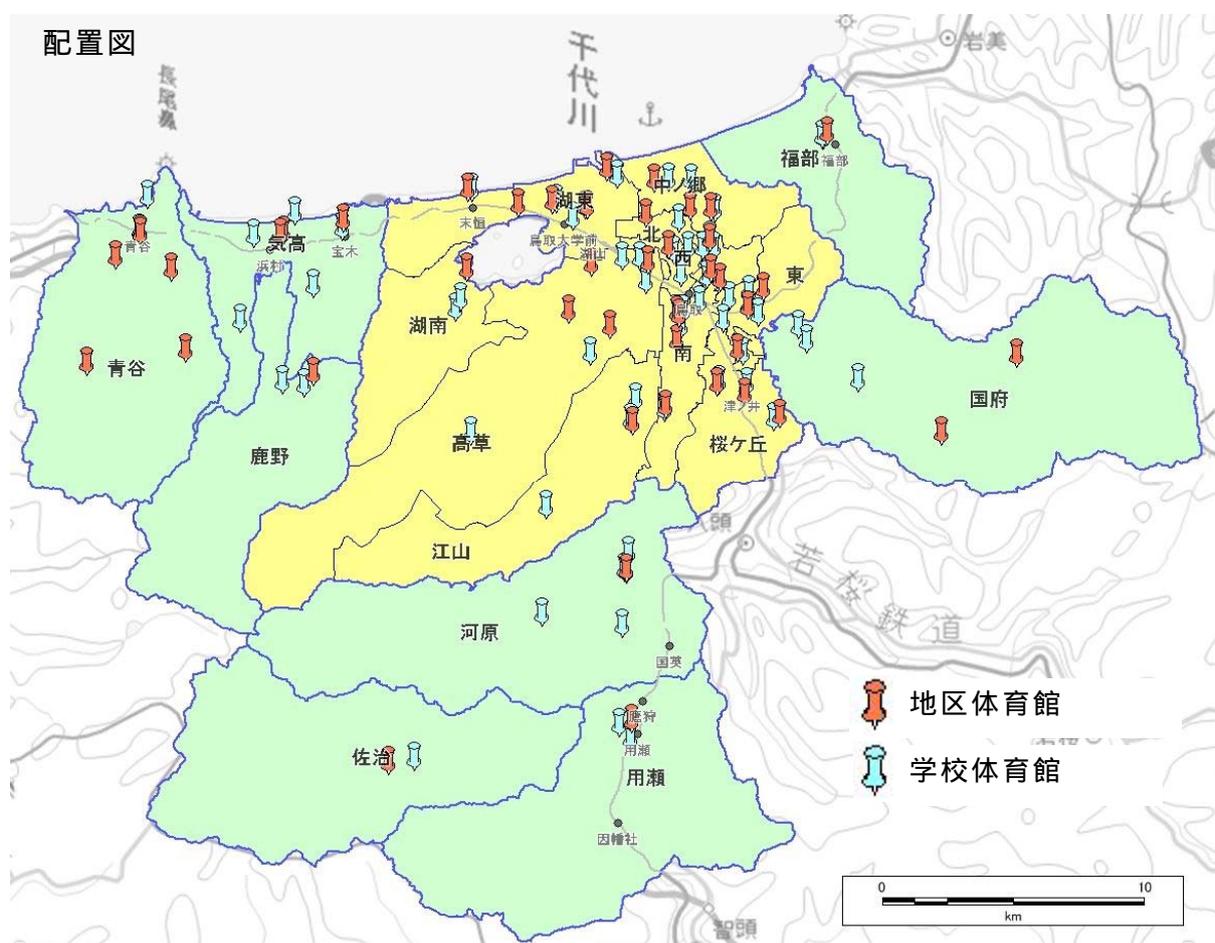
なお、ご利用いただいている“久松会館体育館”、“海洋の家体育館”、“津ノ井体育館”は、一般財団法人鳥取市教育福祉振興会の所有となっておりますが、修繕等は市が行っています。各体育館の施設概要は“教育要覧”をご参照ください。

【供給面】

施設総数：43 総延床面積：47,505㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
3	1	4	3	2	4	1	4	1	3	2	1	2	1	1	3	1	6



市条例で定められている体育館施設の種類

施設名	設置目的（条例上）
体育館	市民の体育振興と健康の増進を図る。
海洋センター体育館	市民の体育振興と健康の増進を図る。
農林漁業者トレーニングセンター	農林漁業者の保健体育の向上と地域連帯感の醸成を図る。
教育センター	教育に関する専門的、技術的事項の調査研究、教職員の研修等を行うとともに、不登校等の児童生徒に対する支援を行い、もって教育水準の向上及び児童生徒の健全な育成を図る。
勤労青少年ホーム	勤労青少年の健全な育成と福祉の増進に寄与する。

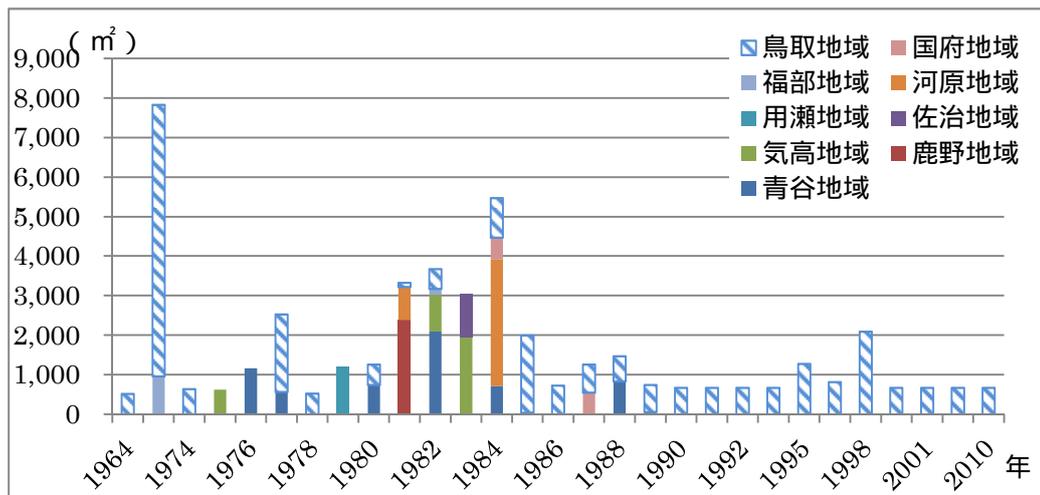
建物の状況

施設名	所在地	建築年	延床面積	種別（条例上）
市民体育館	吉成三丁目	1973	6,874	体育館
湖山体育館	湖山町北六丁目	1980	519	
山の手体育館	吉方町一丁目	1964	500	
豊実体育館	野坂	1982	500	
松保体育館	里仁	1984	500	
岩倉体育館	立川町六丁目	1984	500	
倉田体育館	八坂	1986	724	
稲葉山体育館	卯垣五丁目	1987	705	
千代水体育館	秋里	1988	639	
城北体育館	丸山町	1989	670	
東郷体育館	北村	1990	670	
大正体育館	古海	1991	640	
未恒体育館	伏野	1992	670	
浜坂体育館	浜坂二丁目	1993	670	
美保南体育館	叶	1995	1,269	
富桑体育館	西品治	1997	670	
湖山西体育館	湖山町西二丁目	1998	670	
湖南体育館	金沢	1998	1,417	
米里体育館	古郡家	1999	670	
若葉台体育館	若葉台南二丁目	2001	670	
大和体育館	倭文	2003	670	
中ノ郷体育館	覚寺	2009	670	
国府町大茅体育館	国府町栃本	1987	550	
国府町成器体育館	国府町中河原	1984	554	
福部町体育館	福部町細川	1973	1,116	
河原町総合体育館	河原町曳田	1984	3,214	
河原町勤労者体育館	河原町曳田	1981	839	
用瀬町勤労者体育センター	用瀬町別府	1979	1,203	
気高町体育館	気高町浜村	1975	622	
気高町勤労者体育センター	気高町宝木	1982	929	
青谷町体育館	青谷町善田	1976	1,163	

青谷町中郷体育館	青谷町亀尻	1988	825	
青谷町勝部体育館	青谷町紙屋	1981	737	
青谷町日置体育館	青谷町山根	1977	560	
青谷町日置谷体育館	青谷町奥崎	1984	708	
鳥取市 B&G 海洋センター	三津	1977	1,103	海洋センター
佐治町 B&G 海洋センター	佐治町加茂	1983	1,102	
気高町農業者トレーニングセンター	気高町浜村	1983	1,946	農林漁業者 トレーニングセンター
鹿野町農業者トレーニングセンター	鹿野町鹿野	1981	2,377	
青谷町農林漁業者トレーニングセンター	青谷町露谷	1982	2,087	
鳥取市教育センター	寺町	1985	1,954	教育センター
勤労青少年ホーム体育館	吉成三丁目	1974	559	勤労青少年ホーム
海洋の家体育館	賀露町南五丁目	1978	590	鳥取市教育福 祉振興会所有
津ノ井体育館	桂木	1987	636	
久松会館体育館	東町三丁目	1979	830	

建築年と地域別延床面積

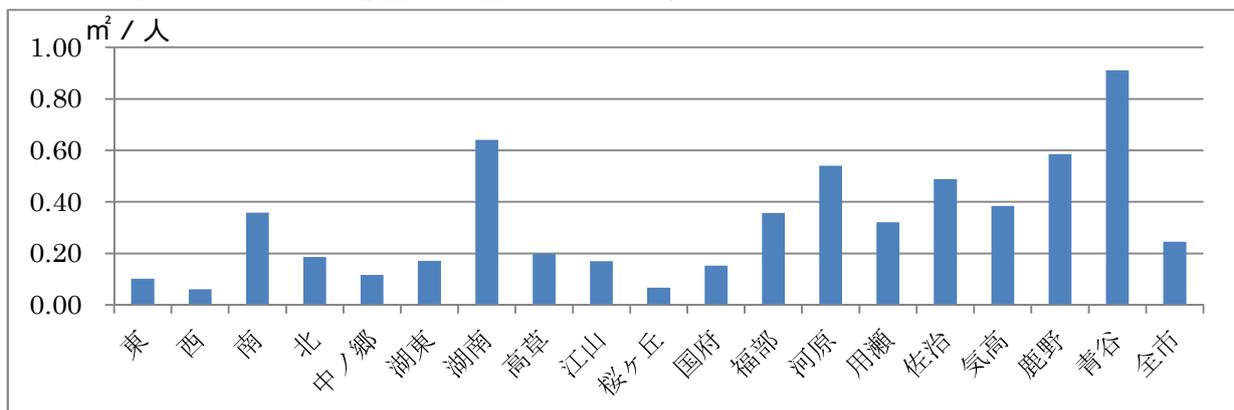
1973年の山は、市民体育館です。また、合併地域における体育館の方が比較的老朽化しているといえます。



地区別の人口一人当たり延床面積

新市域は国府地区を除いて、いずれも全市平均を超えています。

鳥取地域では、湖南地区の数値が高めです。

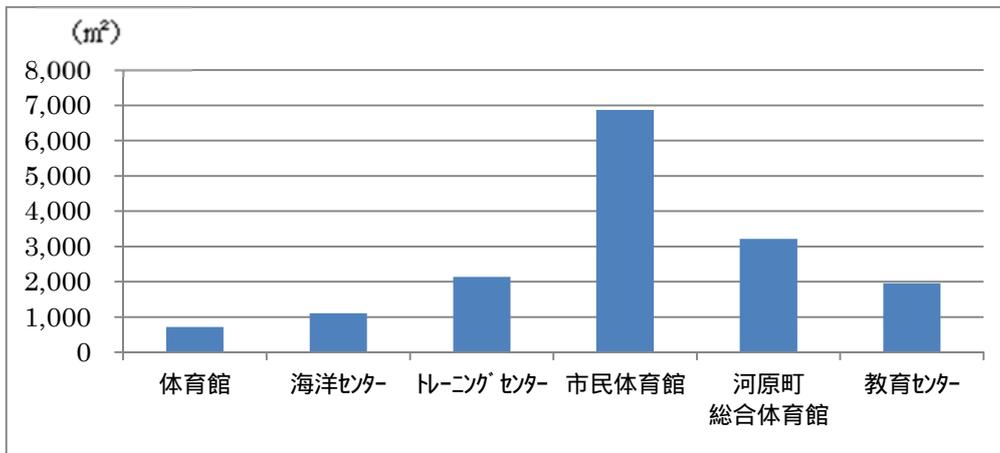


種別毎の延床面積

条例の種別毎に延床面積（平均）を見ると、農林漁業者トレーニングセンターが最も大規模になっています。上位3館は市民体育館、河原町総合体育館、鳥取市教育センター体育館です。

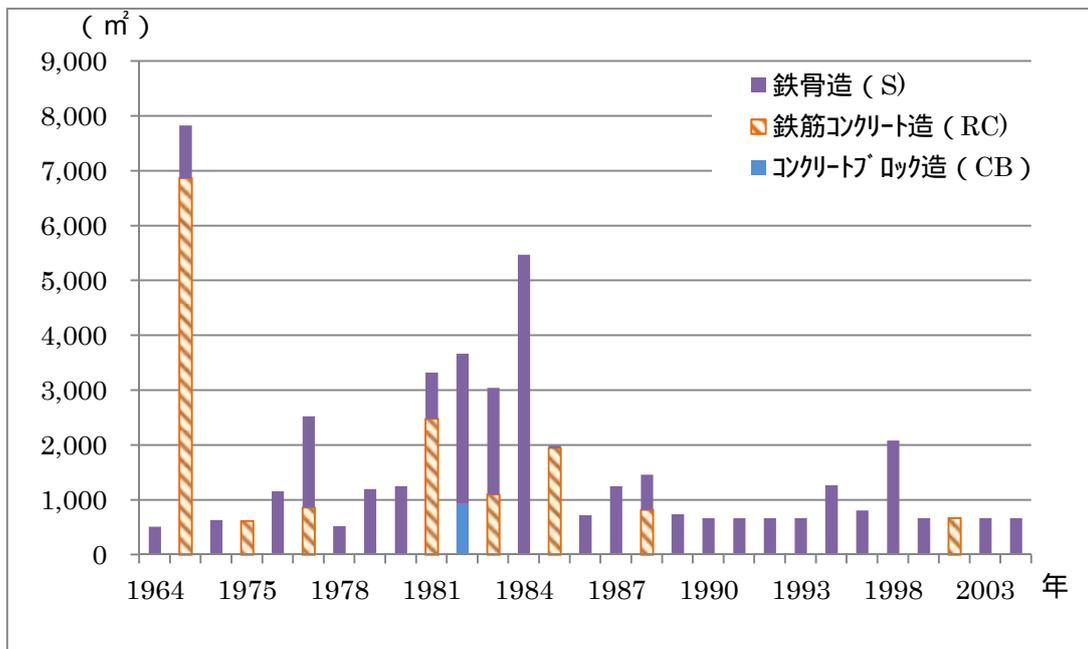
種別	体育館 (平均)	海洋センター 体育館 (平均)	農業漁業者 トレーニングセンター (平均)	市民 体育館	河原町総合 体育館	鳥取市 教育センター
延床 面積	716	1,103	2,137	6,874	3,214	1,954

事務所スペース等も含む



【品質面】

建築年と構造別延床面積

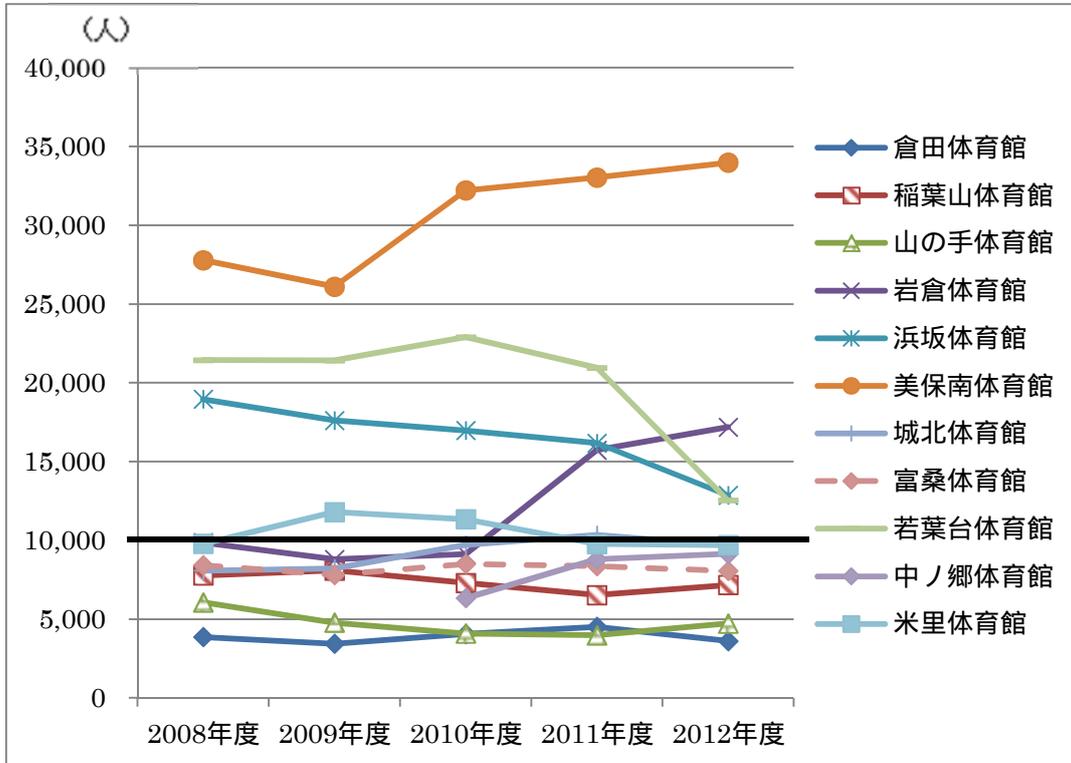


【利用状況】

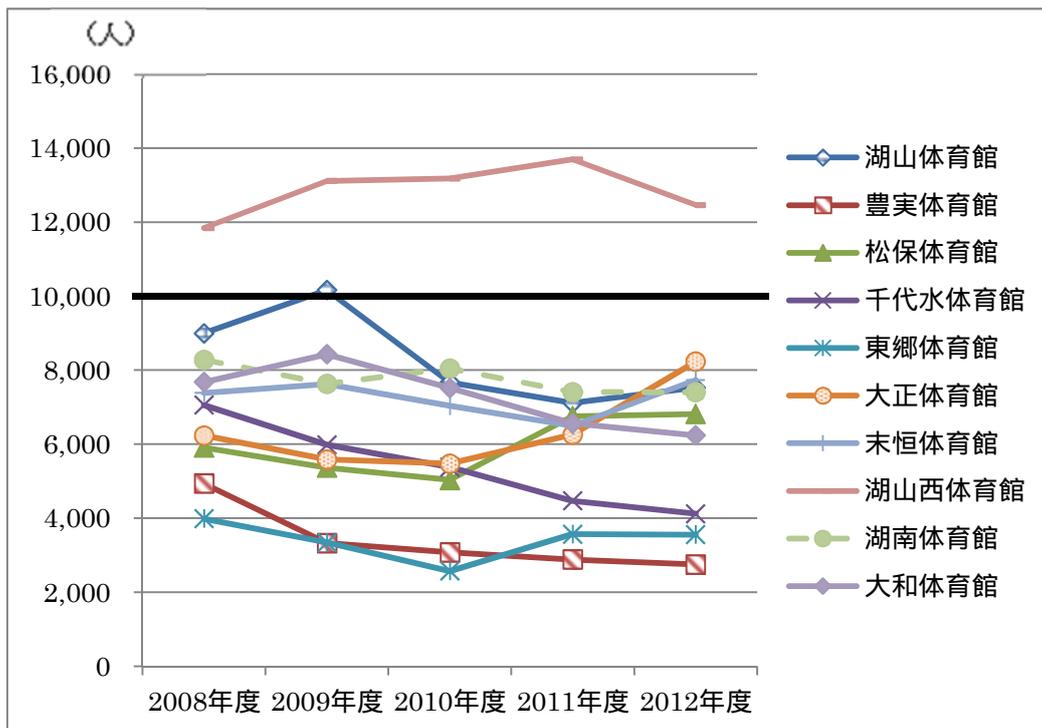
利用者数の推移

千代川以東の一部の体育館を除き、ほぼ全館で年間延べ1万人以下となっています。

千代川以東

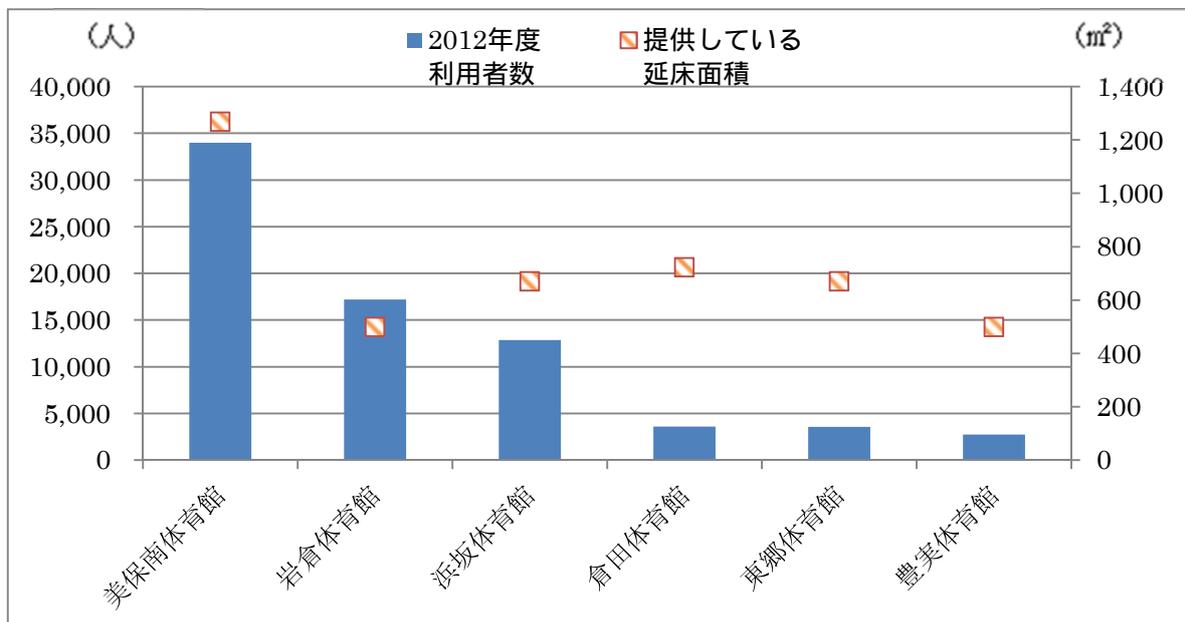


千代川以西

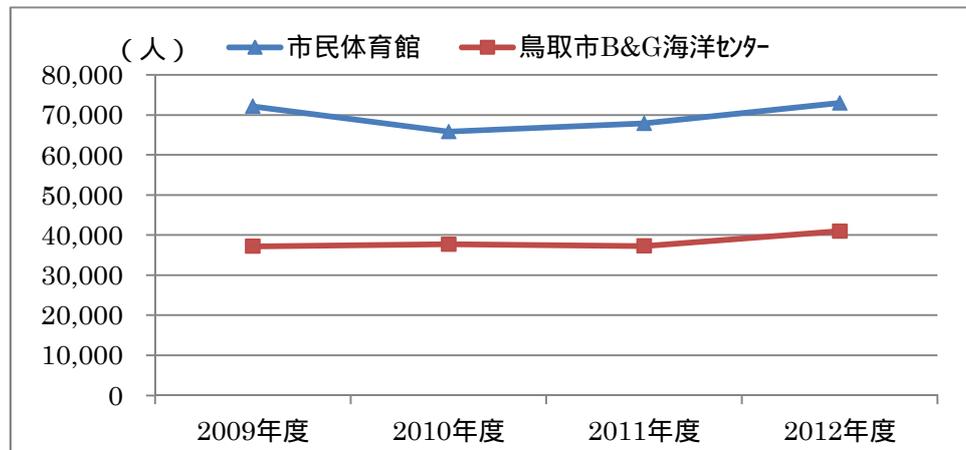


利用者数と延床面積

利用者数の上位3館と下位3館において、施設の延床面積と利用者との比較です。延床面積と利用者に格差が表れています。



指定管理施設における利用者の推移



【財務面】

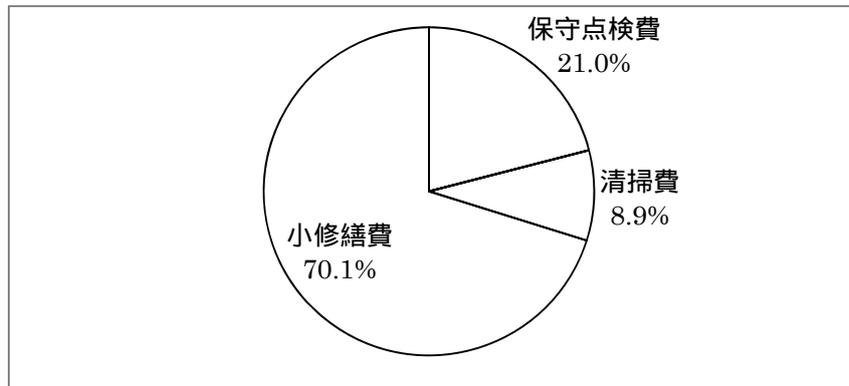
光熱水費

2012年度において、直接運営している体育館の光熱水費は886万円/年、1館あたりの光熱水費は年間40万円となりました。

(一部、公民館として支出した館があります。)

維持管理費

維持管理費は、1,020 万円維持管理費、1 館あたり 35 万円となりました。維持管理費の中で、小修繕費の比率が高いことが特徴といえます。



施設管理並びに指定管理料

施設管理は、直営または地元体育会等への委託としていますが、一部は指定管理者制度を導入しています

2012 年度における指定管理料等は次のとおりです。

なお、利用者 1 人あたりの公費（指定管理料）負担は、市民体育館 254 円、鳥取市 B&G 海洋センター 329 円となっています。

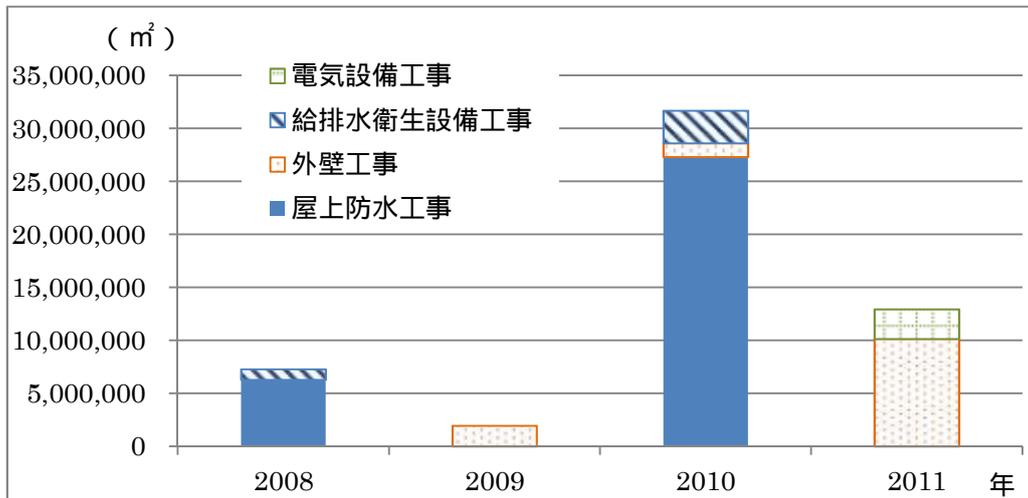
施設名	所在地	管理者	指定管理料
市民体育館	吉成	一般財団法人 鳥取市教育福祉振興会	18,564,000 円
鳥取市 B&G 海洋センター	三津	株式会社エコール鳥取	13,500,000 円

近年実施した大規模改修工事

老朽化が進み、かつ施設規模が大きな体育館では日常の維持管理以上に、大規模改修費が発生しています。近年の大規模改修の実績は次のとおり 5,000 万円（年平均 1,250 万円）の負担が発生しました。

突発的な大規模改修が連続すると財政負担が非常に大きくなるため、計画的な改修工事が求められます。

工事内容	施設名	実施年	金額（円）
外壁工事	気高町農業者トレーニングセンター	2010	1,296,750
	鳥取市 B&G 海洋センター	2011	10,146,150
	佐治町 B&G 海洋センター	2009	1,961,400
屋上防水工事	市民体育館	2008	6,298,960
	市民体育館	2010	6,686,400
	気高町 B&G 海洋センター	2010	12,834,150
	福部町体育館	2010	7,779,881
電気設備工事	浜坂体育館	2011	2,814,000
給排水衛生 設備工事	河原町総合体育館	2010	3,078,600
	千代水体育館	2008	997,500



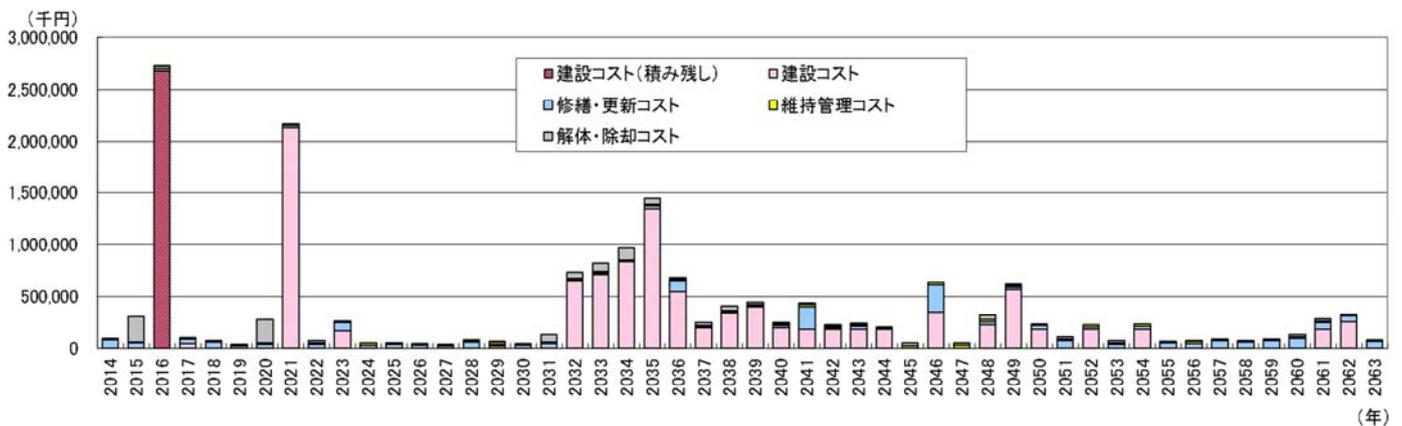
【更新費用】

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は174億3,000万円。年平均3億5,000万円と試算されます。耐用年数を超過している施設が目立ちます。

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	13,125,550
修繕・更新コスト	2,262,636
維持管理コスト	815,386
解体・除却コスト	1,227,473
計	17,431,045

単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	262,511
修繕・更新コスト	45,253
維持管理コスト	16,308
解体・除却コスト	24,549
計	348,621



2 スポーツ施設

本市には、体育館以外にも野球やテニス、弓道等の専用施設を設置しており、様々な運動を楽しむことができます。

また、とりぎんバードスタジアムのように市域を越えた地域のみなさんからの利用がある施設もあります。

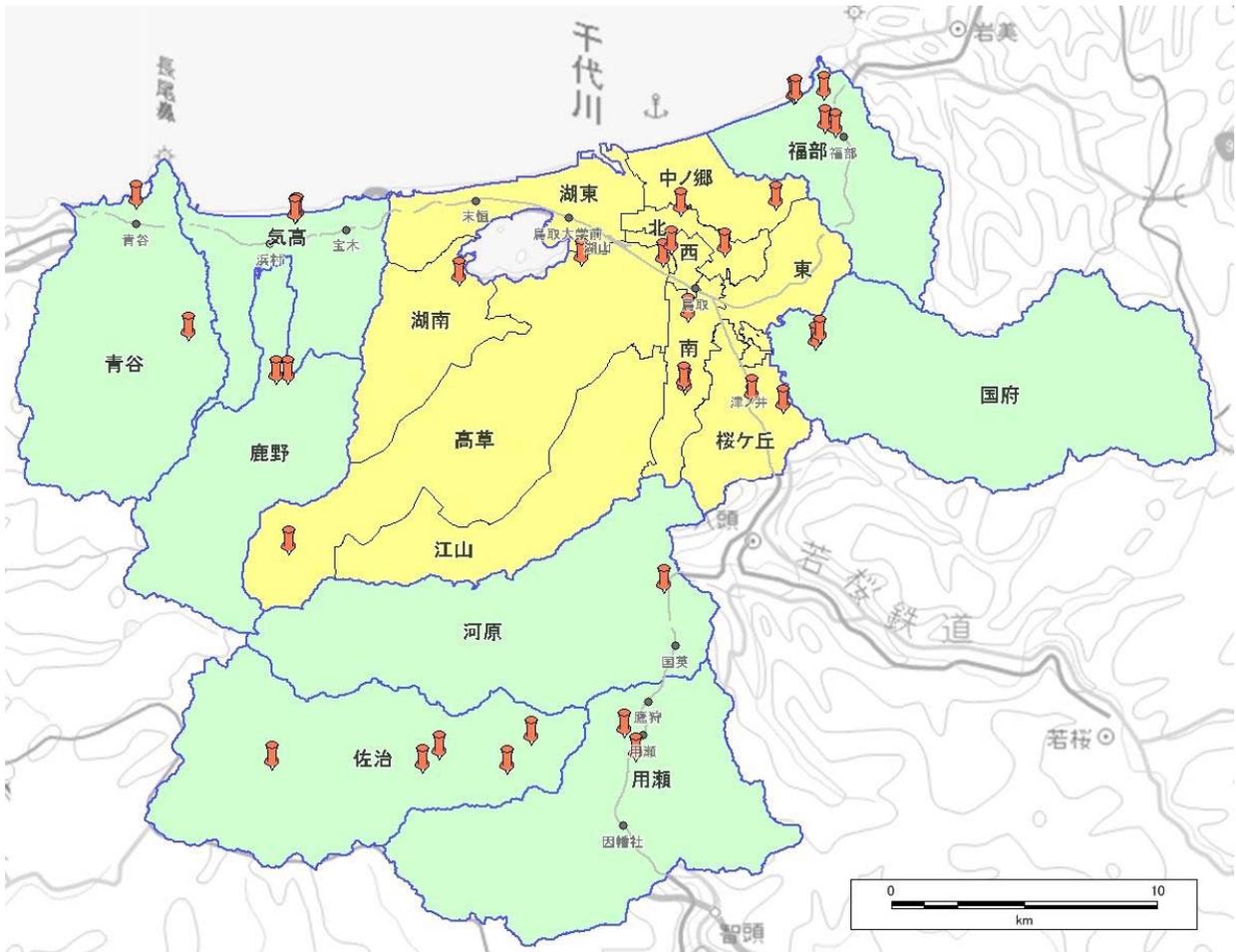
【供給面】

施設総数：37 総延床面積：28,898㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	1	3	2	1		1	3		2	4	5	1	2	5	3	2	2

配置図



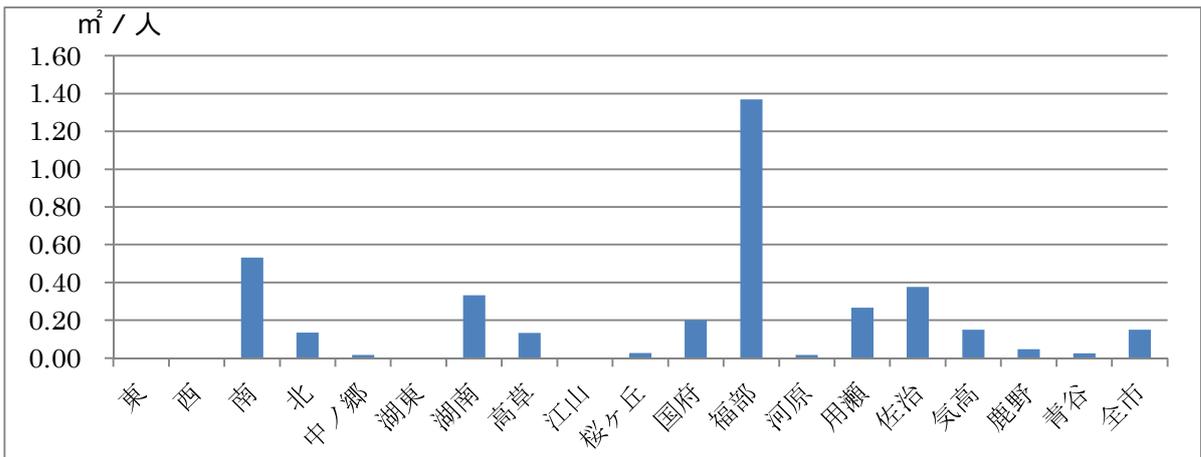
建物の状況

延床面積の大きな体育施設は次のとおりです。

施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
市営美保球場	吉成三丁目	1982	1,894	鉄筋コンクリート造
千代テニス場	緑ヶ丘一丁目	1984	216	鉄骨造
とりぎんバードスタジアム	蔵田	1995	12,155	鉄筋コンクリート造
鳥取市武道館	東町一丁目	1971	2,366	鉄筋コンクリート造
つづらをアーチェリー場	金沢	2000	690	鉄骨造
福部町武道館	福部町細川	1973	682	鉄骨造
ほっとスイミングプール	福部町海士	1994	1,484	鉄筋コンクリート造
用瀬運動公園	用瀬町古用瀬	1993	892	鉄筋コンクリート造
佐治町屋内ゲートボール練習場	佐治町福園	2001	502	鉄骨造
若葉台スポーツセンター	若葉台北二丁目	2013	532	木造

地区別人口一人当たり床面積

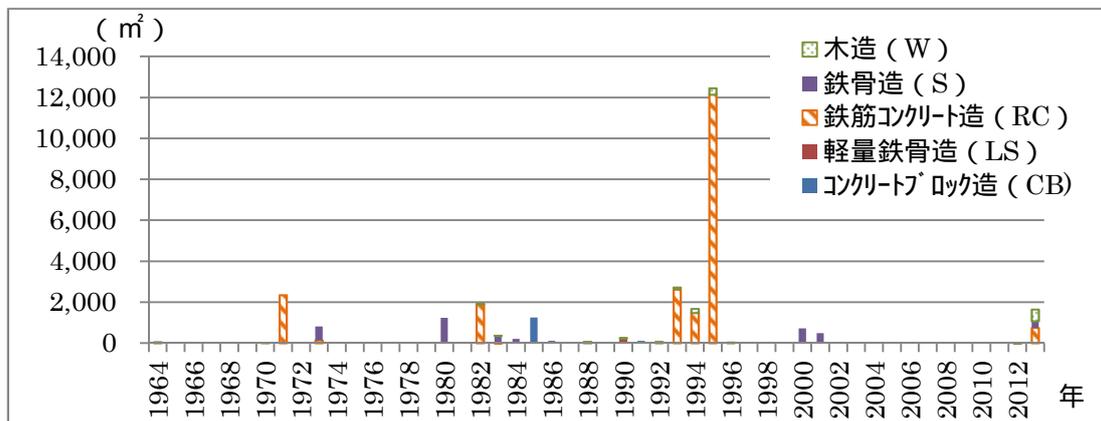
福部地域において、床面積が多いことがわかります。



【品質面】

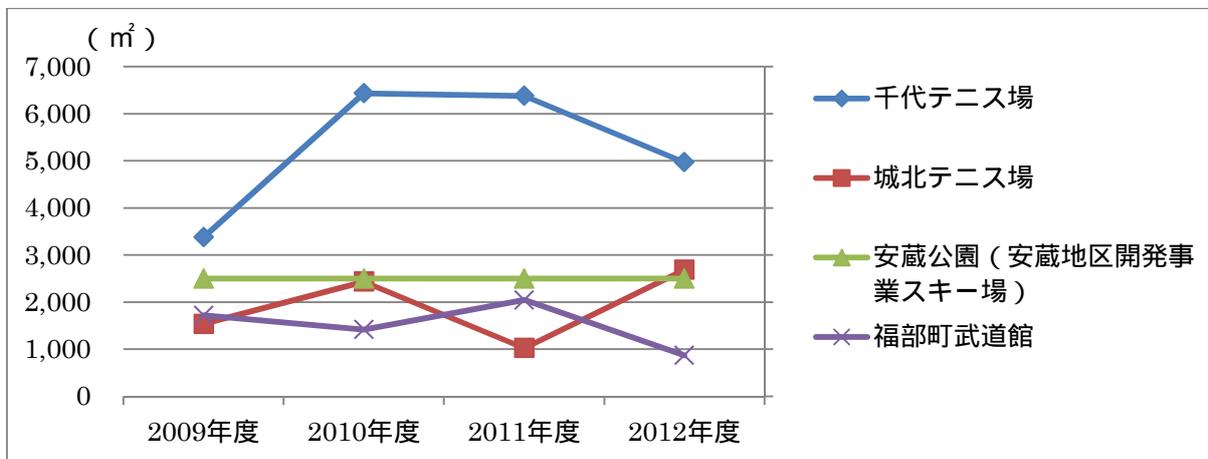
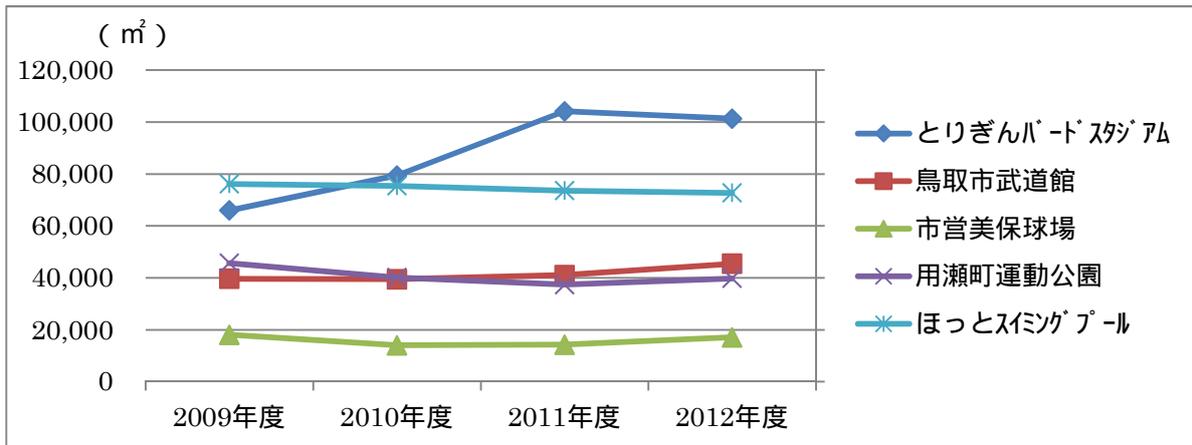
建築年と構造別延床面積

1995年に整備したサッカー場“とりぎんバードスタジアム”が突出しています。



【利用状況】

利用者数の推移



【財務面】

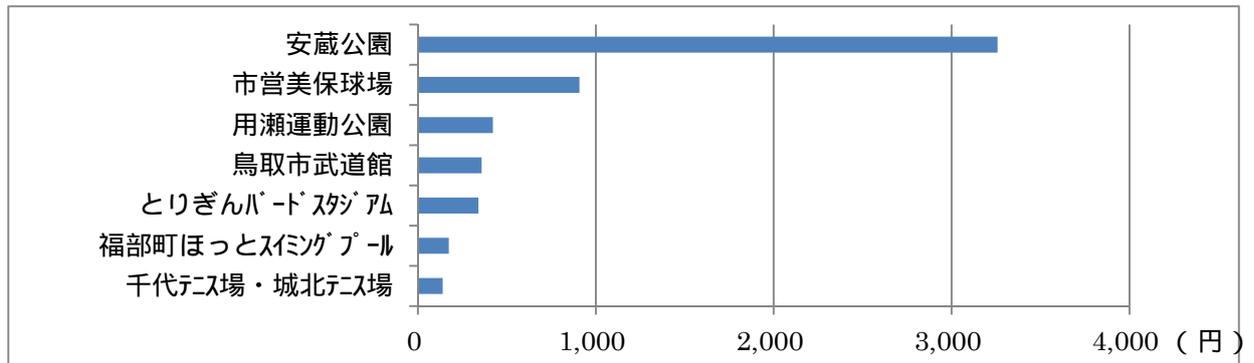
管理形態と指定管理料

施設管理は指定管理者を基本としており、2012年度における主な施設の状況は、次のとおりです。

施設名	管理者	指定管理料
市営美保球場	一般財団法人 鳥取市公園スポーツ施設協会	15,513,516 円
千代テニスコート・城北テニスコート	一般財団法人鳥取市教育福祉振興会	1,066,000 円
とりぎんバードスタジアム	一般財団法人鳥取県サッカー協会	34,304,000 円
鳥取市武道館	一般財団法人鳥取市教育福祉振興会	16,253,000 円
安蔵公園 (安蔵地区開発事業スキー場)	合同会社あぞうの森	8,148,000 円
福部町武道館	直営	
福部町ほっとスイミングプール	株式会社エヌ・エス・アイ	12,615,000 円
用瀬町運動公園	株式会社よろずや	16,755,000 円

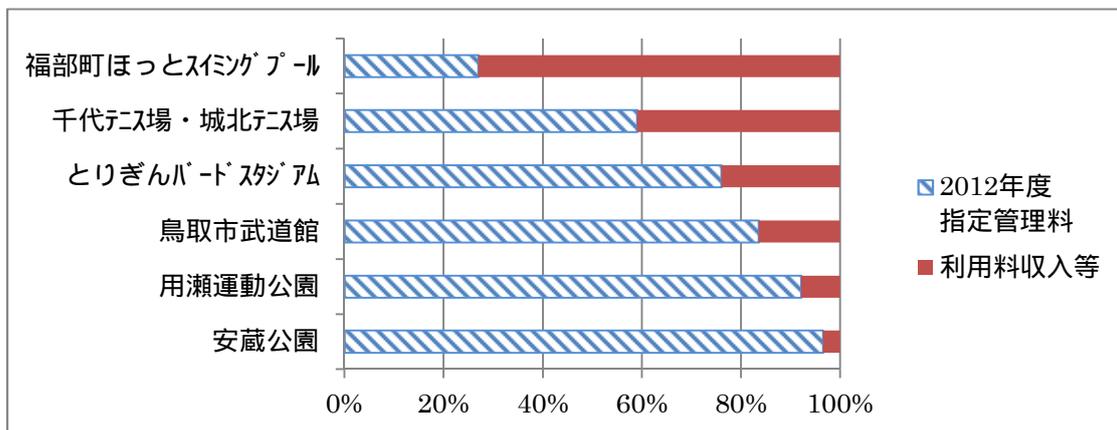
利用者1人あたりの公費負担額

2012年度において、利用者1人あたりにかかる公費（指定管理料）負担をみると、安蔵公園が突出して高くなっています。



公費負担と利用料等のバランス

ほとんどの施設において、利用料より多額の公費によって運営されています。ほっとスイミングプールが最も利用料収入等によって運営されています。



第5節 福祉保健施設

小分類：保育・子育て支援施設、高齢者支援施設、
障がい者支援施設、保健・医療施設

1 保育・子育て支援施設（保育園・児童館等）

子育て支援施設のうち、保育園（幼稚園）、児童館、児童発達支援センターは市条例により設置されているほか、各小学校区において放課後児童クラブを設置しています。

【供給面】

施設総数：76 総延床面積：37,511

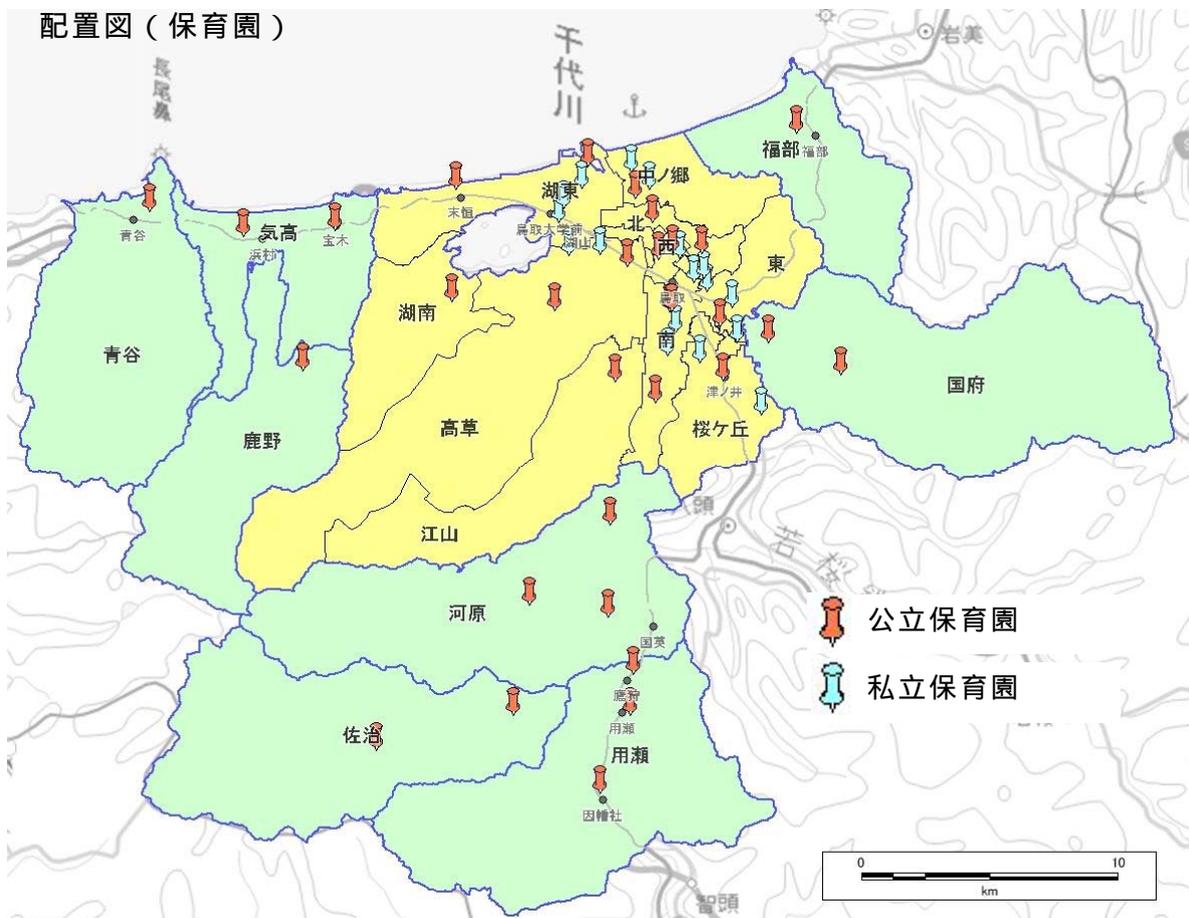
施設配置数（保育園）

上段：市立保育園、中段：私立保育園・認定こども園、下段：計

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	2	3	2	1	2	1	2	1	2	2	1	3	3	2	2	1	1
3	1	3		2	3		2		3								
3	3	6	2	3	5	1	4	1	5	2	1	3	3	2	2	1	1

保育サービスの提供状況を見るため私立保育園も掲載します

配置図（保育園）

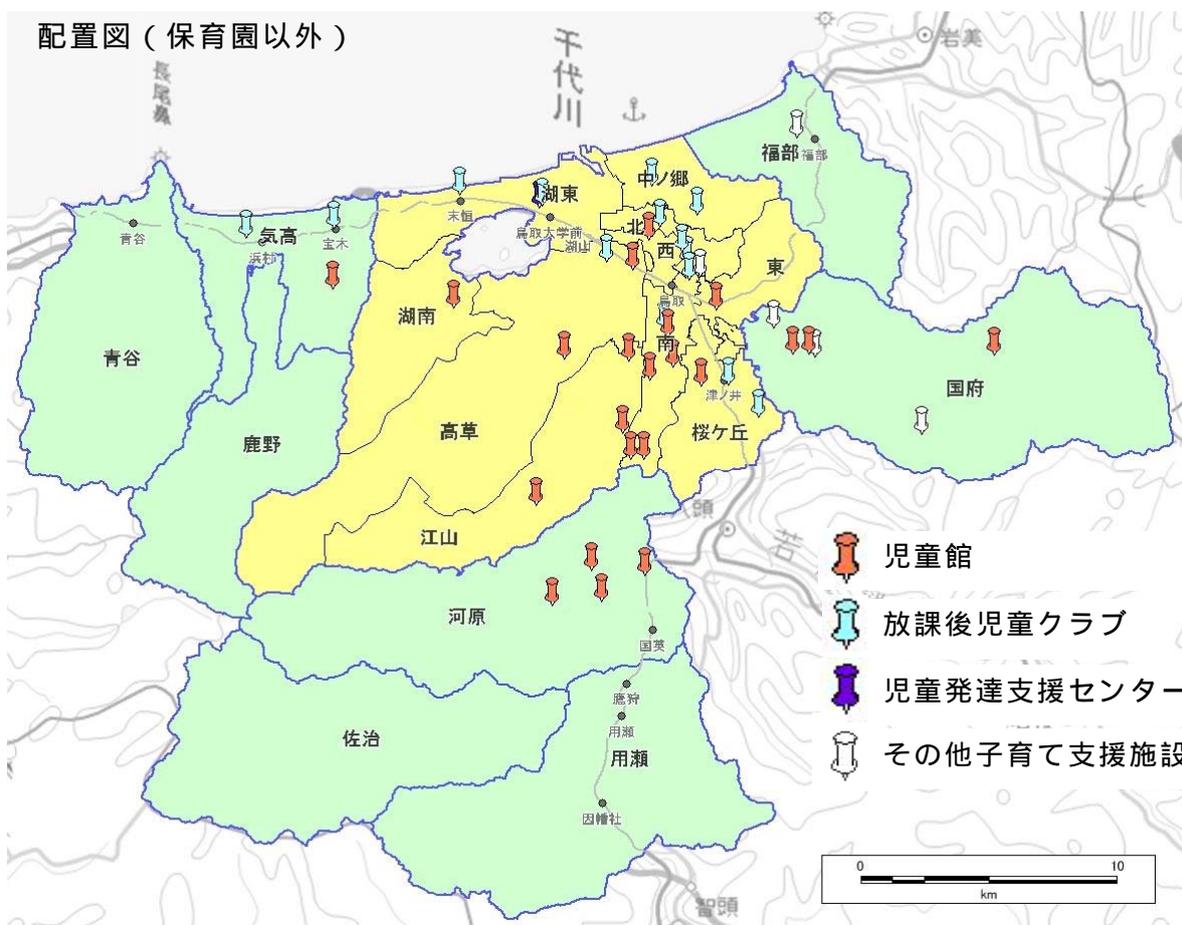


施設配置数（児童館・放課後児童クラブ・児童発達支援センターのみ）

上段：児童館、中段：放課後児童クラブと児童発達支援センター、下段：計

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	1	4				1	2	4	1	3		4			1		
	1	3	2	2	3		1		2						2		
	2	7	2	2	3	1	3	4	3	3		4			3		

放課後児童クラブは専用施設のみ



放課後児童クラブ施設は、専用施設のみを掲載

施設配置数（市が保有する保育・子育て支援施設全体）

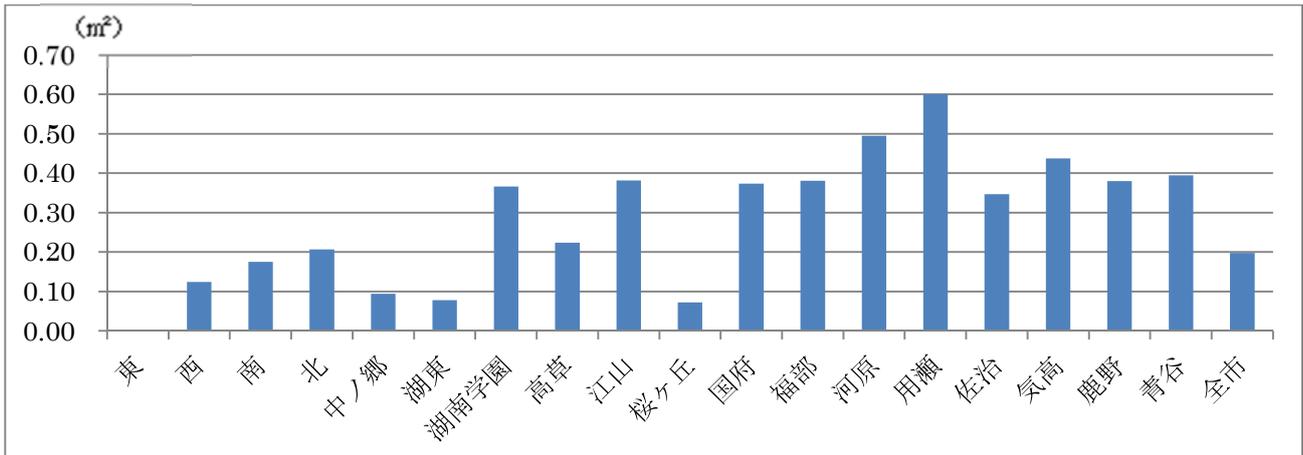
東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	4	10	6	3	5	2	7	4	6	8	2	7	3	2	5	1	1

市条例で定められている子育て支援施設の種類と設置目的

施設名	設置目的
保育園	法令に基づき、保育に欠ける児童について保育を行う。
児童館	法令に基づき、児童の健全育成及び保護を行う。
児童発達支援センター	心身の発達支援を必要とする児童を日々保護者の下から通わせて、これを保護するとともに、独立自活に必要な知識技能を付与する。

地域別一人当たり床面積

鳥取地域に比べ、合併地域における施設面積が多くなっています。

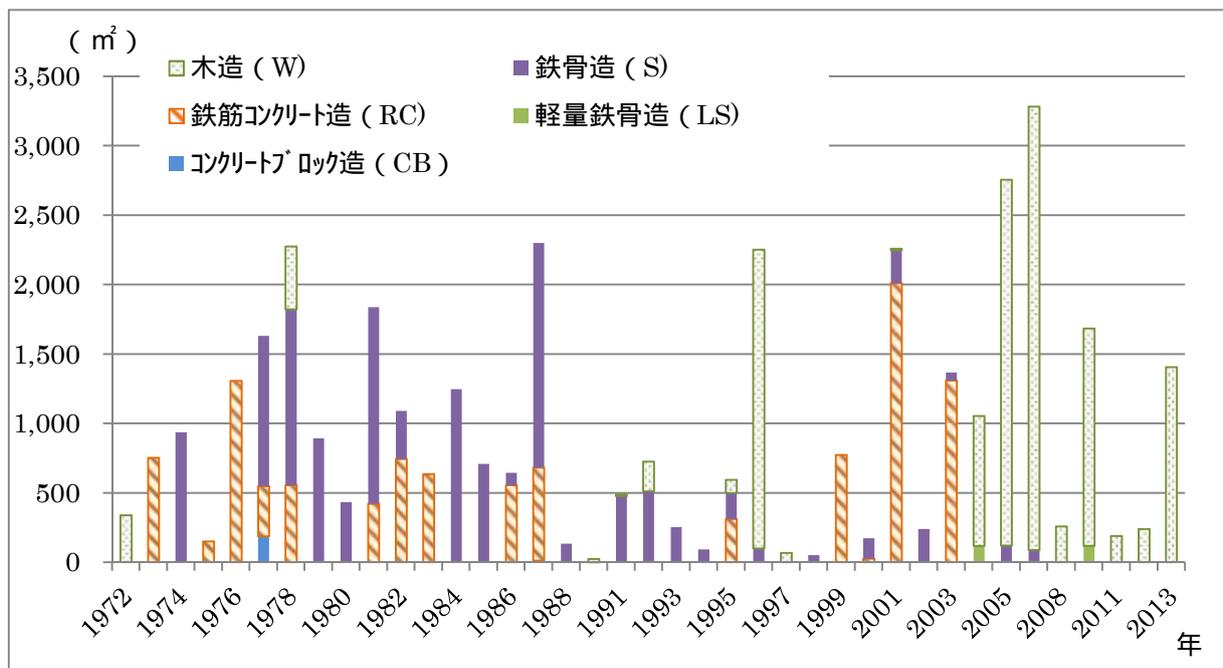


市立施設のみ

【品質面】

建築年と構造別延床面積

建築年が古い建物は鉄筋、鉄骨造が多く、新しい建物は木造が多くなっています。



市立施設のみ

以下、市条例に規定されている施設の種類別に記載します。

保育園（幼稚園）

保育園は、保護者等の就労によって保育に欠ける子どもの保育と保護者等の就労支援を目的として児童福祉法に基づく市条例を制定し、設置しています。

また、幼稚園は、市学校条例に基づき設置されており、本市では、福部・河原・鹿野地域に幼稚園を有していましたが、現在は幼保一体の複合施設となっています。

なお、本市には公立園が31園、民間資本が運営する私立保育園が17園あります。

【供給面（保育園）】

建物の状況

地域	施設名	所在地	建築年	延床面積	構造	備考
鳥取地域	みたから保育園	寿町	1986	554	鉄筋コンクリート造	
	千代保育園	江津	1999	772	鉄筋コンクリート造	
	倉田保育園	八坂	1981	616	鉄骨造	
	賀露保育園	賀露町北二丁目	1974	751	鉄骨造	
	城北保育園	松並町二丁目	1973	801	鉄筋コンクリート造	
	津ノ井保育園	南栄町	1977	540	鉄骨造	
	美和保育園	上味野	1978	696	鉄骨造	
	富桑保育園	行徳三丁目	1979	728	鉄骨造	
	美保保育園	吉成二丁目	1976	1,308	鉄筋コンクリート造	
	杉の子分園	吉成二丁目	1991	296	鉄筋コンクリート造	
	湖南保育園	松原	1985	581	鉄骨造	
	白兔保育園	伏野	1977	541	鉄骨造	
	白ゆり保育園	面影一丁目	1984	400	鉄骨造	
	豊実保育園	野坂	1978	349	鉄骨造	
	久松保育園	東町一丁目	2004	806	木造	
	大正保育園	徳尾	2013	1,405	木造	
	国府地域	みやこ保育園	国府町中郷	1982	768	鉄筋コンクリート造
さつき保育園		国府町谷	1987	681	鉄筋コンクリート造	
福部地域	福部すなっこ園	福部町海士	1984	845	鉄骨造	
河原地域	河原あゆっこ園	河原町長瀬	2010	1,564	木造	
	散岐保育園	河原町佐貫	1987	465	鉄骨造	
	西郷保育園	河原町牛戸	1991	436	鉄骨造	
用瀬地域	大村保育園	用瀬町鷹狩	1983	634	鉄筋コンクリート造	
	用瀬保育園	用瀬町用瀬	1981	744	鉄骨造	
	社保育園	用瀬町安蔵	1987	872	鉄骨造	
佐治地域	ひまわり保育園	佐治町古市	1977	362	鉄筋コンクリート造	
	ふたば保育園	佐治町加茂	1981	421	鉄筋コンクリート造	
気高地域	浜村保育園	気高町八幡	2006	1,635	木造	
	ひかり保育園	気高町宝木	2006	1,526	木造	
鹿野地域	こじか保育園	鹿野町鹿野	2005	1,543	木造	
青谷地域	すくすく保育園	青谷町青谷	1996	2,153	木造	

公設民営（指定管理者）による運営
民間所有の建物を活用

幼稚園と保育園の一体施設

民間資本による保育園

本市には、民間資本により運営される 14 の保育園があります。(地域別のバランスを考慮し、私立園も記載します。)

施設名	住所	運営者
わかば保育園	吉方温泉一丁目	社会福祉法人鳥取福祉会
松保保育園	布勢	
のぞみ保育園	数津	
よねさと保育園	中大路	
かんろ保育園	立川町六丁目	
むつみ保育園	二階町四丁目	
めぐみ保育園	吉方町一丁目	
わかば台保育園	若葉台南二丁目	
鳥取あすなる保育園	江津	社会福祉法人あすなる会
賀露みどり保育園	賀露町南四丁目	社会福祉法人にじ色会
湖山保育園	湖山町南一丁目	社会福祉法人さとに会
さとに保育園	里仁	
鳥取みどり園	立川町五丁目	社会福祉法人鳥取こども学園
浜坂保育園	浜坂六丁目	社会福祉法人浜坂会

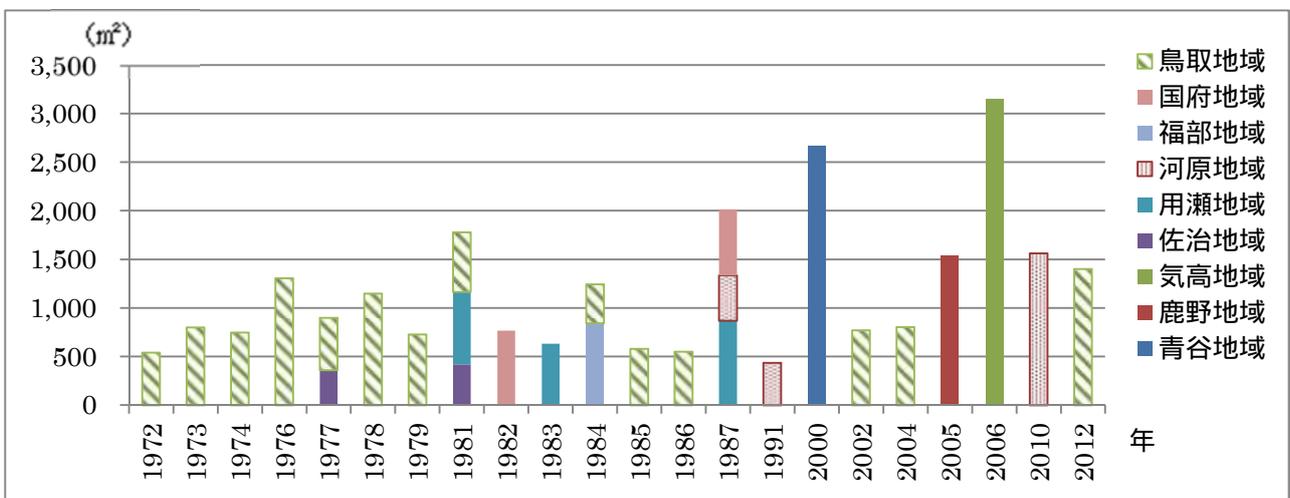
認定こども園

本市には、幼保連携型の認定こども園が 3 園あります。

施設名	住所	運営者
さくら保育園	桜谷	学校法人東部学園
ひかりのこ保育園	湖山町北三丁目	学校法人ひかり幼稚園
はっぴい保育園	的場	学校法人矢谷学園

建築年と地域別延床面積

鳥取地域の保育園の老朽化が進んでいます。

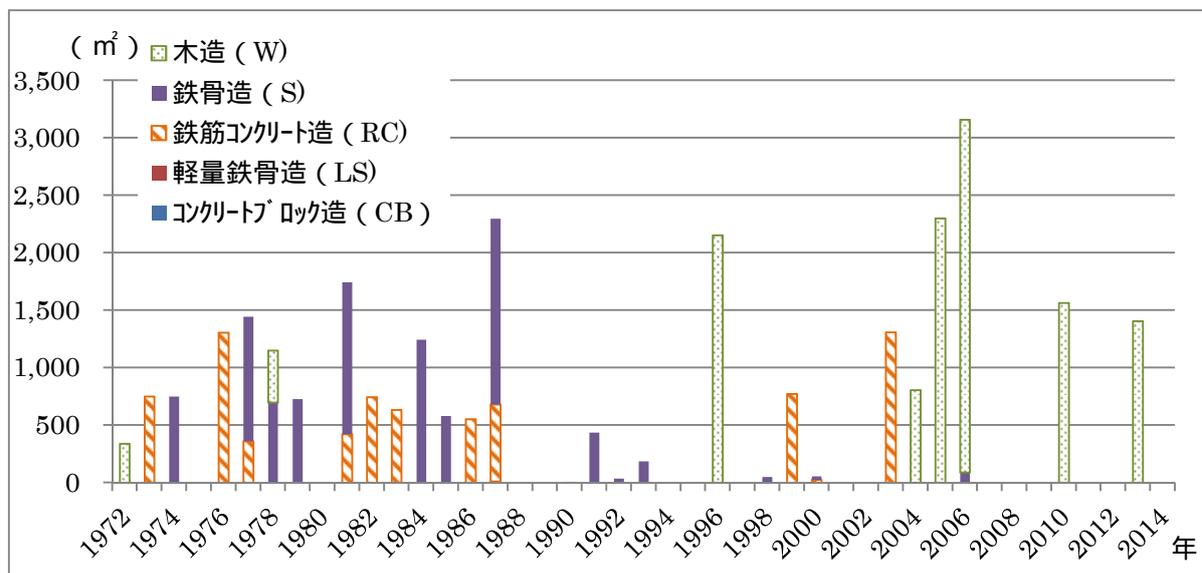


市立保育園のみ

【品質面（保育園）】

建築年と構造別延床面積

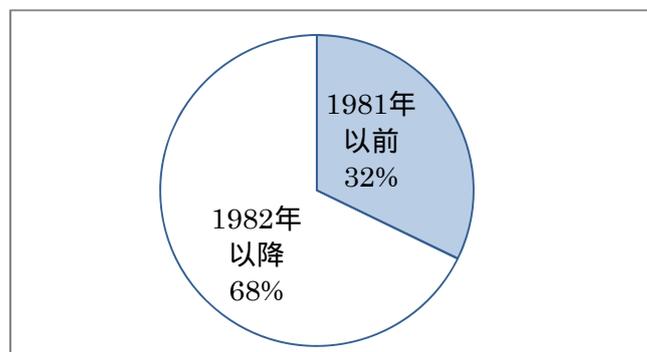
近年は、木造での建築となっています。



市立保育園のみ

新旧耐震基準の割合

旧耐震基準である1981年以前に建築された施設は約3割となり、耐震性の低い園は、順次耐震化工事が実施されています。特に鳥取西地域で建替・改修が進んでいます。



市立保育園のみ

耐震工事の状況とスケジュール案

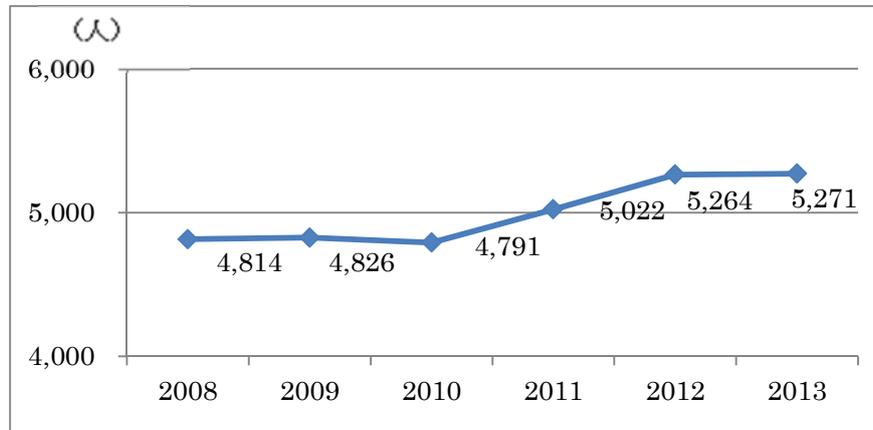
耐震診断結果や老朽化に伴う整備（建替え）の状況とスケジュール案は次のとおりです。

施設名	2012年	2013年	2014年	2015年
白兔保育園	設計	建築	解体外構	
美和保育園	設計	建築	解体外構	
賀露保育園		設計	建築	解体外構
富桑保育園		設計	建築	解体外構
美保保育園			設計	建築

【利用状況（保育園）】

利用（保育園入所）の推移

2011年（さくら）、2012年（ひかりのこ、はっぴい）にそれぞれ認定こども園が認定を受けているため、これによる園児数の増加が見られます。

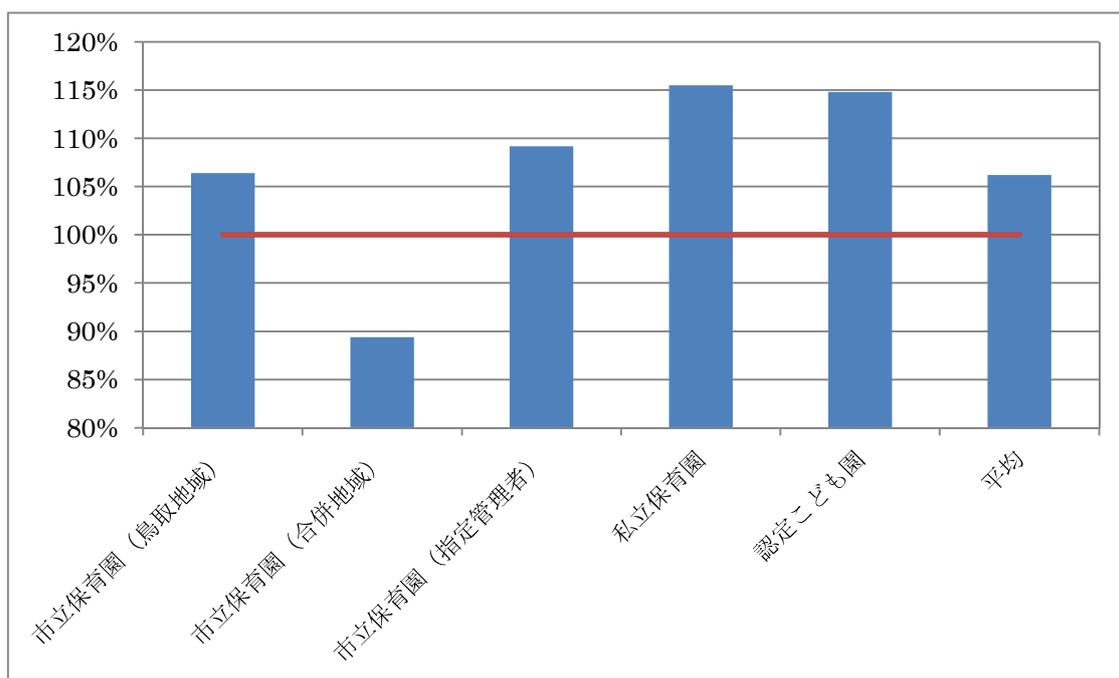


当該数値は、各年度4月1日時点の園児数（市立保育園、私立保育園の合計）

利用（保育園入所）の状況（2013年10月1日現在）

民間資本が運営する保育園の入所率が相対的に高くなっています。

	園数	定員数	入所者数	入所率
市立保育園（鳥取地域）	14	1,320	1,405	106.4%
市立保育園（合併地域）	15	1,170	1,046	89.4%
市立保育園（指定管理者）	2	250	237	109.2%
私立保育園	14	2,130	2,460	115.5%
認定こども園	3	290	333	114.8%
合計	48	5,160	5,481	106.2%



各公立保育園の定員数と園児数

保育園の入所率を個別に見ると、合併地域については、定員数を下回る園がみられます。

施設名	定員数	園児数	施設名	定員数	園児数
みたから保育園	110	108	みやこ保育園	125	145
千代保育園	80	102	さつき保育園	85	63
倉田保育園	80	76	福部すなっこ園	70	67
賀露保育園	120	132	河原あゆっこ園	110	138
城北保育園	150	157	散岐保育園	45	30
津ノ井保育園	90	101	西郷保育園	30	15
美和保育園	80	84	大村保育園	45	40
富桑保育園	110	126	用瀬保育園	45	38
美保保育園	180	193	社保育園	40	30
杉の子分園	30	30	ひまわり保育園	40	23
湖南保育園	50	62	ふたば保育園	30	14
白兔保育園	90	101	浜村保育園	190	166
白ゆり保育園	80	80	ひかり保育園	90	91
豊実保育園	70	53	こじか保育園	45	44
久松保育園	120	144	すくすく保育園	180	142
大正保育園	130	129			

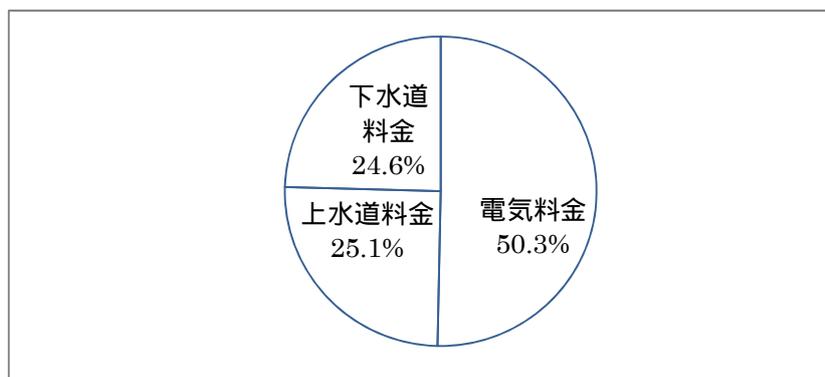
私立保育園の定員数

施設名	定員数	施設名	定員数	施設名	定員数
鳥取あすなろ保育園	180	松保保育園	120	わかば台保育園	190
賀露みどり保育園	120	のぞみ保育園	120	浜坂保育園	120
湖山保育園	170	よねさと保育園	150	さくら保育園	120
さとに保育園	150	かんろ保育園	210	ひかりのこ保育園	70
鳥取みどり園	160	むつみ保育園	180	はっぴい保育園	100
わかば保育園	110	めぐみ保育園	150		

【財務面（保育園）】

市立保育園における光熱水費

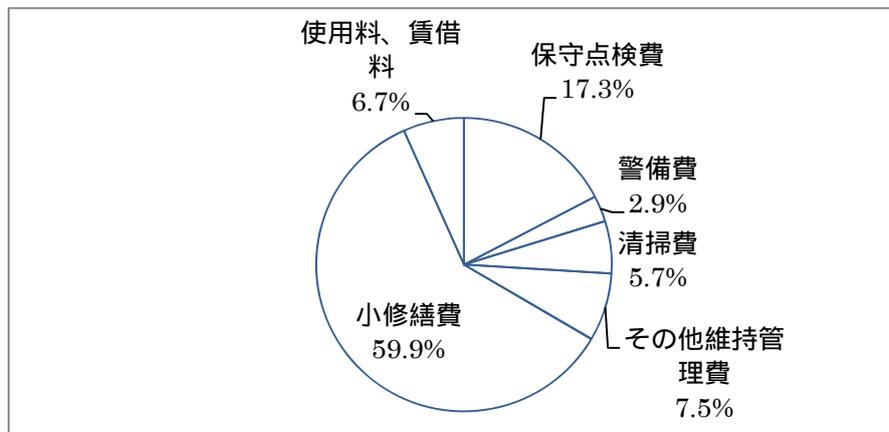
2012年度において、直接運営している保育園の光熱水費は6,470万円であり、1園あたりの経費は年間216万円となりました。



市立保育園における維持管理費

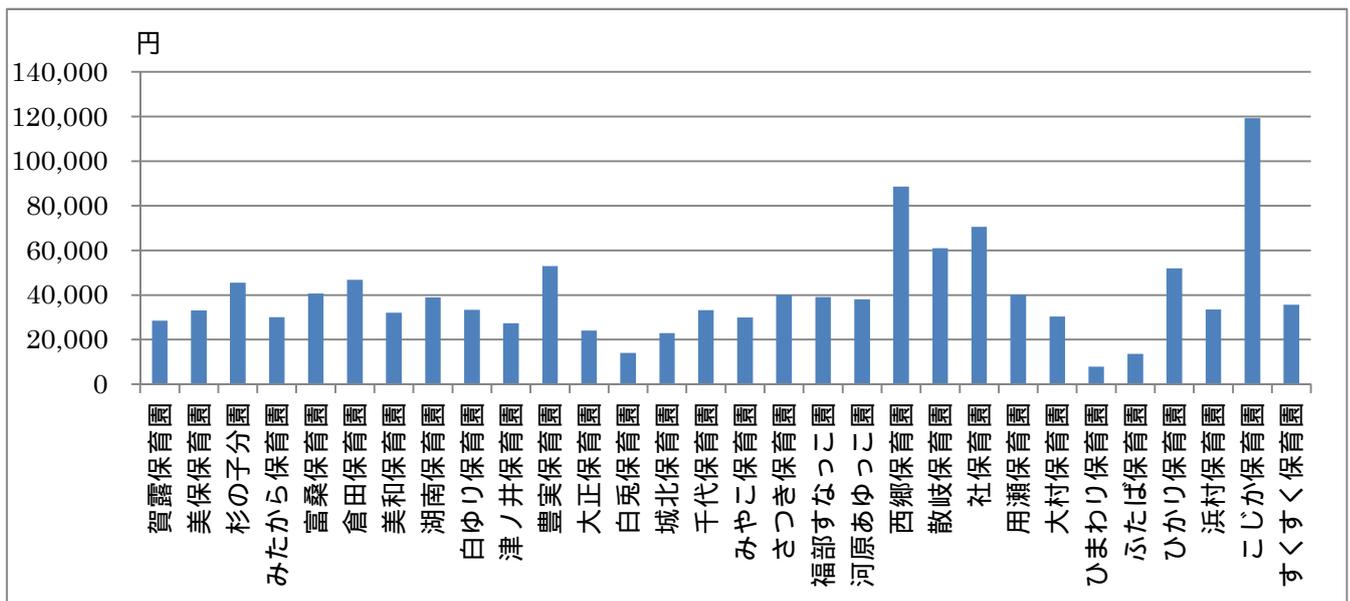
2012 年度において、直接運営している保育園の維持管理費は 2,730 万円であり、1 園あたりの経費は 91 万円となりました。

施設の修繕箇所が多くなっており、小修繕費の割合が高くなっています。



市立保育園における園児 1 人あたりの施設管理コスト

2012 年度において、直接運営している市立保育園全体（30 園）の平均は 47,000 円となります。



施設管理・運営の主体

近年では、久松・松保・わかば・湖山・大正保育園の運営を民間委託してきました。

久松・大正保育園は、市の施設で民間事業者が運営している“公設民営”ですが、松保・わかば・湖山保育園は建物を民間譲渡しています。

また、2014 年度から白兔保育園を指定管理者へ委託、津ノ井保育園は民間譲渡、佐治地域のふたば保育園とひまわり保育園を統合する予定です。

指定管理者の状況（市保有の建物のみ）

施設名	指定管理者	2012 年度指定管理料
久松保育園	社会福祉法人あすなる会	115,956,390 円
大正保育園	社会福祉法人さとに会	2013 年 4 月から指定管理
白兔保育園	社会福祉法人あすなる会	2014 年 4 月から指定管理

指定管理保育園における園児 1 人あたりの公費負担

指定管理者が運営する久松保育園における公費負担は、園児 1 人あたり約 79 万円となっています。（園児数 147 人）

幼稚園（幼保園）の状況

合併地域にあった幼稚園 3 園は、保育園と一体化した複合施設となっており、入園する年齢も異なっています。また、幼稚園は教育委員会の所管となりますが、幼保一体となり児童家庭課が所管しています。

福部すなっこ園

鳥取市福部町海士 345-1

幼稚園：園児数 23 人（5 歳児）定員 35 人（2013.4.1）

保育園：園児数 63 人（0～4 歳児）定員 70 人（2013.4.1）

河原あゆっこ園

鳥取市河原町長瀬 48 番地 1

幼稚園：園児数 57 人（5 歳児）定員 70 人（2013.4.1）

保育園：園児数 130 人（0～4 歳児）定員 110 人（2013.4.1）

幼児センターこじか園

鳥取市鹿野町鹿野 583-3

幼稚園：園児数 83 人（3～5 歳児）定員 105 人（2013.4.1）

保育園：園児数 39 人（0～2 歳児）定員 45 人（2013.4.1）



福部すなっこ園



河原あゆっこ園



幼児センターこじか園

児童館

児童館は、児童（18歳未満）の健全な遊び場の確保、健康増進、情操を高めることを目的としており、本市においても市児童館条例に基づき設置しています。

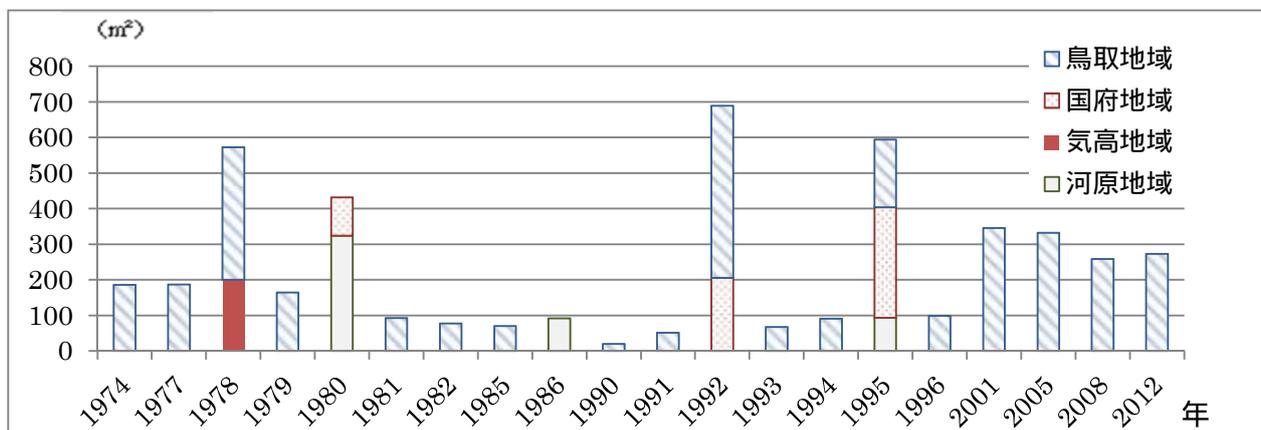
【供給面（児童館）】

建物の状況

施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
大杓児童館	大杓	1981	92	鉄骨造
馬場児童館	馬場	1978	237	鉄骨造
倭文児童館	倭文	1995	190	鉄骨造
宮長児童館	宮長	1985	70	鉄骨造
西品治児童館	西品治	2008	258	木造
国安児童館	国安	1977	253	コンクリートブロック造
下味野児童館	下味野	2001	335	鉄筋コンクリート造
湖南児童館	松原	1992	228	鉄骨造
西円通寺児童館	西円通寺	1992	206	鉄骨造
東郷児童館	西今在家	2012	273	木造
神戸児童館	下砂見	1974	209	鉄骨造
円通寺児童館	円通寺	1979	283	鉄骨造
古海児童館	古海	2005	380	木造
栃本児童館	国府町栃本	1992	206	木造
上町屋児童館	国府町町屋	1980	108	鉄骨造
麻生児童館	国府町麻生	1995	310	鉄筋コンクリート造
中井二児童館	河原町中井	1980	126	鉄骨造
下佐貫児童館	河原町佐貫	1980	197	鉄骨造
曳田児童館	河原町曳田	1986	91	木造
上山手児童館	河原町山手	1995	94	木造
気高児童館	気高町下光元	1978	200	鉄骨造

建築年と地域別延床面積

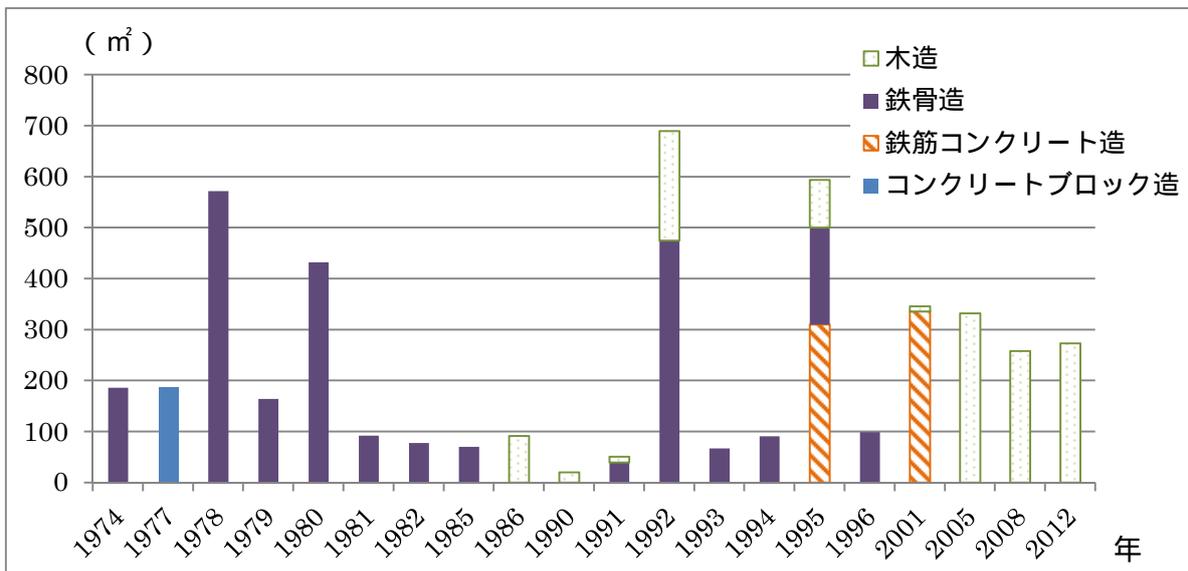
鳥取地域に多く設置されており、老朽化も進んでいます。また、福部・用瀬・佐治・鹿野・青谷地域には設置していません。



【品質面（児童館）】

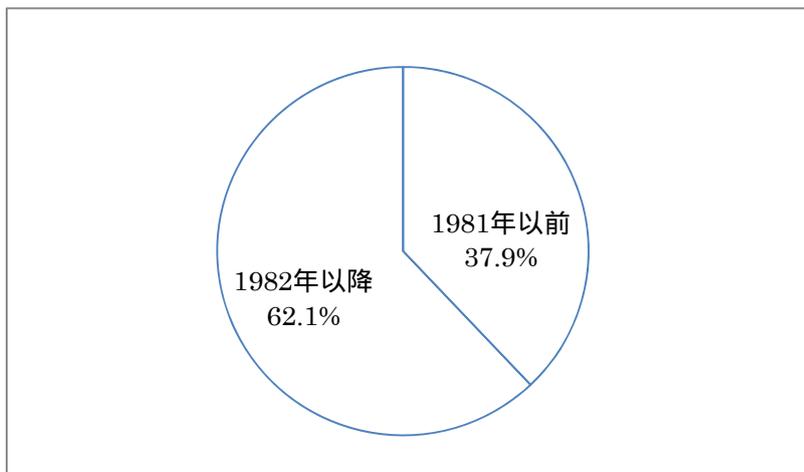
建築年と構造別延床面積

近年は、鉄骨造から木造へとシフトしています。



新旧耐震基準の割合

旧耐震基準で建設された館 37.9%です。



運営時間等

児童館名	開館時間	休館日
麻生・下佐貫・気高	9:30 ~ 18:00	日曜・月曜・祝日 ・年末年始
下味野・国安・西品治・馬場・古海・ 円通寺・倭文・湖南・西円通寺		
東郷・神戸	平日 8:30 ~ 17:00	日曜・祝日・年末年始
大杓・宮長・栃本・上町屋	土曜 8:30 ~ 12:00	

中井二・曳田・上山手児童館は閉館状態

児童館の種類・管理方法等

本市では、児童館を保育型と地域型の2種類に分類しています。また、館によって管理方法や開園時間、休館日等も異なっています。

なお、「鳥取市有施設の民間等への譲渡に関する取扱い方針（2007年9月作成）」のとおり、宮長・大杵・栃本・上町屋・上山手・曳田・中井二児童館については、廃止・地元譲渡等の検討・協議を進めていく予定です。

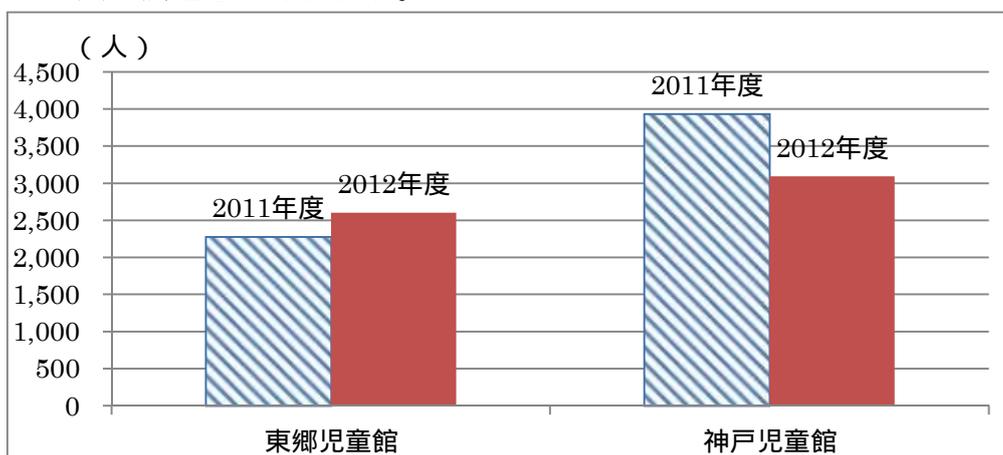
種別	主目的	該当園
保育型	保育に欠けるその乳児又は幼児を保育する	東郷・神戸児童館
地域型	児童に健全な遊びの場をあたえ、健康増進を図るとともに、情操を豊かにする	上記以外の児童館

【利用状況（児童館）】

保育型児童館（2園）

利用園児数

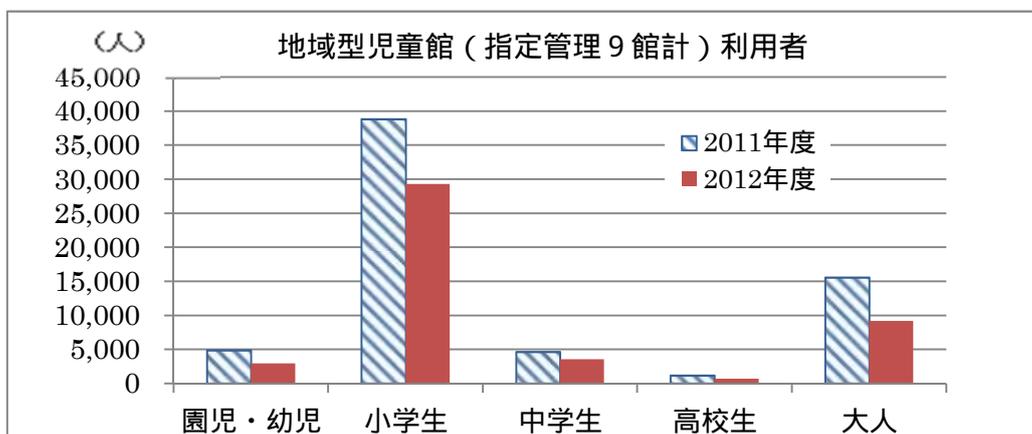
年間の利用園児数は、前年と比べ東郷児童館では200人増加しましたが、神戸児童館では500人の減となっています。



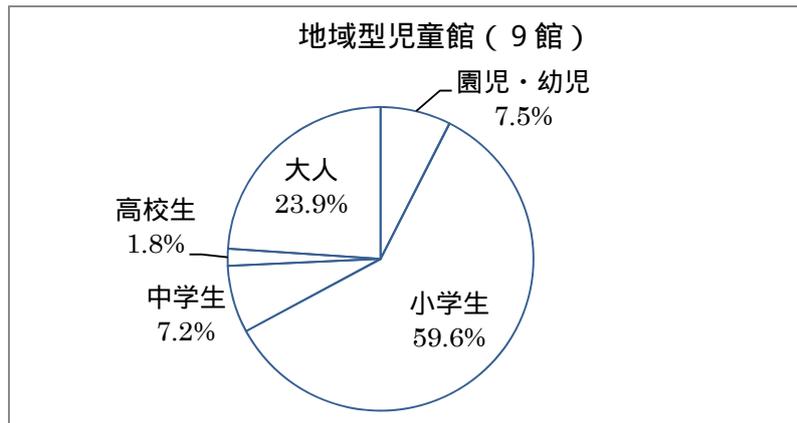
地域型児童館（9園）

利用者分類と利用者数

指定管理している地域型の9館は前年から2万人と大幅に利用者が減っています。また、利用者も小学生が突出しています。



利用者の比率



【財務面（児童館）】

管理方法等

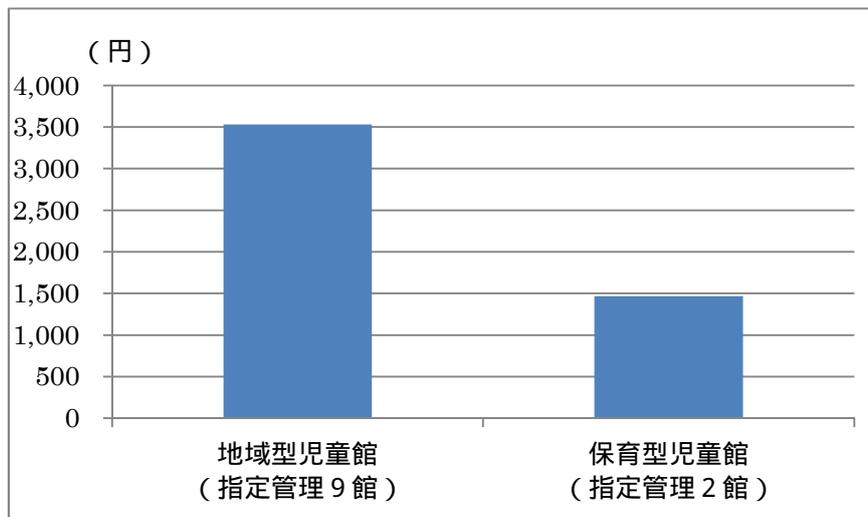
対象園	管理方法	管理運営	指定管理料
麻生・下佐貫・気高	直営	市	
下味野・国安・西品治・馬場・古海・円通寺・倭文・湖南・西円通寺	指定管理	社会福祉法人 鳥取福社会	67,082,000 円
東郷・神戸			35,040,000 円
大杵・宮長・栃本・上町屋	委託	地元	

直営児童館における維持管理コスト

2012年度における直営児童館3館の光熱水費は63万円、維持管理費は16万円となっています。

利用者1人あたりの公費（指定管理料）負担

指定管理である児童館11館の利用者1人あたりの公費負担額は、以下のとおりです。



放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している子どもたちに遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る事業拠点として設置しています。

本市の44の市立小学校のうち38校区（学校）において事業を実施していますが、専用施設を有するものは全体の約3割（45クラブ中16クラブ）となっており、公民館との併設・学校の余裕教室・その他の公共施設での開設など、様々な形態となっています。

【供給面（放課後児童クラブ）】

建物の状況 放課後児童クラブ専用として活用されているもの

施設名	建築年	延床面積	構造	備考
遷喬小学校放課後児童クラブ専用施設	1988	132	鉄骨造	
世紀小学校放課後児童クラブ専用施設	2001	119	鉄骨造	
湖山西小学校児童クラブ専用施設	2000	118	鉄骨造	
若葉台小学校児童クラブ専用施設	2001	120	鉄骨造	
中ノ郷小学校放課後児童クラブ専用施設	2002	118	鉄骨造	
末恒小学校放課後児童クラブ専用施設	2002	121	鉄骨造	
城北小学校放課後児童クラブ専用施設	2006	120	木造	
日進小学校放課後児童クラブ専用施設	2005	120	鉄骨造	
宝木小学校放課後児童クラブ専用施設	1997	65	木造	
美保南小学校放課後児童クラブ専用施設	2004	118	軽量鉄骨造	
美保南小学校第二放課後児童クラブ専用施設	2010	118	軽量鉄骨造	
浜坂小学校放課後児童クラブ専用施設	2011	190	木造	
醇風小学校放課後児童クラブ専用施設	2012	119	木造	
津ノ井小学校放課後児童クラブ専用施設	2012	120	木造	
浜村小学校放課後児童クラブ専用施設	1978	553	鉄筋コンクリート造	

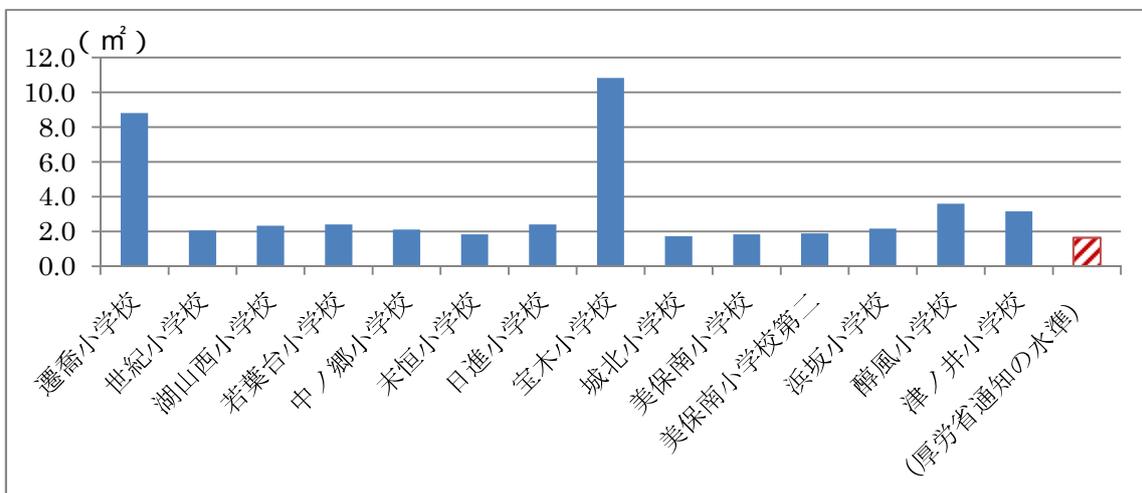
公民館（地区集会施設）等と併設している施設（延床面積はクラブ専有部分）

2クラブあります。

旧浜村幼稚園を活用

利用者1人あたりの延床面積

国の示す望ましい水準は1.65㎡（放課後児童クラブガイドライン（2007年厚生労働省通知））とされており、本市の全施設は同水準を満たしている状況です。

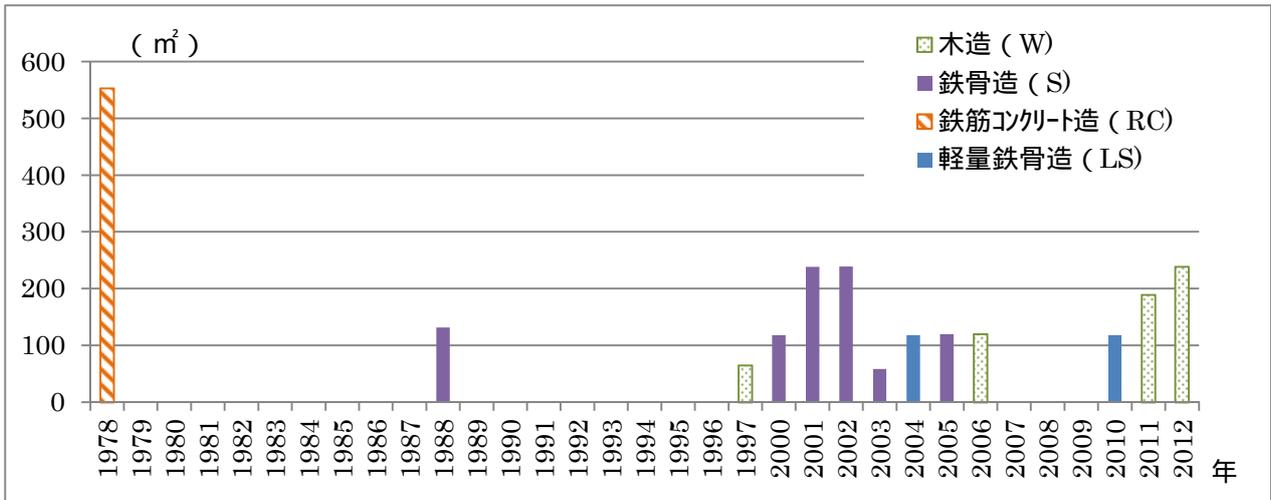


浜村小学校は、旧浜村幼稚園を使用しており面積が広いため掲載していません

【品質面（放課後児童クラブ）】

建築年と構造別延床面積

他分類の施設と比較して建築年は新しいといえます。



管理状況

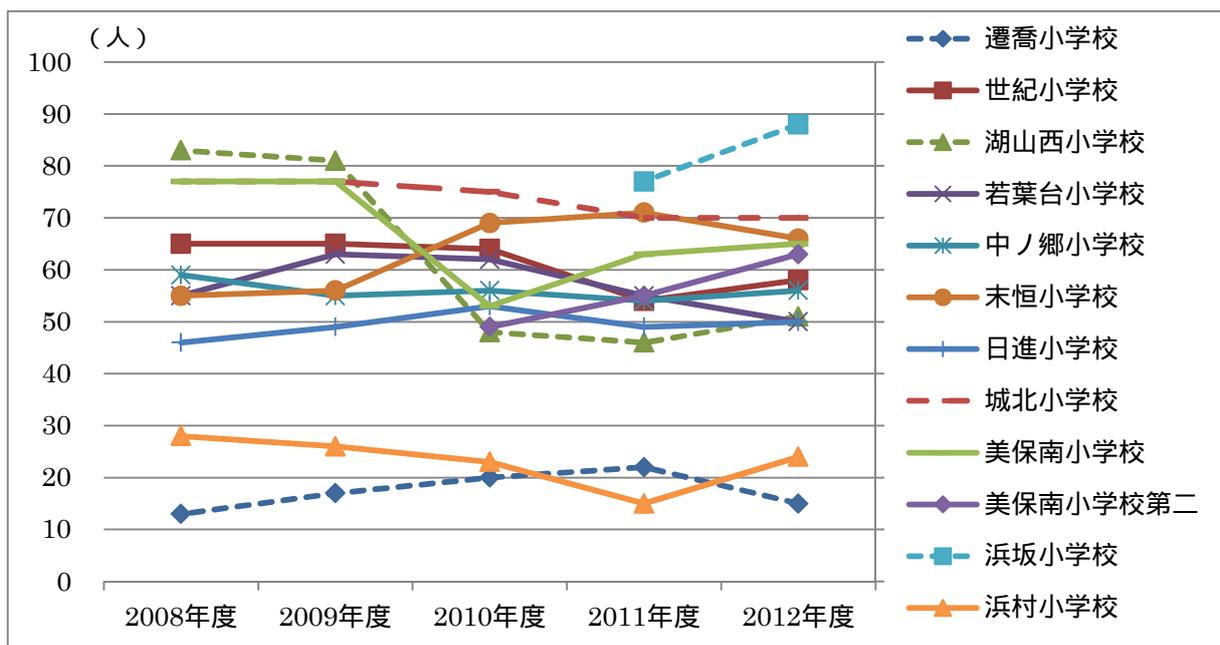
施設の維持管理は、市教育委員会が行い、クラブ運営は委託を受けた保護者会やNPO法人が担っています。クラブ運営費は、市からの委託料とクラブ利用者の負担金によって賄っており、運営費の大部分は指導員の人件費となっています。

【利用状況（放課後児童クラブ）】

利用者の推移

2012年度、専用施設（15施設）を利用した児童数は733人でした。専用施設の利用者数の増減はクラブによって異なります。

また、専用施設のあるクラブに入級する児童は、放課後児童クラブを利用する全児童のうち約4割となっています。

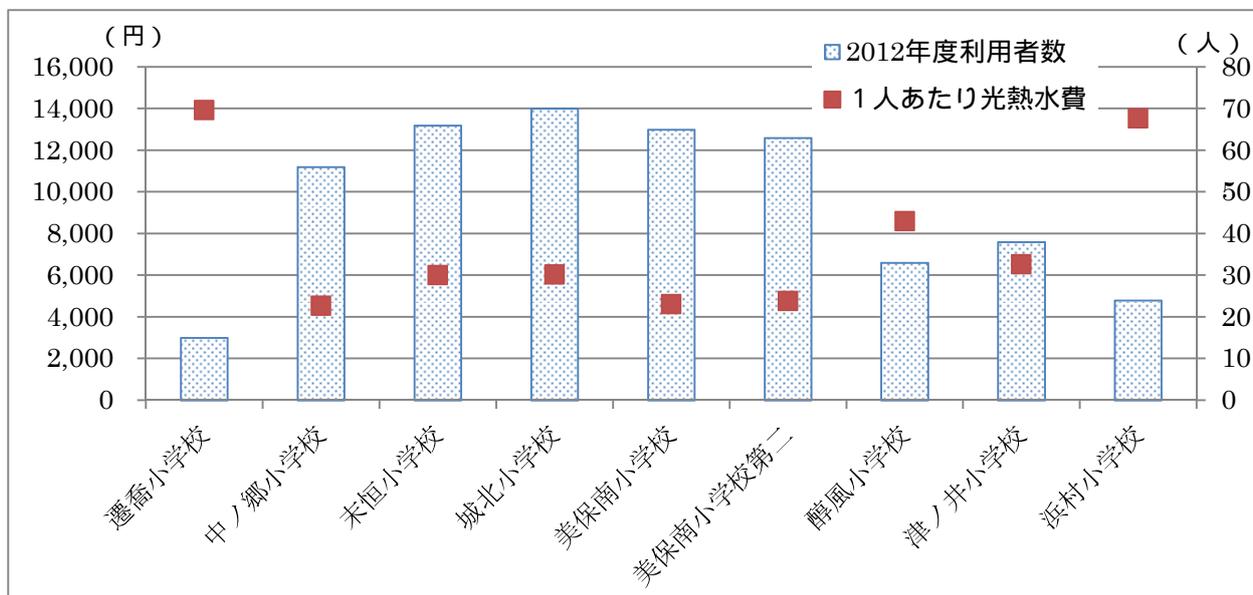


【財務面（放課後児童クラブ）】

2012年度施設管理コスト

全専用施設において、光熱水費は286万円、維持管理費は69万円となっています。

光熱水費は、全て市が負担していますが、施設の位置関係等によって学校と合わせて支払いしている場合と、クラブ単独で支払いしている場合に分かれます。



建物の再調達価格

2000年以降に整備された施設の再調達価格は平均2,000万円となっており、建築にあたっては、国庫補助金の交付を受けることも可能です。

国等からの補助金を除き、鉄骨造の耐用年数を34年とした場合、施設新築には年間59万円/館の公費負担が発生していることとなります。

児童発達支援センター

児童発達支援センター(若草学園)は、心身の発達支援を必要とする児童が通園し、独立自活に必要な知識技能を習得することを目的に児童福祉法並びに市条例に基づいて設置しています。

【供給面・品質面】

建物の状況

施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
若草学園	湖山町西	1987	499	鉄骨造

【利用状況】

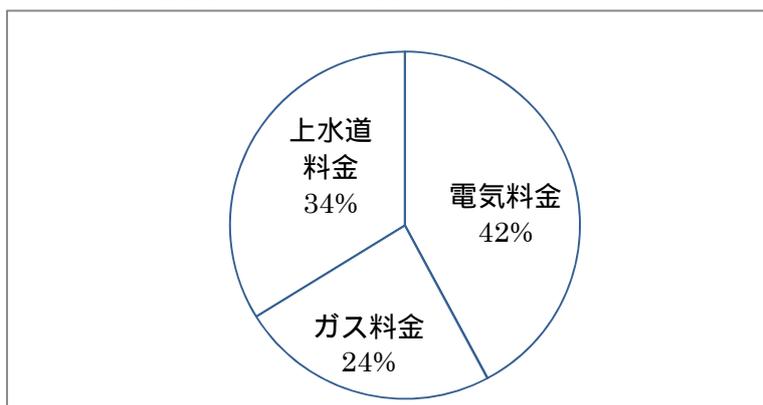
利用者数

2012年度利用者：32人

【財務面】

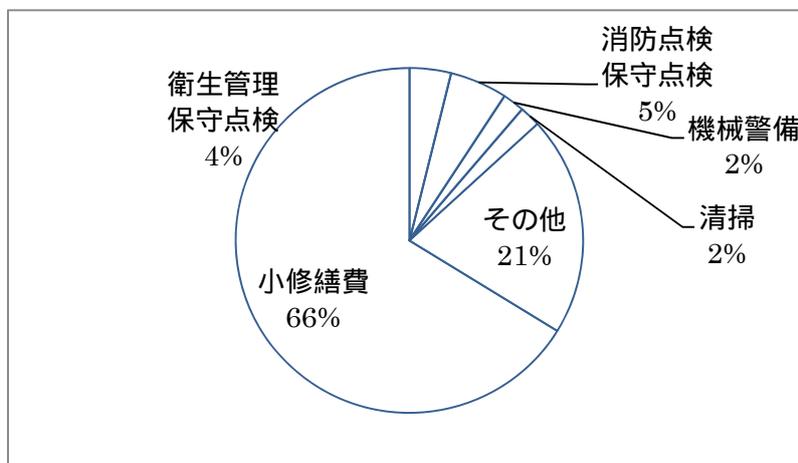
光熱水費

2012年度における光熱水費は、168万円でした。



維持管理費

2012年度における維持管理費は、108万円でした。

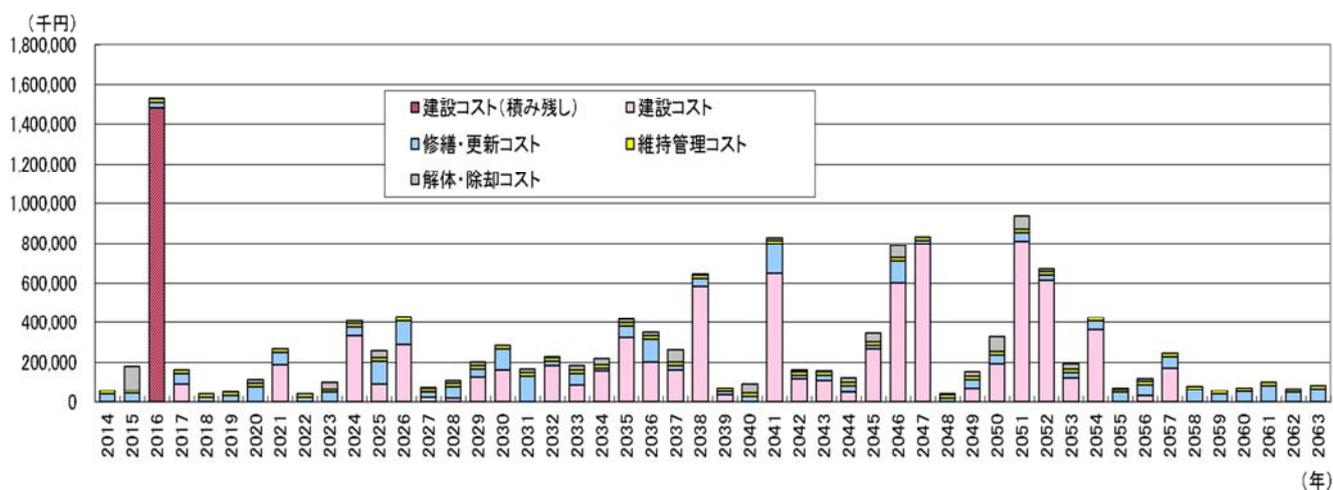


【更新費用（保育・子育て支援施設）】

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は137億8,300万円。年平均2億7,600万円と試算されます。

50年間の総計	単位:千円
建設コスト	9,499,185
修繕・更新コスト	2,542,813
維持管理コスト	876,178
解体・除却コスト	865,508
計	13,783,684
単年度平均	単位:千円/年
建設コスト	189,984
修繕・更新コスト	50,856
維持管理コスト	17,524
解体・除却コスト	17,310
計	275,674



2 高齢者支援施設

高齢者支援施設は、高齢者福祉の増進等を主な目的として、様々な施設が市内各地に設置されています。

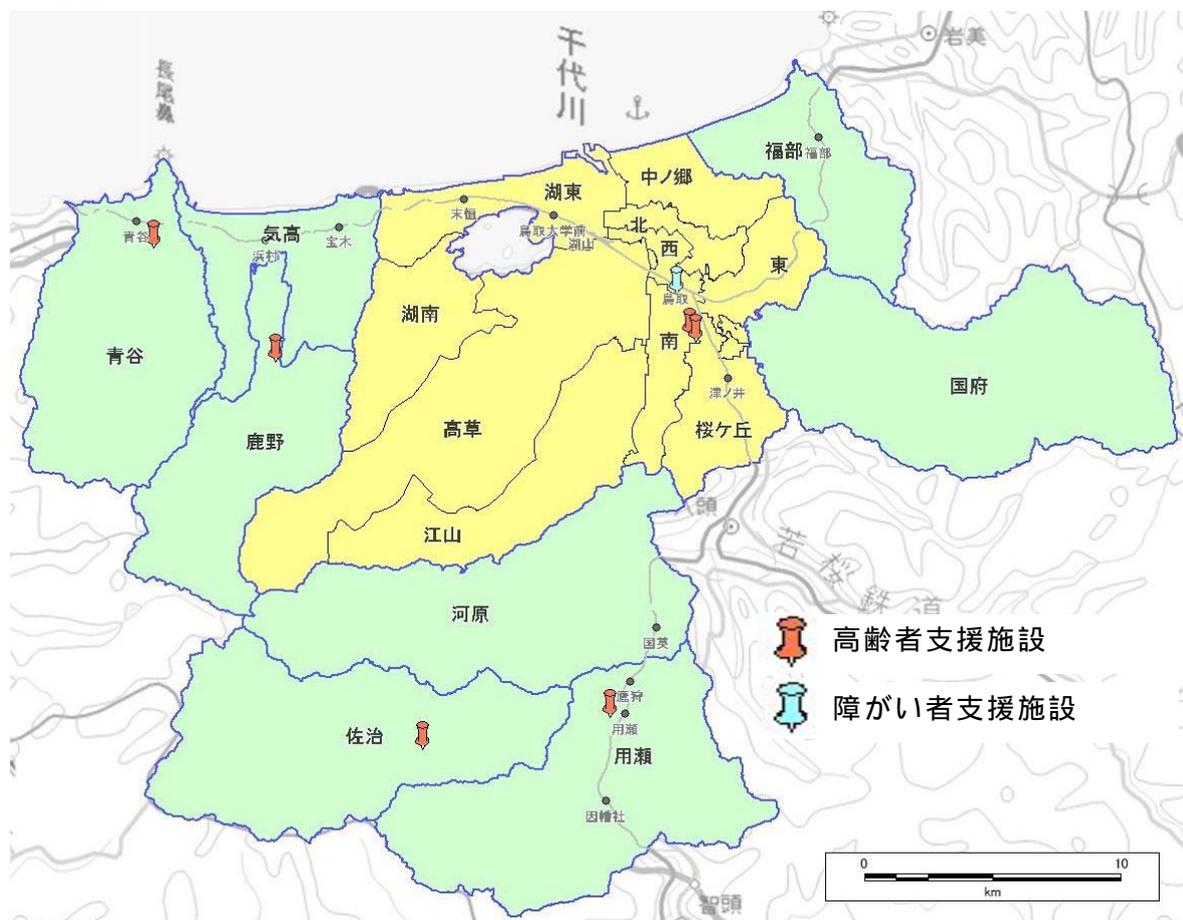
【供給面】

施設総数：6 総延床面積：14,838㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
		2											1	1		1	1

配置図



配置図内には後述の障がい者支援施設も掲載

市条例で定められている高齢者支援施設の種類の種類

施設名	設置目的（条例上）
なごみ苑	高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じ、もって高齢者の福祉を図る。
介護老人保健施設 やすらぎ	市民の老後の健康を守り、老人福祉の増進を図る。
高齢者生活福祉センター やすらぎ	高齢者等の心身の健康の保持及び生活の安定を図る。
高齢者福祉センター	市民生活における福祉活動の拠点として、市民ボランティア活動等、健康づくり及び高齢者福祉の充実を図る。
老人福祉センター （佐治、鹿野）	高齢者に対して、各種の相談に応じるとともに健康の増進及び共用の向上等の便宜を総合的に供与する。
高齢者いきいき交流 センター	市民の健康増進と福祉の向上を総合的に推進するため

建物の状況

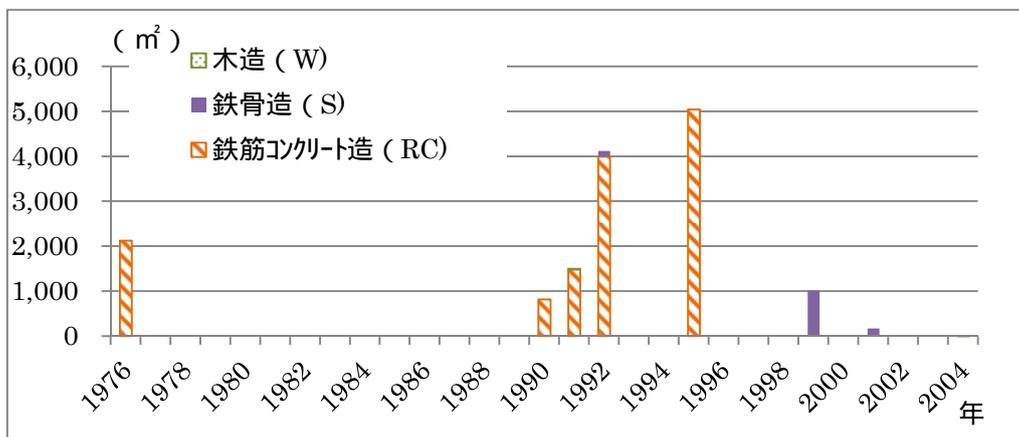
施設名	所在地	土地区分	建築年	延床面積	構造
なごみ苑	的場	市有地	1995	3,900	鉄筋コンクリート造
介護老人保健施設 やすらぎ	的場	市有地	1992	3,999	鉄筋コンクリート造
高齢者生活福祉センター やすらぎ	青谷町善田	市有地	1995	1,156	鉄筋コンクリート造
高齢者福祉センター	富安二丁目	市有地	1976	2,128	鉄筋コンクリート造
佐治町老人福祉センター	佐治町加瀬木	借地	1990	824	鉄筋コンクリート造
鹿野町老人福祉センター しかの和泉荘	鹿野町今市	市有地	1991	1,813	鉄筋コンクリート造
高齢者いきいき交流 センター	用瀬町別府	市有地	1999	1,019	鉄骨造

高齢者福祉センターは、鳥取市総合福祉センター（さざんか会館）と同一敷地です。
 高齢者いきいき交流センターと用瀬地区保健センターは、同一敷地別棟の施設です。

【品質面】

建築年と構造別延床面積

多くが新耐震基準を満たした建物となっています。



【財務面】

管理形態

2012年度における管理状況と指定管理料等は次のとおりです。

施設名	管理方法	管理者	指定管理料
なごみ苑	指定管理	鳥取福社会	155,515,717 円
介護老人保健施設やすらぎ	指定管理	社会福祉法人あすなる会	利用料金制
高齢者生活福祉センターやすらぎ	指定管理	社会福祉法人 鳥取市社会福祉協議会	9,355,000 円
高齢者福祉センター	指定管理	株式会社さんびる	19,062,960 円
佐治町老人福祉センター	指定管理	社会福祉法人 鳥取社会福祉協議会	7,539,000 円
鹿野町老人福祉センター しかの和泉荘	指定管理		
高齢者いきいき交流センター	直営		

高齢者福祉センターはさざんか会館と併せて指定管理委託のため、指定管理料は面積按分により算出

入所型施設

入所者 1 人あたりの施設管理コスト

2012年度における利用者と利用者 1 人あたりの維持管理費は次のとおりです。

施設名	利用者数	維持管理費
なごみ苑	31,475 人	4,941 円
高齢者生活福祉センターやすらぎ	14,500 人	652 円
介護老人保健施設やすらぎ	38,793 人	(参考値) 1,231 円

3施設とも指定管理施設ですが、なごみ苑と高齢者生活福祉センターやすらぎは指定管理料支払制であり、介護老人保健施設やすらぎは利用料金制となります。

介護老人保健施設やすらぎは、施設管理コストを管理者負担となっています。

通所型施設

利用者 1 人あたりの公費負担額

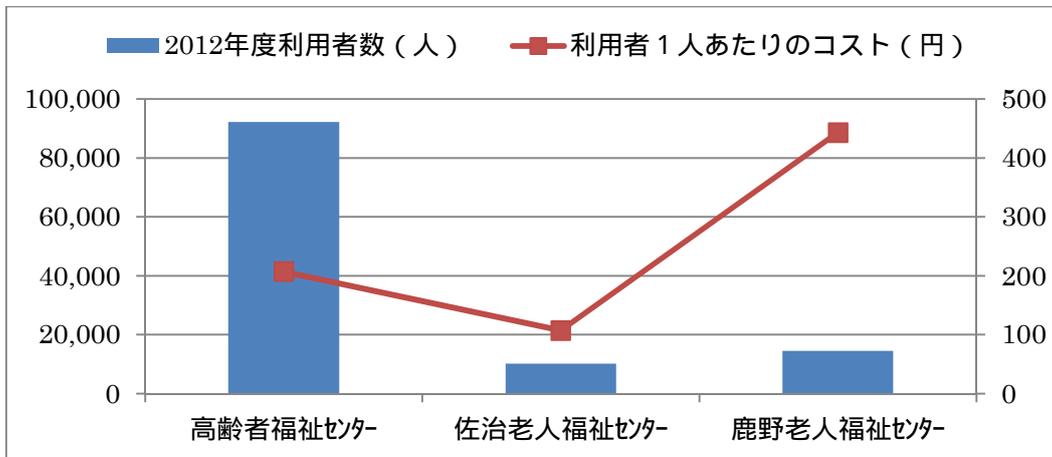
2012年度における高齢者利用施設の利用者と利用者 1 人あたりの公費負担は次のとおりです。

施設名	利用者数	公費負担額
高齢者福祉センター	92,202 人	207 円
佐治町老人福祉センター	10,205 人	107 円
鹿野町老人福祉センターしかの和泉荘	14,534 人	443 円

高齢者福祉センターは、鳥取市総合福祉センター（さざんか会館）と併せて指定管理委託を行っているため、利用者数は面積按分により算出しています。

利用者数と1人あたりのコストのバランス

高齢者福祉センターの利用者数が、3施設の中で80%近くを占めますが、利用者1人あたりの公費負担額は、鹿野老人福祉センターが最も多くなっています。



土地の状況

佐治町老人福祉センターが借地となっています。

また、なごみ苑、介護老人保健施設やすらぎ、老人福祉センター（佐治、鹿野）、高齢者生活福祉センターやすらぎ（青谷）の5施設については、各指定管理者に土地と建物を無償で貸し付けています。

その他施設

直営施設である高齢者いきいき交流センターに係る経費は、光熱水費と一部の維持管理費が同一敷地内の用瀬地区保健センターに含まれています。

高齢者いきいき交流センター単独で発生している維持管理費は、昇降機点検、消防用設備点検、機械警備、経常修繕等により、98万円となっています。

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は60億円。年平均1億2,000万円と試算されます。（更新時期のグラフは後述の「障がい者支援施設」をご覧ください。）

50年間の総計		単位:千円
建設コスト	3,978,304	
修繕・更新コスト	1,208,691	
維持管理コスト	422,565	
解体・除却コスト	397,481	
計	6,007,041	
単年度平均		単位:千円/年
建設コスト	79,566	
修繕・更新コスト	24,174	
維持管理コスト	8,451	
解体・除却コスト	7,950	
計	120,141	

3 障がい者支援施設

障害者福祉センター「さわやか会館」

障害者福祉センターは、障がい者福祉の充実を図るため、障がい者福祉活動の拠点施設として市条例「鳥取市障害者福祉センターの設置及び管理に関する条例」により、設置しています。

【供給面・品質面】

建築年、構造及び延床面積

施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
障害者福祉センター「さわやか会館」	富安二丁目	2001	2,995	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造

【品質面】

施設使用料

研修室等使用料

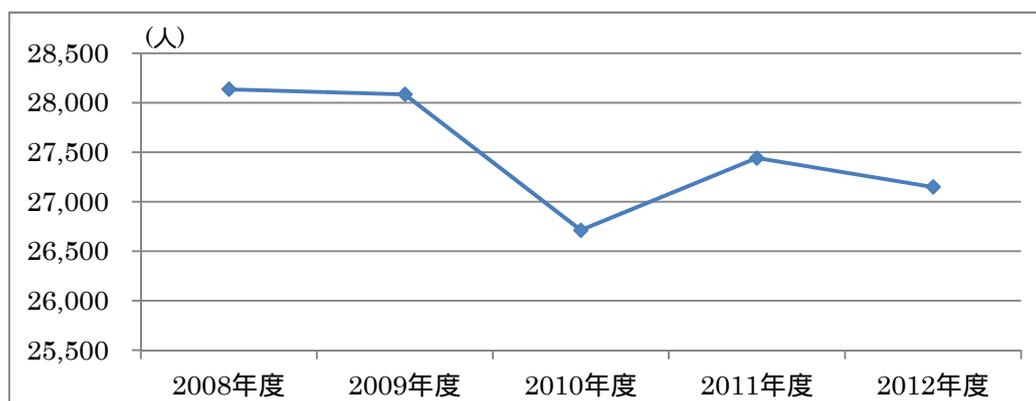
	区分	午前9時～午後5時	午後5時～午後9時
第1研修室	障害者等	無料	無料
	一般	1時間につき680円	1時間につき1,020円
第2研修室	障害者等	無料	無料
	一般	1時間につき680円	1時間につき1,020円
料理実習室	障害者等	無料	無料
	一般	1時間につき600円	1時間につき910円
第1多目的室	障害者等	無料	無料
	一般	1時間につき890円	1時間につき1,330円
リハビリテーションプール	障害者等	無料	
	一般	1人1回につき260円	

リハビリテーション用プール使用料

障害者等	無料
65歳以上の者	1人1回につき260円

【利用状況】

利用者数の推移



【財務面】

施設管理・運営の主体

在宅障がい者福祉の拠点施設として、2001年5月より開館しています。

また、2006年度から指定管理者制度を導入しています。

指定管理者	2012年度指定管理料
社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会	3,324万円

利用者1人あたりの公費負担

2012年度にかかった平均の公費負担額（指定管理料）を利用者数で割り戻して算出しています。

利用者数	利用者1人あたりの公費負担額
27,150人	1,224円

【その他】

施設の状況

障害者支援センター「さわやか会館」

鳥取市富安2丁目96（総合福祉センターさざんか会館横）

3階 多目的室、研修室、生活訓練室、障がい（児）者デイサービス室

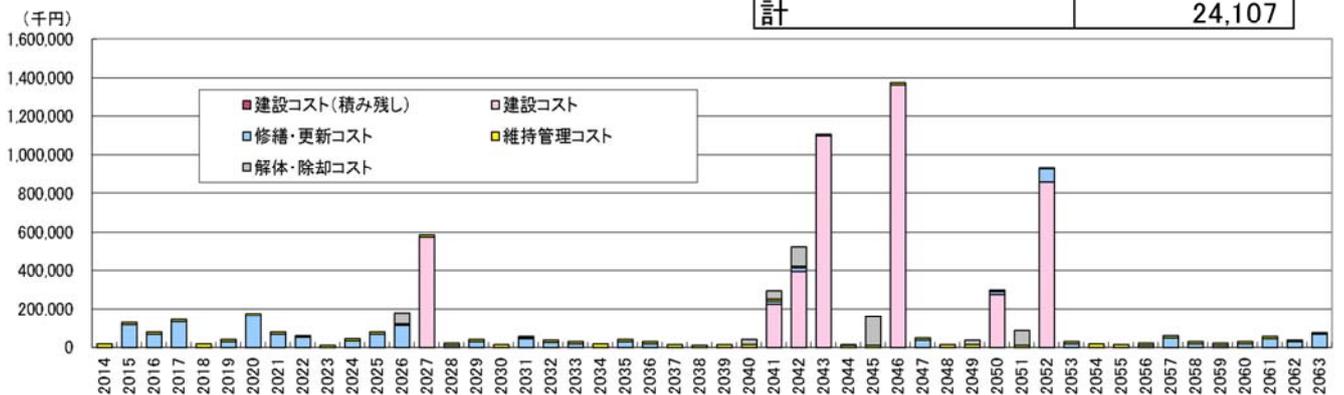
2階 デイルーム、創作室、機能訓練室、介護実習室、特殊浴室、調理実習室

1階 事務室、浴室、リハビリプール（全長15m、幅7m）

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は12億円。年平均2,400万円と試算されます。

50年間の総計	単位：千円
建設コスト	807,380
修繕・更新コスト	243,849
維持管理コスト	82,241
解体・除却コスト	71,870
計	1,205,340
単年度平均	単位：千円/年
建設コスト	16,148
修繕・更新コスト	4,877
維持管理コスト	1,645
解体・除却コスト	1,437
計	24,107



※更新時期のグラフは、高齢者支援施設と障がい者支援施設を併せたものとなっています（年）

4 保健・医療施設

本市の保健施設としては、さざんか会館と地区保健センターがあり、さざんか会館は、市民の福祉活動の拠点として、また各地区保健センターは、市民の健康づくりの推進及び自主的な保健活動の振興を目的として、市条例に基づき設置しています。

佐治町国民健康保険診療所（医科、歯科）は、公営の医療機関です。

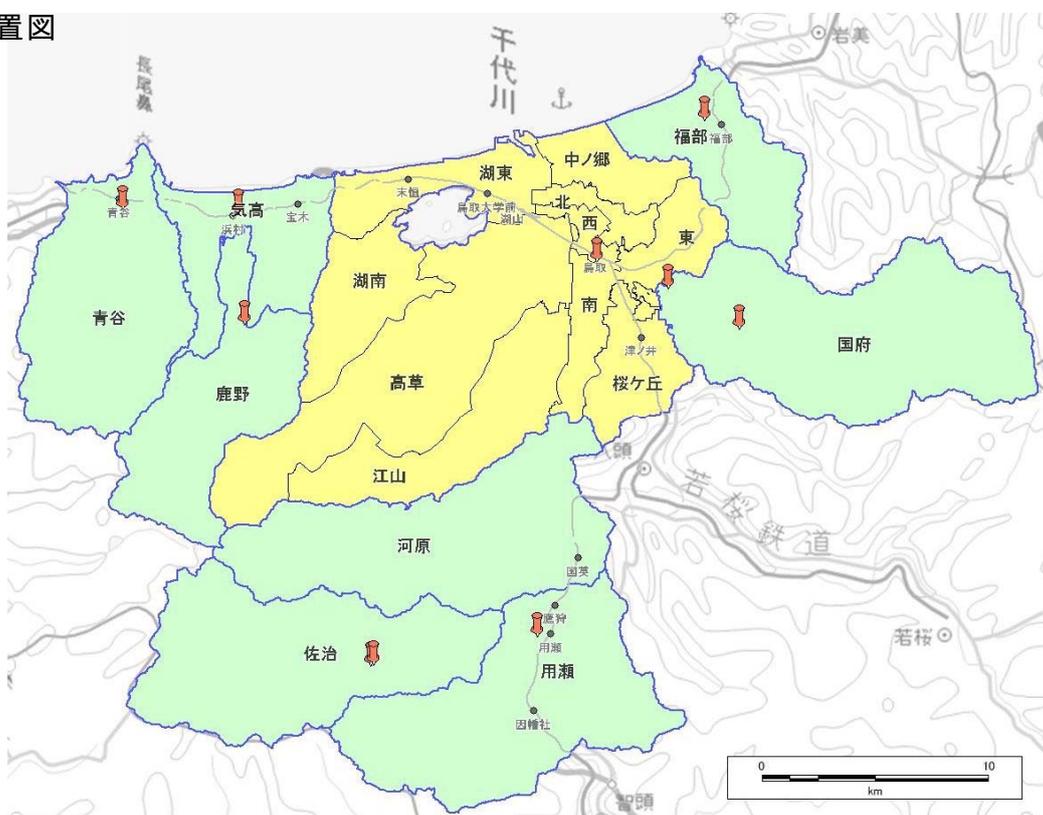
【供給面】

施設総数：10 総延床面積：14,831㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
		1								2	1		1	2	1	1	1

配置図



市条例で定められている保健・医療施設の種類

施設名	根拠条例	設置目的
鳥取市総合福祉センター (さざんか会館)	鳥取市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例 (鳥取市保健センター条例)	市民生活における福祉活動の拠点として、市民のボランティア活動等、健康づくり及び老人福祉の充実を図る。
各地区保健センター	鳥取市保健センター条例	市民の健康づくりの推進及び自主的な保健活動の振興に資する。
佐治町国民健康保険診療所	鳥取市国民健康保険診療所の設置及び管理に関する条例	市民の療養環境の向上を図る。

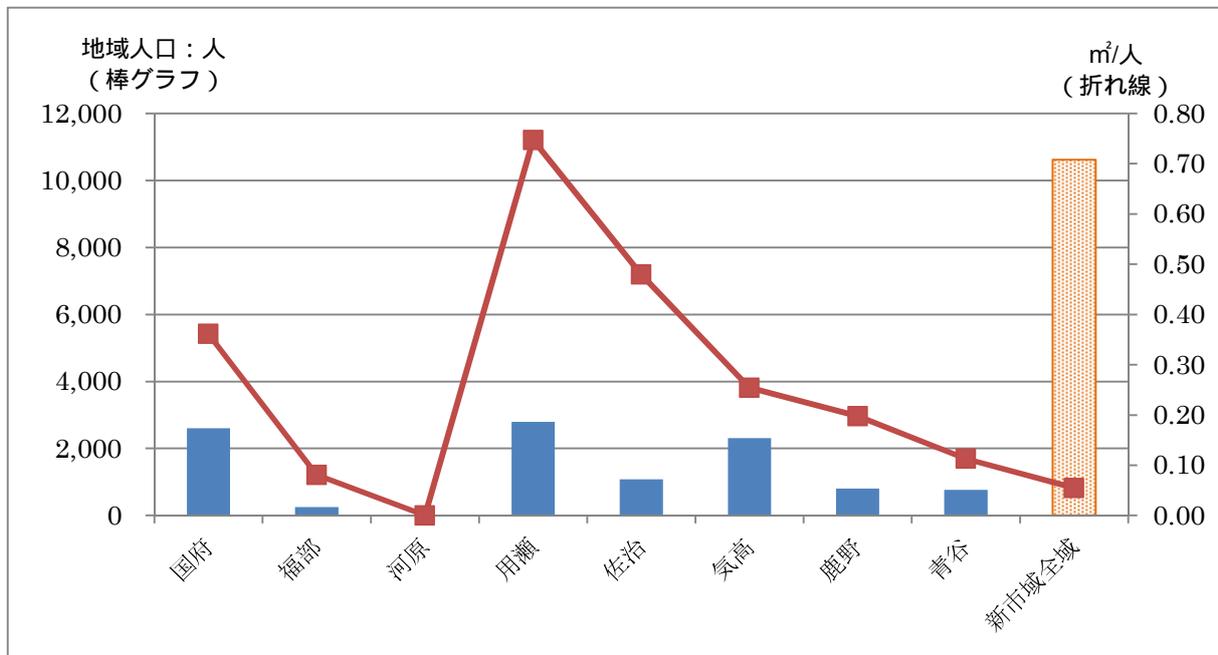
建物の状況

施設名	所在地	土地区分	建築年	延床面積	主な構造
鳥取市総合福祉センター (さざんか会館)	富安二丁目	市有地	1990	4,217	鉄骨鉄筋コンクリート造
国府地区保健センター	国府町糸谷	市有地	2004	2,603	鉄筋コンクリート造
鳥取東健康福祉センター	国府町宮下	(国府町総合支所内)			
用瀬地区保健センター	用瀬町別府	市有地	2003	2,799	鉄骨造
佐治地区保健センター	佐治町加瀬木	借地	1978	585	鉄筋コンクリート造
気高地区保健センター	気高町浜村	市有地	2003	2,311	鉄骨鉄筋コンクリート造
鹿野地区保健センター	鹿野町今市	市有地	1990	802	鉄筋コンクリート造
青谷地区保健センター	青谷町善田	市有地	2001	764	鉄筋コンクリート造
診療所	福部町海士	民有地	2002	252	木造
佐治町国民健康保険 診療所(医科)	佐治町加瀬木	借地	1990	286	鉄筋コンクリート造
佐治町国民健康保険 診療所(歯科)	佐治町加瀬木	借地	1989	163	鉄筋コンクリート造

さざんか会館内には、中央保健センターがあります
鳥取東健康福祉センターは、国府町総合支所との複合施設
佐治町診療所の医科、歯科は別棟

地域別人口1人あたり床面積

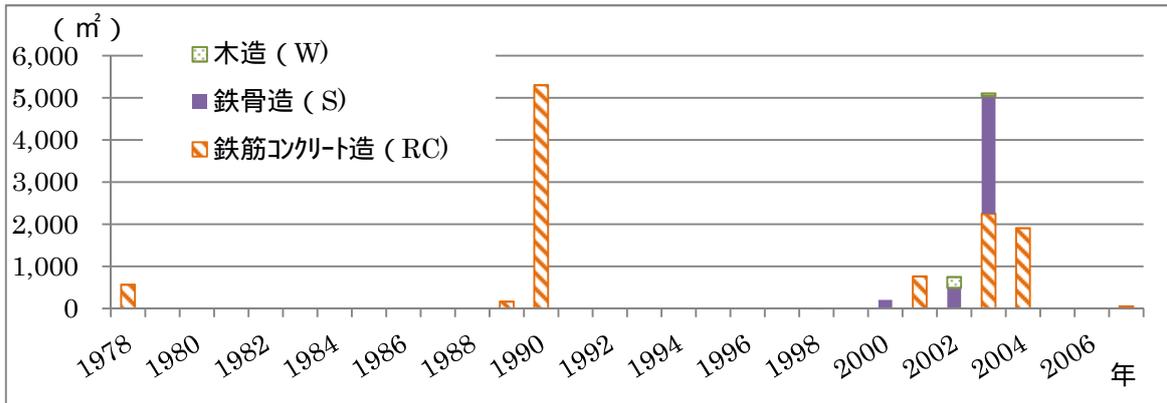
合併市域を地域別に見ると、用瀬、佐治の2地域は、人口に対する床面積の保有量が多いことがわかります。



鳥取市総合福祉センター(さざんか会館)は、中央保健センターを有する複合施設であり、鳥取地域の全域から利用者が来訪するため、地域別の数値は算出していません

【品質面】

建築年と構造別延床面積



【財務面】

光熱水費

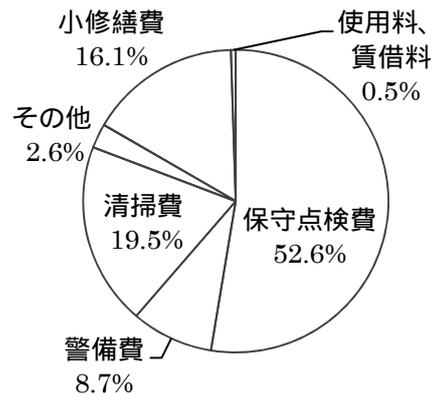
2012年度において、直接運営している保健センターの光熱水費は820万円。
1センターあたりの光熱水費は年間164万円となりました。

維持管理費

2012年度における維持管理費は750万円。

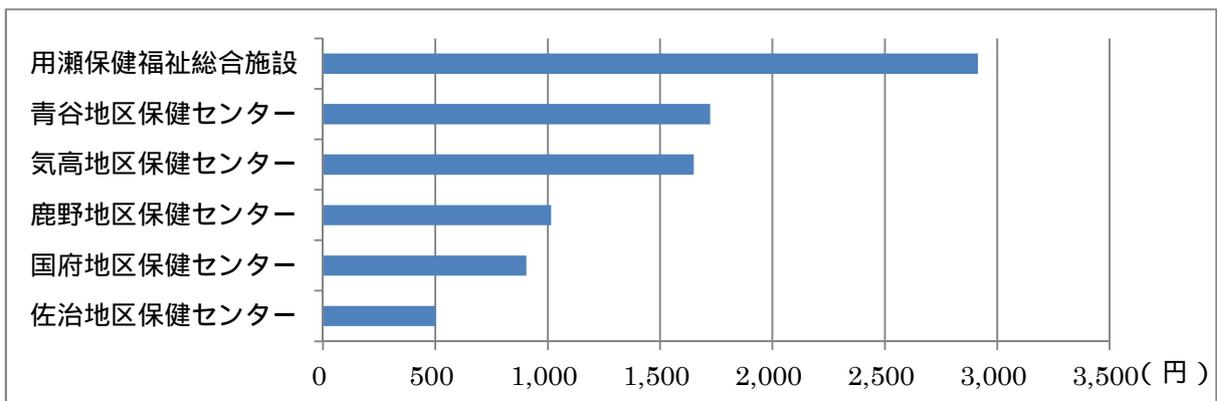
1センターあたり150万円でした。

維持管理費の中で、保守点検費の比率が高いことが特徴と言えます。



地域住民1人あたりの施設管理コスト

2012年度における地域住民1人あたりの施設管理コストは次のとおりです。



気高地区保健センターは、指定管理料を算出の根拠としています

鳥取市用瀬保健福祉総合施設は、用瀬地区保健センターと高齢者いきいき交流センターの合計
鳥取東健康福祉センターは開設が2013年4月であるため、上記表には反映していません

佐治診療所の状況

2012年度における佐治診療所（医科、歯科）のデータは以下のとおりです。

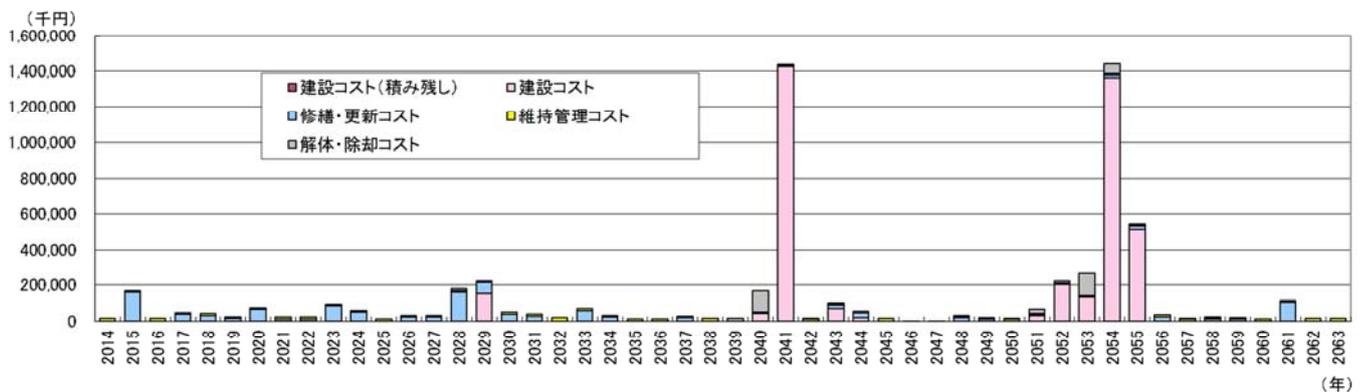
利用者数	光熱水費	維持管理費	利用者1人あたりの公費負担額
11,086人	1,636,161円	3,531,408円	466円

【更新経費】

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は60億円。年平均12億円と試算されます。

50年間の総計	単位:千円
建設コスト	3,965,401
修繕・更新コスト	1,230,999
維持管理コスト	413,790
解体・除却コスト	365,047
計	5,975,237
単年度平均	単位:千円/年
建設コスト	79,308
修繕・更新コスト	24,620
維持管理コスト	8,276
解体・除却コスト	7,301
計	119,505



第6節 産業振興施設

小分類：産業振興施設、農業振興施設、駐車場

1 産業振興施設

産業振興施設は、本市における経済活動を支えるために設置されています。

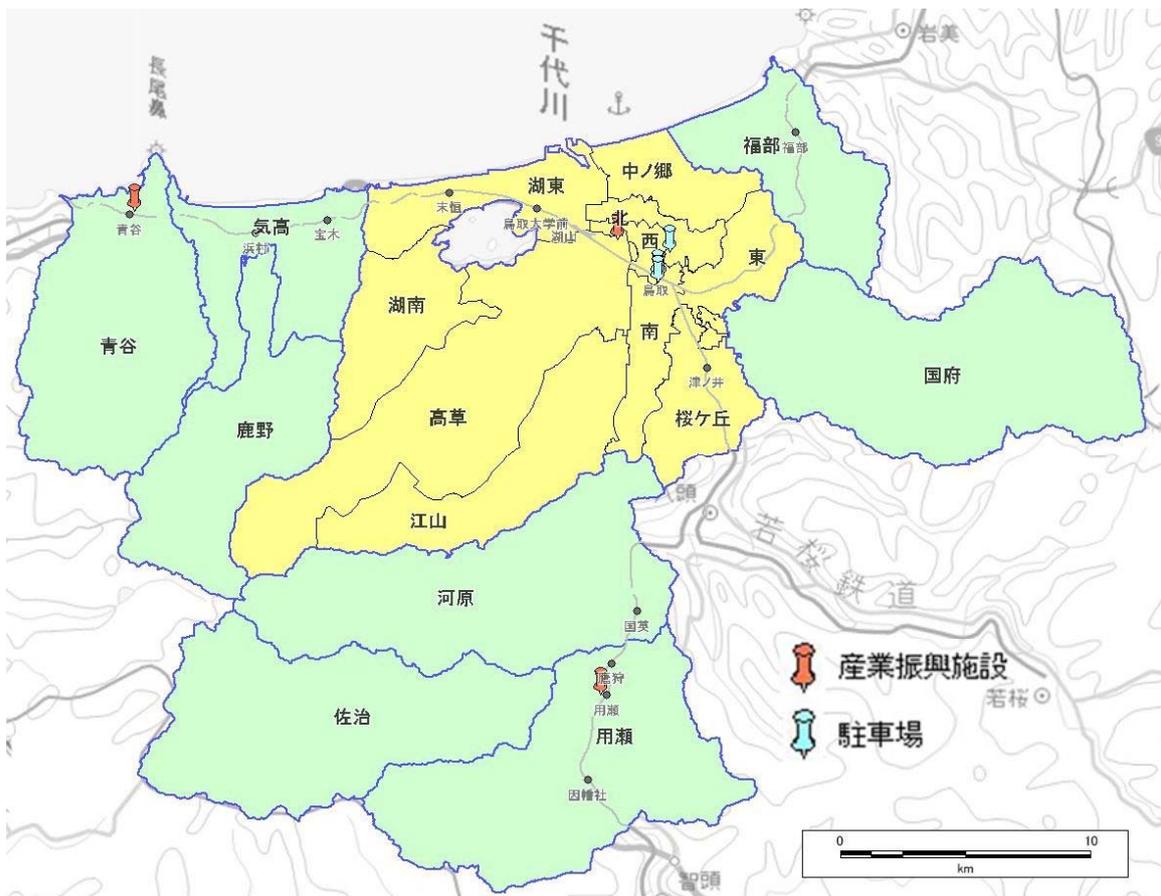
【供給面】

施設総数：3 総延床面積：8,338 m²

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
			1										1				1

配置図



配置図には後述の駐車場も掲載

市条例で定められている産業振興施設の種類

施設名	根拠条例	設置目的
鳥取市公設地方卸売市場	鳥取市公設地方卸売市場条例	生鮮食料品等の取引の適正化及び流通の円滑化を図り、もって市民生活の安定に資する。
青谷町特産品加工販売施設 (ようこそ館)	鳥取市青谷町特産物加工販売施設の設置及び管理に関する条例	特産加工品の研究開発と加工品の製造販売及び地域間の交流により農業・農村の活性化を図る。

主な建物の状況

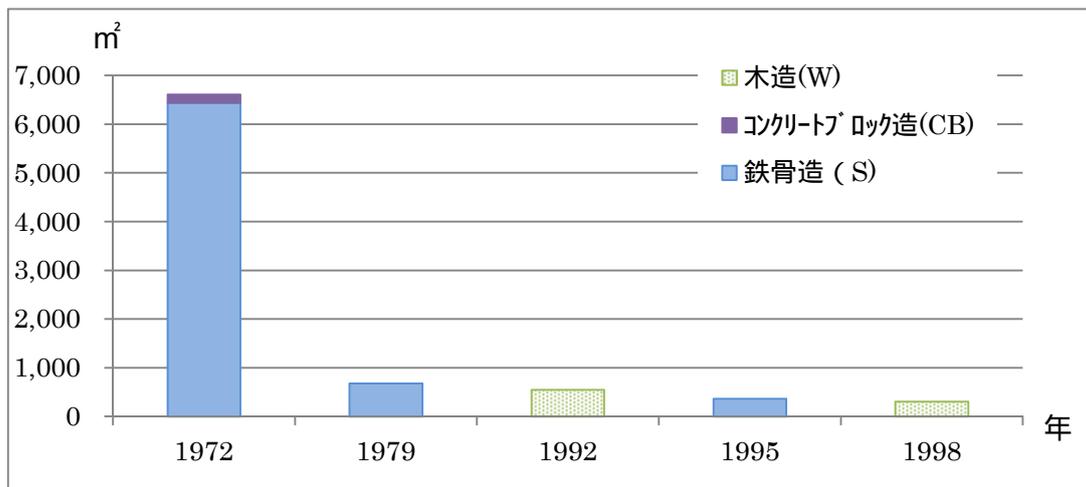
施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
鳥取市公設地方卸売市場				
青果棟	南安長二丁目	1972	4,826	鉄骨造
水産物棟	南安長二丁目	1972	1,760	鉄骨造
花き棟	南安長二丁目	1972	430	鉄骨造
管理棟ほか	南安長二丁目	1972	468	鉄骨造コンクリートブロック造
青谷町特産品加工販売施設(ようこそ館)	青谷町青谷	1998	296	木造
観光物産センター	用瀬町別府	1992	548	木造

観光物産センターは、流しびなの館(観光施設)と一体

【品質面】

建築年及び構造別延床面積

卸売市場の耐用年数が近づいています。



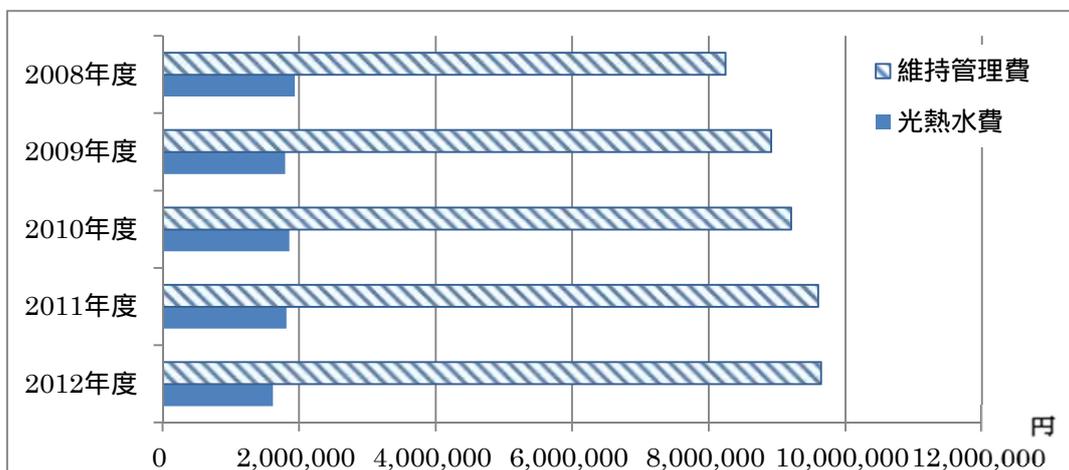
鳥取市公設地方卸売市場

【財務面】

管理状況・施設管理コスト

市場の管理・運営は、指定管理者である“協同組合鳥取総合食品卸売市場”が担っており、市場取引の円滑な運営に取り組んでいます。

光熱水費は横ばいですが、維持管理費は増加傾向にあります。



指定管理料

2012年度における指定管理料は、年間 27,866,000 円となっており、管理棟以外の光熱水費は、各卸売業者が負担しています。

施設概要

“鳥取市公設地方卸売市場条例”に基づき、生鮮食料品等の取引の適正化及び流通の円滑化を図るために設置しています。

- ・所在地 鳥取市南安長二丁目 697 番地
- ・敷地面積 32,237 m²
- ・取扱品目 青果部 野菜、果実及びこれらの加工品
水産物部 生鮮水産物及びその加工品
花き部 花き
- ・休場日 日曜日・祝日 12月31日～1月4日、8月15日～16日

青谷町特産品加工販売施設（ようこそ館）

【財務面】

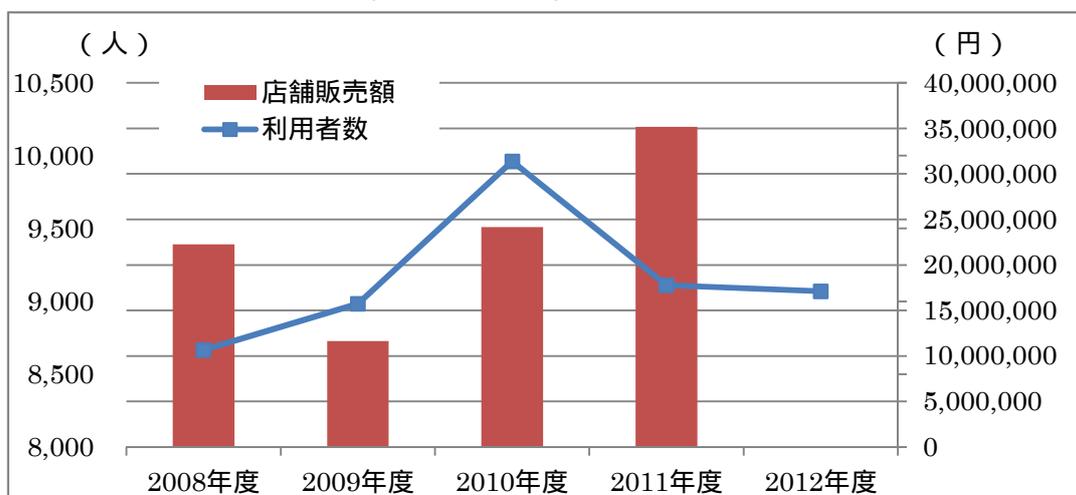
管理方法並びに公費負担額

青谷町特産品加工販売施設（ようこそ館）は、特産加工品の研究開発と加工品の製造販売及び地域間の交流により農業・農村の活性化を図るために設置されています。

管理・運営は、指定管理者である“一般財団法人鳥取市農業公社（指定管理料：4,745,000 円）”が担っています。

利用状況等

青谷町特産品加工販売施設(ようこそ館)の利用者数と店舗販売額は次のとおりです。



観光物産センター

地域の特産品等の紹介を通して観光振興及び地域活性化を図るため、観光物産センターを設置しています。(栄町の鳥取市物産観光センターは民間所有物件のため対象外です。)

管理・運営は、指定管理者である“一般財団法人用瀬町ふるさと振興事業団”が担っています。利用状況等は、「観光施設」を参照してください。

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は45億6,400万円。年平均9億1,000万円と試算されます。(更新時期のグラフは後述の「駐車場」をご覧ください。)

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	3,277,265
修繕・更新コスト	831,326
維持管理コスト	281,571
解体・除却コスト	173,875
計	4,564,037
単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	65,545
修繕・更新コスト	16,627
維持管理コスト	5,631
解体・除却コスト	3,478
計	91,281

2 農業振興施設

本市では、農業従事者への支援や効率的な農作業、各種加工作業、地域住民の連帯感醸成などを目的として、様々な農業振興施設を設置しています。

大規模な施設としては、広域育苗施設(鳥取市本高)や野菜栽培施設(鳥取市馬場)、水耕栽培施設(気高町宝木)などがあり、小規模な農機具保管庫は60施設以上、共同作業場は50施設以上あり、地元や農業従事者が管理しています。

小規模な施設のほとんどは、「鳥取市有施設の民間等への譲渡に関する取扱い方針(2007年9月作成)」に基づき、順次地元譲渡、無償貸付等を進めています。

一方、市条例に基づき、農村部の地域農業の振興と、農産物の加工技術の習得・向上等を目的として設置している農産物加工施設があります。

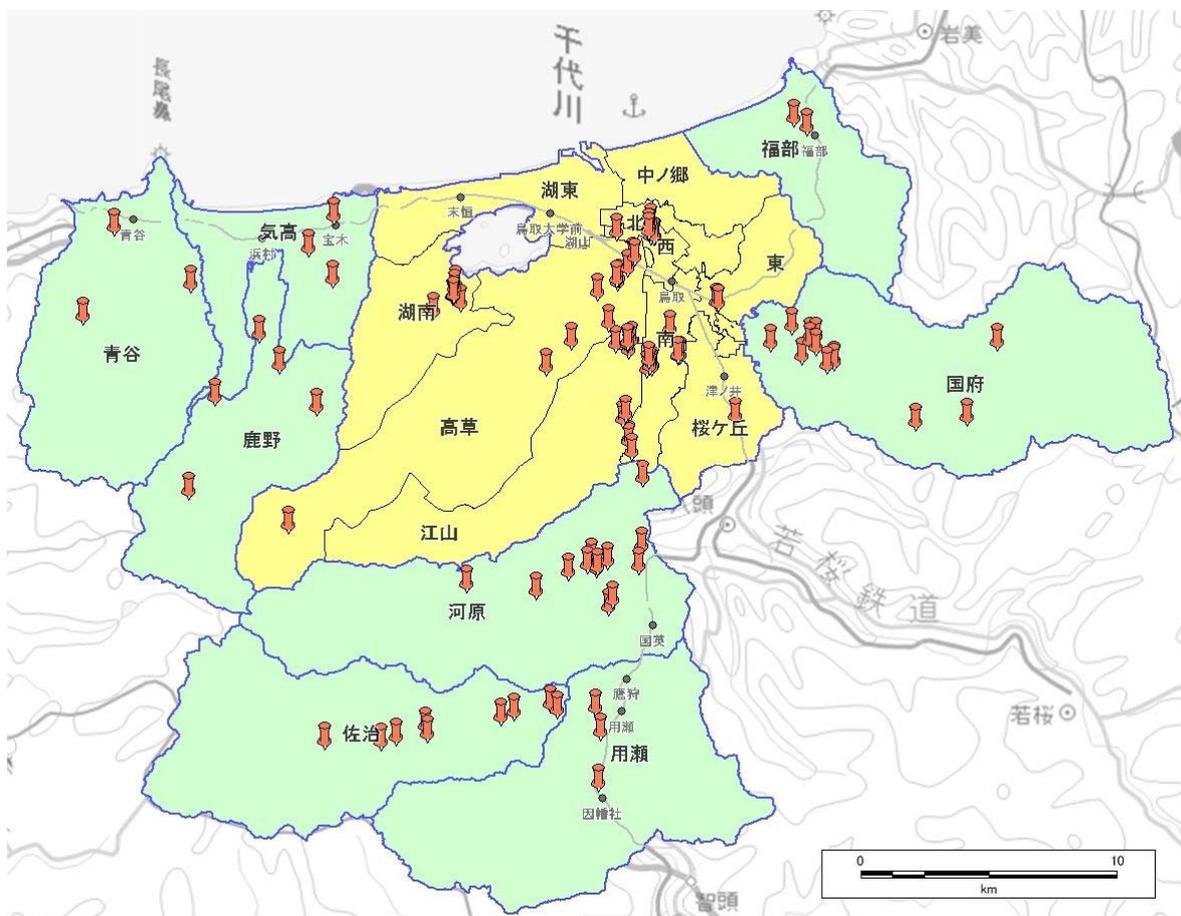
【供給面】

施設総数：136 総延床面積：44,462 m²

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	10	15	1			8	12	8	4	21	2	21	3	14	7	7	3

配置図



市条例で定められている農業振興施設の種類

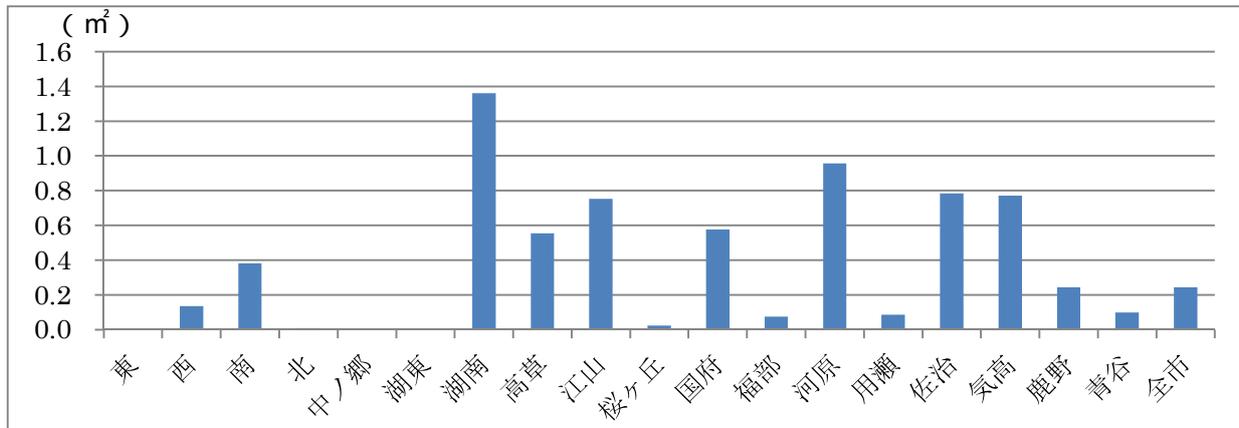
施設名	根拠条例	設置目的
新規就農者技術習得支援施設	鳥取市新規就農者技術習得支援施設の設置及び管理に関する条例	新たに就農しようとする者に対し農業に必要な技術及び知識の付与その他の支援を行うことにより、本市における農業の担い手の育成及び確保を図る。
かちべ伝承館	鳥取市かちべ伝承館の設置及び管理に関する条例	中山間地域の活性化及びうるおいと活力のある地域農業の振興を図る。
農産物加工施設	鳥取市農産物加工等施設の設置及び管理に関する条例	農産物の加工技術の習得・向上による地域農業の振興と共同利用による地域住民の連帯感の醸成を図る。
農業バイオセンター	鳥取市鹿野農業バイオセンターの設置及び管理に関する条例	鳥取市の花き、野菜の生産振興に寄与する。
ふるさと加工所	鳥取市鹿野ふるさと加工所の設置及び管理に関する条例	中山間地域の活性化及び特産品振興に寄与する。
農産物集出荷作業所	鳥取市農産物集出荷作業場の設置及び管理に関する条例	農業の振興を図る。

建物の状況

施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
新規就農者技術習得支援施設	国府町麻生	2002	450	鉄骨造 2 階
かちべ伝承館	青谷町鳴瀧	1998	445	木造 1 階
農産物加工施設				
鳥取市農産物加工センター	香取	1991	119	鉄骨造
鳥取市東郷農産物加工施設	西今在家	2007	71	木造
成器地区農産物加工施設	国府町中河原	1994	45	木造
麻生地区農産物加工施設	国府町麻生	1995	29	鉄骨造
大茅地区農産物加工施設	国府町栃本	1999	254	鉄骨造
転作促進集会研修施設七草の家	国府町糸谷	1984	226	鉄骨造
福部町アイデア館	福部町海士	1998	227	鉄骨造
福部町洗濯・乾燥施設	福部町細川	2000	10	鉄骨造
用瀬町社農産物加工施設	用瀬町宮原	1989	106	鉄骨造
佐治町農産物加工センター	佐治町加瀬木	1990	155	木造
気高町農産物加工施設	気高町下坂本	1991	90	木造
農業バイオセンター	鹿野町今市	1991	96	木造
ふるさと加工所	鹿野町河内	1991	335	木造
農産物集出荷作業所				
大工町農産物集出荷場	鹿野町鹿野	1984	92	鉄骨造
山根町農産物集出荷場	鹿野町鹿野	1985	89	鉄骨造
南川農産物集出荷場	鹿野町鹿野	1985	71	鉄骨造
法楽寺農産物集出荷場	鹿野町未用	1981	72	鉄骨造

地域別人口一人当たり床面積

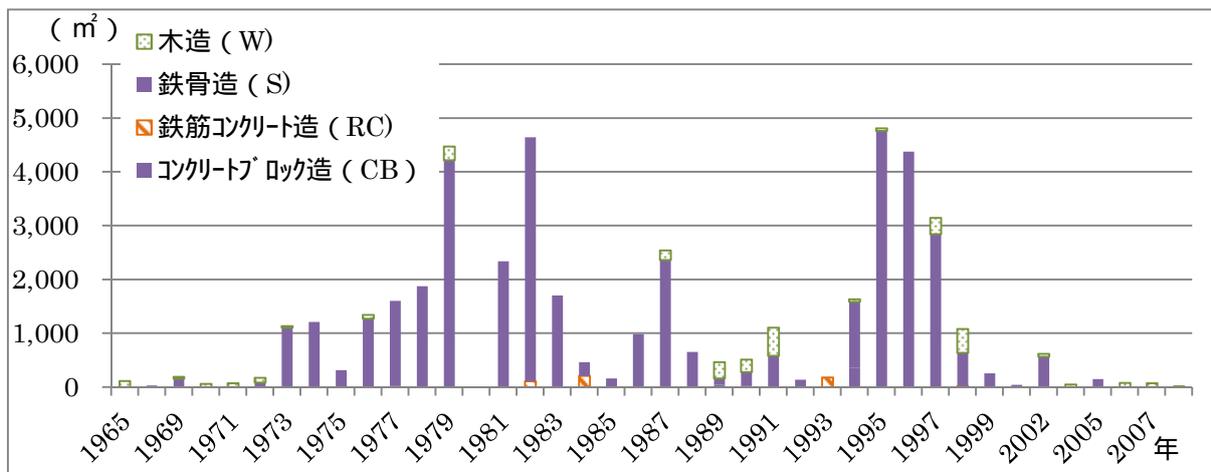
鳥取地域では、湖南、高草、江山の3地区、合併地域では国府、河原、佐治の3地区において、人口1人当たりの床面積が多くなっています。



【品質面】

建築年と構造別延床面積

90%近くの施設が、鉄骨造となっています。また、1981年以前に建築された旧耐震の建物が36%を占めています。



地元が管理している主な施設

成器地区農産物加工施設、麻生地区農産物加工施設、大茅地区農産物加工施設
福部町アイデア館、福部町洗濯・乾燥施設、用瀬町社農産物加工施設

以下、主な施設について記載します。

【利用状況】

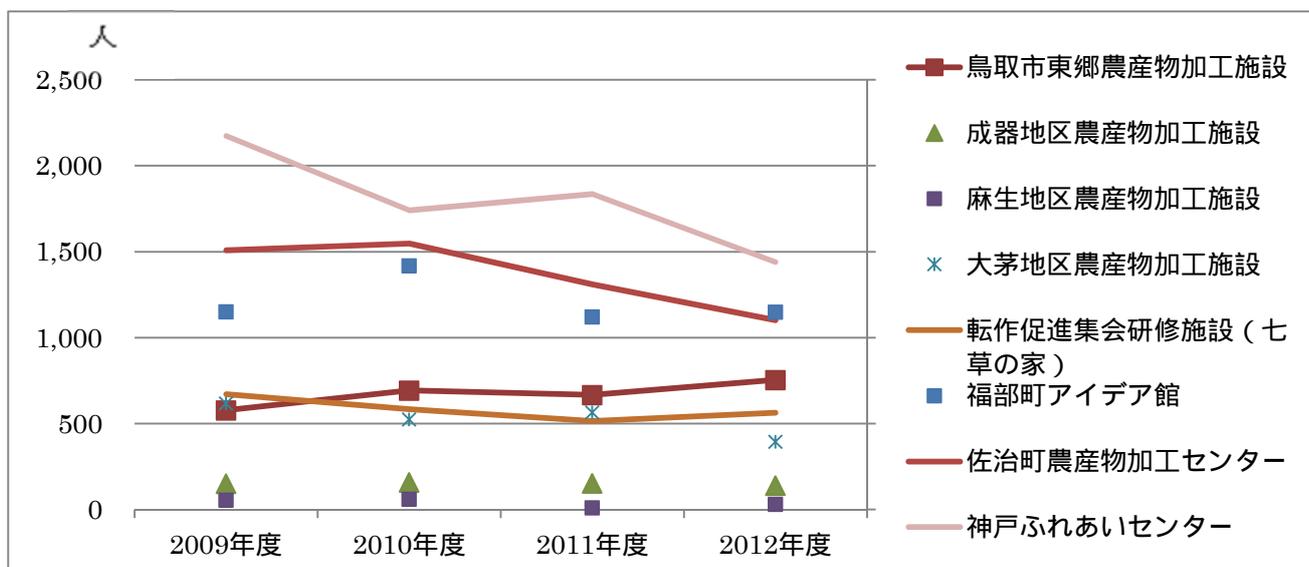
鳥取市新規就業者技術習得支援施設

長期的に人材育成を行うため、他の施設と比べて利用人数は少なくなっています。

	2010年度	2011年度	2012年度
農業体験者数	33	14	17

その他の施設

利用者数はほぼ横ばいですが、減少幅が大きな施設も見られます。



【財務面】

管理状況と指定管理料

市が光熱水費等を負担し、地元で管理を委託している施設のほかに、指定管理者が管理・運営している施設もあります。

指定管理者の状況

2012年度において指定管理者制度を導入している施設は次のとおりです。

施設名	指定管理者	指定管理料
鳥取市新規就業者技術習得支援施設	鳥取市ふるさと農業公社	5,342,000
鳥取市かちべ伝承館	特定非営利活動法人B.F.O.じげ	4,259,000
鳥取市東郷農産物加工施設	JA鳥取いなば東郷地区女性会	0
転作促進集会研修施設七草の家	鳥取いなば農業協同組合	519,000
佐治町農産物加工センター	佐治町婦人の家運営協議会	917,000
神戸ふれあいセンター	神戸ふれあいセンター運営委員会	587,000

利用者1人あたり公費負担

鳥取市かちべ伝承館

利用者は、2011年度の2,217人から2012年度は3,809人と1.7倍になりましたが、利用料収入はほとんど変動がありませんでした。

	利用者数	指定管理料(公費)	利用者1人あたり公費負担	利用料収入	利用者1人あたり利用料
2011年度	2,217	4,259,000	1,921	389,050	175
2012年度	3,809	4,259,000	1,118	399,960	105

施設概要

鳥取市新規就業者技術習得支援施設

農業の担い手を育成・確保するため、新たに就農しようとする者に対して、農業に必要な技術や知識の付与、各種支援を行う施設です。就農定住促進や農業体験など様々な取り組みを展開しています。建物は旧分庁舎を改修した施設です。

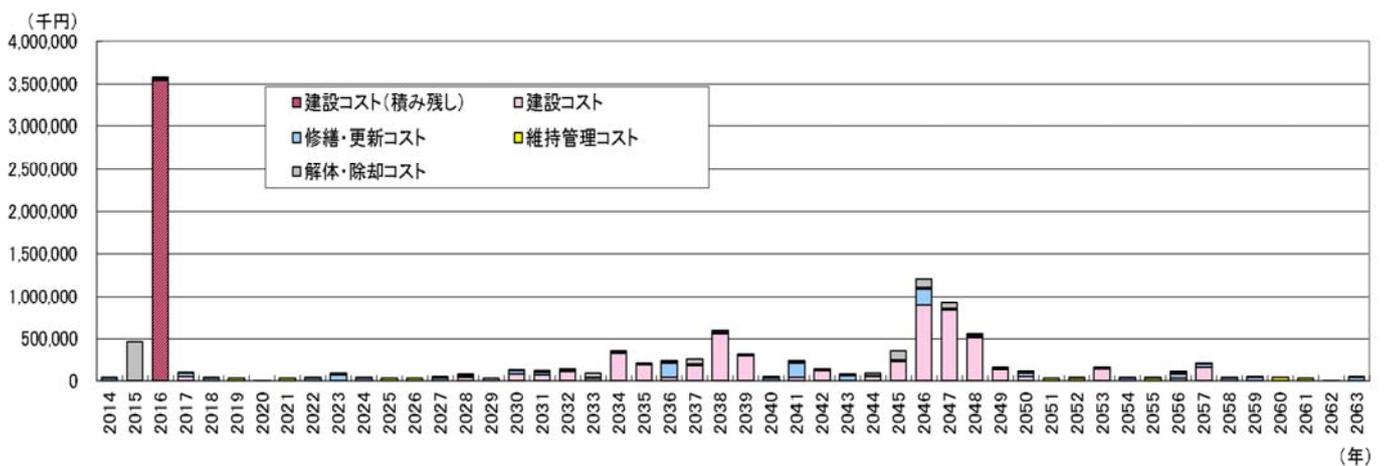
鳥取市かちべ伝承館

地域農業の振興と中山間地域の活性化を目的として設置し、加工設備のほかに研修室や農村文化伝承室があり、いずれも有料で利用できます。

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は118億4,000万円。年平均2億3,700万円と試算されます。耐用年数を超過している施設が目立ちます。

50年間の総計		単位:千円
建設コスト	8,772,168	
修繕・更新コスト	1,421,886	
維持管理コスト	594,423	
解体・除却コスト	1,052,607	
計	11,841,084	
単年度平均		単位:千円/年
建設コスト	175,443	
修繕・更新コスト	28,438	
維持管理コスト	11,888	
解体・除却コスト	21,052	
計	236,822	



3 駐車場・駐輪場

本市には、経済活動や住民の移動をサポートするために有料の市営駐車場・駐輪場を設置しています。

【供給面・品質面】

施設総数：鳥取地域4（北中学校区1、西中学校区2、南中学校区1）

総延床面積：6,684㎡

配置図

産業振興施設に掲載

市条例で定められている施設種類

施設名	根拠条例	設置目的
片原駐車場	鳥取市営駐車場条例	
駅南駐車場	鳥取市営駐車場条例	
鳥取駅高架下駐輪場	鳥取市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例	自転車及び原動機付自転車を利用する者の利便を図る。

建物の状況

施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
片原駐車場	片原	2011	3,871	鉄骨造
駅南駐車場	富安二丁目	1989	27,791	鉄筋コンクリート造
鳥取駅高架下第1自転車駐車場	東品治町	1985	1,704	鉄骨造
鳥取駅高架下第2自転車駐車場	東品治町	1996	1,108	鉄骨造

【利用状況】

利用台数の推移

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
片原駐車場	-	-	29,605	35,181
駅南駐車場	477,411	494,167	496,745	499,213
鳥取駅高架下第1・2自転車駐車場	463,436	441,697	410,984	412,970

【財務面】

施設管理コスト

施設名	指定管理者	備考
片原駐車場	株式会社大幸電設	利用料金制
鳥取駅高架下第1・2自転車駐車場	鳥取市シルバー人材センター	利用料金制

利用料金制の指定管理施設であるため、指定管理料は発生していません。

【施設概要】

市営片原駐車場

駐車台数 136 台

駐車料金 (24 時間ごとの繰り返しになります。)

駐車時間	料 金
30 分未満	無料
30 分～1 時間 30 分	100 円
1 時間 30 分～2 時間 30 分	200 円
2 時間 30 分～3 時間 30 分	300 円
3 時間 30 分～4 時間 30 分	400 円
4 時間 30 分～24 時間未満	500 円



駅南駐車場

駐車台数 326 台数

駐車料金 8:00～24:00 30 分毎 100 円 (市役所利用者は無料)

24:00～8:00 1 泊 800 円 (この時間帯は出入庫不可)

鳥取駅高架下第 1・2 自転車駐車場

開門時間 午前 6 時 30 分～午後 9 時 (年中無休)

駐輪料金

区分	駐車期間	使用料		
		自転車	原動機付自転車	
普通駐車	1 日 1 回	105 円	158 円	
		10 円未満は切捨て		
定期駐車	学生等	1 か月	1,050 円	
		3 か月	2,620 円	
	一般	1 か月	1,570 円	
		3 か月	4,200 円	
			1,570 円	2,360 円
			4,200 円	6,300 円



第 1 駐輪場



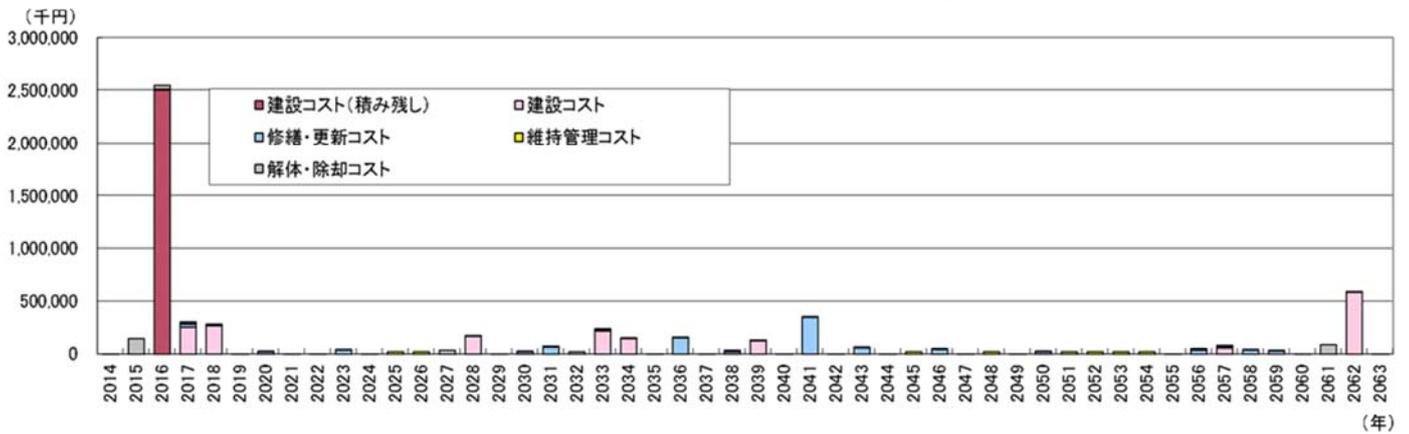
第 2 駐輪場

【更新経費（産業振興施設）】

今後 50 年の修繕・更新費用の試算

今後 50 年間に発生する修繕・更新費用は 13 億 2,000 万円。年平均 2,600 万円と試算されます。

50年間の総計		単位:千円
建設コスト	989,301	
修繕・更新コスト	147,961	
維持管理コスト	57,769	
解体・除却コスト	126,984	
計	1,322,015	
単年度平均		単位:千円/年
建設コスト	19,786	
修繕・更新コスト	2,959	
維持管理コスト	1,155	
解体・除却コスト	2,540	
計	26,440	



※更新時期のグラフは、産業振興施設と駐車場を併せたものとなっています

※駅南駐車場は、市役所駅南庁舎に含まれています。

第7節 観光・保養施設

小分類：観光施設、保養施設

1 観光施設

本市は、世界で唯一砂像を常設展示する「鳥取砂丘砂の美術館」をはじめ、本市の特色を活かした様々な用途の観光施設を保有しています。それぞれ、市条例に基づき設置されています。

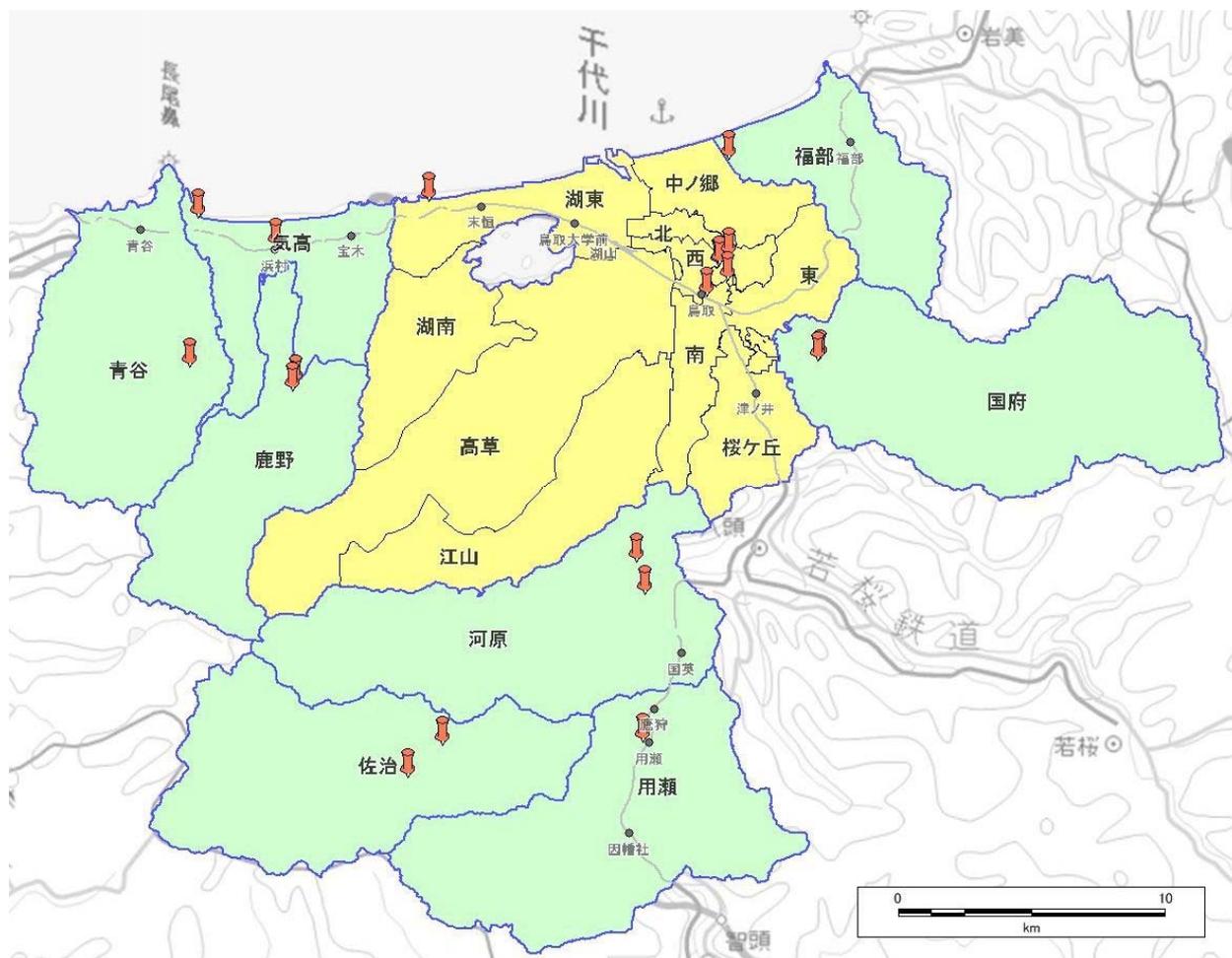
【供給面】

施設総数：22 総延床面積：21,981㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	2		4		1					2	2	2	1	3	2	2	1

配置図



市条例で定められている観光施設の種類

施設名	設置目的（条例上）
仁風閣・宝扇庵	文化の向上と福祉の増進を図る。
わらべ館	鳥取市が市制施行 100 周年記念事業として開催した「'89 鳥取・世界おもちゃ博覧会」を記念するとともに、おもちゃを通じて、大人から子どもまで世代を越えた交流と未来を担う子どもたちの創造の場を提供することにより、地域文化の振興に資する。
城下町とっとり交流館 「高砂屋」	市民の文化の向上及び発展に寄与する
道の駅「神話の里白うさぎ」	本市の観光情報の発信及び地域特産品の紹介を通して、観光振興及び地域の活性化を図る。
道の駅「清流茶屋かわはら」	
因幡万葉歴史館	地域文化と観光の振興に資する。
食文化体験施設 万葉の館	市民及び都市生活者を対象として、万葉食文化の体験学習並びに地域特産品及び農産物の加工、展示等を行うことにより、地域及び農林業の活性化を図る。
鳥取砂丘砂の美術館	山陰海岸ジオパークをはじめとした鳥取市の観光資源の紹介等及び世界初の常設施設での砂像の展示による観光の振興と地場産品の展示販売等による地域産業の発展を図る。
鳥取砂丘情報館 「サンドパルとっとり」	
お城山展望台河原城	地域文化と観光の振興に資する。
流しびなの館	伝統文化の伝承と観光の振興に資する。
さじアストロパーク	星や宇宙、自然への親しみをとおして、教育、文化の発展と地域の振興に寄与する。
かみんぐさじ	地域の特産民芸品の発展と観光の振興を図る。
遊漁センター	地域経済の発展と観光の振興を図る。
鹿野そば道場	特産物振興と観光事業の振興。
鹿野往来交流館	地域の歴史及び文化並びに本市の観光情報の発信並びに住民と来訪者との交流を通して、観光振興及び地域の活性化を図る。
あおや和紙工房	地域の伝統工芸を広く紹介し観光の振興に寄与する。

建物の状況

施設名	所在地	土地区分	建築年	延床面積	主な構造
仁風閣	東町二丁目	市有地	1907	1,049	木造
宝扇庵	東町二丁目	市有地	1973	68	木造
わらべ館	西町三丁目	県・市有地	1995	2,962	鉄筋コンクリート造
わらべ館駐車場 管理棟・トイレ	西町四丁目	市有地	1995	152	鉄骨造
観光案内所	東品治町	借地	1994	53	鉄筋コンクリート造
城下町とっとり交流館 「高砂屋」	元大工町	借地	1994	531	木造
道の駅「神話の里白うさぎ」	白兔	市有地	2006	1,034	鉄筋コンクリート造

因幡万葉歴史館	国府町町屋	市有地	1994	1,674	鉄筋コンクリート造
食文化体験施設 万葉の館	国府町庁	市有地	1997	439	木造
鳥取砂丘砂の美術館	福部町湯山	市有地	2012	2,997	鉄筋コンクリート造
鳥取砂丘情報館 「サンドパルとっとり」		市有地	2005	738	鉄骨造
お城山展望台河原城	河原町谷一木	市有地	1994	819	鉄筋コンクリート造
道の駅「清流茶屋かわはら」	河原町高福	市有地	2006	1,430	木造
流しびなの館	用瀬町別府	市有地	1988	975	木造
さじアストロパーク	佐治町高山	借地	1993	2,202	鉄筋コンクリート造
木工体験学習施設	佐治町高山	借地	1995	385	木造
かみんぐさじ	佐治町福園	借地	1995	990	鉄骨造
気高町観光センター	気高町勝見	市有地	1999	228	鉄骨造
遊漁センター	気高町八束水	市有地	1980	916	鉄筋コンクリート造
鹿野そば道場	鹿野町鹿野	市有地	1997	383	木造
鹿野往来交流館	鹿野町鹿野	市有地	2010	411	木造
あおや和紙工房	青谷町山根	市有地	2002	1,524	木造

砂の美術館と鳥取砂丘情報館は、同一敷地内別棟です。

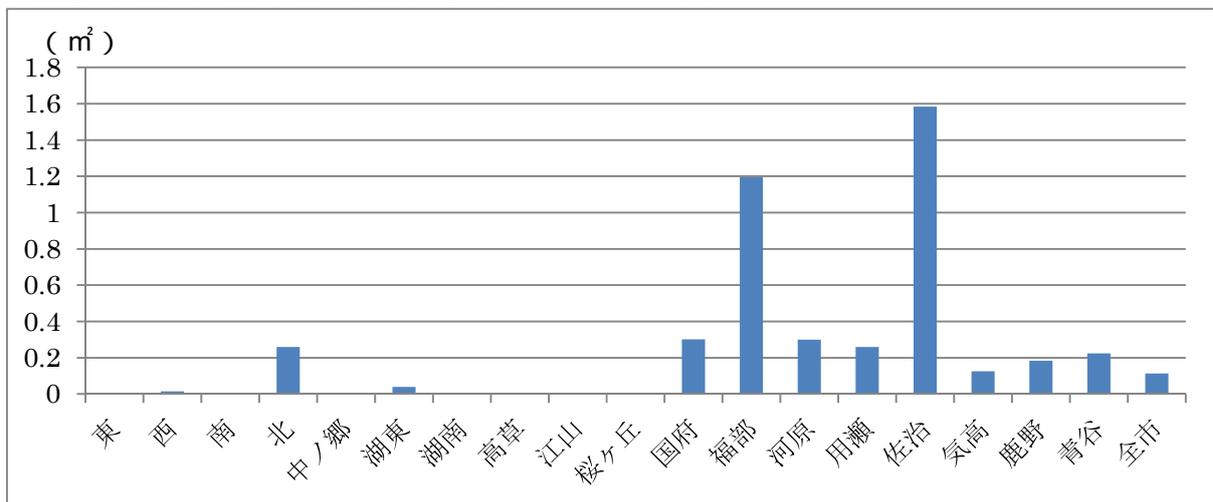
流しびなの館は、観光物産センターと一体です。

さじアストロパークは、天文台、観測所4箇所（セレス、パラス、ジュノー、アストラエア）、多目的ハウス（アルデバラン）を含みます。

観光案内所は JR 西日本米子支社より賃借しています。

地域別人口一人当たり床面積

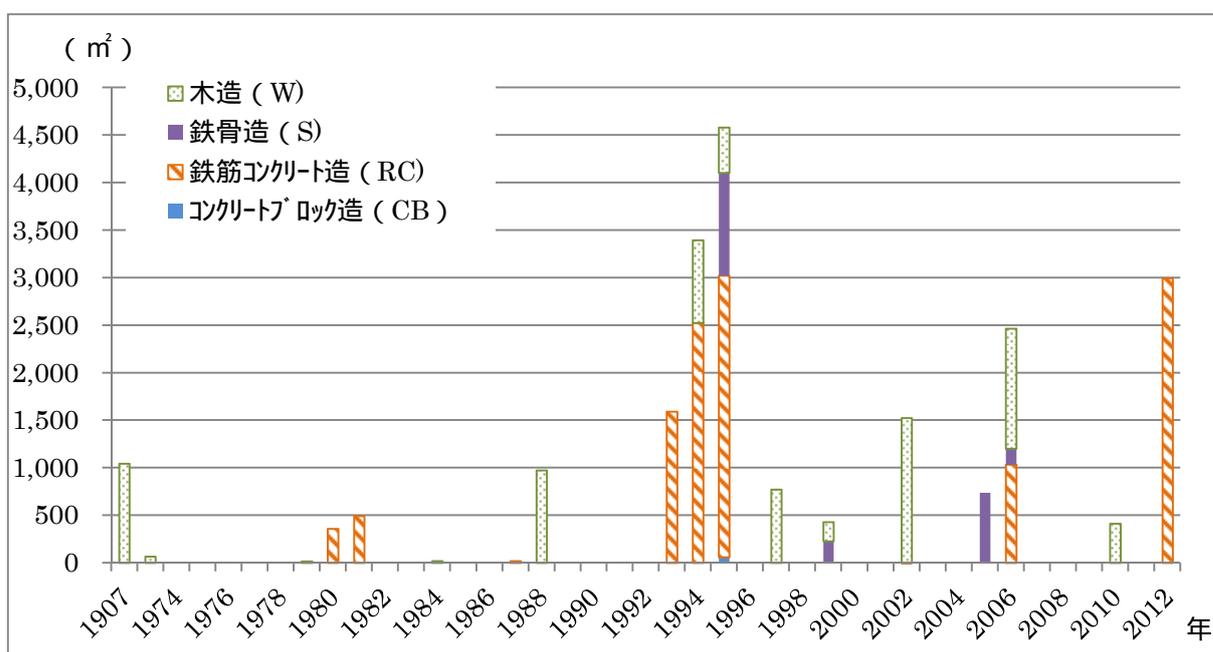
福部地域、佐治地域の面積が多くなっています。



【品質面】

建築年と延床面積

1981年以降に建築された建物が多くを占めています。



【利用状況】

施設の性質に応じて以下の4分類に分け、利用状況を表します。

分類	施設名
文化歴史施設	仁風閣・宝扇庵、わらべ館、城下町とっとり交流館「高砂屋」、因幡万葉歴史館、お城山展望台河原城、流しびなの館
産業観光施設	食文化体験施設万葉の館、かみんぐさじ、鹿野そば道場、あおや和紙工房、遊漁センター
文化観光施設	鳥取砂丘砂の美術館、鳥取砂丘情報館、さじアストロパーク、鹿野往来交流館
道の駅	道の駅「神話の里白うさぎ」、道の駅「清流茶屋かわはら」

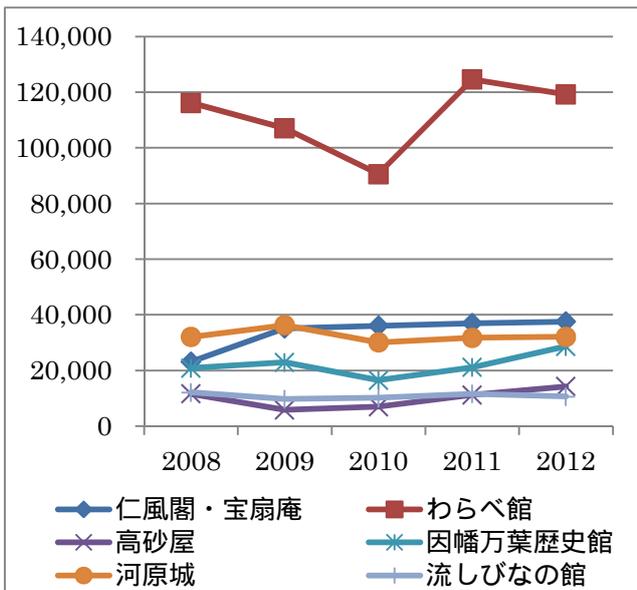
鳥取砂丘砂の美術館は、2012年度にオープンした施設です。

利用状況の推移（2008～2012年度）

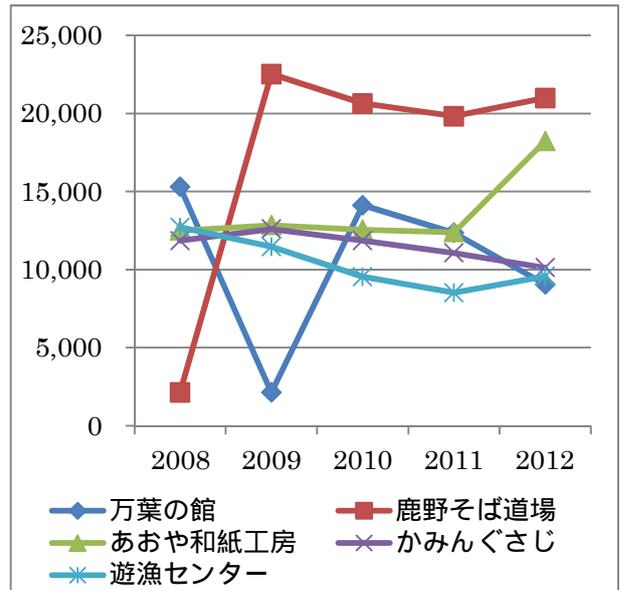
平成25年3月に全線開通した鳥取自動車道の影響により、道の駅利用者の増加につながっていると考えられます。

文化観光施設については、砂の美術館第5期展示（2012.4.14～2013.1.6）の来場者が52万7,000人となっており、鳥取砂丘情報館「サンドパルとっとり」は、2011年度が約4万6,000人、2012年度は約27万人となっています。2011年度は砂の美術館の建設期間中であり、年間を通して砂像の展示がされていなかったため、入館者数に開きが出ています。

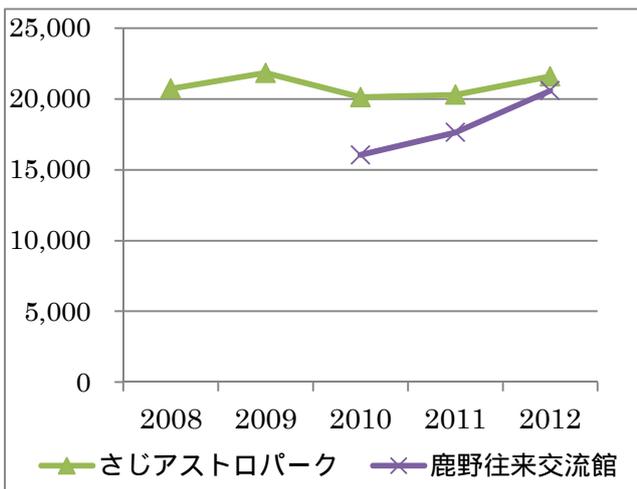
文化歴史施設



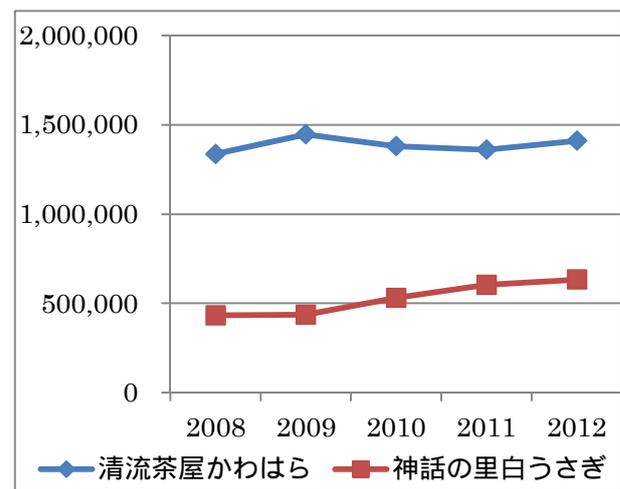
産業観光施設



文化観光施設



道の駅



単位 縦軸：人、横軸：年度

【財務面】

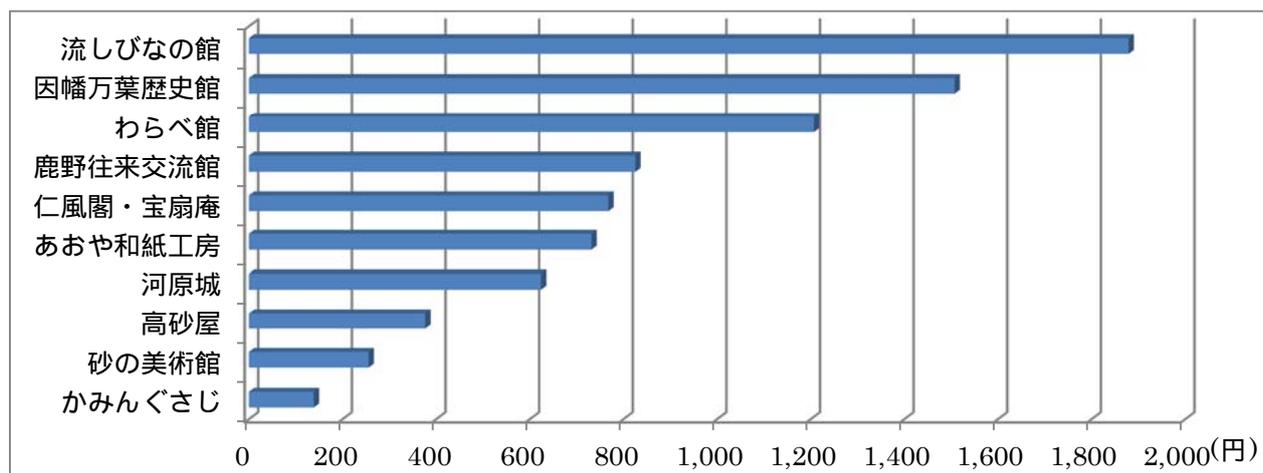
管理形態

大半の施設において、指定管理者による管理運営を行っています。

施設名	管理方法	指定管理者	指定管理料
仁風閣・宝扇庵	指定管理	公益財団法人鳥取市文化財団	26,697,000円
わらべ館	指定管理	公益財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館	143,923,000円 うち市負担 71,247,000円
城下町とっとり交流館 「高砂屋」	指定管理	公益財団法人鳥取市文化財団	5,376,000円
道の駅「神話の里白うさぎ」	指定管理	有限会社むらかみ	0円
因幡万葉歴史館	指定管理	公益財団法人鳥取市文化財団	43,220,000円
食文化体験施設 万葉の館	指定管理	有限会社こくふ万葉の館	0円

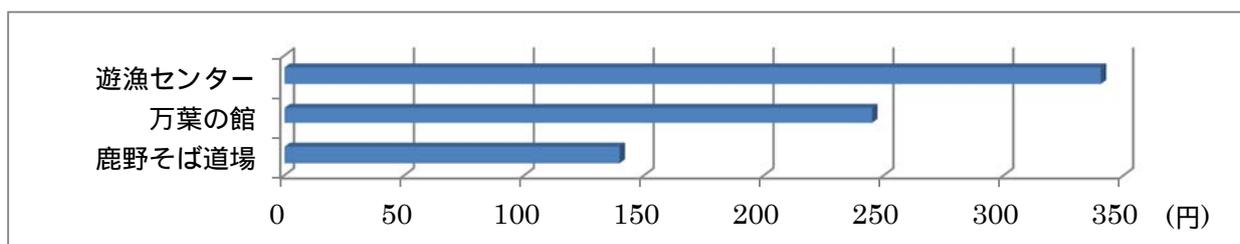
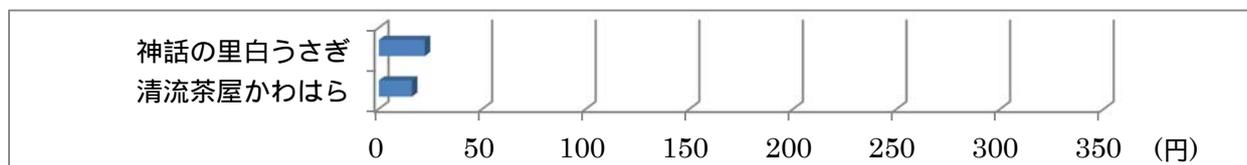
鳥取砂丘砂の美術館	指定管理	一般社団法人鳥取市観光 コンベンション協会	68,890,000 円
鳥取砂丘情報館 「サンドパルとっとり」			
お城山展望台河原城	指定管理	風土資産研究会	20,050,000 円
道の駅「清流茶屋かわはら」	指定管理	株式会社ドリームかわはら	0 円
流しびなの館	指定管理	一般財団法人 用瀬町ふるさと振興事業団	20,000,000 円
さじアストロパーク	直営		
観光案内所	委託		
木工体験学習施設	直営		
かみんぐさじ	指定管理	有限会社かみんぐさじ	1,405,000 円
遊漁センター	指定管理	有限会社遊漁	0 円
鹿野そば道場	指定管理	株式会社ふるさと鹿野	0 円
鹿野往来交流館	指定管理	株式会社ふるさと鹿野	17,000,000 円
あおや和紙工房	指定管理	公益財団法人鳥取市文化財団	13,346,000 円

利用者 1 人あたりの公費負担額
指定管理施設



指定管理料を支払っている施設は、指定管理料を利用者人数で除して算出

参考



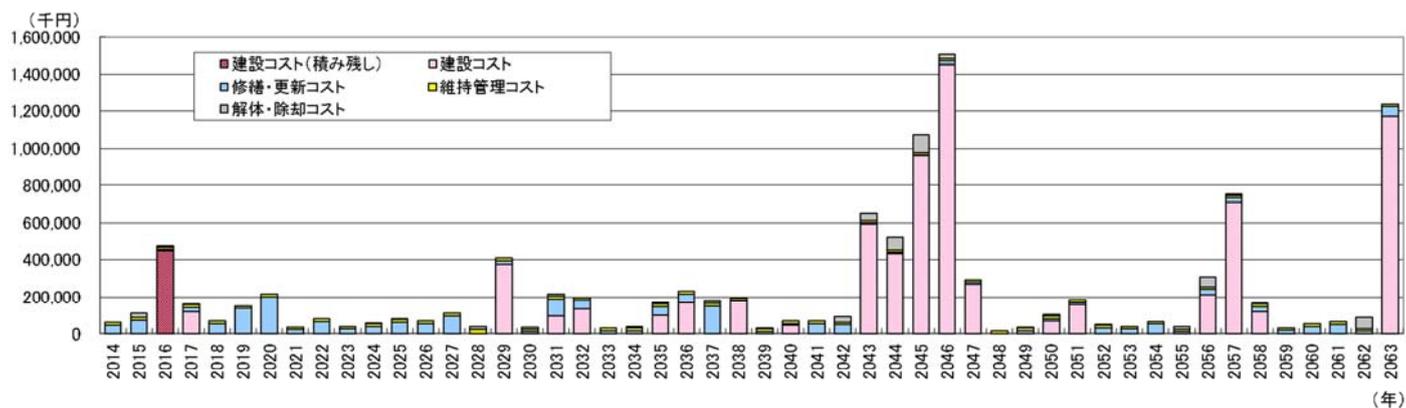
指定管理料を支払わない 5 施設は、施設管理コストは管理者負担であるため参考として掲載

【更新費用】

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は110億円。年平均2億1,900万円と試算されます。耐用年数を超過している施設は多くありませんが、更新時期が一時期に集中しています。

50年間の総計	単位:千円
建設コスト	7,830,164
修繕・更新コスト	1,933,472
維持管理コスト	691,438
解体・除却コスト	508,929
計	10,964,003
単年度平均	単位:千円/年
建設コスト	156,603
修繕・更新コスト	38,669
維持管理コスト	13,829
解体・除却コスト	10,179
計	219,280



【主な施設情報】

仁風閣

フレンチルネッサンス様式を基調とした明治洋風建築。
国指定重要文化財。

住所 東町二丁目 121
開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
料金 150円（高校生以下・65歳以上の方無料）
休館日 月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、
年末年始



わらべ館

童謡・唱歌とおもちゃの博物館。
おもちゃ工房など体験もできる施設。

住所 西町三丁目 202
開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
料金 500円（高校生以下無料）
休館日 第3水曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始



城下町とっとり交流館「高砂屋」

明治時代の商家を「城下町とっとり交流拠点」として整備。
国の登録有形文化財。

住所 元大工町 1
開館時間 9:00～17:00（施設貸出の夜間利用がある場合、21時まで）
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始



道の駅「神話の里白うさぎ」

国道9号線沿いにある道の駅。

住所 白兎 613
開館時間 年中無休
休憩所、情報コーナー、トイレは
24時間利用可能
飲食店、売店の営業時間は店舗によって異なる



因幡万葉歴史館

国府町ゆかりの歌人大伴家持や、因幡地方の歴史文化を紹介するミュージアム。

住所 国府町町屋 726
開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
料金 300円（高校生以下・65歳以上の方無料）
休館日 月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始

鳥取砂丘砂の美術館

砂の彫刻「砂像」を展示するために設置された、世界初となる屋内美術館。

住所 鳥取市福部町湯山 2083-17
開館時間 9：00～20：00
料金 一般 600 円、小中高生 300 円 団体割あり
休館日 展示替期間中



鳥取砂丘情報館サンドパルとっとり

鳥取砂丘の情報発信拠点であり、物産販売施設を併設しています。

住所 鳥取市福部町湯山 2083-17
開館時間 9：00～17：00（砂の美術館開催中は、合わせて時間延長）
休館日 年中無休

お城山展望台河原城 お城の外観の展望台。

住所 鳥取市河原町谷一木 1011
開館時間 10：00～18：00（入館は 17：30 まで）
（4 月～9 月中の土曜日は 19：00 まで）
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始



道の駅「清流茶屋かわはら」 国道 53 号線沿いにある道の駅。

住所 鳥取市河原町高福 837
開館時間 年中無休
休憩所、情報コーナー、トイレは 24 時間利用可能
飲食店、売店の営業時間は店舗によって異なる



流しびなの館 雛人形などの展示施設。

住所 鳥取市用瀬町別府 32-1
開館時間 9：00～17：00
料金 300 円（中学生以下、障がい者等の方無料）
休館日 水曜日（祝日の場合は開館）、年末年始



かみんぐさじ 和紙作品の展示や和紙づくり体験施設

住所 鳥取市佐治町福園 146-4
開館時間 9：00～16：30
休館日 水曜日、年末年始

さじアストロパーク

天体観測やプラネタリウム、ロビー展示で宇宙を楽しめる公開天文台。

住所 鳥取市佐治町高山 1071-1
開館時間 4～9月 9:00～22:00
10～3月 9:00～21:00
料金 大人300円、小人200円
休館日 月曜日、第3火曜日、祝日の翌日
年末年始、臨時休館あり



遊漁センター

地域経済の発展と観光振興を図ることを目的とした施設。

住所 鳥取市気高町八束水 2706-147
休館日 毎週火曜日

鹿野そば道場

そば打ち体験も可能な食事処。

住所 鳥取市鹿野町鹿野 2448-9
開館時間 体験 / 10:00～、14:00～（1日2回予約制）
食堂 / 11:30～14:00、土日祝日 15:00まで
休館日 第1木曜日（祝日の場合は翌木曜）



あおや和紙工房

手すき和紙や和紙加工の体験と展示施設。

住所 鳥取市青谷町山根 313
開館時間 9:00～17:00
料金 無料（通常展示時）
50円～300円（企画展示時 / 団体料金有）
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始



鹿野往来交流館「童里夢」

地域づくりの拠点施設。

住所 鳥取市鹿野町鹿野 1353
開館時間 9:30～17:30
休館日 年中無休



2 保養施設

宿泊・温泉施設、レクリエーション施設の計18施設を対象としています。

このうち、浜村温泉、鹿野温泉を中心として、複数の温泉施設を保有しており、また自然豊かな地域であることを活かしたレクリエーション施設が複数あります。

各施設は、それぞれ設置及び管理に関する条例によって設置されています。

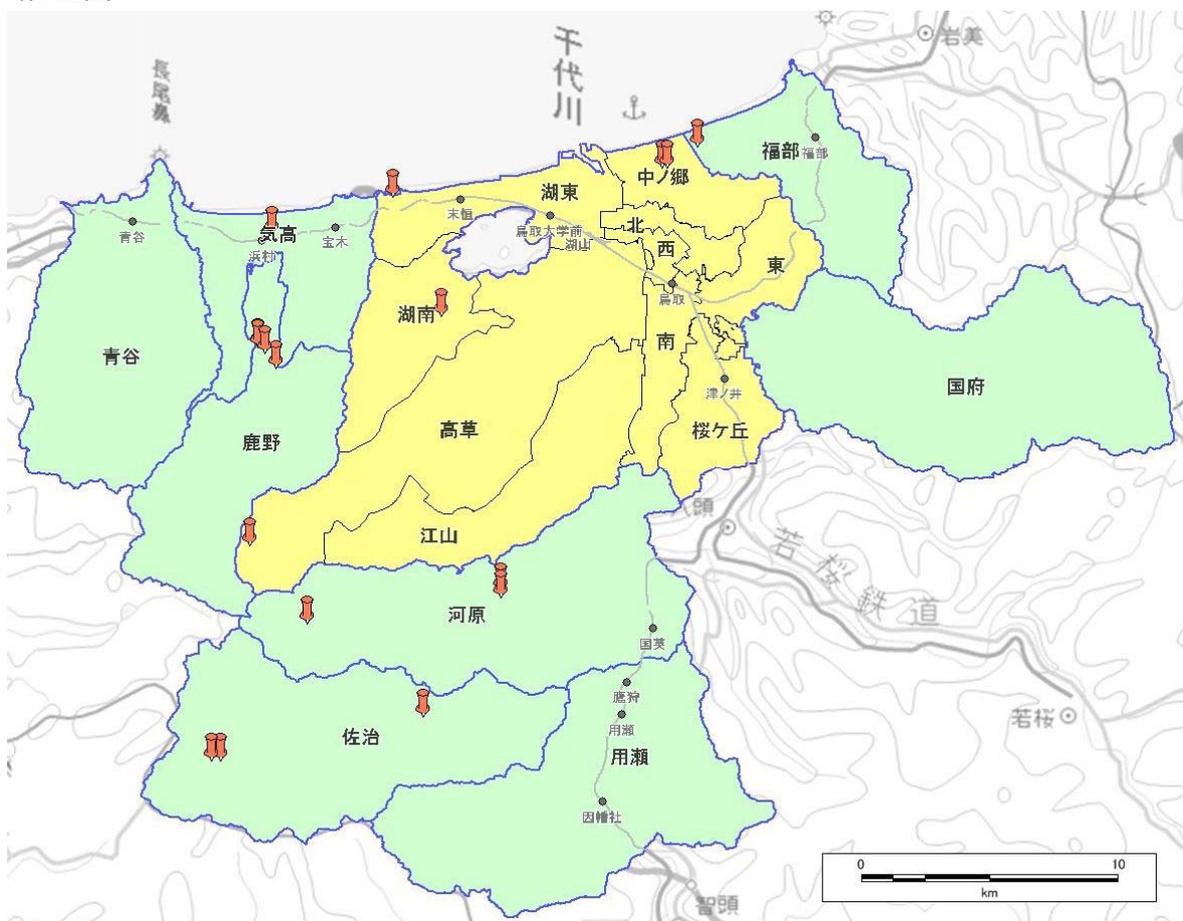
【供給面】

施設総数：19 総延床面積：12,539㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
				2	1	1	1				1	3		4	1	5	

配置図



市条例で定められている保養施設の種類

施設名	根拠条例	設置目的
サイクリングターミナル砂丘の家	鳥取市サイクリングターミナルの設置及び管理に関する条例	青少年の健全な育成と福祉の増進に寄与する。
柳茶屋キャンプ場 山王谷キャンプ場	鳥取市キャンプ場の設置及び管理に関する条例	市民の健康の増進及び野外レクリエーションの振興に資する。
安蔵森林公園	鳥取市安蔵森林公園の設置及び管理に関する条例	市民の保健休養及び森林レクリエーションの振興に資する。
湯谷荘	鳥取市湯谷荘の設置及び管理に関する条例	市民の社会福祉の増進と高揚を図る。
三滝林間施設	鳥取市三滝林間施設の設置及び管理に関する条例	森林レクリエーションの振興に資する。
たんぼり荘	鳥取市佐治町たんぼり荘の設置及び管理に関する条例	地域経済の発展と観光の振興を図る。
コスモスの館	鳥取市さじコスモスの館の設置及び管理に関する条例	星や宇宙、自然への親しみをとおして、市民の保養と観光の振興に寄与する。
浜村温泉館 しかの温泉館	鳥取市立温泉館の設置及び管理に関する条例	市民の保養と観光の振興に寄与する。
国民宿舎山紫苑	鳥取市国民宿舎山紫苑の設置及び管理に関する条例	市民の保養と観光の振興に寄与する。

主な建物の状況

施設名	地域	土地区分	建築年	延床面積	主な構造
サイクリングターミナル砂丘の家	浜坂	市有地	1978	1,092	鉄筋コンクリート造
柳茶屋キャンプ場	浜坂	市有地	2010	158	鉄骨造
安蔵森林公園	河内	借地	1997	764	木造
湯谷荘	河原町湯谷	市有地	1980	647	鉄筋コンクリート造
三滝林間施設	河原町北村	市有地	1983	852	鉄骨造
たんぼり荘	佐治町中	市有地	1981	696	鉄筋コンクリート造
山王谷キャンプ場	佐治町中	一部借地	1994	396	木造
コスモスの館	佐治町高山	借地	1994	695	木造
浜村温泉館	気高町浜村	市有地	1983	1,809	鉄骨鉄筋コンクリート造
国民宿舎山紫苑	鹿野町今市	市有地	1994	3,944	鉄骨鉄筋コンクリート造
しかの温泉館	鹿野町今市	市有地	1993	687	鉄筋コンクリート造
吉岡温泉休憩舎	吉岡温泉町	市有地	1980	50	木造
オアシス広場炊事棟	福部町湯山	借地	2002	21	木造
三国ヶ山ロッジ	佐治町中	借地	1979	60	木造

安蔵森林公園体験施設は、バンガロー、オートキャンプ場、多目的室を含みます。

三滝林間施設は、管理棟（三滝荘）、バンガロー、三滝休養施設、バーベキューハウス、しゃくなげ館、三滝トイレを含みます。

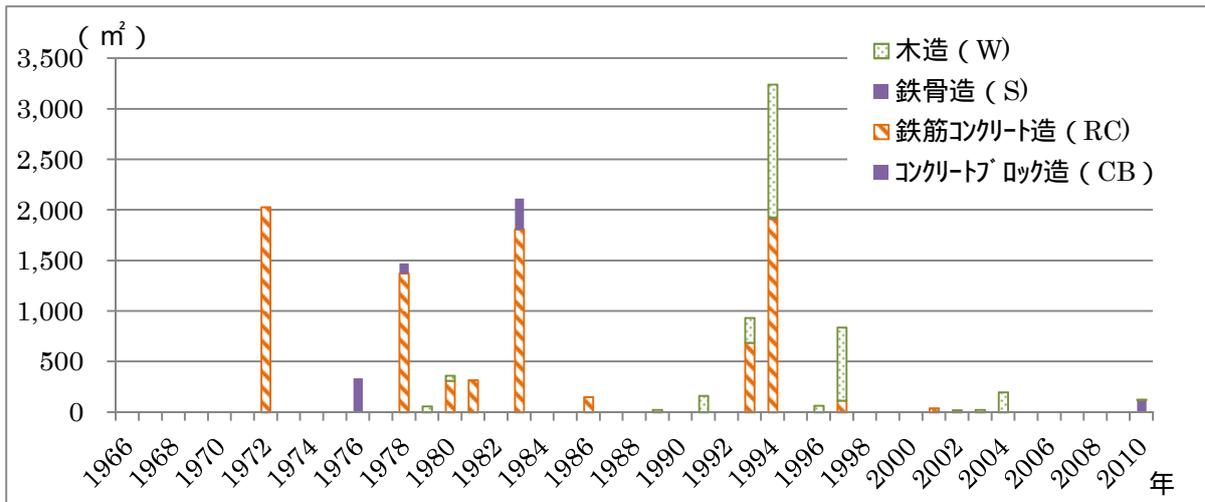
国民宿舎山紫苑は、本館（昭和49年建）と新館（平成6年建）があります。

コスモスの館は、コスモスの館、レストラン一番星を含みます。

柳茶屋キャンプ場の施設として、炊事棟2棟、バーベキュー棟、便所があります。

【品質面】

建築年と構造別延床面積



【利用状況】

施設の性質に応じて以下の4分類に分け、利用状況を表します。

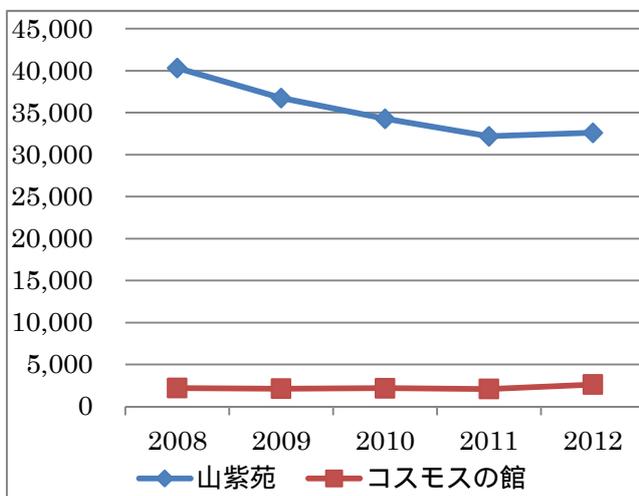
分類	施設名
宿泊施設	コスモスの館、国民宿舎山紫苑
温泉休養施設	湯谷荘、浜村温泉館、しかの温泉館
屋外レクリエーション施設	サイクリングターミナル、柳茶屋キャンプ場、安蔵森林公園、三滝林間施設、たんぼり荘、山王谷キャンプ場

利用状況の推移 (2008年度～2012年度)

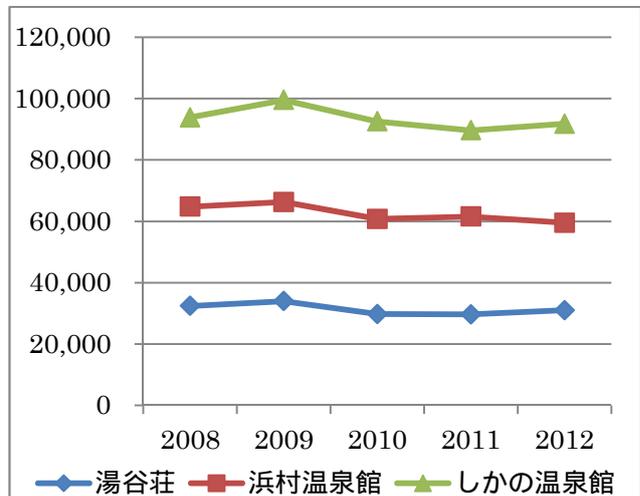
山紫苑の利用者数は3万人台で推移しており、しかの温泉館は年間9万人の利用があり、鳥取西地域における集客施設として重要な役割を担っています。

レクリエーション施設では、安蔵森林公園体験施設など、鳥取地域の利用が多く、新市域地域の施設は利用が少ない傾向にあることがわかります。

宿泊施設

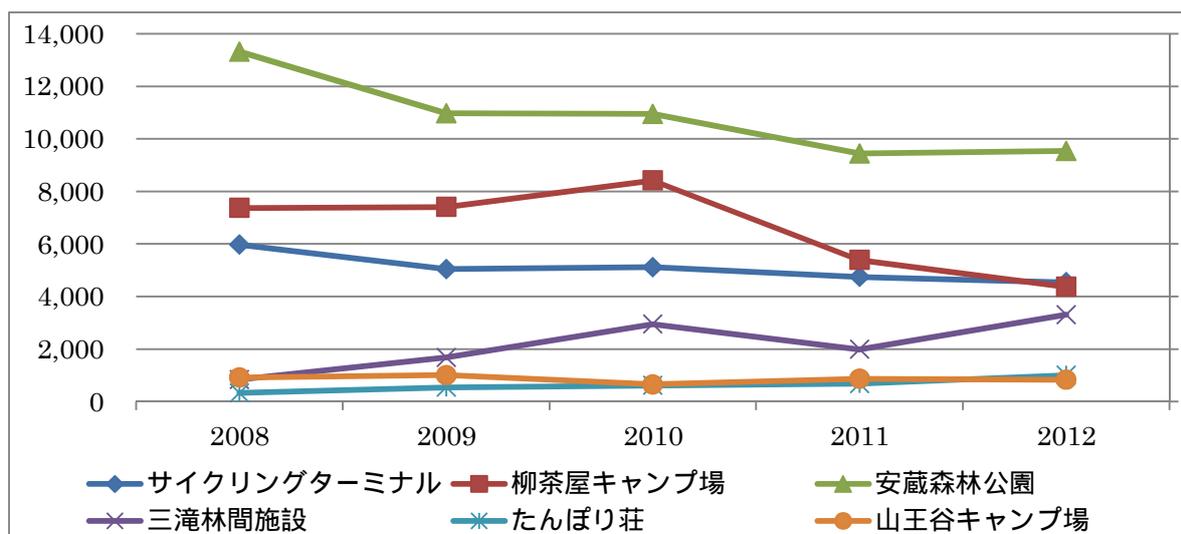


温泉休養施設



単位 縦軸：人、横軸：年度

レクリエーション施設



単位 縦軸：人、横軸：年度

【財務面】

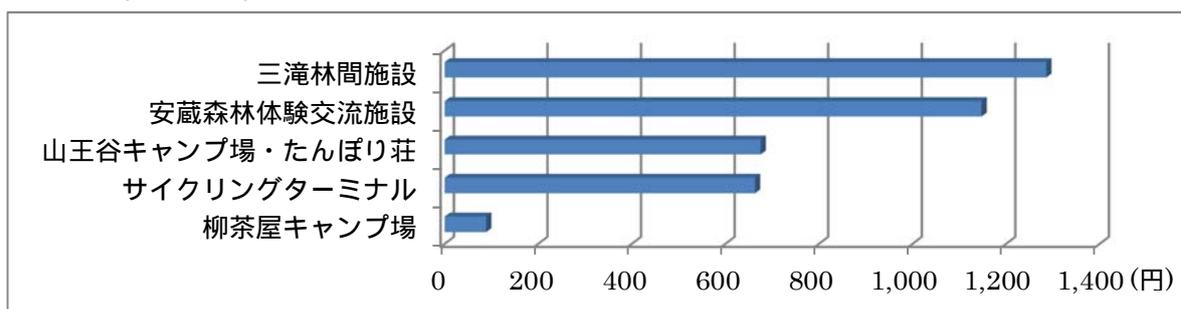
管理形態

施設名	管理方法	管理者	指定管理料
サイクリングターミナル砂丘の家	直営		
柳茶屋キャンプ場	直営		
安蔵森林公園	指定管理	合同会社あぞうの森	10,964,000 円
湯谷荘	指定管理	株式会社さんびる	4,551,400 円
三滝林間施設	指定管理	三滝をきれいにする会	4,247,000 円
たんぼり荘	指定管理	株式会社さじ式拾壹	1,238,000 円
山王谷キャンプ場			
コスモスの館	指定管理	有限会社ミルキーウェイ	0 円
浜村温泉館	指定管理	特定非営利活動法人気多の權	0 円
国民宿舎山紫苑	指定管理	株式会社ふるさと鹿野	0 円
しかの温泉館	指定管理	株式会社ふるさと鹿野	0 円

利用者 1 人あたりの公費負担額（2012 年度）

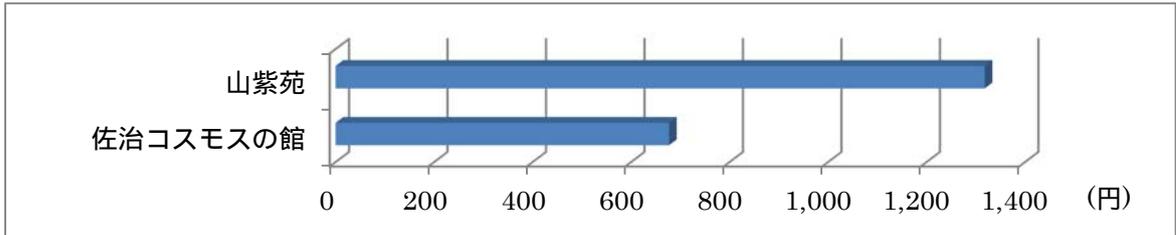
屋外レクリエーション施設

指定管理料を支払っている 4 施設は指定管理料を利用者人数で除して算出し、直営施設（2 施設）は、施設管理コストを利用者人数で除して算出しています。



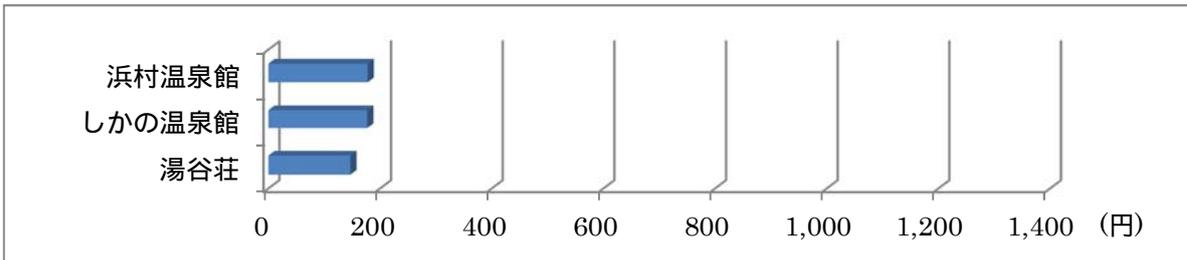
宿泊施設

施設管理コストを利用者人数で除して算出しています。



温泉休養施設

湯谷荘は指定管理料を利用者人数で除して算出し、利用料金制の指定管理施設(2施設)は、施設管理コストを利用者人数で除して算出しています。



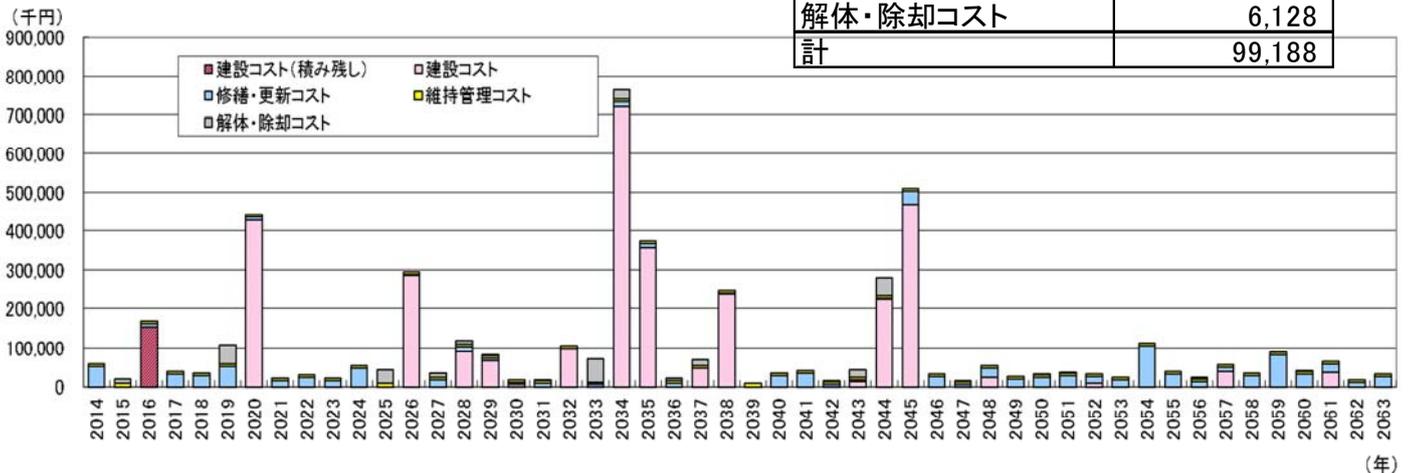
利用状況と同じく、施設の性質により3つの施設種別に分けてグラフ化しています。

【更新費用】

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は50億円。年平均1億円と試算されます。耐用年数を超えている施設は多くありませんが、一定の間隔で大規模な更新が発生します。

50年間の総計	単位:千円
建設コスト	3,305,353
修繕・更新コスト	1,020,109
維持管理コスト	327,558
解体・除却コスト	306,405
計	4,959,425
単年度平均	単位:千円/年
建設コスト	66,107
修繕・更新コスト	20,402
維持管理コスト	6,551
解体・除却コスト	6,128
計	99,188



【施設概要】

サイクリングターミナル砂丘の家

鳥取砂丘周辺に位置する宿泊施設。研修室、貸自転車なども利用可能となっている。

住 所 鳥取市浜坂 1157-115

料 金 要問合せ、要予約

休館日 12月29日～1月3日

安蔵森林公園

オートキャンプ場、バンガローを備えた屋外レクリエーション施設。

(本白書では、下腹にある安蔵公園(スキー場含む)は別施設とする)

住 所 鳥取市河内 1462-36

開館日 4月10日～11月30日

料 金 バンガロー泊 12,600円

オートキャンプ場泊 4,200円(要予約)



浜村温泉館「気多の湯」

日帰り温泉施設。

住 所 鳥取市気高町浜村 780-2

開館時間 10:00～22:00(受付は21:30まで)

料 金 大人420円、小人210円

休館日 第1水曜日(祝日の場合は翌水曜)



国民宿舎山紫苑

公共の宿。

住 所 鳥取市鹿野町今市 972-1

料 金 要問い合わせ

休館日 年中無休



しかの温泉館「ホットピア鹿野」

日帰り温泉施設。

住 所 鳥取市鹿野町今市 418-2

開館時間 10:00～22:00(受付は21:30)

料 金 大人420円、小人210円

休館日 第1木曜日(祝日の場合は翌木曜)



第8節 公営住宅

小分類：公営住宅等施設（住宅に附随する集会所やゴミ集積所、駐輪場等を含む）

公営住宅は、住宅に困窮する所得の低い世帯、高齢者等、子育て世代、DV被害者など様々な住宅困窮者に居住の場を提供する住宅セーフティネットとしての役割を担うとともに、人口減少地域などにおける人口定住の促進に寄与するため整備されています。

公営住宅は、市有施設の延床面積のうち17%を占め、再調達価格（新たに建築・購入する際に必要となる価格）は230億円を超えます。

公営住宅を取り巻く環境や詳細等は、“鳥取市営住宅長寿命化計画”をご覧ください。

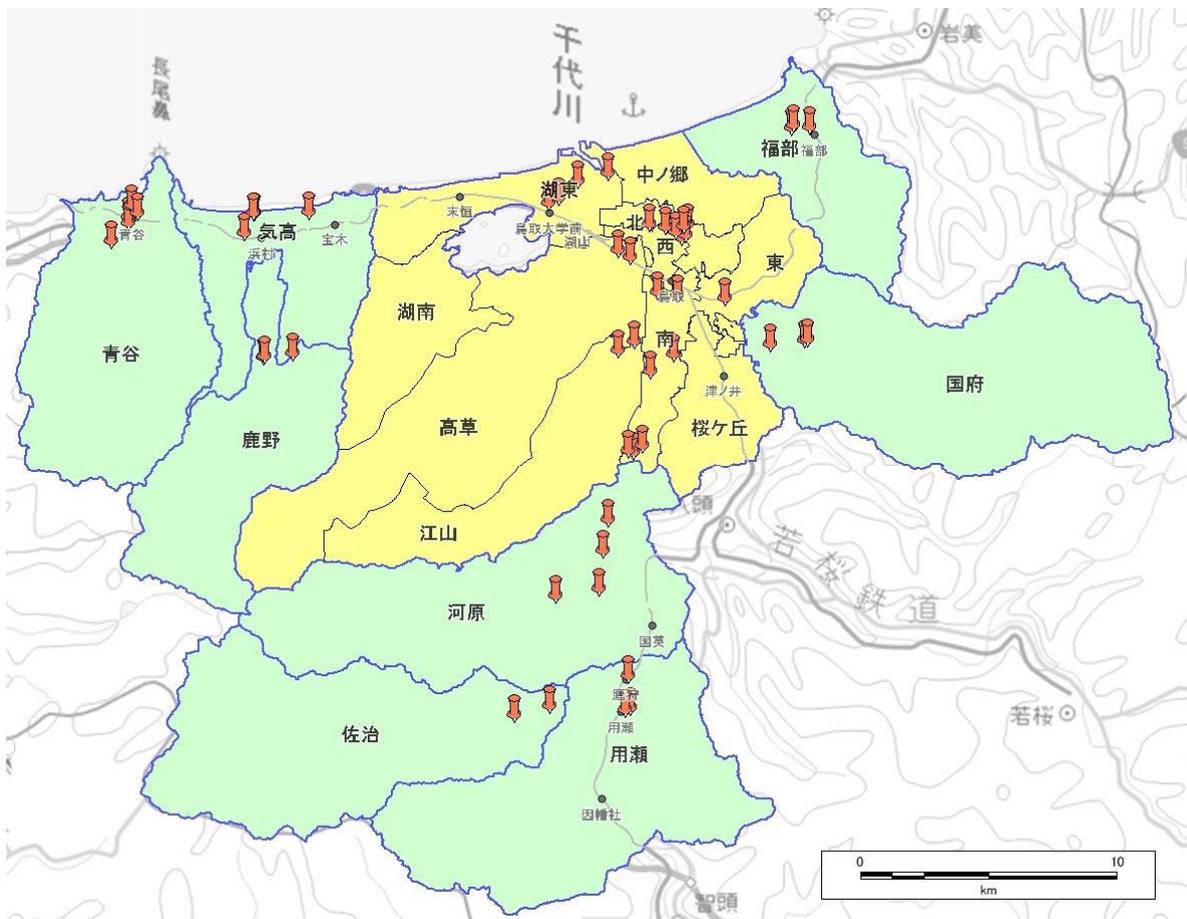
【供給面】

施設総数：59 総延床面積：158,043㎡

施設配置数 上段：公営住宅等施設（集会所等を含む） 下段：団地数（棟数ではありません）

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
2	7	7	2		4		3	2		4	3	5	3	2	5	4	6
1	5	7	1		2		2	2		3	2	4	3	2	3	2	4

配置図



提供数と入居状況

	戸数	入居戸数	入居率	延床面積	1戸あたり地域人口	1人あたり延床面積
鳥取地域	1,633	1,473	90.2%	113,668	91	0.76
国府地域	36	36	100.0%	2,421	241	0.28
福部地域	66	64	97.0%	4,277	47	1.37
河原地域	63	57	90.5%	3,861	119	0.51
用瀬地域	31	30	96.8%	2,200	121	0.59
佐治地域	12	11	91.7%	1,166	188	0.52
気高地域	99	95	96.0%	5,915	92	0.65
鹿野地域	59	57	96.6%	4,051	71	1.00
青谷地域	174	146	83.9%	9,839	39	1.45

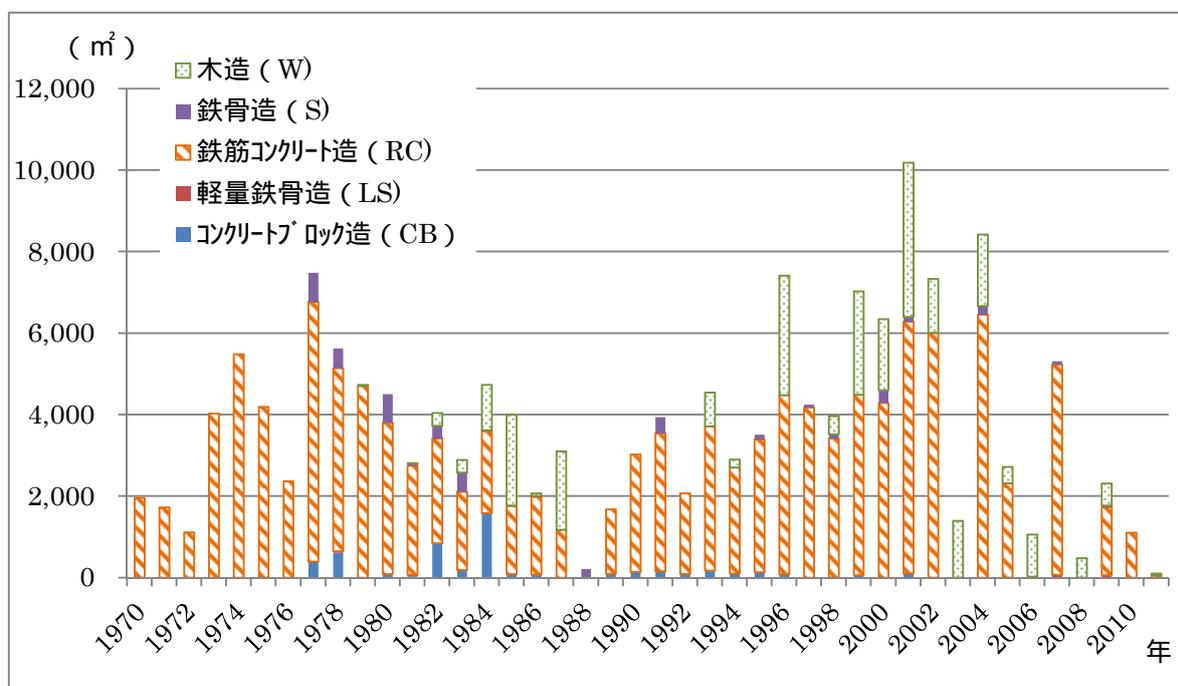
入居の推移

	戸数	入居戸数	入居人数	入居率
2008年度	2,204	2,002	4,522	90.8%
2009年度	2,195	1,982	4,457	90.3%
2010年度	2,201	2,007	4,504	91.2%
2011年度	2,181	1,983	4,441	90.9%
2012年度	2,173	1,969	4,369	90.6%

【品質面】

建築年と構造別延床面積

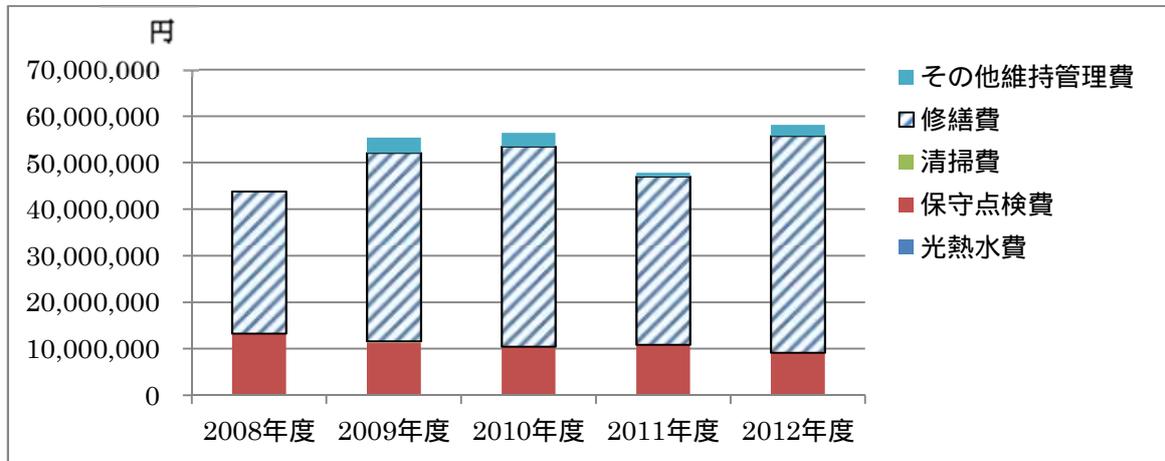
建築のピーク（山）が2回あり、公共施設全体のピークとほぼ同じになっています。



【財務面】

施設管理コスト

施設管理コストは、4,500～5,500万円/年で推移しており、ほとんどが修繕費です。また、入居者1人あたりは13,000円（一戸あたり約3万円）です。



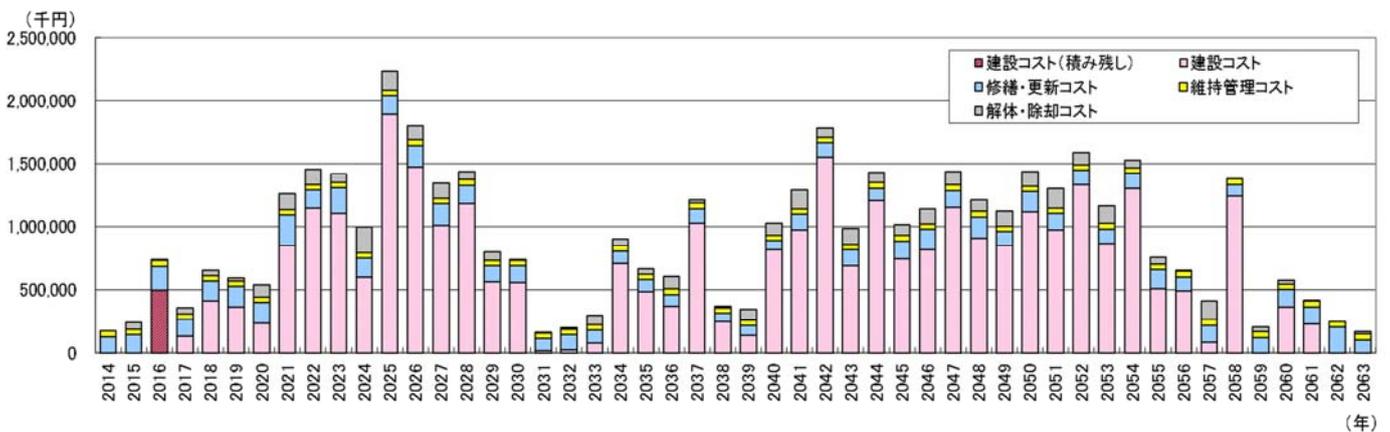
【更新経費】

今後50年の修繕・更新費用の試算

1年平均で9億1,500万円、50年間で458億円の費用がかかると見込まれます。

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	33,270,663
修繕・更新コスト	6,678,845
維持管理コスト	2,206,901
解体・除却コスト	3,610,513
計	45,766,922

単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	665,413
修繕・更新コスト	133,577
維持管理コスト	44,138
解体・除却コスト	72,210
計	915,338



第9節 学校教育施設

小分類：小学校、中学校、教育関連施設

学校教育施設は、市有施設の延床面積のうち34%（30万㎡以上）を占め、再調達価格（新たに建築・購入する際に必要となる価格）は520億円を超えます。

学校教育施設を取り巻く環境や詳細等は、“教育要覧”に掲載されているため、本白書では詳細は省略します。

1 小学校

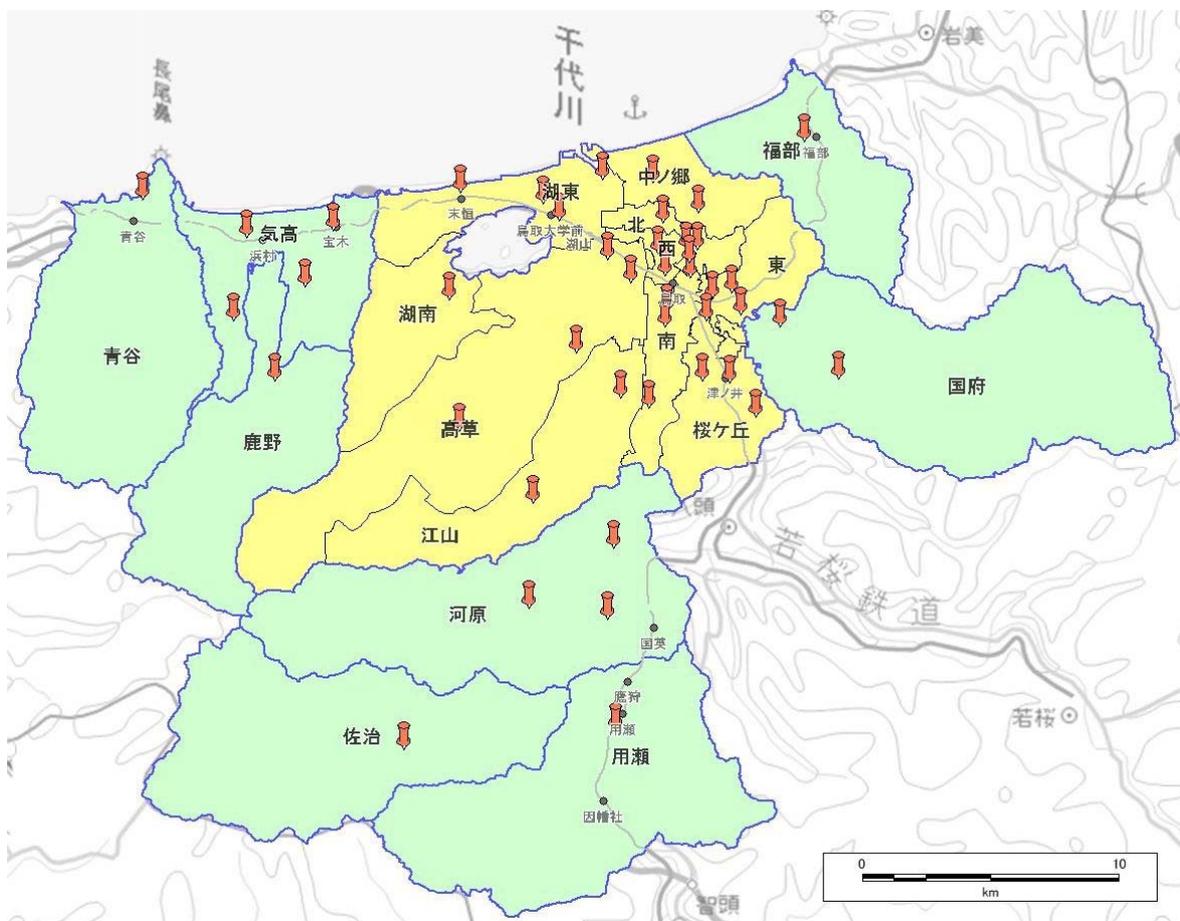
【供給面】

施設総数：44 総延床面積：202,990㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
3	3	4	3	2	4	1	4	2	4	2	1	3	1	1	4	1	1

配置図



建物等の状況

本市には、市立小学校が44校あり、敷地の一部が借地になっている施設もあります。

学校名	土地所有	延床面積	主な校舎の建築年		
稲葉山小学校	市有地	4,866	1975	1983	1992
岩倉小学校	市有地	4,897	1997		
修立小学校	市有地	3,029	2010		
醇風小学校	市有地	4,458	2005		
明德小学校	市有地	3,084	1977	1978	
富桑小学校	市有地	3,177	1975	1990	
美保小学校	市有地	4,791	1981	1982	1974
美保南小学校	市有地	4,835	1986	2009	
倉田小学校	一部借地	3,089	1969	1979	1990
日進小学校	市有地	4,165	2005		
久松小学校	市有地	3,670	1970	1971	
遷喬小学校	市有地	3,997	1995		
城北小学校	市有地	5,699	2007		
中ノ郷小学校	市有地	3,967	1995		
浜坂小学校	市有地	4,591	1973	2000	
湖山小学校	市有地	4,484	1972	1979	
湖山西小学校	市有地	3,815	1988		
未恒小学校	市有地	4,204	1974	1983	1992
賀露小学校	市有地	4,252	1992		
湖南学園小学校	市有地	3,250	1959	1989	
大正小学校	一部借地	2,385	1979		
東郷小学校	市有地	1,810	1985		
世紀小学校	市有地	3,860	1968	1982	
神戸小学校	一部借地	1,591	1972	1981	
美和小学校	市有地	3,340	1967	1996	
明治小学校	一部借地	1,928	1965	1984	
米里小学校	一部借地	2,649	1980	1988	
津ノ井小学校	市有地	3,542	1984		
若葉台小学校	市有地	5,456	1996	2004	
面影小学校	市有地	4,213	1975	1982	
宮ノ下小学校	市有地	3,522	1982		
国府東小学校	市有地	4,565	1990	2002	
福部小学校	市有地	4,665	1988		
河原第一小学校	市有地	3,190	1975		
散岐小学校	市有地	2,743	2000		
西郷小学校	市有地	1,949	1972		
用瀬小学校	市有地	3,253	1970		
佐治小学校	一部借地	3,743	1975		
浜村小学校	一部借地	3,153	1973	1983	

宝木小学校	市有地	2,609	1986		
逢坂小学校	市有地	1,778	1984		
瑞穂小学校	市有地	1,905	1988		
鹿野小学校	市有地	4,524	2001		
青谷小学校	市有地	4,746	1980	1982	2009

延床面積は体育館を除いています。

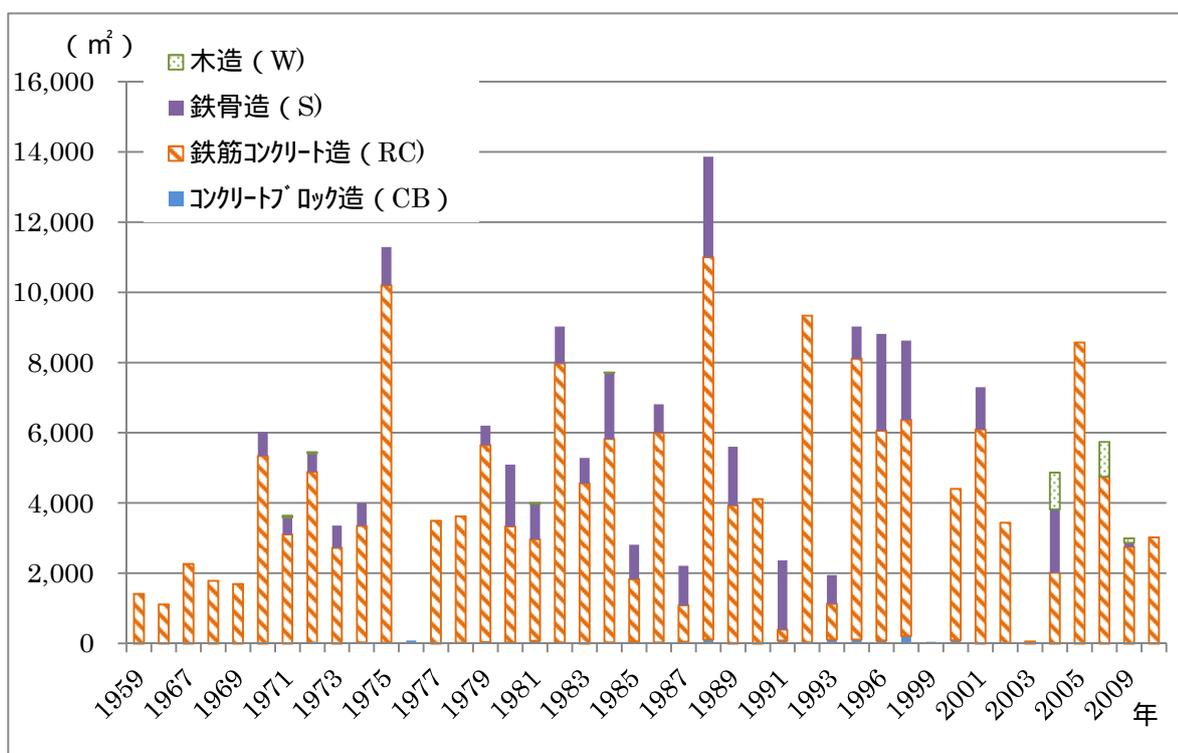
敷地の土地所有

学校敷地は72万㎡あり、そのうち約1%の3万9,000㎡が借地となっています。

【品質面】

建築年と構造別延床面積

旧耐震基準によって整備された施設は、全体の39%を占め、順次耐震改修を行っています。



【利用状況】

児童数と学級数

2013年5月時点の児童数は10,356人となっています。また、学級数と普通教室のバランスが取れていない学校も散見されます。

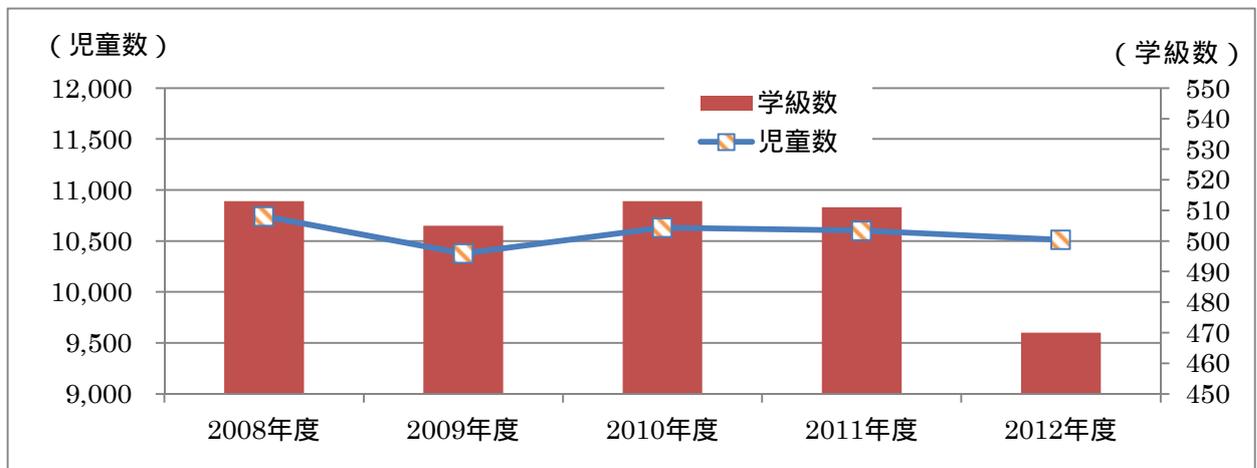
学校名	児童数	学級数	教室数	学校名	児童数	学級数	教室数
稲葉山小学校	255	13	15	世紀小学校	432	18	19
岩倉小学校	420	17	17	神戸小学校	30	4	4
修立小学校	175	10	8	美和小学校	148	7	8
醇風小学校	298	14	15	明治小学校	33	5	6
明德小学校	162	8	8	米里小学校	208	11	8

富桑小学校	137	7	7	津ノ井小学校	261	14	11
美保小学校	626	25	24	若葉台小学校	358	17	20
美保南小学校	567	21	17	面影小学校	443	18	19
倉田小学校	96	6	8	宮ノ下小学校	298	12	13
日進小学校	243	14	12	国府東小学校	121	7	8
久松小学校	280	14	17	福部小学校	161	7	9
遷喬小学校	123	7	7	河原第一小学校	208	10	10
城北小学校	585	24	20	散岐小学校	68	8	7
中ノ郷小学校	330	14	13	西郷小学校	51	5	8
浜坂小学校	483	21	17	用瀬小学校	157	8	8
湖山小学校	397	15	16	佐治小学校	73	7	7
湖山西小学校	296	15	17	浜村小学校	236	13	11
末恒小学校	390	15	15	宝木小学校	80	9	8
賀露小学校	339	14	15	逢坂小学校	48	6	5
湖南学園小学校	91	6	6	瑞穂小学校	41	4	5
大正小学校	143	8	9	鹿野小学校	179	10	10
東郷小学校	31	6	4	青谷小学校	253	13	14

数値は普通教室のみ。その他に理科室や視聴覚室、音楽室などの特別教室が各校6～14程度あります。

学級数と児童数の推移

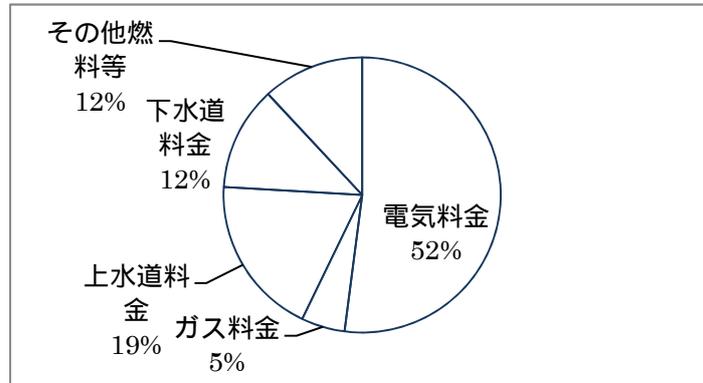
将来人口予測のとおり児童数は緩やかに減少しています。



【財務面】

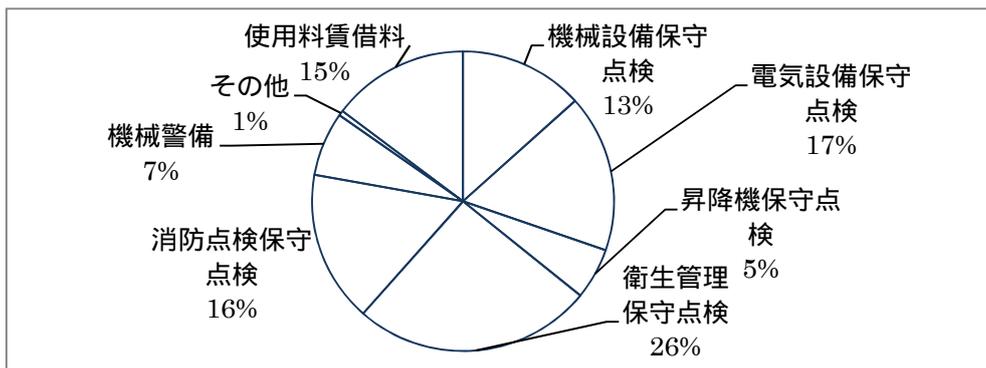
光熱水費

全小学校の光熱水費は、1億7,000万円/年(2012年度)となっており、電気料金が約8,900万円と52%を占めています。



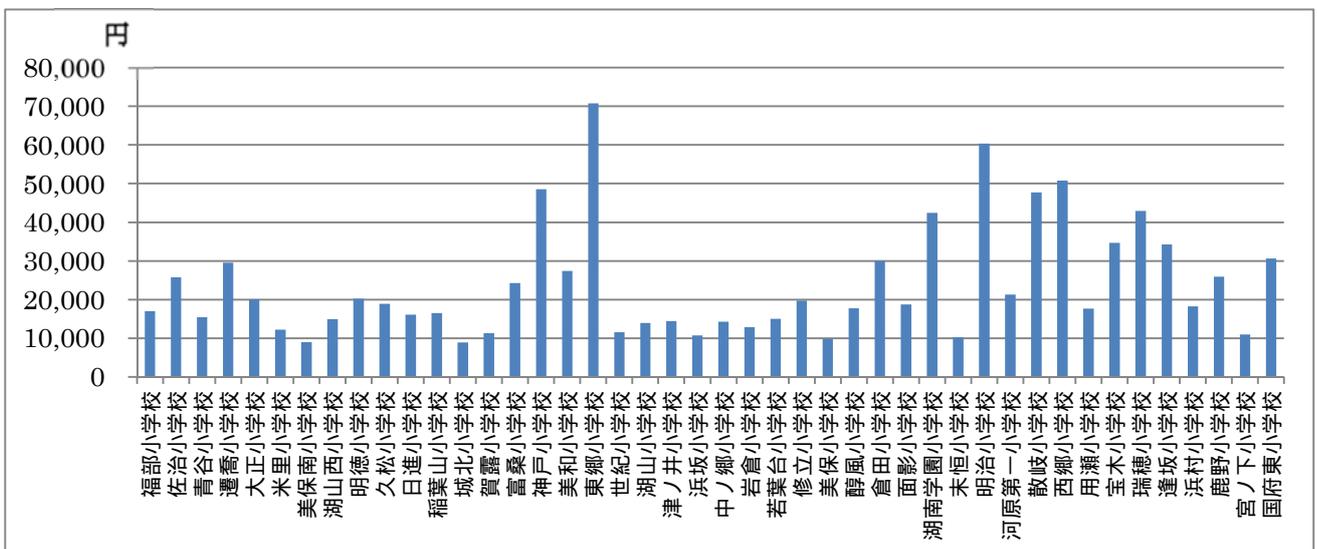
維持管理費

全小学校の維持管理費は、3,800万円/年(2012年度)となっています。他の施設と異なり清掃費はありませんが、賃借料が約550万円発生しています。



児童一人あたり光熱水費

児童一人あたりの年間光熱水費を比較するとばらつきがあります。

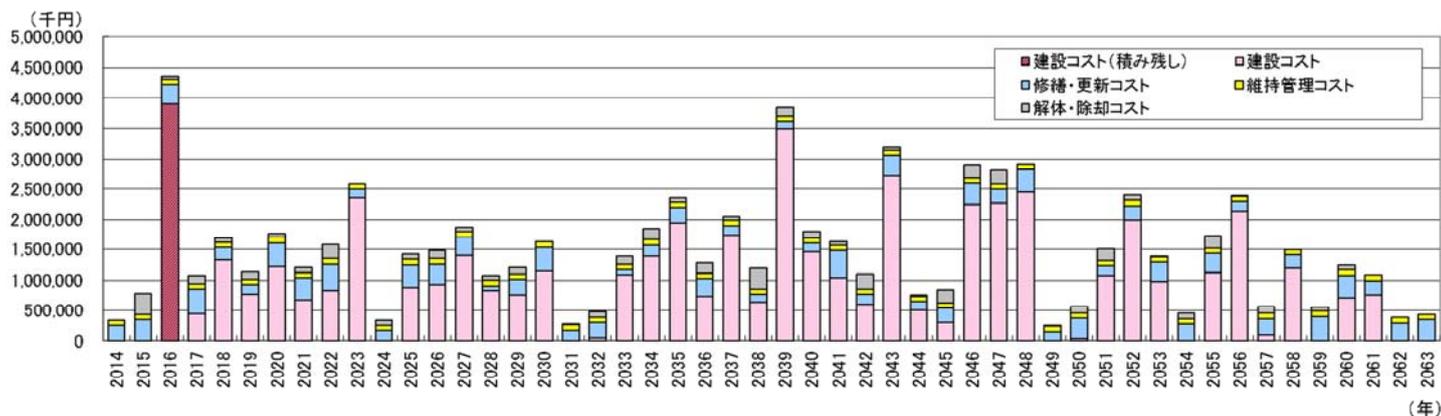


【更新経費】

今後 50 年の修繕・更新費用の試算

1 年平均で 14 億 9,300 万円、50 年間で 746 億円の費用がかかると見込まれます。

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	52,211,842
修繕・更新コスト	12,991,831
維持管理コスト	4,502,558
解体・除却コスト	4,932,955
計	74,639,186
単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	1,044,237
修繕・更新コスト	259,837
維持管理コスト	90,051
解体・除却コスト	98,659
計	1,492,784



2 中学校

本市には、市立中学校が17校あり、2012年度の生徒数は1,281人となっています。
用瀬中学校と佐治中学校が合併し、2013年度から千代南中学校となりました。

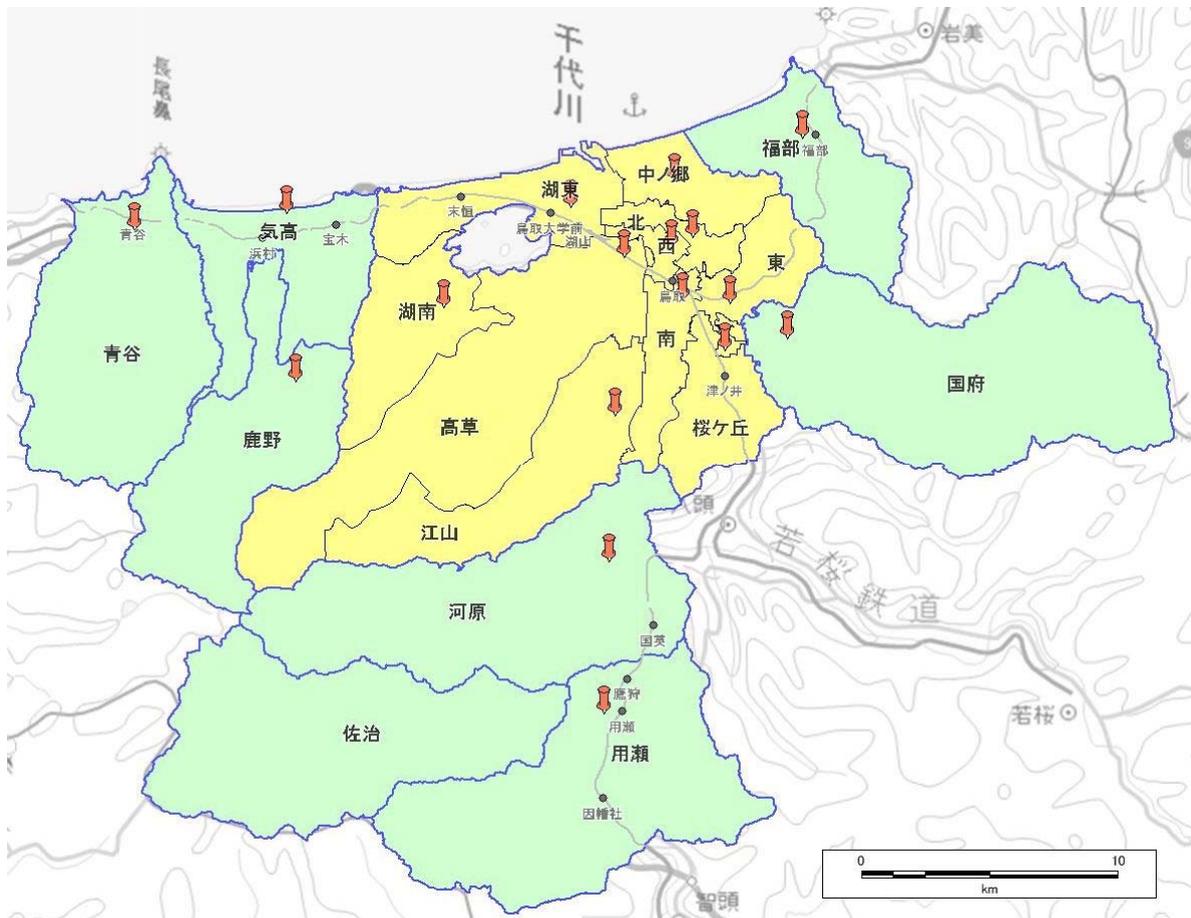
【供給面】

施設総数：17 総延床面積：96,470㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1

配置図



建物の状況

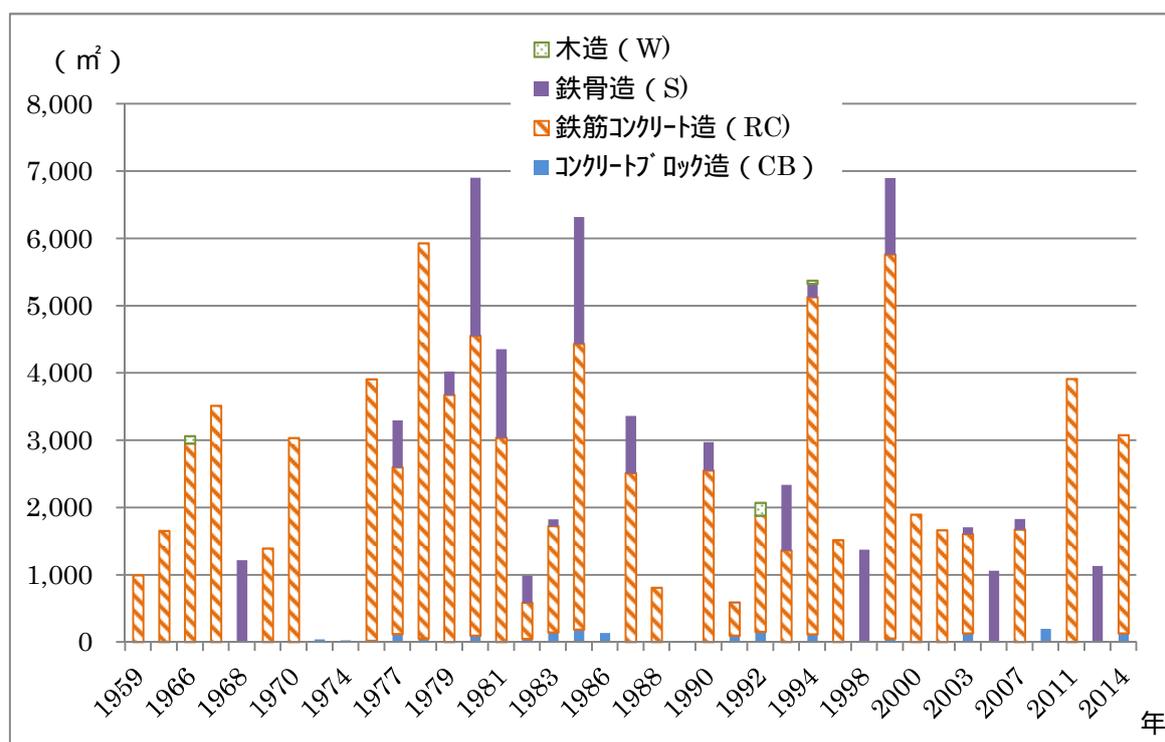
学校名	土地所有	延床面積	主な校舎の建築年			
			1980	1981	1993	
東中学校	市有地	6,911	1980	1981	1993	
西中学校	市有地	5,786	1999			
南中学校	市有地	6,455	1968	1969	1990	
北中学校	市有地	7,239	1970	1977	2001	
中ノ郷中学校	市有地	5,050	1985	1996		
湖東中学校	市有地	7,644	1978	1979	1987	1992
湖南学園中学校	市有地	2,713	1991			
高草中学校	市有地	4,976	1994			
江山中学校	一部借地	2,437	1966	1975		
桜ヶ丘中学校	市有地	6,539	1979	1980	2007	
国府中学校	市有地	4,339	1978			
福部中学校	市有地	2,015	1966			
河原中学校	市有地	3,913	2011			
千代南中学校	市有地	2,942	2013			
気高中学校	一部借地	4,107	1967			
鹿野中学校	市有地	3,038	1975			
青谷中学校	市有地	3,593	1959	1960	1983	

校舎のみ掲載

【品質面】

建築年と延床面積

1981年以前の旧耐震基準によって整備された施設は、全体の59%を占め、順次耐震改修を行っています。



【利用状況】

生徒数と学級数

2013年5月時点の生徒数は5,008人となっています。また、学級数と普通教室のバランスが取れていない学校も散見されます。

地域名	学校名	校区内の小学校	生徒数	学級数	普通 教室数
鳥取地域	東	稲葉山・岩倉・修立	407	16	15
	西	醇風・明德・富桑	298	11	13
	南	美保・美保南・倉田・日進	657	21	24
	北	久松・遷喬・城北	434	16	18
	中ノ郷	中ノ郷・浜坂	361	13	12
	湖東	湖山・湖山西・末恒・賀露	662	62	23
	湖南	湖南	49	3	3
	高草	大正・東郷・世紀	329	14	12
	江山	神戸・美和・明治	99	5	5
	桜ヶ丘	米里・津ノ井・若葉台・面影	675	24	20
国府地域	国府	宮ノ下・国府東	189	8	9
福部地域	福部	福部	83	4	5
河原地域	河原	河原第一・散岐・西郷	181	9	9
用瀬地域	千代南	用瀬	117	5	4
佐治地域		佐治			
気高地域	気高	宝木・浜村・瑞穂・逢坂	228	10	11
鹿野地域	鹿野	鹿野	85	4	7
青谷地域	青谷	青谷	148	8	9

数値は普通教室のみ。その他に理科室や視聴覚室、音楽室などの特別教室が各校8～22部屋あります。

【財務面】

光熱水費

全中学校の光熱水費は、9,632万円/年(2012年度)、1学校あたり535万円でした。

維持管理費

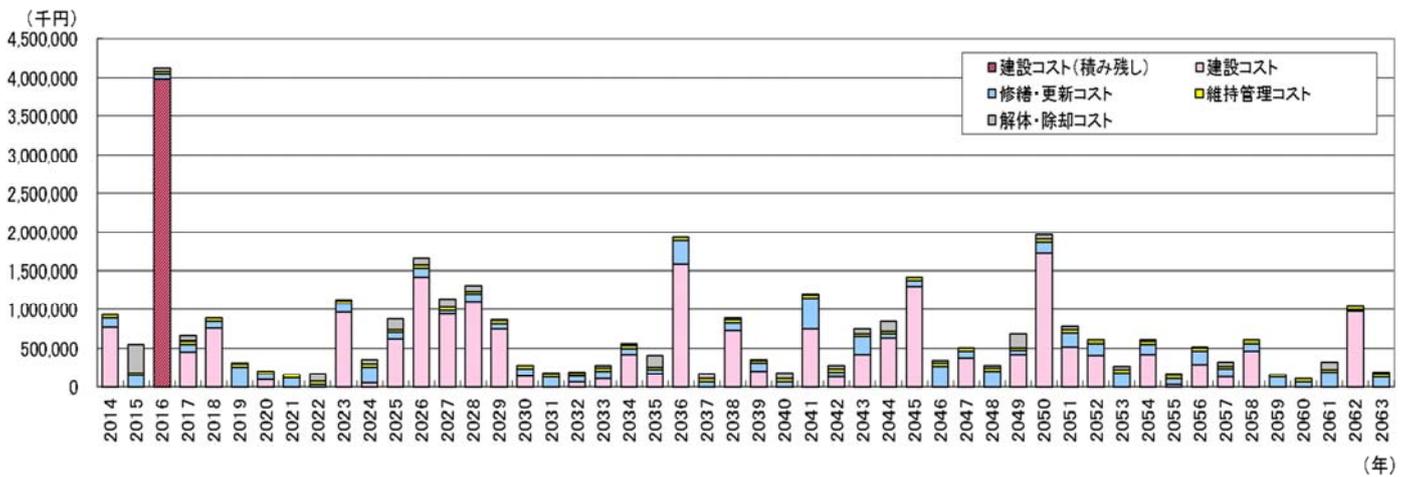
全中学校の維持管理費は、1,030万円/年(2012年度)、1学校あたり57万円でした。

他の施設と異なり清掃費はありません。

今後 50 年の修繕・更新費用の試算

1 年平均で 6 億 9,600 万円、50 年間で 348 億円の費用がかかると見込まれます。

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	24,311,729
修繕・更新コスト	6,103,879
維持管理コスト	2,091,486
解体・除却コスト	2,273,220
計	34,780,314
単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	486,235
修繕・更新コスト	122,078
維持管理コスト	41,830
解体・除却コスト	45,464
計	695,606



3 教育関連施設

教育関連施設には、学校給食センターが含まれており、給食を市内の小・中学校へ提供・配送しています。公募型プロポーザル方式により選定された事業者が調理業務を受託しています。

また、学校給食センターの管理・運営については、鳥取市が行っています。

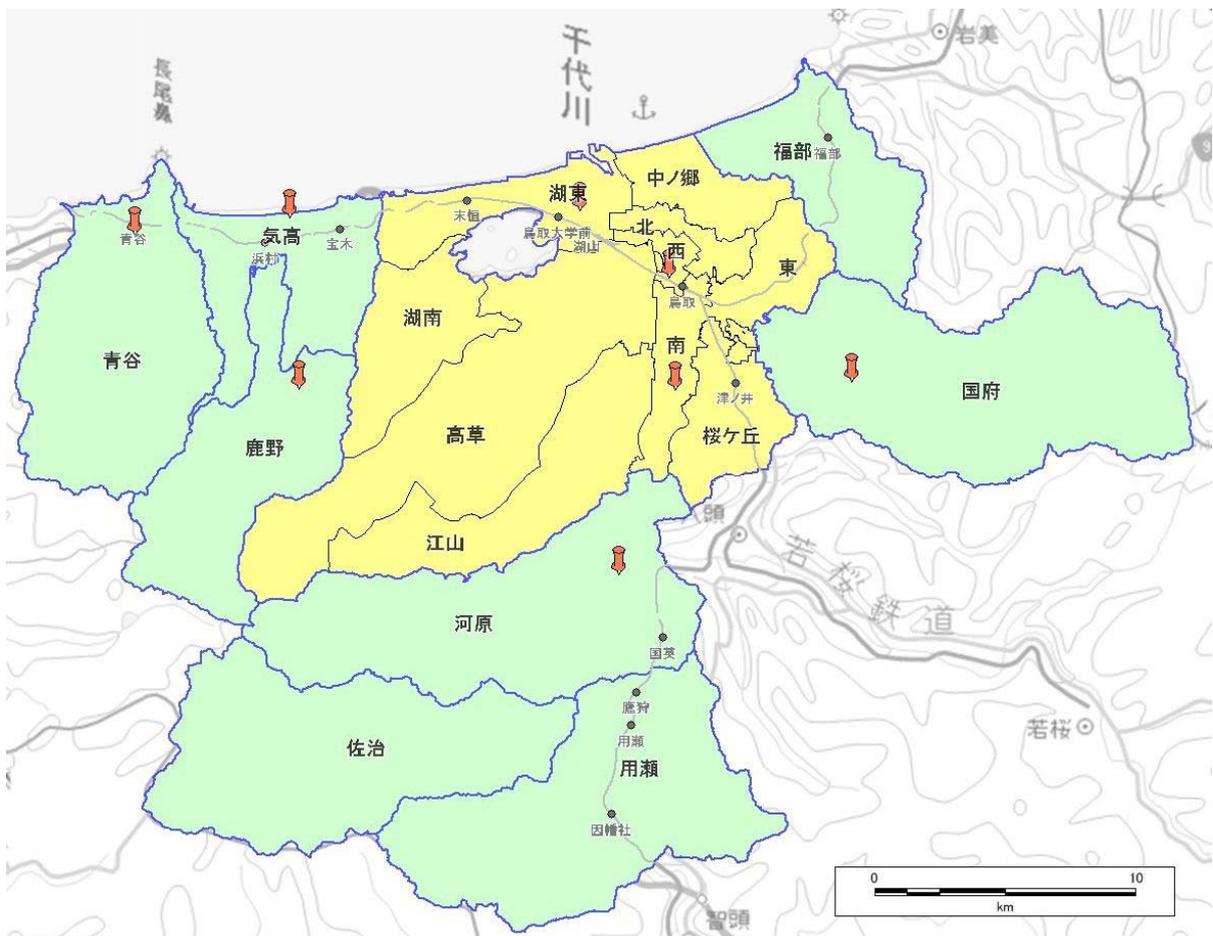
【供給面】

施設総数：8 総延床面積：6,959㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	1	1			1					1		1			1	1	1

配置図



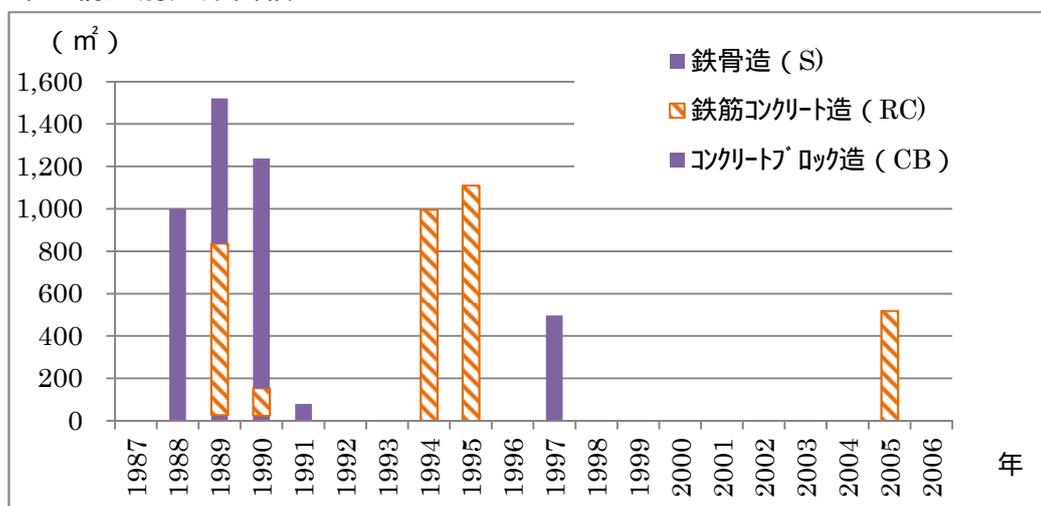
主な建物の状況

施設名	所在地	建築年	延床面積
第一学校給食センター	行徳	1988	1,000
第二学校給食センター	蔵田	1990	1,083
湖東学校給食センター	湖山町北	1989	691
国府学校給食センター	国府町谷	2005	518
河原学校給食センター	河原町曳田	1997	497
気高学校給食センター	気高町浜村	1995	1,109
鹿野学校給食センター	鹿野町鹿野	1989	809
青谷学校給食センター	青谷町青谷	1994	996

気高・鹿野・青谷はランチルーム含む

【品質面】

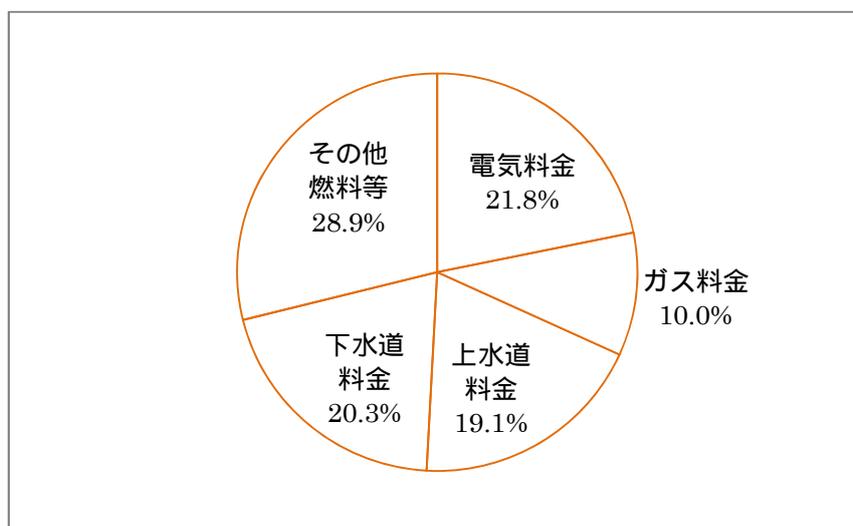
建築年と構造別延床面積



【財務面】

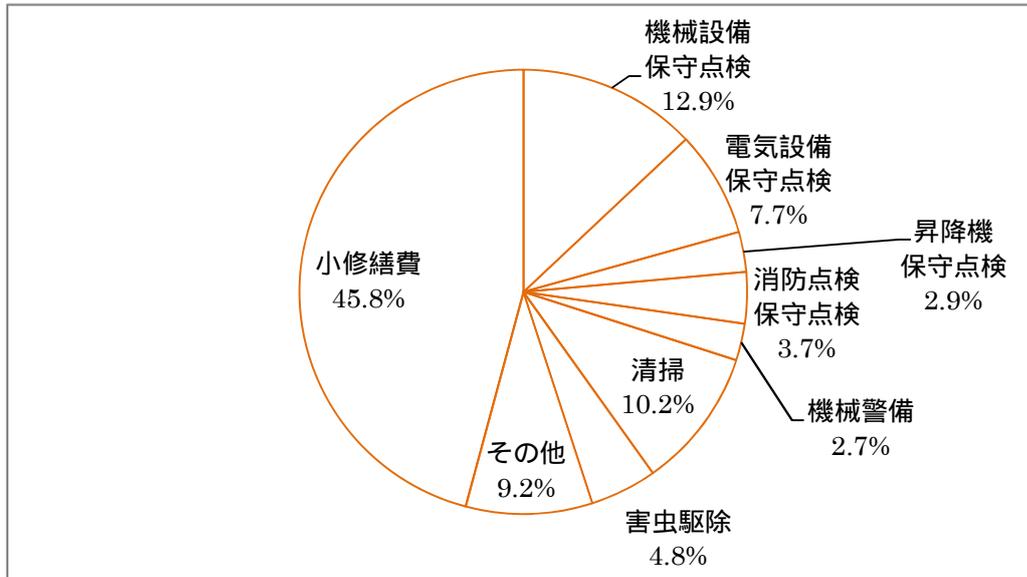
光熱水費

2012年度の光熱水費は9,100万円発生しました。



維持管理費

2012年度の維持管理費は760万円発生しました。



管理方法等

施設名	対象校	指定管理者
第一学校給食センター	久松・醇風・遷喬・日進・富桑・城北・美保・明德・明治・世紀・中ノ郷小学校 西・北・高草・中ノ郷中学校	公益財団法人鳥取市学校給食会
第二学校給食センター	修立・稲葉山・倉田・面影・神戸・美和・大正・東郷・米里・津ノ井・岩倉・美保南・若葉台小学校 東・南・江山・桜ヶ丘中学校	株式会社東洋食品
湖東学校給食センター	賀露・湖山・湖南学園・未恒・浜坂・湖山西小学校 湖東・湖南学園中学校	シダックス 大新東ヒューマンサービス株式会社
国府学校給食センター	宮ノ下・国府東・福部小学校 国府・福部中学校	公益財団法人鳥取市学校給食会
河原学校給食センター	河原第一・西郷・散岐・用瀬・佐治小学校 河原・千代南中学校	
気高学校給食センター	宝木・瑞穂・浜村・逢坂小学校、気高中学校	
鹿野学校給食センター	鹿野小学校、鹿野中学校	
青谷学校給食センター	青谷小学校、青谷中学校	

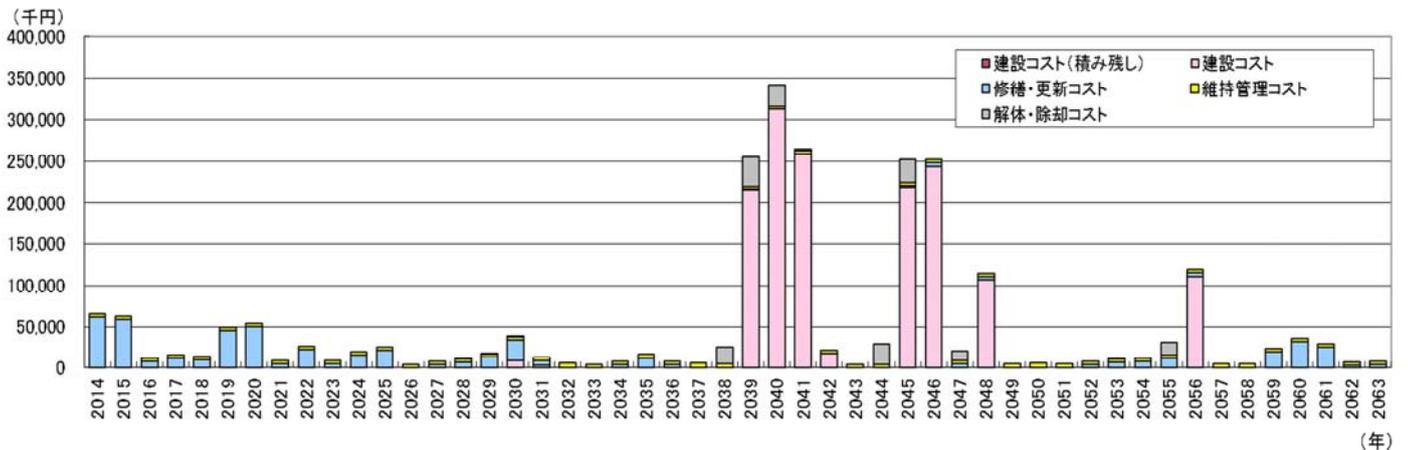
【更新経費】

今後 50 年の修繕・更新費用の試算

1 年平均で 4,800 万円、50 年間で 23 億 8,000 万円の費用がかかると見込まれます。

耐用年数を超過している施設はほとんど見られませんが、一時期に更新が集中することがわかります。

50年間の総計		単位: 千円
建設コスト	1,494,843	
修繕・更新コスト	530,195	
維持管理コスト	189,491	
解体・除却コスト	165,280	
計	2,379,809	
単年度平均		単位: 千円/年
建設コスト	29,897	
修繕・更新コスト	10,604	
維持管理コスト	3,790	
解体・除却コスト	3,306	
計	47,596	



第10節 公園施設

市条例に設置及び管理が定められている公園施設は、都市公園、河川公園、農村公園など多数あります。

本施設白書においては、このうち公園内に有する建築物（案内板、トイレ等）を対象としています。

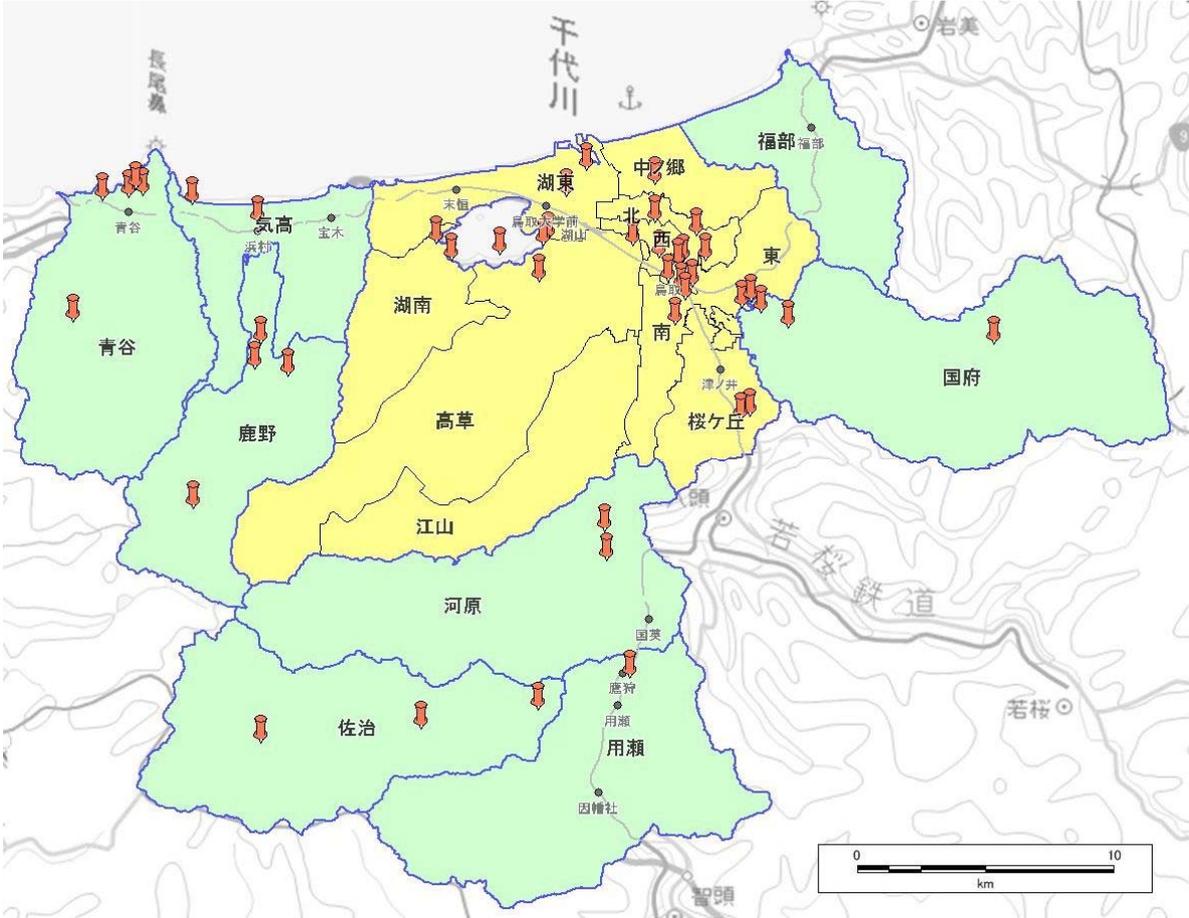
【供給面】

施設総数：45 総延床面積：2,564 m²

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	1	6	4	2	2	2	5		2	6		2	1	3		4	5

配置図



市条例で定められている公園施設の種類

施設名	根拠条例	設置目的
とっとり出合いの森	鳥取市出合いの森公園の設置及び管理に関する条例	市民の保健休養及び森林レクリエーションの振興に資する。
都市公園	鳥取市都市公園条例	公園の健全な発達を図るとともに、公共の福祉の増進に資する。
河川公園	鳥取市河川公園の設置及び管理に関する条例	市民の健康の増進に資する。
農村公園	鳥取市農村公園の設置及び管理に関する条例	住民の健康及び福祉の増進を図る。

建物の状況

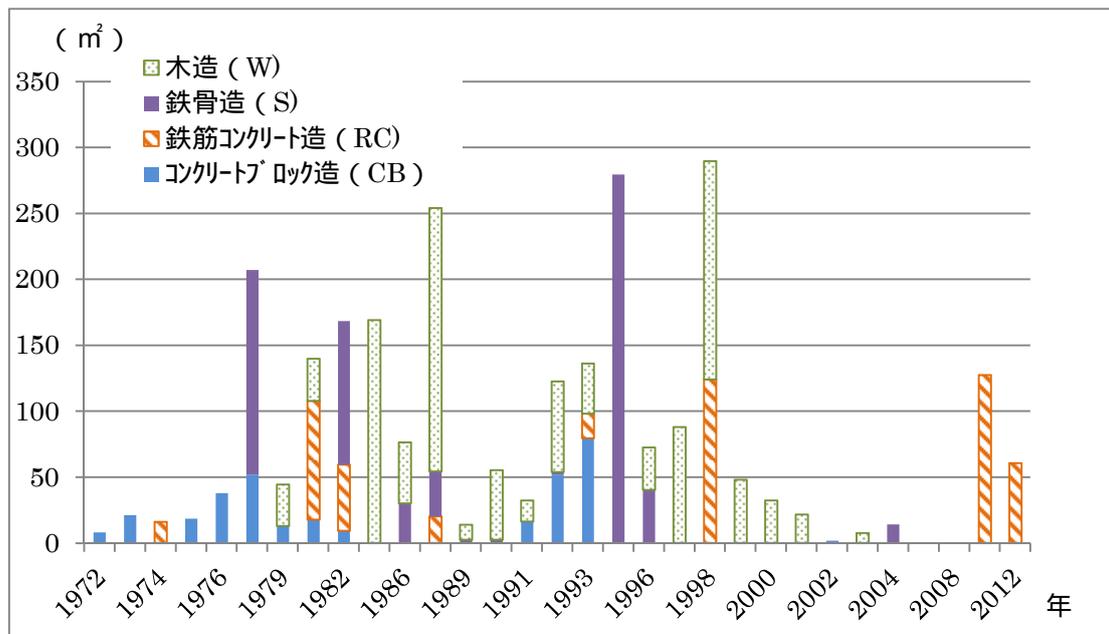
施設名	所在地	建築年	延床面積	主な構造
とっとり出合いの森	桂見	1998	272	鉄筋コンクリート造
青島野外活動施設	高住	1982	189	鉄骨造
真教寺公園	戎町	1976	51	コンクリートブロック造
弥生公園	弥生町	1993	35	コンクリートブロック造
南城北公園	古海	1993	4	コンクリートブロック造
沢井手公園	扇町	1992	69	木造
賀露上小路公園	賀露町南五丁目	1992	24	コンクリートブロック造
樗谿公園	上町	1977	224	鉄骨造
久松公園	東町二丁目	1980	137	木造
東富安公園（鳥取市交通公園）	南吉方一丁目	1994	147	鉄骨造
吉方南公園	吉方	1980	9	コンクリートブロック造
井原公園	興南町	1977	52	コンクリートブロック造
行徳緑地	行徳二丁目	1985	169	木造
田島第1公園	田島	1992	3	コンクリートブロック造
的場1号公園	的場	1994	150	鉄骨造
湖山公園	湖山町北六丁目	1992	24	コンクリートブロック造
ニュータウン中央公園	若葉台南一丁目	1997	96	木造
ニュータウン1号児童公園	若葉台南六丁目	1986	2	鉄骨造
湖山池公園休憩所	桂見	1986	46	木造
湖山池公園桂見南側便所	桂見	2012	61	鉄筋コンクリート造
湖山池公園	金沢	1990	74	鉄骨造
湖山池公園（金沢）	金沢	2003	8	木造
あおば公園便所	国府町新町三丁目	1988	3	鉄骨造
ふたば公園便所	国府町稲葉丘三丁目	2002	2	コンクリートブロック造
宮下公園便所	国府町宮下	1989	3	鉄骨造
いなば公園便所	国府町宮下	1990	3	鉄骨造
桜つつみ公園便所	国府町町屋	1996	32	木造
栃本農村公園便所	国府町栃本	2000	32	木造

桜つつみ河川公園	河原町曳田	1991	16	木造
河原町中央公園便所	河原町谷一木	1993	12	コンクリートブロック造
興徳広場便所	用瀬町鷹狩	1996	59	鉄骨造
ふれあいの森	佐治町高山	1999	48	木造
刈地農村公園	佐治町刈地	1990	19	木造
尾際農村公園	佐治町尾際	1989	11	木造
自然公園施設・便所	気高町八束水	1988	32	鉄骨造
浜村砂丘公園便所	気高町浜村	2010	42	鉄筋コンクリート造
鹿野城跡公園公衆トイレ	鹿野町鹿野	1988	54	木造
越路ヶ丘公園公衆トイレ	鹿野町越路ヶ丘	1974	16	鉄筋コンクリート造
鹿野温泉公園公衆トイレ	鹿野町今市	1988	20	鉄筋コンクリート造
鹿野城跡公園展望台	鹿野町鹿野	1986	30	鉄骨造
花巻公園	鹿野町河内	2001	14	鉄骨造
空浜公園	青谷町青谷	1980	17	木造
農村広場管理棟	青谷町青谷	1988	146	木造
青谷浜公衆便所	青谷町青谷	1993	19	鉄筋コンクリート造
不動山休憩所	青谷町田原谷	1979	31	木造
井手野外広場公衆便所	青谷町井手	1991	16	コンクリートブロック造

案内板、物置、トイレ等、複数棟の施設は、主な建物の建築年、構造を表示
延床面積は、当該施設に存在する建物の合計を表示

【品質面】

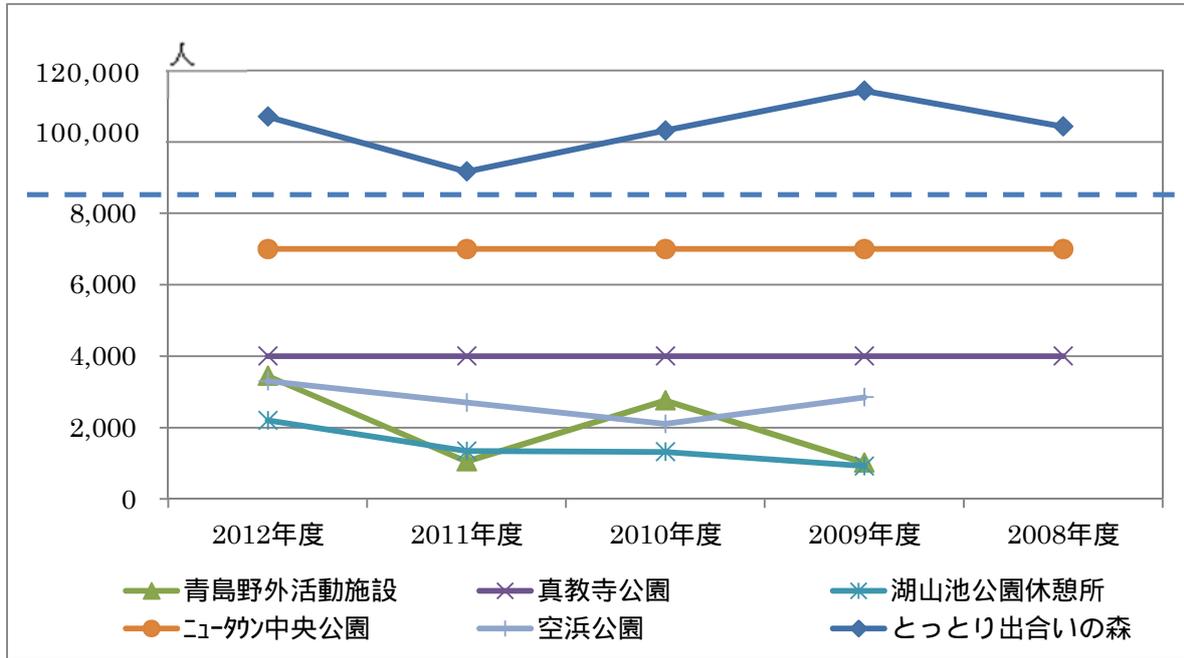
建築年と構造別延床面積



【利用状況】

利用者数の推移（2008～2012年度）

利用者数をカウントしている7施設のみでの推移をみると、とっとり出会いの森の利用者が突出しており、その他6施設は横ばいとなっています。



【財務面】

管理形態

施設名	管理方法	管理者	指定管理料
とっとり出会いの森	指定管理	株式会社社谷尾樹楽園	7,840,000円
青島野外活動施設	指定管理	鳥取グリーン	3,300,000円
真教寺公園	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	11,656,531円
弥生公園	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	750,743円
南城北公園	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	359,490円
沢井手公園	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	1,916,236円
賀露上小路公園	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	1,522,672円
樽谿公園	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	6,190,386円
久松公園	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	5,173,945円
東富安公園（鳥取市交通公園）	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	861,529円
吉方南公園	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	321,341円
井原公園	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	1,131,588円
行徳緑地	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	3,127,026円
田島第1公園	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	446,540円
的場1号公園	委託		
湖山公園	指定管理	鳥取グリーン	1,307,589円
ニュータウン中央公園	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	3,657,343円
ニュータウン1号児童公園	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	457,543円
湖山池公園休憩所	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	800,000円

湖山池公園桂見南側便所	指定管理	鳥取グリーン	700,000 円
湖山池公園	指定管理	鳥取グリーン	15,300,000 円
湖山池公園（金沢）	指定管理	鳥取グリーン	700,000 円
あおば公園便所	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	370,267 円
ふたば公園便所	委託		
宮下公園便所	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	324,742 円
いなば公園便所	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	1,140,000 円
桜づつみ公園便所	直営		
栃本農村公園便所	直営		
河原町中央公園便所	指定管理	風土資産研究会	1,300,000 円
桜づつみ河川公園	直営		
興徳広場便所	直営		
ふれあいの森	直営		
刈地農村公園	直営		
尾際農村公園	直営		
浜村砂丘公園便所	指定管理	鳥取市公園・スポーツ施設協会	1,537,241 円
鹿野城跡公園公衆トイレ	委託		
越路ヶ丘公園公衆トイレ	指定管理	ハクスイ環境	1,140,000 円
鹿野温泉公園公衆トイレ	指定管理	ハクスイ環境	1,140,000 円
鹿野城跡公園展望台	直営		
花巻公園	委託		
空浜公園	指定管理	ハクスイ環境	1,045,000 円
農村広場管理棟	直営		
青谷浜公衆便所	委託		
不動山休憩所	直営		
井手野外広場公衆便所	委託		

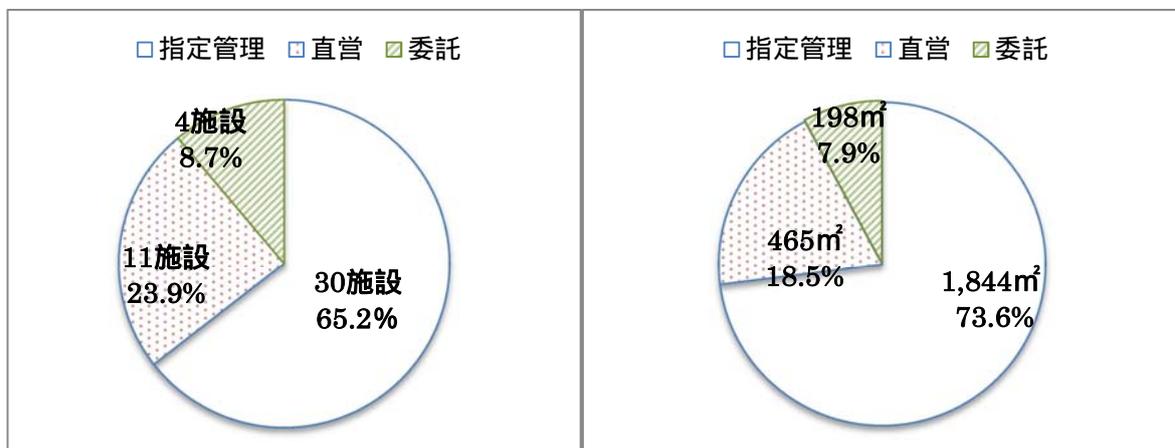
指定管理には施設のみではなく、公園全体の管理業務を含む

管理形態内訳

公園 46 施設の内訳は、施設分類別では 65% 以上、延床面積別ではともに 70% 以上が指定管理施設となっています。

施設分類別

延面積別



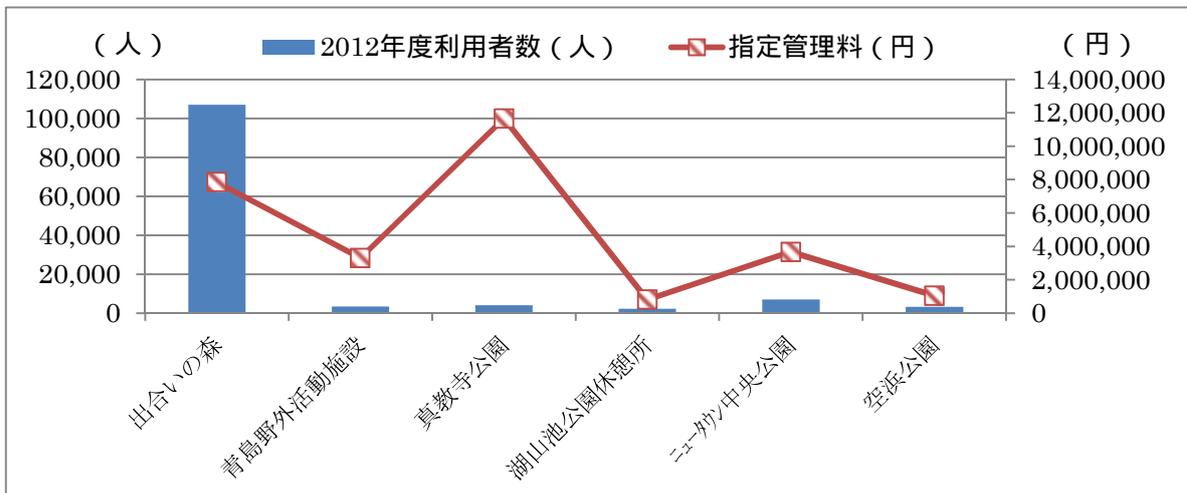
指定管理料内訳

指定管理委託を行っている 30 施設における指定管理者の内訳は、施設数、指定管理料ともに 60%以上が鳥取市公園・スポーツ施設協会となっています。

指定管理者	施設数	指定管理料
鳥取市公園・スポーツ施設協会	19 施設	41,745,163 円
鳥取グリーン	5 施設	21,307,589 円
株式会社谷尾樹楽園	1 施設	7,840,000 円
風土資産研究所	1 施設	1,300,000 円
ハクスイ環境	3 施設	3,325,000 円
合計	30 施設	67,865,502 円

利用者 1 人あたりの公費負担額

とっとり出合いの森を除いて利用者数はほぼ同一であるが、利用者 1 人あたりの公費負担額（指定管理料）は大きく異なっていることがわかります。



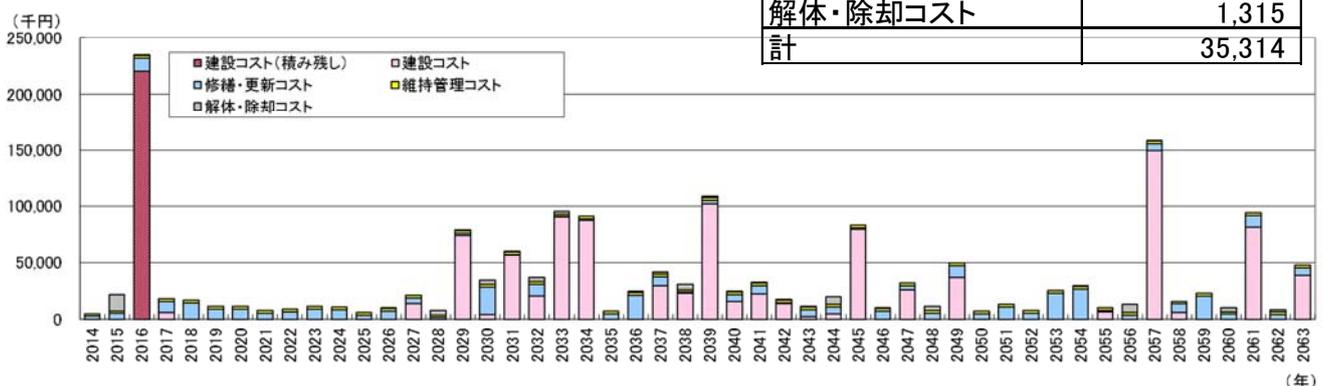
【更新費用】

今後 50 年の修繕・更新費用の試算

今後 50 年間に発生する修繕・更新費用は 17 億 6,500 万円。年平均 3,500 万円と試算されます。

50年間の総計	単位:千円
建設コスト	1,210,681
修繕・更新コスト	375,247
維持管理コスト	114,010
解体・除却コスト	65,765
計	1,765,703

単年度平均	単位:千円/年
建設コスト	24,214
修繕・更新コスト	7,505
維持管理コスト	2,280
解体・除却コスト	1,315
計	35,314



第 1 1 節 環境関連施設

本市における環境関連施設には、ごみ処理施設や墓苑、雨水処理施設などがあり、住民生活を支えています。これら処理施設は“プラント”と呼ばれ機械設備が大部分を占めるため、非常に大きな維持・更新・改修費用が発生します。

なお、“秋里下水終末処理場”や“千代水クリーンセンター”などの大規模な下水処理施設のほか、各地域の集落排水処理場は、公営企業会計となったため、本白書の対象から除外しています。

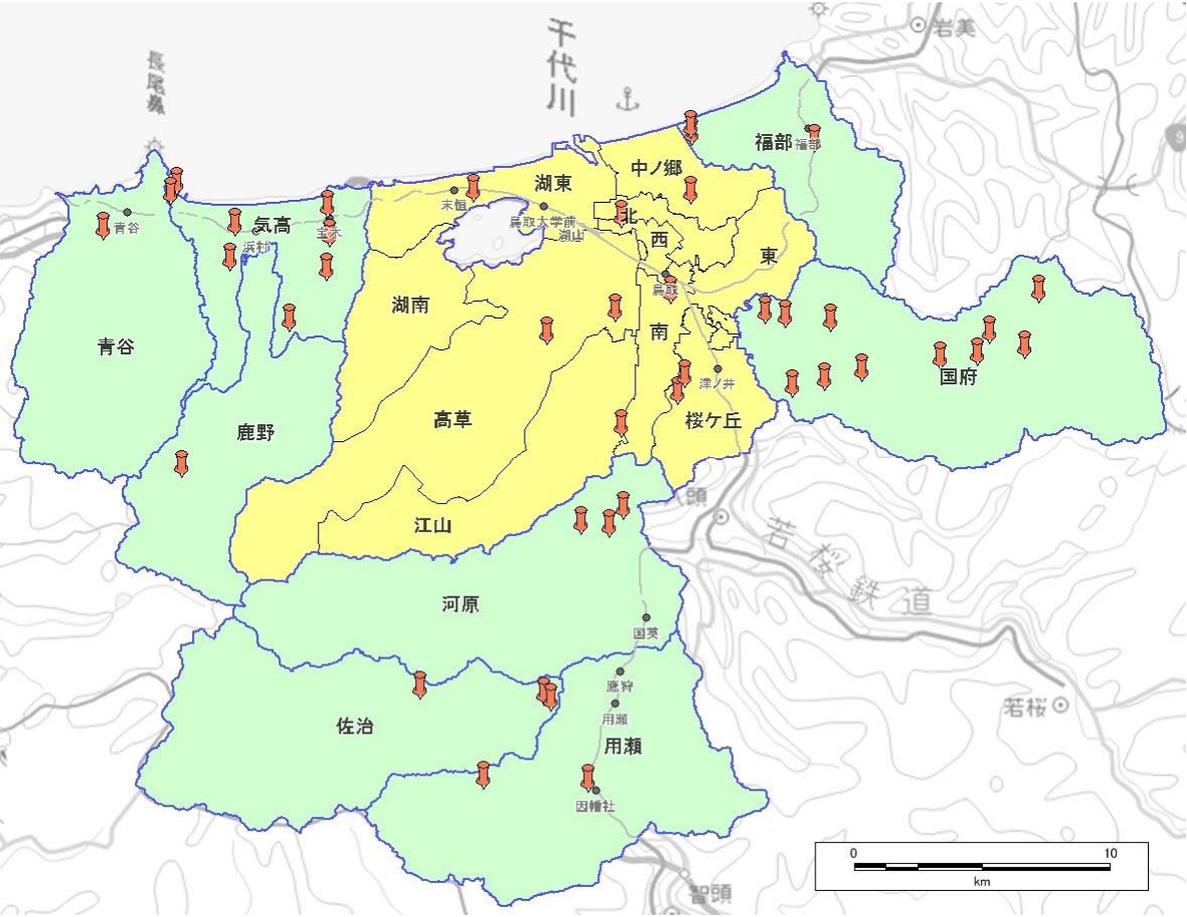
【供給面】

施設総数：43 総延床面積：15,326 m²

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	1	2		1	1		2	1	1	12	3	3	2	3	9	1	1

配置図



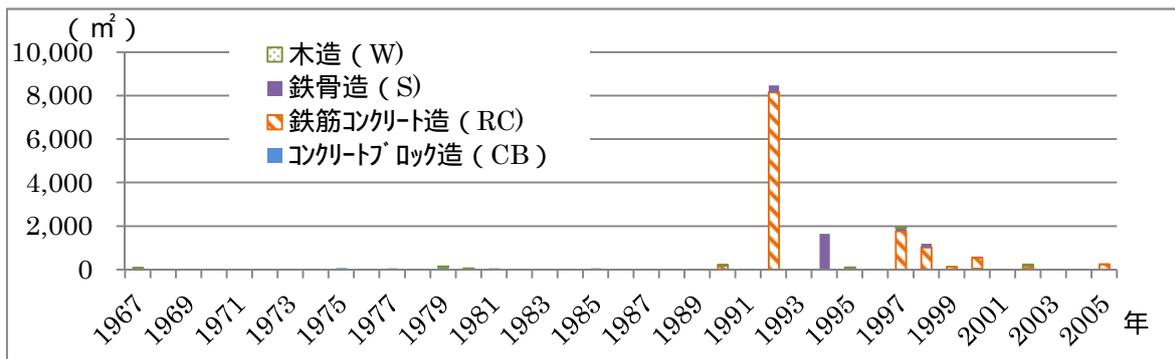
市条例で定められている環境関連施設の種類

施設名	根拠条例	設置目的
墓地	鳥取市墓地条例	焼骨の埋蔵の用に供する。
集落排水施設	鳥取市集落排水施設の設置及び管理に関する条例	農業用水の水質保全及び農山漁村生活環境の改善を図る

【品質面】

建築年と構造別延床面積

1992年に建築された神谷清掃工場が多くの面積を占めています。



以下、主な施設について記載します。

可燃物処理施設

【供給面・品質面】

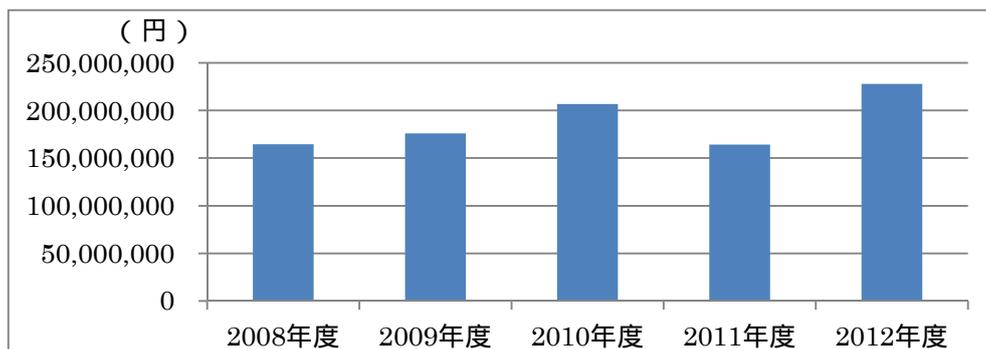
建物の状況

施設名	所在地	建築年	延床面積	構造
神谷清掃工場	西今在家	1992	8,566	鉄筋コンクリート造
国府町クリーンセンター	国府町岡益	1997	1,793	鉄筋コンクリート造
レインボ-ふくべ	福部町箭浜	1998	1,078	鉄骨鉄筋コンクリート造
ながおクリーンステーション	気高町八束水	1994	1,551	鉄骨造

【財務面】

修繕費

設備点検等の維持管理費のうち、施設修繕にかかる経費が非常に大きくなっており、4施設合計で年間2億円を超える年もあります。



【その他】

施設の概要

神谷清掃工場

- ・搬入地域 鳥取・河原・用瀬・佐治地域（他自治体も搬入）
- ・処理能力 270トン/日（135トン/24h炉×2炉）

国府町クリーンセンター

- ・搬入地域 国府地域
- ・処理能力 12トン/8h（1炉）

レインボーふくべ

- ・搬入地域 福部地域
- ・処理能力 5トン/8h（1炉）

ながおクリーンステーション

- ・搬入地域 気高・鹿野・青谷地域
- ・処理能力 25トン/8h（12.5トン×2炉）

墓苑

【供給面・品質面】

市営墓地は10か所あり、直営で管理しています。そのうち、事務所等の施設（建物）を有する墓苑は4施設あります。

建物の状況

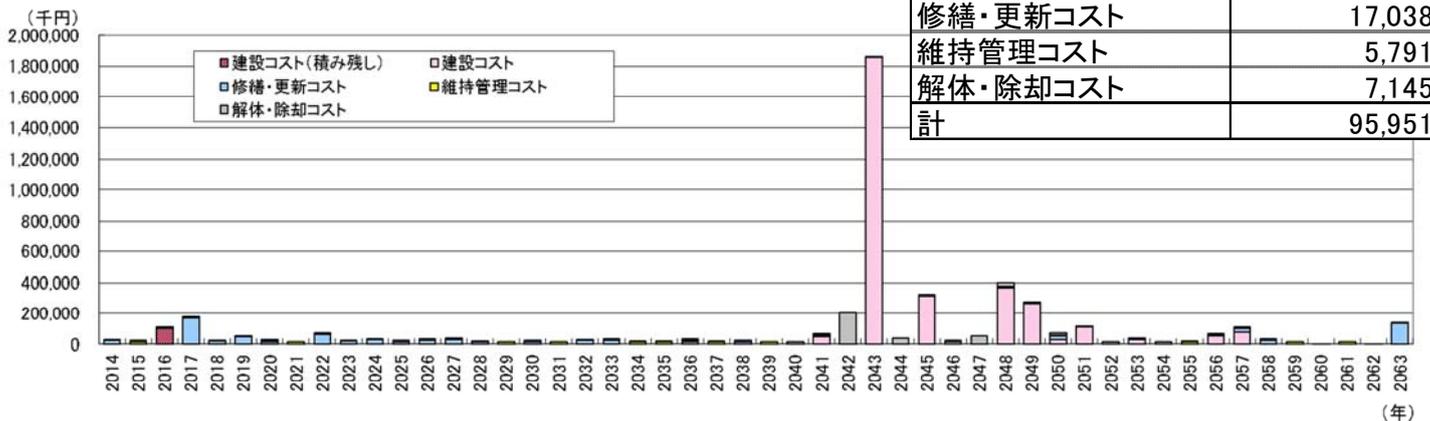
施設名	所在地	建築年	延床面積	備考
いなば墓苑	八坂	1977	37	事務所・トイレ
円護寺公園墓地	円護寺	1967	89	案内所・トイレ
末恒墓苑	美萩野	1979	46	事務所・案内所
第二いなば墓苑	古郡家	2002	61	事務所・トイレ

【更新費用】

今後50年の修繕・更新費用の試算

今後50年間に発生する修繕・更新費用は48億円。年平均9,600万円と試算されます。可燃物処理施設の建築年が近似しているため、一時期に集中しています。

50年間の総計		単位:千円
建設コスト		3,298,880
修繕・更新コスト		851,890
維持管理コスト		289,535
解体・除却コスト		357,241
計		4,797,546
単年度平均		単位:千円/年
建設コスト		65,978
修繕・更新コスト		17,038
維持管理コスト		5,791
解体・除却コスト		7,145
計		95,951



第 1 2 節 その他施設

その他の市有施設として、公衆トイレ（公園外）やバス停留所（待合所）などのほか、旧成器小学校における“アトリエ小学校”や旧鹿野小学校体育館における“鳥の劇場”など、民間に貸出し地域活性化等に活用している施設があります。

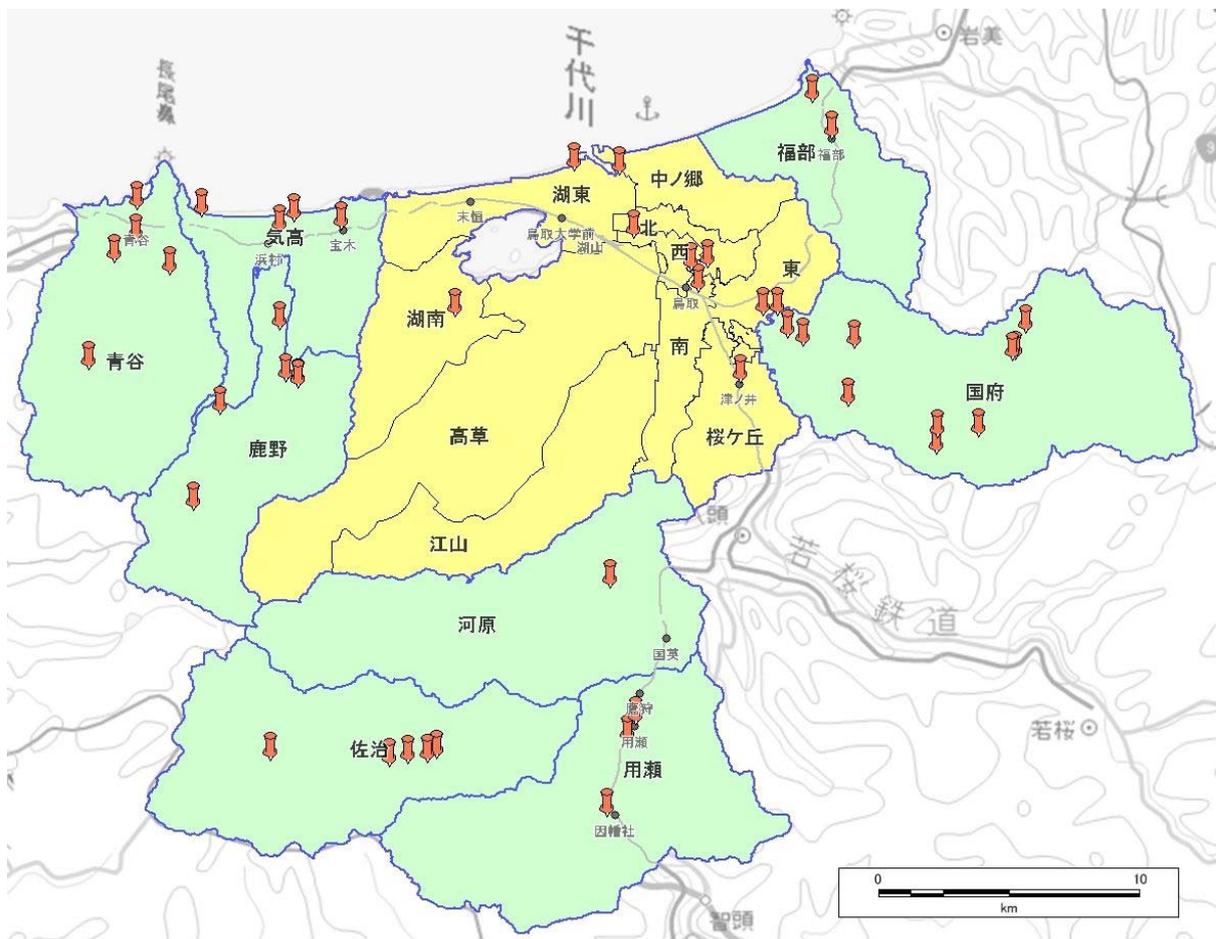
【供給面】

施設総数：56 総延床面積：10,363㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
1		1	3		2	1			1	11	3	1	4	10	4	6	8

配置図



主な建物の状況

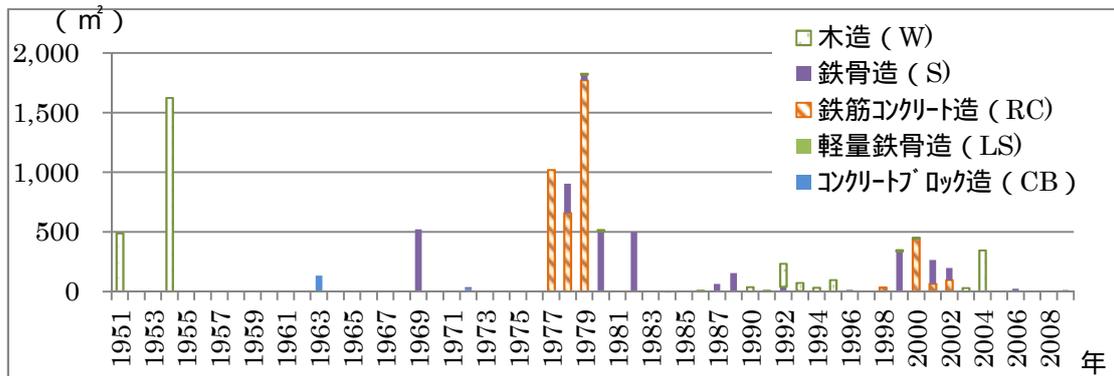
施設名	所在地	建築年	延床面積	備考
職員会館	永楽温泉町	1977	1,033	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造
旧成器小学校	国府町中河原	1954	1,256	木造
旧鹿野小学校体育館	鹿野町鹿野	1969	520	鉄骨造
旧日置谷小学校	青谷町奥崎	1979	1,770	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造

民間活用されている施設の状況

施設名	活用用途	活用内容
旧成器小学校	アトリエ 小学校	常時 150 点余りの絵画、手芸用品が展示されている。 Coffee 談話室やお化け屋敷を楽しむこともできる。
旧鹿野小学校 体育館	鳥の劇場	体育館を拠点として、演劇の創作・上演活動を行う。
旧日置谷小学校	植物工場	校舎を活用し、LED 照明を使用して屋内で野菜を栽培・出荷する。

【品質面】

建築年と構造別延床面積

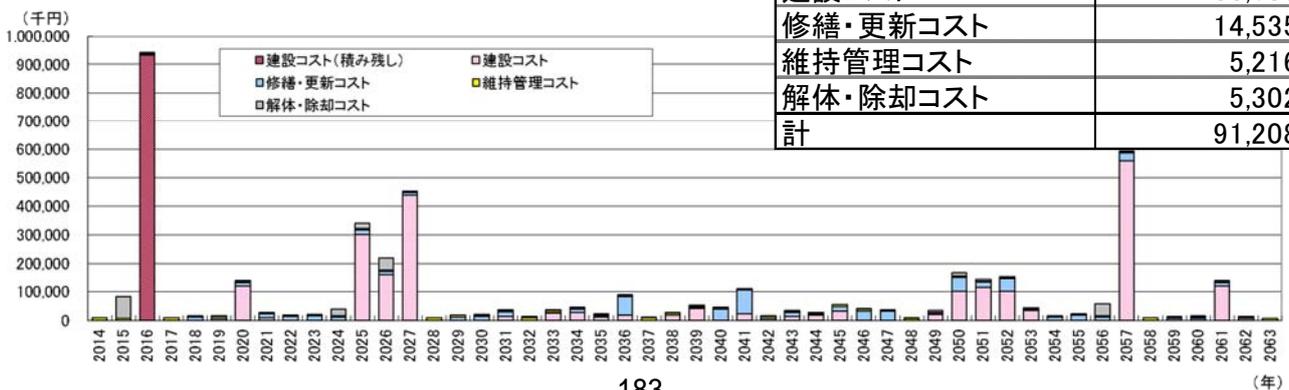


【更新費用】

今後 50 年の修繕・更新費用の試算

今後 50 年間に発生する修繕・更新費用は 46 億円。年平均 9,100 万円と試算されます。

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	3,307,729
修繕・更新コスト	726,769
維持管理コスト	260,808
解体・除却コスト	265,082
計	4,560,388
単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	66,155
修繕・更新コスト	14,535
維持管理コスト	5,216
解体・除却コスト	5,302
計	91,208



第13節 未活用施設

旧佐治中学校や旧大茅小学校などのように廃校となり利活用を検討している施設や、老朽化と庁舎移転によって利用されなくなった旧国府町総合支所など、未活用施設として分類しています。

なお、利用していない施設においても、機械警備や消防用設備点検等の維持管理費が生じています。

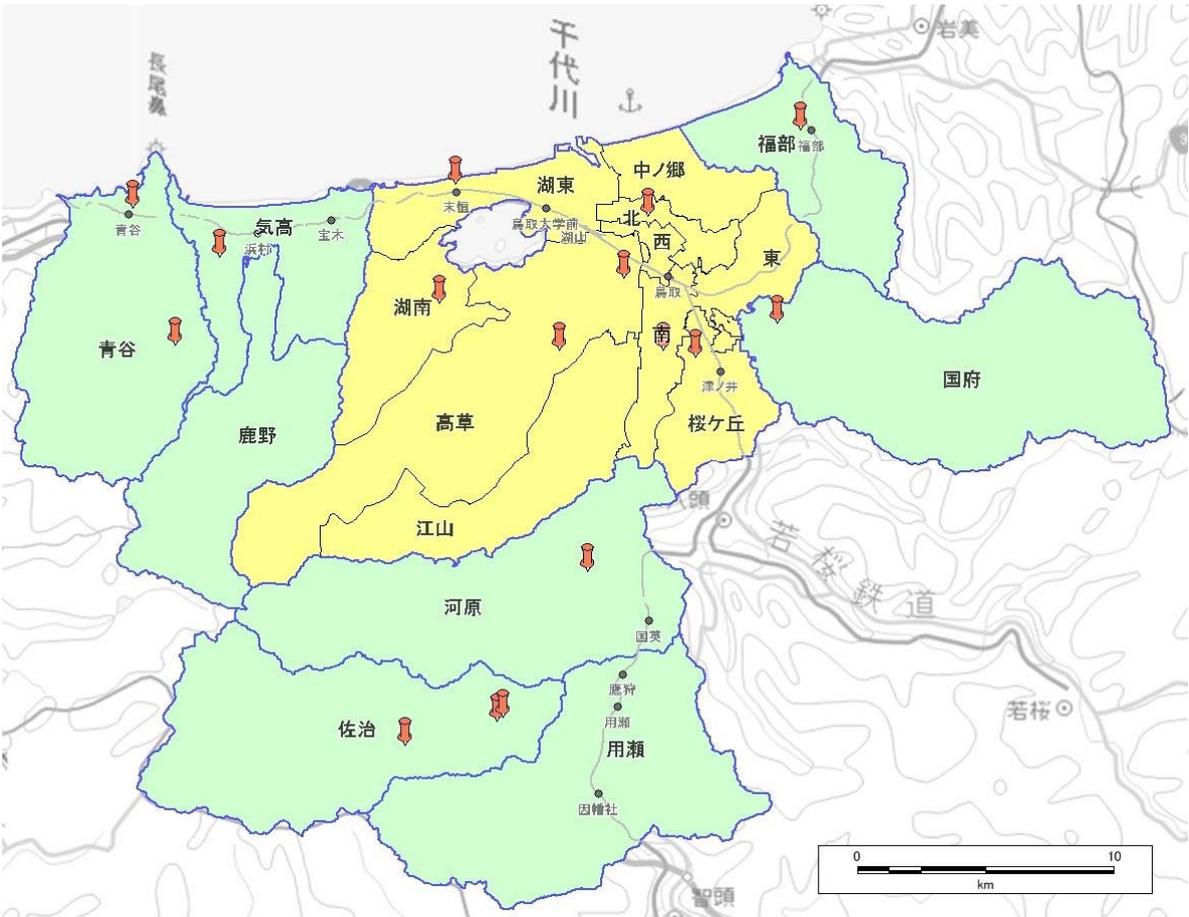
【供給面】

施設総数：17 総延床面積：16,417㎡

施設配置数

東	西	南	北	中ノ郷	湖東	湖南	高草	江山	桜ヶ丘	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
		1	1		1	1	2		1	2	1	1		3	1		2

配置図

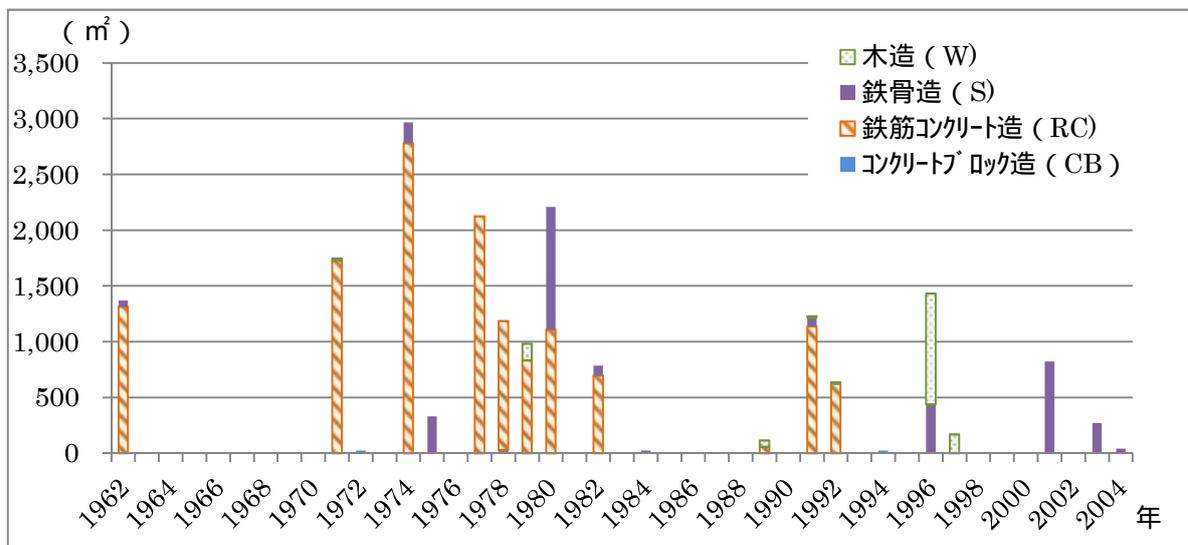


主な建物の状況

施設名	所在地	建築年	延床面積
旧国府町総合支所	国府町町屋	1968	1,835
佐治町豪雪山村開発総合センター	佐治町加瀬木	1971	1,746
旧佐治中学校	佐治町古市	1977	2,126
旧大正保育園	古海	1980	701
旧末恒地区公民館	伏野	1975	330

【品質面】

建築年と構造別延床面積



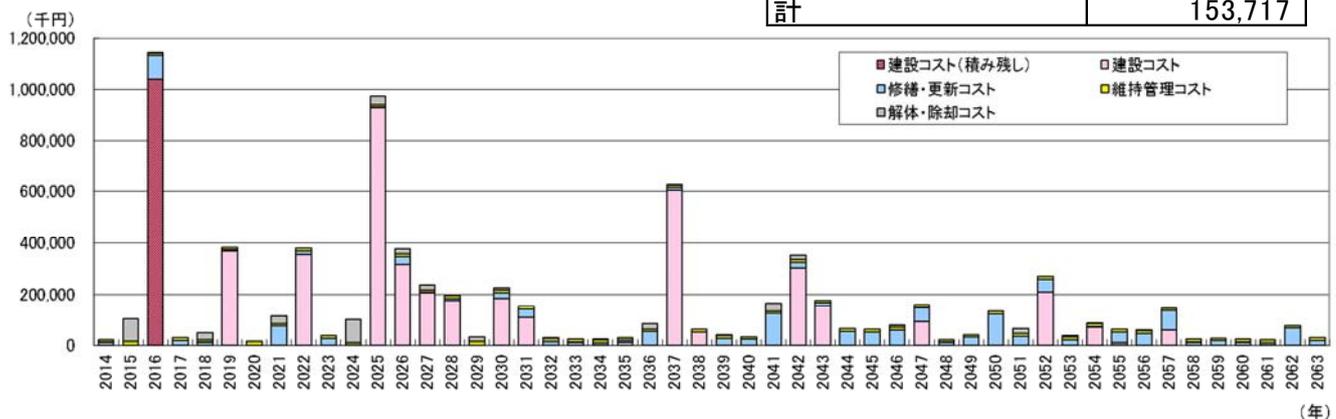
【更新費用】

今後 50 年の修繕・更新費用の試算

今後 50 年間に発生する修繕・更新費用は 77 億円。年平均 1 億 5,400 万円と試算されます。

50年間の総計	単位: 千円
建設コスト	5,261,940
修繕・更新コスト	1,481,080
維持管理コスト	485,371
解体・除却コスト	457,435
計	7,685,826

単年度平均	単位: 千円/年
建設コスト	105,239
修繕・更新コスト	29,622
維持管理コスト	9,707
解体・除却コスト	9,149
計	153,717



第5章 公共施設が抱える課題等

「公共施設（インフラ）の更新問題」とは？

高度経済成長は、急激な都市化の進展をもたらし、人口の増加と併せて、学校や道路、橋りょう、上下水道などの公共施設やインフラが一斉に整備されました。

これらの公共施設の多くが30年以上を経過し、今後は一斉に老朽化して、建替えや修繕といった更新が必要な時期が集中してやってきます。しかし、これと並行して少子高齢化と人口減少が進み、国・地方自治体の財政状況は厳しくなっています。

インフラの老朽化は、都市化が早かった大都市圏で顕在化しており、筐子トンネルの天井板落下事故のように人命が失われる大事故をはじめ、吊り橋ワイヤーの破損、水道管の破裂など住民生活に悪影響を及ぼす事故が実際に発生しています。

このように経済成長期と同様に施設の整備や管理をすることは、ほぼ不可能となっており、何ら対策もなく今までどおりの管理運営を続けると、結果として公共施設の荒廃や事故に繋がり住民の安全や安心が脅かされることとなります。

また、学校をはじめとする真に必要な公共施設まで適切な維持管理ができなくなり、住民生活自体に悪影響を及ぼすことが心配されます。これが、「公共施設の更新問題（老朽化問題）」と呼ばれる問題です。

本市においても、この「施設白書」の作成を通じて、公共施設を調査・分析することで、次のような課題が見えてきました。

《公共施設が抱える問題・課題》

1 施設管理コストの1人あたり負担の増加

少子高齢化を伴う人口減少社会を迎え、生産（労働）人口も減る中では、将来の大幅な税収増は難しく、逆に扶助費の増加や交付税の縮減等によって、公共施設の維持管理に充てられる財源は減少することが予想されます。

人口が20万人から15万人と25%減少した場合、市民1人が負担する施設管理コスト（光熱水費と維持管理費）は7,100円/年から9,500円/年と3割以上増加します。

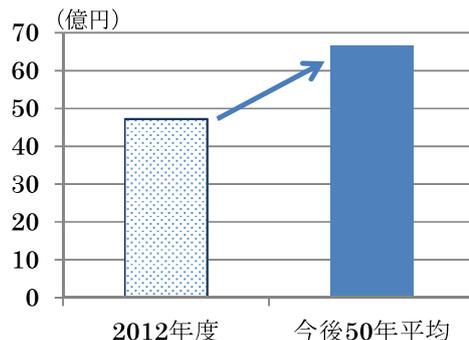
さらには、サービスを提供するための人件費や事業運営費、定期的な大規模修繕費もあり、これらの負担も同様に増加することになります。

必要な公共サービスの水準を下げることがないように、公共施設にかかるコストを可能な限り縮減するための取り組みが求められます。

2 施設の更新時期の集中

現在の公共施設の総量を維持し、耐用年数に応じて建替えを行った場合、今後50年で約3,274億円、年平均約66億円の財源が必要となります。

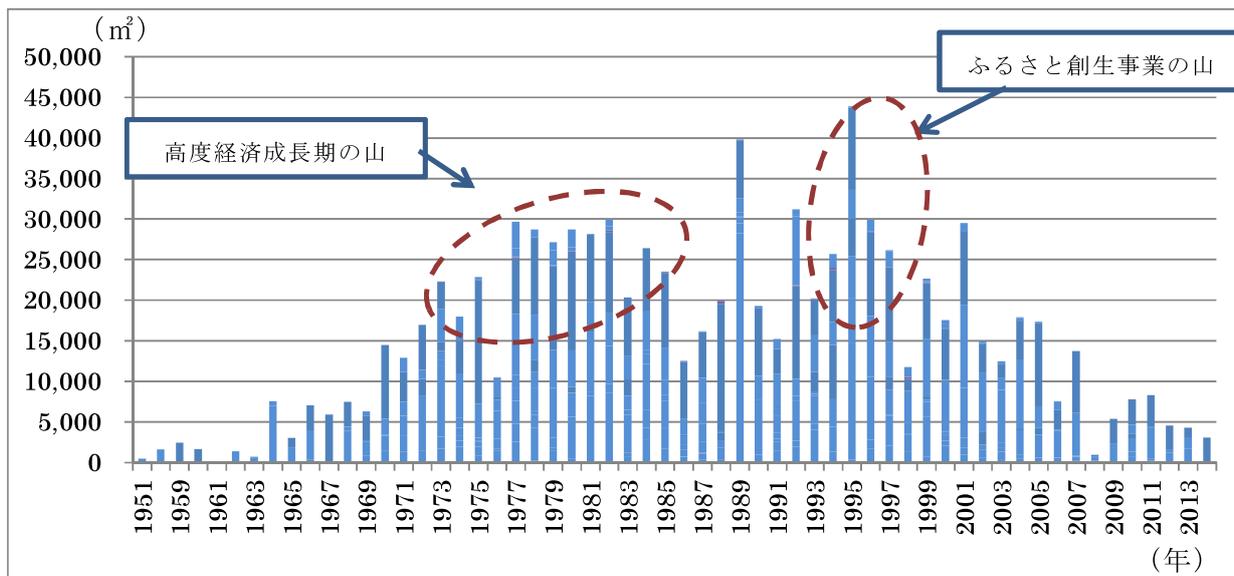
この金額は、2012年度決算のうち公共施設の更新・修繕等に費やされた約47億円の1.4倍となっています。



現在の公共サービス水準を維持し、交付税の縮減によって更に限られる財源の中で、道路や橋りょうの維持補修費用と分け合う必要があることから、現在の公共施設の総量維持はほぼ不可能となります。

また、全国の自治体においてみられる高度経済成長期の「集中整備の山」に加えて、本市においては、いわゆる“ふるさと創生1億円事業”による「集中整備の山」が見られることから、更新問題が10年から20年おきに数回発生する可能性があります。

持続可能な財政運営のためにも、施設総量を見直し、計画的・効率的な更新を行い、各年度における更新費用を平準化することが求められます。



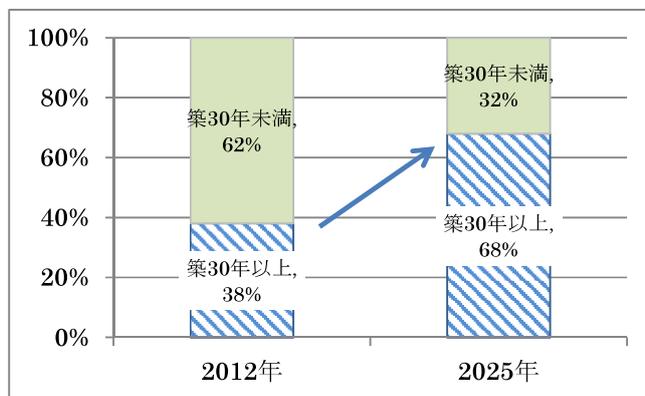
3 施設の老朽化

2012年末時点で、築30年を迎えている公共施設は、38%（約4割）でした。しかし、前述のように集中して整備を行った山が更新時期を迎える2025年度には、68%（約7割）の建物が築30年以上となります。

建物は、築25年から30年程度を経過すると、外壁工事や内部改修など大規模改修工事が必要となります。そうしなければ、耐用年数まで良好な状態で使い続けることが困難になるだけでなく、機能の陳腐化による快適性の欠落からはじまり、利用者の安全性を保てなくなることが懸念されます。

公共施設の多くが避難所に指定されていることから、利用者の安全を確保することはもちろん、より快適に利用していただくための計画的な維持（予防）保全や設備更新等に取り組む必要があります。

加えて、建築してから維持管理し、除却までに発生する生涯経費の最適化が求められます。

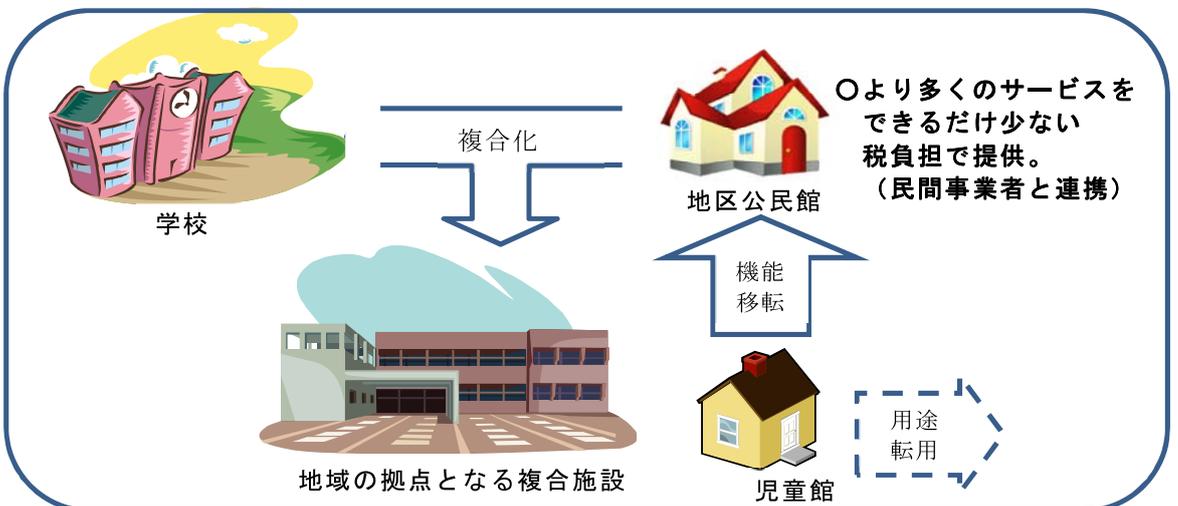
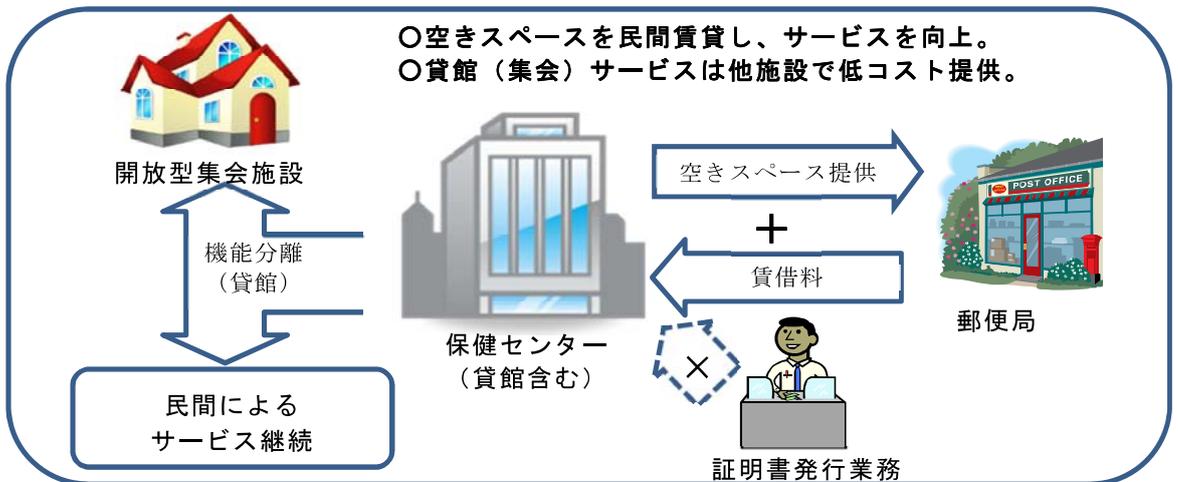
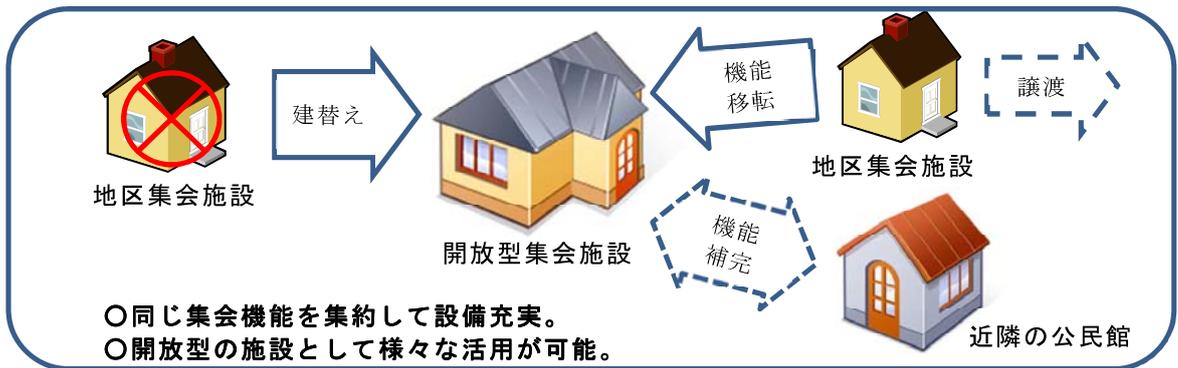


4 施設機能の重複

公共施設は、それぞれ行政目的をもって整備されていますが、所管部局が掲げる利用目的は異なるものの、施設（部屋）の機能や、利用実態（目的）が重複している場合があります。（例えば、集会所、公民館及び老人憩の家が隣接している。複数の体育館が隣接している等）

今後、公共施設の総量を維持することが難しいとすれば、公共施設の建替えや大規模改修時には、極力近隣と同機能を持つ施設や部屋を集約等することで、行政サービスを維持しつつ、ムダ・ムラの無い、より効率的な管理運営を行うことが求められます。

《他自治体の取り組みイメージ》



5 施設配置や受益者負担の不均衡

施設の設置目的（市条例に掲げる目的）とは異なる用途や、異なる利用者によって利用されている施設が見られます。施設の空き時間等を有効活用しているといえるものの、公平性の観点からは好ましくない状況にあります。

また、同機能の施設においても利用料金の有無や、利用者1人あたりの公費負担が非常に大きい施設等が見られます。施設に係る経費は、受益者負担と公費負担（利用しない市民が税金として負担）で賄われています。利用者間の公平性ととも、納税者間の公平性についても議論を進め、見直すことが求められます。

6 管理運営方法等のばらつき

利用頻度が著しく低い施設や、同種の施設において維持管理コストに大きな差があるといったケースが見られます。これまでの施設機能の存続の必要性や管理運営方法のあり方などについて検討する必要があります。

また、多くの施設において、修繕履歴や修繕計画が無いままに対処的に修繕が施されているケースが見られるほか、施設の管理運営が施設所管課の持つ人的及び物的能力に依存していることから、公共施設の状態に格差が生じてしまう場合があります。

これらを解消するためには、管理運営に要する財産（ヒト・モノ・カネ・情報）等の集約や一元管理が求められます。

7 民有地借上げによる財政負担

公共施設の整備にあたって、長期間にわたって民有地を借り上げている施設については、同種の施設間における比較を十分に行い、明らかに負担が大きくなっている施設については、早急に見直しを検討する必要があります。また、同時に当該施設を通じて得られる公共サービスのあり方を考えることが求められます。

8 公共施設&インフラの更新問題

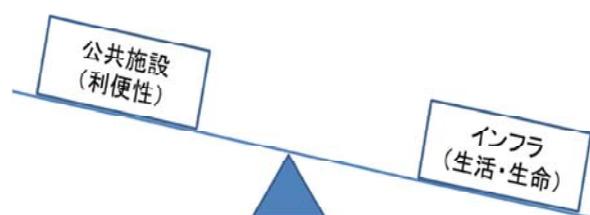
公共施設だけではなく、インフラ（道路や橋りょう、上下水道施設など）も同様に高度経済成長期や都市化の進展などによって、一斉に整備されており、公共施設と同様に更新問題を抱えています。

公共施設も道路・橋りょうも重要な生活基盤ですが、万が一の場合、より市民の生命に直結する事故となる可能性が高いのは、道路や橋りょうとされています。

公共施設は、サービスを提供するための手段の一つであり、複合化や統廃合など、工夫を重ねることで、総量を減らしても機能を維持する余地があります。

一方、道路を廃止すればそこに接していた土地は利用できなくなるなど、インフラに関しては量を減らすことは難しく、すなわち更新費用縮減の余地が少ないと言えます。

真に必要な公共施設以外に予算を費やし、真に必要なサービスを低下させることを避けるためにも公共施設の総量縮減を早急に考えていくことが求められます。



《課題のまとめ》

以上のとおり課題を述べましたが、本市が取り組むべき公共施設に関する主な課題は、次のとおり整理できます。



- (1) 必要な公共サービスを維持するため、人口や財政規模に応じて公共施設の総量を最適化していくこと
- (2) 公共施設にかかる生涯経費（ライフサイクルコスト：企画設計・建築・維持管理・運用・除却にかかる総経費）を可能な限り縮減すること
- (3) 計画的な維持（予防）保全に取り組み、財政負担の平準化を図るとともに、安全で良好な公共施設を確保すること
- (4) ムダ・ムラ・ムリの無い公共施設の再配置によって、より効率的に公共サービスを提供すること
- (5) 公共施設の利用者間並びに納税者間の公平性を確保すること
- (6) 公共施設に頼らない公共サービスの提供について研究すること

これらの課題は、全て『公共施設の更新問題』であり、本市のみならず国をはじめ全国の自治体において共通課題といえます。

また、各課題を掘り下げると、地方自治法に定められている「住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」という自治体の責務と相通じるものです。

本市は、自治体として、市民に必要な公共サービスを提供し続けるため、本市が保有する財産（ヒト・モノ・カネ・情報等）を最適な状態とすることで、『公共施設の更新問題』に対応していくことが求められています。

第6章 今後の進め方について

1 鳥取市の取組状況

鳥取市では、「鳥取市行財政改革大綱」のもと、行財政改革に取り組み、様々な分野にわたり、一定の成果を上げてきました。

しかしながら、土地や建物などの保有財産に関する改革は思うように進んでいないのが現状です。市が保有している財産は、これまで長い期間にわたって取得や整備をしてきたものであり、限られた財源の中、貴重な財産を有効に活用し、簡素で効率的な施設運営に取り組んでいくことは、行政として大きな使命であると考えます。

こうしたことから、本市が保有する財産の見直しや処分・活用、運営管理などに関する全てにおいて、経営の視点から確実な保有財産の改革を実行するため、2013年4月から専任の担当者を配置しました。

また、全市を挙げて『公共施設の更新問題』に立ち向かうために、庁内にファシリテイマネジメント推進プロジェクトチームを設置し、これまで以上に総合的な視点から“財産経営”に取り組むこととしました。

2 財産経営の基本的な考え方

鳥取市では、『公共施設の更新問題』に対応する取り組みとして、次の3つの柱を掲げています。

(1) 保有財産の最適化（総量の適正化と効率的な施設運営）

公共施設の最適化に向けて、財務（コスト）・品質（サービス水準）・供給（施設供給量）の3つの側面から施設の現状を評価・検討し、市が持ち続ける施設であるかを明確にし、施設の見直しや統合に取り組めます。

また、市が持ち続ける施設については、安全で快適に利用できる環境の提供と公共サービスの向上をめざすほか、不要な施設の新設を防ぐための新たな基準を作成し、施設の適正配置に努めます。

(2) 公共施設にかかる生涯経費（ライフサイクルコスト）の最適化と環境対策（無駄を省いた効率化とサービス水準の向上）

市が保有すべき施設については、施設改修の優先順位の明確化や計画的修繕、施設管理コストの縮減等によって、生涯経費を最適化（縮減）し、施設全体にかかる財政負担の軽減や平準化をめざします。

また、安全で快適な施設環境の提供によるサービス水準向上や周辺環境にも配慮した取り組みを展開します。

(3) 保有財産の利活用（資産の有効活用と増収策）

保有している既存財産（建物・土地）の目的や利用状況などを踏まえ、戦略的な活用に取り組むことで、財産の有効活用と新たな財源確保に努めます。

3 今後の進め方

「鳥取市公共施設白書」は、1つ目の柱である『保有財産の最適化』を進めるための基礎資料とし、できるだけ早期に「公共施設の総量適正化にむけた基本方針（仮称）」の策定をめざします。

この基本方針は、鳥取市行財政改革大綱並びに鳥取市総合計画など上位計画と連動させ、本市のまちづくりにおける基本的な考え方との整合性を図ります。

また、具体的な取り組みについては、市民との意見交換などを重ねつつ、施設分類別の「公共施設総量適正化計画（仮称）」を策定し、各種手法によって保有財産の最適化をめざしていきます。

終わりに

『公共施設白書』は全国の自治体で作成が始まっており、2013年9月時点での白書を公開している自治体は、117件（日本PFI・PPP協会調べ）となっており、『鳥取市公共施設白書』は、山陰では松江市に次ぎ2件目となります。

『鳥取市公共施設白書』は、公共施設を「供給」・「品質」・「財務」の視点で分析し、今まで見えなかった公共施設の側面を皆様に見ていただき、“現状と課題を共有するため”に作成した資料であり、鳥取市で初めて“全施設における公共施設の更新費用を試算した資料”となっています。

ただし、施設白書を見ていただくことだけが目的ではありません。この施設白書をきっかけに市民の皆さまと議論を交わし、『持続可能なコンパクトタウン』と『必要な公共サービスを提供し続けられる効率性の高い環境づくり』に繋げることが大きな目標です。

『公共施設の総量適正化』は、市民と地域、事業者、議会、行政などが協力して取り組む課題であり、財産に対するこれまでの考え方や手法を転換することが必要です。

非常に困難な課題ではありますが、私たちの子や孫の代に負担を先送りすることなく、積極的に取り組んでいきますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

鳥取市公共施設白書

(第1版)

2014年2月

編 集 鳥取市総務部総務調整監財産経営課
電話 (0857) 20-3852